

令和 2 年度

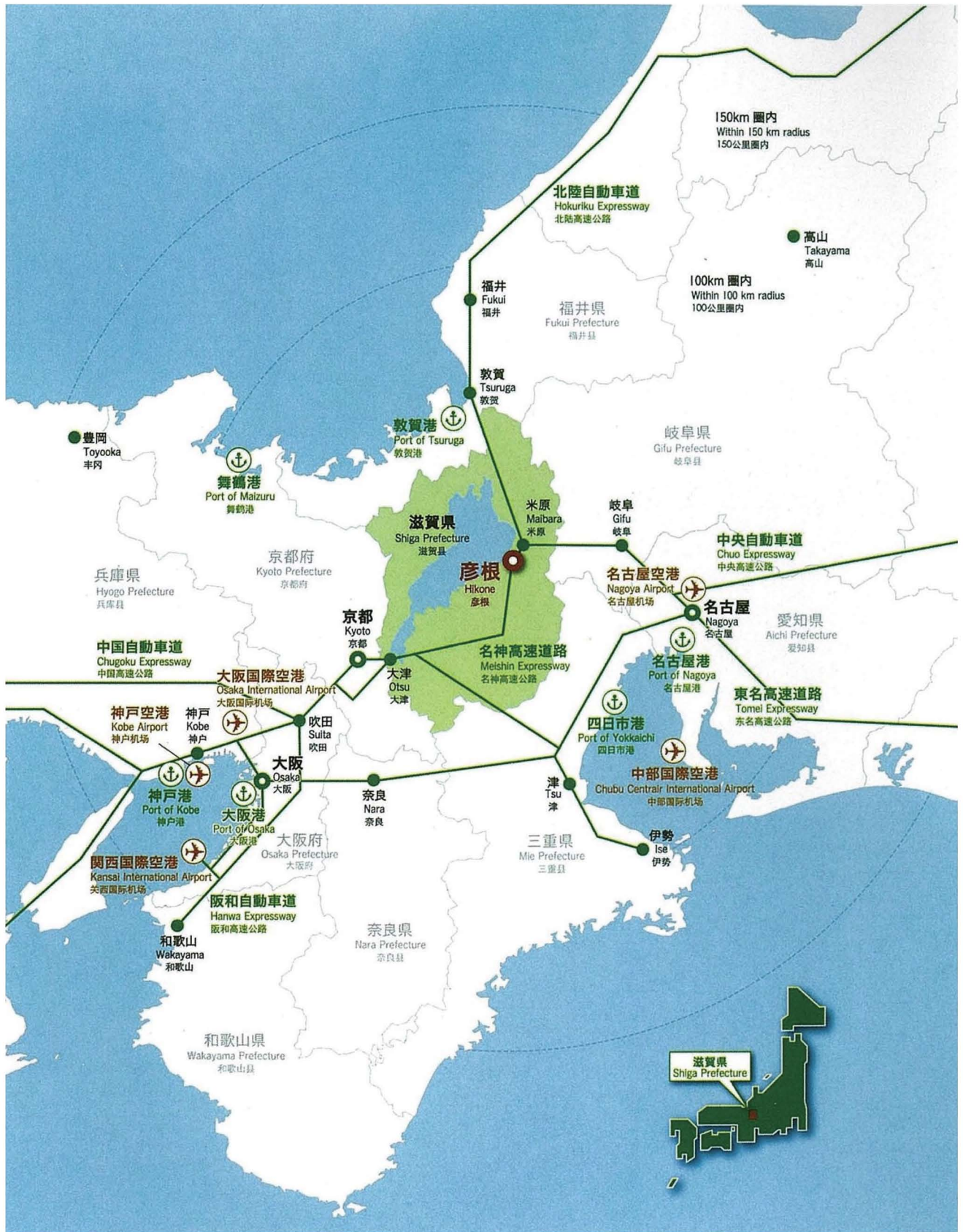
病 院 年 報



Vol.26

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

彦根市立病院



はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的パンデミックが宣言されてから1年以上経過しました。COVID-19は世界中で社会のあらゆる方面に影響を及ぼしましたが、医療においてもその影響は大きく、現在の医療体制の弱点が露呈された反面、大きな変革を生じた面もありました。

まず医療逼迫、医療崩壊です。日本は病院数、病床数は世界で最も多いと言われており、併せてCOVID-19の患者数は諸外国と比較してかなり低く抑えられていましたが、人口が集中する大都市では医療逼迫の状態が発生しました。日本では医師や医療スタッフが少ない、病院数が多くてもその多くは感染症に対応できない民間病院であるなど、原因は様々あるようですが、日本の医療体制が大規模な感染症に対しては極めて脆弱であることを露呈しました。今後進められていく地域医療構想の中では是非検討していただきたい課題です。

COVID-19は患者さんの受診動態を変えました。患者さんは受診を控えるようになり、特に救急で受診される患者さんが減りました。いわゆるコンビニ受診が減ることは望ましいことですが、病院を受診すべき患者さんが受診を敬遠し、病気が悪化してしまったという例も報告されています。感染症を恐れるあまり、生活習慣病や癌、心臓疾患や脳卒中など、克服しなければならない病気が疎かにされてしまうことは由々しき問題です。医療を提供する側はもっと社会に訴えなければなりませんし、これまで不十分だった証です。

逆に医療において大きく進歩した点として、マスクや手洗い、そしていわゆる3密（密集、密閉、密接）を避けてソーシャルディスタンスを確保するなどの感染対策がCOVID-19に対してだけではなく、多くの感染症に対しても有効であることがわかりました。特に毎年発生していたインフルエンザの流行は全くありませんでした。明らかに疾病構造の変化が見られ、今後も感染予防策を継続すれば、多くの感染症は防ぐことができるのではないかと思います。

そしてCOVID-19のワクチン接種が始まりました。新型コロナウイルスに対しては、遺伝子ワクチンと呼ばれる人類が初めて手にするワクチンが開発され、それも短期間で実用化されました。ワクチン接種が進んでいるイスラエルやイギリスでは感染者数が減少し、死亡する患者

さんもほとんどいなくなっています。今後、未知のウイルス感染症に対応する強力な武器になると考えられます。

そして電話診療やオンライン診療の普及です。国は特例的に電話診療を認めており、患者さんの中には電話診療を希望する患者さんもいます。これまで国は積極的にオンライン診療を進めようとして来ましたが、医療の現場ではなかなかハードルが高く、それ程進んでいませんでした。しかしながら患者さんの受診控えとも相まって、一気に現場で拡大する気配があります。今後 COVID-19 が落ち着いてもこの傾向は進んでいくのではないのでしょうか。

このように、COVID-19 のパンデミックで、医療体制は大きな影響を受けましたが、COVID-19 が収束してもパンデミック前の状態に戻ることはできないでしょう。今後はウィズ・コロナを前提に医療の提供体制を構築していかなければなりません。医療は現在、グレート・シフトの真っただ中にあります。

令和 2 年度の年報が完成いたしました。令和 2 年度は彦根市立病院も COVID-19 の対応に追われた 1 年であり、入院患者数、外来患者数、そして救急受診した患者数は減少しました。年度の後半くらいから徐々に回復して来ましたが、前年度までには及びません。現在、彦根市立病院では通常診療に支障をきたさないように努めつつ、COVID-19 の集団接種にスタッフを派遣しています。これからも彦根市立病院では地域医療を支えるためにスタッフ一同努めてまいりますので、今後とも彦根市立病院をよろしくお願いいたします。

彦根市病院事業管理者兼病院長

金子 隆昭

基本方針

**住みなれた地域で健康をささえ、
安心とぬくもりのある病院**

基本理念

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして高度な医療を提供する。
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する。
- 3 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する。
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、保健・福祉分野を含めて連携・協力する。
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす。

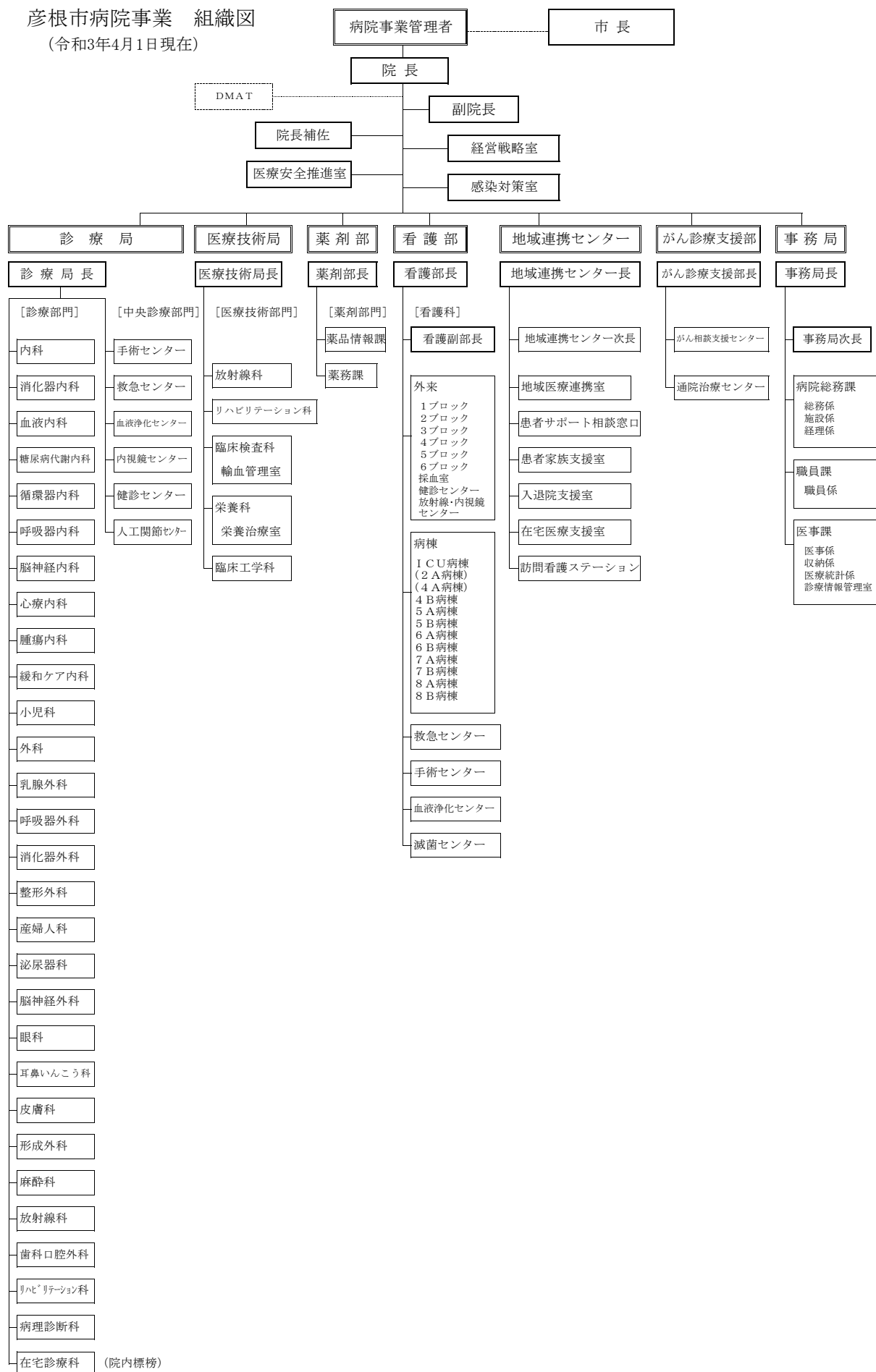
平成20年7月改訂

平成25年3月更新

平成29年4月更新

彦根市立病院

彦根市病院事業 組織図
(令和3年4月1日現在)



院内各会議・委員会組織図

令和3年4月1日現在



I 病 院 概 要

開 設 者 : 彦根市長
 代 表 者 : 彦根市病院事業管理者 兼 彦根市立病院長 金子 隆昭
 所 在 地 : 滋賀県彦根市八坂町 1882 番地
 : T E L 0749-22-6050 F A X 0749-26-0754
 : http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp

開 設 : 1891 年 4 月 26 日
 病 床 数 : 一般 424 床 (内 緩和ケア 20 床、I C U ・ C C U 8 床)
 結核 10 床
 感染症 4 床

診 療 科 : 29 科
 内科、消化器内科、腫瘍内科、血液内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、心療内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、麻酔科、放射線科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、在宅診療科 (院内標榜)

施設認定 日本内科学会認定医制度教育関連病院
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 (連携施設)
 日本消化器病学会専門医制度関連施設
 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 日本糖尿病学会認定教育施設
 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST 実施施設
 日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 日本呼吸器学会認定施設
 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
 呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
 日本脳卒中学会研修教育病院
 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本形成外科学会認定施設
 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 日本病理学会研修認定施設 B
 日本臨床細胞学会認定施設
 優良二日ドック施設
 日本乳癌学会専門医制度関連施設
 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 日本口腔外科学会専門医制度認定准研修施設
 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
 日本緩和医療学会認定研修施設
 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
 Ai 撮影参加施設
 日本肝臓学会特別連携施設
 日本顎顔面インプラント学会准研修施設

施設指定 地域医療支援病院
 健康保険法指定医療機関
 生活保護法指定医療機関
 原子爆弾被爆者一般疾病指定医療機関
 児童福祉法育成医療指定医療機関
 指定自立支援医療機関
 (育成医療・更生医療・精神通院医療)
 救急告示病院
 国民健康保険法療養取扱機関
 労働者災害補償保険法指定医療機関
 第二種感染症指定医療機関
 母子保健法養育医療指定医療機関
 臨床研修施設指定病院
 歯科医師臨床研修施設
 地域がん診療連携拠点病院
 災害拠点病院
 原子力災害医療協力病院
 滋賀県難病診療分野別拠点病院
 (代謝・皮膚・結合組織、免疫、循環器、血液、腎・泌尿器、骨・関節、内分泌、呼吸器、消化器)
 滋賀県難病医療協力病院 (神経・筋)
 難病医療費助成指定医療機関
 小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
 肝疾患専門医療機関
 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
 エイズ診療拠点病院

その他 災害派遣医療チーム (DMAT)
 (財) 日本医療機能評価機構認定病院
 (平成 30 年 11 月更新)

診療科	職 種	氏 名
1	事業管理者 兼院長	金子 隆昭
2	副 院 長 (医療安全担当)	石上 毅
3	副 院 長 (業務改善・血液浄化センター担当)	長谷 行洋
4	副 院 長 (危機管理・ICU担当)	中野 顯
5	副 院 長 兼看護部長	谷口 孝二
6	院長補佐 (地域連携担当)兼地域連携センター長	北川 智美
7	名誉院長 (嘱託)	赤松 信
8	顧問 (嘱託)	林 進
診 療 局 (医長以上)		
1	診療局長 (内科系担当)	來住 優輝
2	診療局長 (外科系担当)	堀 裕彦
3	主任部長 (職場環境改善担当)	西島 節子
4	主任部長 (リハビリテーション担当)	堀 裕彦
5	主任部長 (健診担当)	片岡 健一
6	主任部長 (感染対策・診療報酬担当)	月野 光博
7	主任部長 (放射線担当)	畑 博之
8	主任部長 (病床運用室担当)	黒江 彰
9	主任部長 (外科系担当)	伊藤 文人
10	主任部長 (手術センター担当)	高淵 聡史
11	主任部長 (救急担当)	吉川 浩平
12	主任部長 (内視鏡センター担当)	(來住 優輝)
13	部 長 (働き方改革担当)	(宮澤 豪)
14	部 長 (臨床研修担当)	(神田 健志)
15	部 長 (ICU担当)	(古野 雅恵)
内科	部 長 事務取扱	(來住 優輝)
消化器内科	部 長 (統括)事務取扱	來住 優輝
	部 長	仲原 民夫
	(副 部 長) 兼腫瘍内科副部長	竹治 智
	副 部 長	森田 幸弘
	医 長	肥後 麻衣
血液内科	部 長 事務取扱	吉川 浩平
糖尿病代謝内科	部 長 (統括)事務取扱	黒江 彰
	部 長	菱澤 方洋
循環器内科	部 長 (統括)事務取扱	中野 顯
	部 長	下司 徹
	部 長	宮澤 豪
	部 長	天谷 直貴
	部 長	相本 晃
	副 部 長	高橋 宏輔
	副 部 長	眞鍋宏緒美
呼吸器内科	部 長 (統括)事務取扱	月野 光博
	部 長	渡邊 勇夫
	副 部 長	岡本 菜摘
脳神経内科	部 長 事務取扱	(中野 顯)
心療内科	部 長 事務取扱	(黒江 彰)
腫瘍内科	部 長 事務取扱	(長谷 行洋)
	副 部 長 兼消化器内科副部長	竹治 智
緩和ケア内科	部 長 (嘱託)	黒丸 尊治
小 児 科	部 長 (統括)事務取扱	石上 毅
	部 長 事務取扱	西島 節子
	部 長 兼診療局部長(臨床研修担当)	神田 健志
	部 長	安部 大輔
外 科	部 長	川部 篤
	名誉院長 (嘱託)	赤松 信
乳腺外科	部 長	(川部 篤)
	副 部 長	岡村 晃
呼吸器外科	部 長	林 栄一
消化器外科	部 長 (統括)	安田 誠一
	部 長	龍見謙太郎
	部 長	崎久保守人
整形外科	部 長 (統括)事務取扱	堀 裕彦
	部 長	角田 恒
	部 長	光石 直史
	医 長	小川 貴大
産婦人科	部 長 事務取扱	(長谷 行洋)
泌尿器科	部 長 (統括)事務取扱	長谷 行洋
	部 長	佐野 太一
脳神経外科	事業管理者	金子 隆昭
	部 長	千原 英夫
眼 科	部 長 事務取扱	(長谷 行洋)
耳鼻いんこう科	部 長 事務取扱	片岡 健一
皮 膚 科	部 長	古田 未征
形成外科	部 長 事務取扱	伊藤 文人
	医 長	堀内 あい
麻 酔 科	部 長 (統括)事務取扱	高淵 聡史
	部 長	杉本 保之
	部 長	古野 雅恵
放射線科	部 長 事務取扱	畑 博之
歯科口腔外科	部 長 (統括)	山田 剛也
	部 長	前田 康弘
	医 長	横田 裕一
病理診療科	部 長	太田 諒
在宅診療科	部 長	(宮澤 豪)
手術センター	所 長 事務取扱	(高淵 聡史)
救急センター	所 長 事務取扱	(吉川 浩平)
	所 次 長 (外科担当)事務取扱	(川部 篤)
	所 次 長 (内科担当)事務取扱	(下司 徹)
血液浄化センター	所 長 事務取扱	(長谷 行洋)
内視鏡センター	所 長 事務取扱	(來住 優輝)
健診センター	所 長 事務取扱	(片岡 健一)
集中治療室(ICU)	主任部長	(中野 顯)

所 属	職 種	氏 名
医療技術局		
	局 長	鈴木 博人
	次 長	青野 多聞
	次 長	樋口 武史
放射線科	科 長	鳥居 裕之
	主 幹	山出 太
	科長補佐	高瀬 伸二
リハビリテーション科	科 長 事務取扱	(鈴木 博人)
	主 幹	古澤 伸行
	科長補佐 (統括)	吉田 勝巳
	科長補佐	高山 連材
臨床検査科	科 長 事務取扱	(樋口 武史)
	主 幹 兼科長補佐 (統括)	馬場 康次
	科長補佐	中村 勇治
	科長補佐	豊川 純史
栄 養 科	科 長 兼栄養治療室長	小野 由美
	科長補佐	大橋佐智子
臨床工学科	(科 長) 事務取扱	(青野 多聞)
	科長補佐	山本佳津葉
薬 剤 部		
	部 長 事務取扱	(中野 顯)
	副 参 事	大野 勝則
	主 幹 再任用 兼経営戦略室主幹	(茂龍 邦彦)
薬品情報課	課 長	近藤 博紀
薬務課	課 長	河崎 一久
看 護 部		
	部 長 兼副院長	谷口 孝二
	参 事 兼地域連携センター長	(北川 智美)
業務	副 部 長	坂東恵美子
医療安全	副 部 長	上村千馨子
教育	副 部 長	藤田 晶子
新人責任者	科 長	田中 里美
	主 幹 再任用	中野 昌美
外 来	科 長	秋宗 美紀
救急センター	科 長	堤 美江
2 A病棟	科 長	赤井 律子
4 B病棟	科 長	早崎 有紀
5 A病棟	科 長	磯崎 蘭子
5 B病棟	科 長	伊野 頼子
6 A病棟	科 長	小菅 智子
6 B病棟	科 長	西村 和代
7 A病棟	科 長	香川 純子
7 B病棟	科 長	菅原さとみ
8 A病棟	科 長	松宮千代美
8 B病棟	科 長	森口 朋子
手術センター	科 長	水長真由美
血液浄化センター	科 長	多湖ゆかり
滅菌センター	科 長	吉田 恵美
地域連携センター		
	院長補佐 (地域連携担当)兼センター長	北川 智美
	センター次長	(宮澤 豪)
	主 幹 (患者サポート窓口担当)	小川多恵子
患者家族支援室	室 長 兼看護科長	中居由美子
	主 幹 兼看護科長	小倉 立子
地域医療連携室	室 長 兼看護科長	永山 夕水
	主 幹 兼看護科長	松田 斉
	主 幹	乾 昌典
在宅医療支援室	室 長 事務取扱	(宮澤 豪)
入退院支援室	室 長 兼看護科長	(小倉 立子)
	主 幹 再任用 兼看護科主幹	宮本 広子
訪問看護ステーション	所 長 兼看護科長	西村 紀子
がん診療支援部		
	部 長	(長谷 行洋)
がん相談支援センター	所 長	(林 栄一)
	センター次長 兼看護科長	木下千恵美
	主 幹 事務取扱	(桂田 厚子)
	副 主 幹	(林 善和)
通院治療センター	所 長 事務取扱	(吉川 浩平)
事 務 局		
	局 長	野崎 孝志
	参 事 (嘱託)	堤 健郎
	次 長	北村 典彦
	副 参 事	桂田 厚子
病院総務課	課 長	種村 慎洋
	主 幹 再任用 兼施設マネジメント推進室長	山本 茂春
	主 幹 再任用	牧野 正
	課長補佐 総務係長	高畑 拓郎
施設マネジメント推進室	室 長	山本 茂春
	主 幹	種村 慎洋
職 員 課	課 長	北村 慎弥
	課長補佐	植田 亮平
医 事 課	課 長 事務取扱	(桂田 厚子)
	課長補佐 医事係長	林 善和
	副 主 幹	藤原 政広
診療情報管理室	室 長	(桂田 厚子)
	室長補佐	(藤原 政広)
経営戦略室		
	室 長 事務取扱	(中野 顯)
	副参事 事務取扱	(野崎 孝志)
	室次長 事務取扱	(北村 典彦)
	主 幹	(種村 慎洋)
	主 幹 事務取扱	(桂田 厚子)
	主 幹	(北村 慎弥)
	主 幹 再任用	茂龍 邦彦
医療安全推進室		
	室 長 事務取扱	(石上 毅)
	主 幹	(中野 顯)
	室次長 事務取扱	(上村千馨子)
	主 幹	佐伯 公亮
感染対策室		
	室 長	(月野 光博)

配置図



各階概要

屋上	屋 上 ヘリポート（場外離着陸場）		
8 階	20床 8 B病棟 緩和ケア内科		58床 8 A病棟 一般病床・感染症、結核病床 呼吸器外科、呼吸器内科
7 階	41床 7 B病棟 地域包括ケア病棟 眼科、糖尿病代謝内科		47床 7 A病棟 一般病床・血液クリーン病床 消化器内科、腫瘍内科、血液内科
6 階	49床 6 B病棟 一般病床 外科、消化器外科、 乳腺外科、呼吸器外科		49床 6 A病棟 一般病床 循環器内科、呼吸器内科
5 階	49床 5 B病棟 一般病床 脳神経外科、脳神経内科 皮膚科、泌尿器科		49床 5 A病棟 一般病床 形成外科、整形外科
4 階	38床 4 B病棟 一般病床 小児科(NICU)、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科		4 A病棟（休床） ・通院治療センター ・がん相談支援センター ・訪問看護ステーション
3 階	管理棟 経営戦略室・医療安全推進室・感染対策室・医局・看護部 病院総務課・職員課・図書室・講堂・会議室		
2 階	手術センター ／ 8床 ICU・CCU：(2A病棟) 外来診療棟 外来診療室 { 3ブロック：形成外科・皮膚科・呼吸器内科・呼吸器外科・心療内科・緩和ケア内科 4ブロック：外科・乳腺外科・消化器外科・泌尿器科 5ブロック：眼科・歯科口腔外科・耳鼻いんこう科 6ブロック：小児科 血液浄化センター・臨床工学科・栄養治療室・在宅医療支援室・在宅診療科・ 病理診断科・入退院支援室		
1 階	外来診療棟 外来診療室 { 1ブロック：内科・消化器内科・腫瘍内科・血液内科・糖尿病代謝内科・循環器内科 2ブロック：脳神経外科・脳神経内科・整形外科・人工関節センター リハビリテーション科・放射線科・内視鏡センター・救急センター・健診センター・ 臨床検査科・中央処置室・医事課・診療情報管理室・地域医療連携室・患者家族支援室・ コンビニエンスストア・レストラン・警備防災センター		
地下	供給部棟 放射線科（RI・放射線治療）・栄養科・薬剤部・滅菌センター・ベッドセンター・ ボランティア室・理容室・霊安室・SPDセンター・機械室		

※各階に表記している診療科は主要な診療科です。

令和2年10月現在

職 員 数 調		令和3年5月1日現在							
職 名	所 属	補 職 名	性 別		計	備 考			
			男	女					
医師 歯科医師	医局	事 業 管 理 者 ・ 院 長	1		64				
		院 長 代 理							
		副 院 長	3						
		院 長 補 佐							
		診 療 局 長	2						
		主 任 部 長	7	1					
		部 長 ・ 副 部 長 ・ 所 長	28	3					
		医 員	2	2					
技術職	薬剤部	副 参 事	1		21				
		課 長	2						
		薬 剤 師	5	13					
	眼科	視 能 訓 練 士	3	3	1				
	歯 科 口 腔 外 科	歯 科 衛 生 士	1	1					
	次 長 ・ 科 長	1							
	臨床検査科	主 幹	1		23				
		臨 床 検 査 技 師	9	12					
	リハビリテーション科	局 長	1		27				
		主 幹	1						
		理 学 療 法 士	10	5					
		作 業 療 法 士	4	2					
		言 語 聴 覚 士	3	1					
		放射線科	科 長 ・ 主 幹	2		19			
		診 療 放 射 線 技 師	12	5					
		臨床工学科	次 長 ・ 科 長	1		12			
			臨 床 工 学 技 士	8	3				
		栄養科	科 長	1		9			
	管 理 栄 養 士		8						
	看護部	部長（副院長）	部 長 （ 副 院 長 ）	1		379			
			副 部 長	3					
			科 長	1	16				
			主 幹 （ 再 任 用 ）		1				
			主 幹 （ 再 任 用 P ）		1				
			助 産 師 ・ 看 護 師	34	321				
		地域連携センター	准 看 護 師	1		22			
			院長補佐・センター長（看護師）		1				
			所長・主幹・室長（看護師）	1	5				
			助 産 師 ・ 看 護 師		5				
			主 幹 （ 再 任 用 ）		1				
			主 幹 （ 再 任 用 P ）		1				
		事務職	事務局	係 長 ・ 主 査	1	2	30		
				医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク ー	2	2			
				局 長	1				
	次 長 ・ 副 参 事			1	1				
	課 長 ・ 主 幹			2					
	課 長 補 佐 ・ 副 主 幹			4					
	技術職	経営戦略室	係 長 ・ 主 査	6	2	3			
			副 主 査 他	3	7				
	技術職		主 幹 （ 再 任 用 ）	2					
事務職		主 幹 ・ 薬 剤 師 （ 再 任 用 P ）	1						
		主 幹 ・ 臨 床 検 査 技 師 （ 再 任 用 ）	1						
		室 次 長							
		係 長 ・ 主 査	2						
		副 主 査 他							
正規職員			180	433	613				
医師	医局	専 攻 医 （ 医 科 ）	6	2	81				
		専 攻 医 （ 歯 科 ）							
		臨 床 研 修 医 （ 医 科 ）	6	1					
		臨 床 研 修 医 （ 歯 科 ）	1						
		月 額 嘱 託 医 （ 医 科 ）							
		月 額 嘱 託 医 （ 医 科 ） （ P ）	4	2					
		月 額 嘱 託 医 （ 歯 科 ） （ P ）	1						
		日 額 嘱 託 医	52	6					
技術職	薬剤部	薬 剤 師 （ 派 遣 ）	1	1	14				
		リハビリテーション科	言 語 聴 覚 士 （ P ）						
		放射線科	診 療 放 射 線 技 師 （ P ）	1					
		臨床工学科	臨 床 工 学 技 士 （ P ）	1			1		
	栄養科	栄 養 士			45				
		管 理 栄 養 士							
		管 理 栄 養 士 （ P ）							
		歯 科 口 腔 外 科	歯 科 衛 生 士				5		
	病理診断科	歯 科 衛 生 士 （ P ）			4				
		臨床検査技師（P）							
		臨床検査技師					3		
	臨床検査科	臨 床 検 査 技 師	1		1				
		臨 床 検 査 技 師 （ P ）							
		看 護 師		1					
		看 護 師 （ P ）		2					
訪問看護ステーション	准 看 護 師 （ P ）	1		1					
	看 護 師 護 士		1						
	看 護 師 護 士 （ P ）								
	看 護 師 護 士	10							
看護部	看 護 師 護 士 （ P ）	35		1					
	准 看 護 師	1							
	准 看 護 師 （ P ）								
	看 護 用 務 員		28						
現業員	看護部	看 護 用 務 員 （ 派 遣 ）		8	41				
		看 護 用 務 員 （ 派 遣 P ）							
		看 護 用 務 員 （ P ）		5					
		メ デ ィ カ ル ヘ ル パ ー (P)	11						
一般事務	診療局	事 務 員	1		79				
		事 務 員	1						
		事 務 補 助 員 （ P ）							
		薬剤部	薬 剤 補 助 者 （ 派 遣 ）				4		
	検 査 補 助 員 （ P ）		1						
	リハビリテーション科		リ ハ ビ リ 業 務 補 助 員				1		
	リハビリ業務補助員 (P)			1					
	放射線科	検 査 補 助 員 （ P ）		3					
	臨床工学科	臨 床 工 学 科 用 務 員		1					
	栄養科	業 務 ・ 事 務 補 助 員 （ P ）							
		病 棟 ク ラ ー ク （ P ）		12					
		事務補助員（P）		1					
		医療安全推進室	事 務 補 助 員 （ P ）				2		
	感染対策室	事 務 補 助 員 （ P ）		1					
	がん相談支援センター	が ん 拠 点 事 務 嘱 託 員 （ P ）		1					
	地域医療連携室	事 務 員 等		5					
		事 務 員 等 （ P ）		1					
		患者家族支援室	事 務 補 助 員 （ P ）				1		
		訪問看護ステーション	事 務 員 （ 派 遣 P ）				1		
	事務局	事務局	参 事 （ P ）	1				16	
			司 書						
			不 当 要 求 対 策 官	1					
			診 療 情 報 管 理 士	1					
			医師事務作業補助者						
			医師事務作業補助者 (P)						
			事 務 員 等				3		
			事 務 員 （ 派 遣 F ）				4		
			事 務 員 （ 派 遣 P ）				1		
			事 務 補 助 員 等 (P)	4			10		
	経営戦略室	事 務 員	1						
年度職員計			81	196	277				
合 計			261	629	890				

〈図書室所蔵状況〉

職員図書室

書籍	約700冊
DVD/ビデオ	16点

(年間定期購読/令和2年度)

和雑誌	43タイトル	※各科保管分含む
洋雑誌	1タイトル	

- ・他、オンラインデータベース(電子ジャーナル(和雑誌・洋雑誌)含む)へのアクセス環境を整備しています。

こころと体の図書室(患者図書室)

書籍	約1,900冊
CD/DVD	45点

(移動図書)

ブックカート：一階ホール設置 約200冊

Ⅱ 学術活動および院内諸活動

1. 著 書

診療科名：感染対策室

著者名	著書名	出版社	出版年月
多湖ゆかり	INFECTION CONTROL 4 「新人研修 成功のための戦略Tips9」 (プランナー) 「中規模病院、自治体病院での新入職者研修 Tips3」(執筆)	メディカ出版	2020. 4. 1
多湖ゆかり	iPacLetter volume30 「ICT/ASTレポート」	杏林製薬株式会社	
多湖ゆかり	INFECTION CONTROL 2021年春季増刊 「あなたの「知りたかった！」に答えます！ 新型コロナウイルス対策Q&A 68」(執筆)	メディカ出版	2021. 2. 5

2. 論文

診療科名：呼吸器内科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
Hamada S, Ueki S, Miyabe Y, Tsukino M, Hirai T	Focal eosinophilic myositis with Charcot-Leyden crystal formation.	Allergology international: official journal of the Japanese Society of Allergology.	pii: S1323-8930(20)30041-1.	2020 Apr
Hamao N, Ito I, Konishi S, Tanabe N, Shirata M, Oi I, Tsukino M, Matsumoto H, Yasutomo Y, Kadowaki S, Hirai T	Comparison of ceftriaxone plus macrolide and ampicillin/sulbactam plus macrolide in treatment for patients with community-acquired pneumonia without risk factors for aspiration: an open-label, quasi-randomized, controlled trial.	BMC pulmonary medicine.	doi: 10.1186/s12890-020-01198-4.	2020 Jun

診療科名：消化器外科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
神頭聡 竹治智 岡村見 崎久保守人 龍見謙太郎 安田誠一 川部篤	他臓器浸潤を伴う横行結腸癌に対して術前mFOLFOXIRI+Bevacizumab療法を施行し根治切除が得られた1例	癌と化学療法 (0385-0684)	47巻10号 P1, 517-1, 520	2020. 10月

診療科名：整形外科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
光石直史	小児Phalangeal Neck Fractureに対するIntrafocal Pining の経験	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	P571-P572 Vol. 63 No. 4	2020年
光石直史	小児脛骨粗面剥離骨折の3例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	P863-P864 Vol. 63 No. 6	2020年

診療科名：脳神経外科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
Hideo Chihara, Hiro Kiyosue, Shuuichi Tanoue, Satomi Ide, Takenori Ogura, Yuji Agawa, Taketo Hatano,	Fenestration of the cavernous internal carotid artery associated with a persistent primitive trigeminal artery	Interventional Neuroradiology	Online ahead of print	2021. 3. 19 accept, 2021. 4. 20 online

診療科名：皮膚科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
Tezuka Y, Sekine O, Hirano A, Hanada Y, Nakanishi I, Ariga M, Azuma C, Yamamoto Y, Ito-Kobayashi J, Washiyama M, Iwanishi M, Furuta M, Kanamori M, Shimatsu A, Kashiwagi A	A Prospective, Open-Label Short-Term Pilot Study on Modification of the Skin Hydration Status During Treatment With a Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitor	Diabetes Ther 12(1)	431-440	2021 Jan

診療科名：形成外科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
加古絢子 田中義人 櫻井裕章 堀内あい 伊藤文人 楠本健司 稲葉真由美	石灰化を伴った乳房巨大脂肪腫の1例	形成外科	Vol. 63, 1322-1328	2020年

診療科名：麻酔科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
杉本保之 竹田叶佳 石川ゆうこ 古野雅恵 石原蓉子 高淵聡史	麻酔管理下で片側性気管支痙攣を発症した耳鼻咽喉科手術の2症例	臨床麻酔	45巻3号 P495-P497	2021. 3月

診療科名：病理診断科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
Shintaku M, Kikuchi R	Benign notochordal cell tumor of the lung: Report of a case.	Pathol Int	70(11): P871-P875	2020年
Shintaku M, Ohta M, Okuno T.	Pulmonary carcinoma showing shadow cell differentiation and nuclear β -catenin accumulation: Report of a case.	Pathol Int	71(2): P167-P169	2021年

診療科名：臨床検査科

執筆者名	論文名	掲載誌名	掲載場所	発行年月
田邊正喜	多発性骨髄腫の検査	日本検査血液学会雑誌	第21巻第3号 P365-P371	2020. 11月

3. 学会発表

診療科名：循環器内科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
天谷直貴	ここまで進んだ心房細動治療 ～カテーテルアブレーションと抗凝固 療法～	不整脈フォーラム	くすのきセンター	2020. 9. 5
下司徹 野村量平 眞鍋奈緒美 高橋宏輔 梶本晃 宮澤豪 天谷直貴 中野顯	Cutting balloonによるlesion preparationが有用であった左前下行枝 分岐部病変の一例	第36回日本心血管 インターベンション 治療学会近畿地方会	Web参加	2021. 2. 27
中野顯	インターベンション関連の出血性合併症 をいかに減らすか	第36回日本心血管 インターベンション 治療学会近畿地方会	Web参加	2021. 2. 27

診療科名：呼吸器内科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
林栄一 岡本菜摘 奥野雄大 渡邊勇夫 月野光博	胸壁浸潤を伴う肺癌の術後に肺塞栓を 発症した一例	第61回日本肺癌学会 学術集会	岡山シティミュージ アム	2020. 11. 12
林栄一 岡本菜摘 奥野雄大 渡邊勇夫 月野光博	被膜外への浸潤がなく増大した巨大胸腺 腫の一例	第61回日本肺癌学会 学術集会	岡山シティミュージ アム	2020. 11. 12

診療科名：呼吸器外科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
林栄一 岡本菜摘 奥野雄大 渡邊勇夫 月野光博	右B1の分岐異常を合併し長期間フォロー アップされたGG0を呈する肺癌の一例	第43回日本呼吸器 内視鏡学会学術集会	旭川市民文化会館	2020. 6. 26 ～27
林栄一	Limited Resection for Primary Lung Cancer in Patients over 75 Years of Age in Our Department	第73回日本胸部外科 学会定期学術集会	名古屋国際会議場	2020. 10. 29 ～11. 1
林栄一 岡本菜摘 奥野雄大 渡邊勇夫 月野光博	被膜外への浸潤がなく増大した巨大胸腺 腫一例	第61回日本肺癌学会 学術集会	岡山コンベンション センター、 ホテルグランヴィア 岡山	2020. 11. 12 ～14
林栄一 岡本菜摘 奥野雄大 渡邊勇夫 月野光博	胸壁浸潤を伴う肺癌の術後に肺塞栓を 発症した一例	第61回日本肺癌学会 学術集会	岡山コンベンション センター、 ホテルグランヴィア 岡山	2020. 11. 12 ～14

診療科名：消化器外科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
○龍見謙太郎 井上英信 崎久保守人 安田誠一 川部篤	腸重積により肛門外脱出をきたしたS状結腸脂肪腫の1例	第117回滋賀県外科医会	Web開催	2020. 10. 10

診療科名：整形外科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
光石直史	小児Phalangeal Neck Fractureに対するIntrafocal Pining の経験	第134回中部日本整形外科災害外科学会	紙面発表による開催	2020. 4. 10 ～11
光石直史	小児脛骨粗面剥離骨折の3例	第134回中部日本整形外科災害外科学会	紙面発表による開催	2020. 4. 10 ～11
○角田恒 堀裕彦 光石直史 西村康平 小川貴大 澤田修太郎 秋山治彦	当院におけるTKA患者・術前因子についての検討	第107回岐阜県整形外科学術集会	岐阜	2021. 1月

診療科名：泌尿器科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
出口真央 佐野太一 城文泰 長谷行洋	膀胱カルチノイドの1例	第37回滋賀泌尿器科集談会	ホテルボストン プラザ草津	2020. 10. 31

診療科名：脳神経外科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
千原英夫	AtlasとTacticsの特性を活かした通好みのStent-Assisted Coil Embolization	INAC Fine Seminar on	online	2020. 12. 11
千原英夫	distal migrationしたコイルをStent retrieverで回収 ～ ” i ” をとりもどせ!! ～	INAC Fine Seminar on the Web	online	2021. 3. 12

診療科名：皮膚科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
古田未征 加太美保	当科におけるアトピー性皮膚炎患者に対するデュピルマブの使用経験	第464回京滋地方会	滋賀医科大学	2020. 10. 3

診療科名：診療局(研修医)

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
TAKUYA INOUE	Rupture of Tuberculous Thoracic and Abdominal Aortic Aneurysm after Intravesical Instillations of BCG Therapy ※英語での発表	第84回日本循環器学会学術集会	Web を用いた オンライン学術集会	2020. 7. 27 ～2020. 8. 2 ※On Demandのため特定の発表日はない

診療科名：臨床検査科

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
田邊正喜	多発性骨髄腫の検査	第21回日本検査血液学会学術集会	Web開催	2020. 7. 11
伊藤恵利香	ホルター心電図検査において心停止に至るまでの経時的変化を捉えられた1例	第43回滋賀県医学検査学会開催	Web開催	2021. 3. 14

診療科名：薬剤部

発表者名	演題	学会名	会場	発表年月
横幕香織 中村真樹 米谷領太 茂籠茂彦 近藤博紀 大野勝則	対人業務の割合向上を目指した薬剤部 対物業務システム化の効果	第30回日本医療薬学会年会	Web開催	2020. 10. 24 ～11. 1
中村真樹 横幕香織 茂籠茂彦 近藤博紀 大野勝則 横幕香織	医療情報技師薬剤師による医療情報 システム研修を受けた内容と成果	第30回日本医療薬学会年会	Web開催	2020. 10. 24 ～11. 1

4. 講演

診療科名：消化器内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
來住優輝	消化器疾患の症状と診断	第4回湖東うつ病研究会	ホテルサンルート彦根	2020. 12. 3
森田幸弘	Helicobacter pylori除菌と除菌後胃がんの特徴	湖北・湖東消化器疾患セミナー	オンライン講演会 ZOOM接続	2020. 12. 17
糸井啓之	治療に難渋しているステロイド依存性潰瘍性大腸炎について	東近江・彦根IBDカンファレンス	オンライン	2021. 3. 4

診療科名：腫瘍内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
竹治智	保険薬局の薬剤師さんに期待すること	湖東医療圏がん薬物療法病薬連携セミナー	くすのきセンター	2020. 7. 30
竹治智	消化器がん薬物療法に関する最近の話題	第225回彦根消化器談話会	くすのきセンター	2020. 9. 8

診療科名：糖尿病・代謝内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
黒江彰	最近の糖尿病治療に関する話題から～心腎保護を検討した治療戦略～	彦根医師会学術講演会	くすのきセンター	2020. 7. 18
黒江彰	糖尿病診療における今後の展望	滋賀県糖尿病WEB講演会	彦根キャッスルリゾート&スパで収録	2020. 7. 29
黒江彰	新規注射剤の使用経験	SOLQUA National Pioneer Concert	クサツエストピアホテル	2020. 9. 12
黒江彰	メトホルミンのベストパートナーは何か	大津市医師会サタディセミナーパート1	琵琶湖ホテル	2020. 9. 19
黒江彰	COVID-19と糖尿病治療について	糖尿病・内分泌疾患リモートセミナーin 滋賀	ネット	2020. 10. 1
黒江彰	高尿酸血症の病態と治療	彦根薬剤師会研修会	くすのきセンター	2020. 10. 15
黒江彰	2型糖尿病におけるGLP-1受容体作動薬の意義	GLP-1 RA Online Seminar	くすのきセンターで収録	2020. 11. 26
黒江彰	GLP-1受容体作動薬の今、そして未来を考える	Incretin Online Seminar in Shiga	彦根キャッスルリゾート&スパ	2020. 12. 10
黒江彰	当院における新規糖尿病注射薬の症例	Diabetes Expert Seminar	TKPガーデンシティ京都	2020. 12. 18
黒江彰	当院における新規糖尿病注射薬の症例	Diabetes Expert Seminar	ホテルニューオウミ	2021. 2. 17
黒江彰	腎性貧血治療における新たな展開	医療連携を考える会 in 彦根	北ビワコホテルグライツィエ	2021. 3. 20

診療科名：循環器内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
中野顯	ガイドラインに基づいた心不全診療のポイント	福井県内科医会学術講演会	福井市	2020. 7. 4
中野顯	虚血性心疾患 Up to date	第205回滋賀県病院薬剤師会研修会	彦根市	2020. 8. 27
中野顯	PCI関連の出血合併症をいかに減らすか	Cabpirin web seminar 2020	Web参加	2020. 9. 9
中野顯	PCI関連の出血合併症をいかに減らすか	湖北湖東Cabpirin web seminar 2020	Web参加	2020. 10. 22
中野顯	SHIFT試験結果を実臨床でどう活かすか	明日から活かせる糖尿病治療セミナー	Web参加	2020. 10. 23
中野顯	心血管イベント抑制を目指した生活習慣病の複合的管理	第239回彦根循環器談話会	彦根市	2020. 11. 4
中野顯	循環器領域における糖尿病治療の新しいアプローチ	明日から活かせる糖尿病治療セミナー	Web参加	2020. 11. 19
中野顯	うまくいかなかった高度石灰化LMT症例	第31回SCIC	大津市	2020. 12. 5
中野顯	心不全治療に対する新たなアプローチ	Cabpirin 発売記念講演会	大津市	2020. 12. 16
中野顯	心不全治療の新たな治療戦略 SGLT2阻害薬への期待	Forxiga Online symposium 2021	Web参加	2021. 1. 18
下司徹	SGLT2阻害薬による新たな心不全治療	彦根医師会学術講演会	くすのきセンター	2021. 1. 30
中野顯	PCIにおける出血性合併症対策	循環器疾患フォーラム	Web参加	2021. 2. 15
下司徹	心房細動における血圧管理の重要性	彦根薬剤師会研修会	くすのきセンター	2021. 2. 18
中野顯	冠動脈インターベンション関連の出血性合併症をいかに減らすか	循環器Web seminar 2021	Web参加	2021. 3. 8

診療科名：呼吸器内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
月野光博	COVID-19について	滋賀県国民健康保険診療報酬審査委員会学術講演会	滋賀県国保会館	2020. 8. 25
月野光博	COVID-19について	彦根医師会学術講演会	くすのきセンター	2020. 11. 14
月野光博	COVID-19について	近江八幡市蒲生郡医師会臨時勉強会	近江八幡地域医療支援センター 会議室	2020. 11. 21

診療科名：緩和ケア内科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
黒丸尊治	アロマセラピストに必要なホリスティックコミュニケーション	ホリスティックケアプロフェッショナルスクール	ホリスティックケアプロフェッショナルスクール神戸本校(兵庫)	2020. 6. 13
黒丸尊治	アロマセラピストに必要なホリスティックコミュニケーション	ホリスティックケアプロフェッショナルスクール	NBNビル(名古屋)	2020. 10. 17
黒丸尊治	コミュニケーション医学の挑戦	NPO法人日本ホリスティック医学協会	築地スタジオ(オンライン)	2020. 11. 15
黒丸尊治	コミュニケーション医学の実際の可能性	コミュニケーション医学研究会	アスニー山科(京都)	2020. 12. 20

診療科名：小児科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
石上毅	保育現場における食物アレルギー	甲良町アレルギー研修会	甲良東保育センター	2020. 8. 25

診療科名：脳神経外科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
千原英夫	EPICテクニックを駆使した臨床経験	AIS Meet The Expert	online	2020.12. 9

診療科名：放射線科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
上村三四郎	放射線治療部門対象教育訓練	放射線治療勉強会	放射線治療室	2021. 3. 22
上村三四郎	放射線治療部門対象教育訓練 DVD作成	放射線治療勉強会		2021. 3. 31

診療科名：リハビリテーション科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
西澤一馬	急性期脳卒中理学療法のおすすめ	第2回滋賀県神経理学療法研究会	彦根市立病院	2021. 1. 24
西澤一馬	脳卒中における在宅復帰に向けた リハビリテーション	令和2年度湖東地域脳卒中多職種 学習会	くすのきセンター	2021. 3. 22

診療科名：在宅診療科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
山口智博	橋本進一 『明日から使える老年医療』	令和2年度在宅医療セミナー	彦根市立病院講堂	2020. 10. 8

診療科名：臨床検査科

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
豊川純史	当院における術中迅速組織標本作製	滋賀県臨床検査技師会 第4回病理部門研修会	草津市立まちづくりセンター	2020. 12. 5
福田峻	令和2年度精度管理微生物部会結果報告	令和2年度滋賀県精度管理事業 微生物部会報告会	草津市立まちづくりセンター	2020. 12. 5
黒川陽子	令和2年度精度管理生理部会報告	令和2年度滋賀県精度管理事業生理 部会報告会	Web開催	2020. 12. 11～ 12. 25
山田真以	令和2年度精度管理一般部会結果報告	令和2年度滋賀県精度管理事業一般 部会報告会	Web開催	2020. 12. 23～ 2021. 1. 6
山田真以	基礎から始めよう！円柱類	滋賀県臨床検査技師会 第4回臨床一般部門研修会	Web開催	2021. 1. 24
田邊正喜	造血器腫瘍における最新の分子標的治療 「多発性骨髄腫の治療」	滋賀県臨床血液部門・遺伝子染色 体検査部門合同研修会	Web開催	2021. 2. 13
山田真以	令和2年度精度管理一般部会結果報告	令和2年度滋賀県精度管理事業 全体報告会	Web開催	2021. 2. 27～ 3. 15
西村好博	令和2年度精度管理輸血部会報告会	令和2年度滋賀県精度管理事業 全体報告会	Web開催	2021. 2. 27～ 3. 15
黒川陽子	令和2年度精度管理生理部会報告	令和2年度滋賀県精度管理事業 全体報告会	Web開催	2021. 2. 27～ 3. 15

診療科名：栄養科・栄養治療室

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
大橋佐智子	がん薬物療法患者への栄養サポート	湖東医療圏 がん薬物療法 病薬連携セミナー	くすのきセンター	2020. 7. 30
大橋佐智子	地産地消の効用と可能性	丹後食育フォーラム	野田川わーくぱる (京都府与謝郡)	2020. 10. 23
小野由美 黒江彰	食事療法の実践と課題	糖尿病学の進歩 シンポジウム3 ガイドラインによる糖尿病食事療 法、運動療法の実際	院内からリモート にて講演	2021. 3. 5

診療科名：薬剤部

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
近藤博紀	令和2年度 がん薬物療法 病薬連携 セミナー	令和2年度薬薬連携研修会	くすのきセンター	2020. 7. 30

診療科名：感染対策室

講演者名	演題	講演会名	会場	講演年月
谷久弥	新型コロナウイルス感染症との向き合 い方 第2波到来に備え訪問看護の現 場でできること！	訪問看護の現場における感染症 対策の研修会	くすのきセンター	2020. 8. 20
谷久弥	新型コロナウイルス感染予防策につ いて	新型コロナウイルス感染症対策 研修会	くすのきセンター	2020. 8. 21
谷久弥	感染管理	2020年度リスタートナース サポート研修会	くすのきセンター	2020. 9. 1
谷久弥	①新型コロナウイルスの感染対策 ②正しい个人防护具の着脱実技 ③ ゾーニングとは ④ 実際の施設を使つてのゾーニング指導	令和2年度高齢者介護施設における ゾーニング指導研修会	介護老人保健施設 アロフェンテ彦根	2020. 10. 6
谷久弥	感染管理（手洗い、PPE、消毒）	彦根市立病院リスタートナース サポート研修	本院3-2会議室	2020. 10. 12
谷久弥	新型コロナウイルス感染症の 基礎知識と対策（防護具の着脱）	新型コロナウイルス感染症に かかる在宅生活困難障害者等支援 事業対応スタッフのための感染 対策研修会	彦根市障害者福祉 センター	2020. 12. 10

5. 院内研究発表

診療科名：糖尿病・代謝内科

発表者名	発表内容	発表場所	発表年月
矢野秀樹	定年記念講演会	彦根市立病院講堂	2021. 3. 25

診療科名：循環器内科

発表者名	発表内容	発表場所	発表年月
下司徹	心臓カテーテル検査の基礎知識と看護のポイント	6階カンファレンスルーム	2020. 7. 29

診療科名：皮膚科

発表者名	発表内容	発表場所	発表年月
力武里奈	水疱性類天疱瘡の一例	研修医症例発表会	2021. 3. 4

診療科名：診療局(研修医)

発表者名	発表内容	発表場所	発表年月
吉田翔希子	心室細動で死亡した一剖検例	彦根市立病院講堂	2020. 12. 17
内山和之	突然死した心アミロイドーシスの一剖検症例	彦根市立病院講堂	2021. 1. 21
吉田翔希子	重症化した消化管アミロイドーシス（AA型）の一例	彦根市立病院講堂	2021. 3. 4
内山和之	小児の多発性関節炎	彦根市立病院講堂	2021. 3. 4

診療科名：栄養科・栄養治療室

発表者名	発表内容	発表場所	発表年月
小野由美	血液浄化センター勉強会 透析患者の食事療法	血液浄化センター	2021. 2. 25

6. 投 稿

診療科名：小児科

投稿者名	投稿内容	掲載場所	掲載年月日
西島節子	子どもと新型コロナウイルス感染症	滋賀県医師会報	2020. 9. 20
西島節子	令和元年度 小児救急医療地域医師研修会 「インフルエンザ～小児におけるけいれんな どの関連疾患～」	滋賀県医師会報	2020. 12. 20

診療科名：緩和ケア内科

投稿者名	投稿内容	掲載場所	掲載年月日
黒丸尊治	コミュニケーション医学の挑戦	ホリスティックニューズレター P10-P11	2020. 10. 23
黒丸尊治	悩みが解決するとき～何が人を癒すのか～	ホリスティックニューズレター マガジン2021 P22-P23	2021. 2. 25

診療科名：栄養科・栄養治療室

投稿者名	投稿内容	掲載場所	掲載年月日
小野由美	日本全国の散歩道 滋賀県の天下の名城 彦根城天守をめざす	月刊 糖尿病ライフ さかえ 第61巻 第3号	

診療科名：感染対策室

投稿者名	投稿内容	掲載場所	掲載年月日
谷久弥	一番星見つけた！ 第5地区支部の地域での 新型コロナウイルス感染症への取り組み	広報誌「ナースレーク149号」	2021. 1. 12

7. その他学術活動

診療科名：消化器内科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
來住優輝	座長 第6回滋賀消化器疾患シンポジウム	オンライン	2020. 9. 10
來住優輝	座長 湖北・湖東キャブピリン発売記念WEB講演会	彦根キャッスルリゾート	2020. 10. 22
來住優輝	座長 湖北・湖東消化器疾患セミナー	ホテルサンルート彦根	2020. 12. 17
來住優輝	座長 東近江・彦根IBDカンファレンス	オンライン	2021. 3. 4
來住優輝	座長 湖東・湖北エリアエンタビオフォーラム	彦根キャッスルリゾート	2021. 3. 11

診療科名：腫瘍内科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
竹治智	Pancreatic Cancer Seminar in SHIGA	ホテルボストンプラザ 草津（Web配信）	2021. 3. 18

診療科名：糖尿病・代謝内科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
矢野秀樹	新臨床研修医勉強会、抄読会	彦根市立病院図書室	2020. 4. 23、 5. 28、6. 25、 7. 23、8. 28、 9. 26、10. 29、 11. 26、12. 24、 2021. 1. 28、 2. 25
黒江彰	座長、評議員など 日本糖尿病学会学術集会	ネット	2020. 10. 5～16
黒江彰	座長 日本糖尿病学会近畿地方会	ネット	2020. 10. 17～ 31
矢野秀樹	座長 新臨床研修医 発表会	彦根市立病院講堂	2021. 3. 4
黒江彰	座長 高齢者トータルケアセミナー ～神経障害性疼痛を考える～ 表題：神経障害性疼痛に対するアプローチ	北ビワコホテル グラツィエ	2021. 3. 18

診療科名：循環器内科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
天谷直貴	第84回日本循環器学会学術集会 一般演題口述（日本語） AF Ablation Method/Postoperative AT	Web開催	2020. 7. 27～ 8. 2
天谷直貴	座長 第84回日本循環器学会学術集会 ポスターセッション（英語） Venous Thromboembolism	Web開催	2020. 7. 27～ 8. 2
中野顯	座長 不整脈治療フォーラム	彦根市	2020. 9. 5
下司徹	日本新薬社内勉強会（症例報告）	Web講演	2020. 9. 28
中野顯	座長 第35回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	Web参加	2020. 10. 10
中野顯	カテーテル治療	福井大学医学部附属病院	2020. 10. 16
中野顯	学生講義	滋賀県立大学看護学科	2020. 11. 12
中野顯	学生講義	滋賀県立大学看護学科	2020. 11. 19
中野顯	コメンテーター OmniWire座談会	Web参加	2020. 12. 2
中野顯	座長 草津ハートカンファレンス	草津市	2020. 12. 3
中野顯	コメンテーター 慢性心不全の新たな治療戦略を企てる	草津市	2020. 12. 4
下司徹	コメンテーター 近畿心血管ジョイントライブ (KCJL 2020)	Web参加	2020. 12. 19
中野顯	座長 循環器フォーラム	彦根市	2021. 1. 23
中野顯	座長 抗血栓シンポジウム	Web参加	2021. 2. 25
中野顯	座長 第36回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	Web参加	2021. 2. 27
下司徹	コメンテーター 第36回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	Web参加	2021. 2. 27
天谷直貴	次世代循環器内科の集い Discussant 京都大学大学院医学研究科 循環器内科学 助教 中川 靖章 先生 「慢性心不全治療の新たな幕開け」	Web開催	2021. 3. 5
中野顯	座長 第85回日本循環器学会学術集会	横浜市	2021. 3. 27

診療科名：呼吸器内科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
岡本菜摘	倫理委員会への研究申請 彦研倫 2020-02		2020. 11月～ 2021. 3月

診療科名：小児科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
石上毅	講義 疾病・障害論 I（小児科学）	聖泉大学看護学部 (遠隔)	2021. 6. 30、 7. 7、7. 14
西島節子	令和2年度小児救急地域医師研修会 「子どもの脱水の評価と対応」	DVD・資料配布	2020. 11月～ 2021. 3月

診療科名：呼吸器外科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
林栄一	術後管理について	6 B	2020. 7. 10
林栄一	術後管理について	4 B	2020. 7. 17

診療科名：整形外科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
光石直史	令和2年度 岐阜大学 医学部 運動器コース 下肢外傷 1. 2	オンラインにて	2020. 6月

診療科名：皮膚科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
古田未征	座長 第464回京滋地方会	滋賀医科大学	2020. 10. 3

診療科名：病理診断科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
太田諒	講義 病態発生学I 「消化管」頭頸部：口腔、唾液腺、咽頭、喉頭、甲状腺	滋賀医科大学 (COVID-19のため講義資料のみ提供, 2時限分)	2020. 5月
新宅雅幸	講義 病態発生学I 脳腫瘍の病理	滋賀医科大学 (COVID-19のため講義資料のみ提供, 2時限分)	2020. 5月
太田諒	講義 病態論 I (総論)	公立若狭高等看護学院	2020. 10. 7 2020. 10. 14 2020. 10. 21 2020. 10. 28 2020. 11. 11 2020. 11. 25 2020. 12. 2

診療科名：栄養科・栄養治療室

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
小野由美 大橋佐智子	滋賀県糖尿協会 事務局	彦根市立病院 栄養治療室	2016. 2月～
大橋佐智子	都市農山漁村交流活性化機構 コーディネーター育成・派遣事業 企画委員会	一般財団法人 都市農山漁村交流活性化 機構 (東京・神田)	2016. 6月～
大橋佐智子	都市農山漁村交流活性化機構 コーディネーター育成・派遣事業 企画委員会	オンライン会議	2020. 7. 17
小野由美 大橋佐智子 木村章子	CDE滋賀認定委員会 理事・役員		
振角英子	糖尿病患者会 彦根みずうみの会 事務局	彦根市立病院 栄養治療室	
	地産地消「農家の声聞き病院食に磨き」	日本農業新聞 掲載	2020. 12. 5

診療科名：臨床工学科

活動者名	活動内容	活動場所	活動年月日
青野多聞	第30回日本臨床工学会 パネルディスカッション4 「臨床工学技士の時間外業務体制を再考する」 ～集え！悩める所属長、出でよ！現場の戦士たち～ 即時対応の迫られる緊急業務と機器の後方支援の両立を目指して ～夜間休日に臨床工学技士が欠かせない理由～	名古屋国際会議場 (Web参加)	2020. 9. 29

8. 研究倫理委員会 審議案件

受付 No.	案件名	申請者
彦研倫 2020-01	生活習慣病を伴う複数疾患を有する高齢者に対する栄養療法支援アプリ作成に関する研究	黒江 彰
彦研倫 2020-02	レジオネラ肺炎診断におけるリボテスト®レジオネラとイムノキャッチ®ーレジオネラの有用性の比較検討 多施設共同前向き観察研究－	岡本 菜摘
彦研倫 2020-03	血栓吸引カテーテルを用いた機械的血栓回収療法の効果と安全性に関する多施設共同登録研究	千原 英夫
彦研倫 2020-04	重症下肢虚血における血管内治療による血行再建術と高気圧酸素療法の併用効果の検討を目的とした多施設非盲検的ランダム化比較試験	宮澤 豪
彦研倫 2020-05	内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）後出血のリスク因子に関する後方視的研究	森田 幸弘
彦研倫 2020-06	京都大学および関連施設における膠芽腫症例に関する後方視的解析	千原 英夫

9. 治験実施報告

令和2年度

製造販売後調査（市販後調査）

内科	0 件
消化器内科	0 件
腫瘍内科	2 件
血液内科	2 件
循環器内科	1 件
呼吸器内科	0 件
呼吸器外科	0 件
脳神経外科	0 件
小児科	0 件
消化器外科	0 件
整形外科	0 件
産婦人科	0 件
泌尿器科	1 件
皮膚科	0 件
麻酔科	0 件
歯科口腔外科	0 件

COVID-19に関するレジストリ研究 1件

10. 臨床病理検討会

彦根市立病院 第46回CPC

日付：2020年12月17日（木）18時00分～18時30分

場所：彦根市立病院 3F 講堂

症例：「心室細動で死亡した一剖検例」

臨床：吉田翔希子、野村量平

病理：谷村雄太、太田諒

彦根市立病院 第47回CPC

日付：2021年1月21日（木）18時00分～18時30分

場所：彦根市立病院 3F 講堂

症例：「突然死した心アミロイドーシスの一剖検例」

臨床：内山和之、寺本由加子

病理：太田諒

11. 糖尿病教室

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年度は中止いたしました。

12. 緩和ケア病棟活動

ボランティア活動

内 容	活 動 日	人 数	回 数	使用者数
マッサージ	毎週1回	1	2	11
アロマセラピー①	毎月2回	1	2	11
アロマセラピー②	毎月1回	2	0	0
アロマセラピー③	毎月1回	1	0	0
アロマセラピー④	不定期	3	0	0
リフレクソロジー	毎月2回	1	1	5
アートセラピー	毎月1回	1	1	1
音楽療法	毎月1回	2	0	0
ハーモニカ アニマルセラピー	毎月1回	4	0	0
傾聴	毎月1回	1	0	0
ティーサービス①	不定期	2	0	0
ティーサービス②	不定期	1	0	0
県大未来看護塾 (ティーサービス)	不定期	2	0	0
計		22	6	28
月平均			0.46	2.15

レクリエーション活動

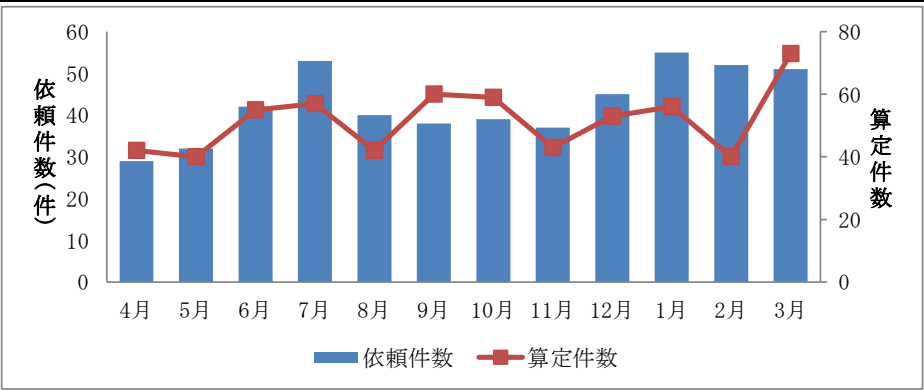
月	行 事	内 容	参加人数
4月	お花見	病院敷地内でお花見 栄養科による桜ムース	16名
8月	夏祭り	はっぴに江州音頭で屋台を引き各部屋訪問 ゼリーすくい 栄養科によるたこ焼き、スムージー、シャーベット	8名
10月	お茶会	各部屋訪問し秋の歌のコーラス お抹茶を提供 栄養科による芋ようかん、さつまいもプリン	13名
12月	クリスマス会	各部屋訪問しハンドベル演奏 サンタからクリスマスカードの配布 栄養科によるクリスマスツリーケーキ	9名

13.NST（栄養サポートチーム）実績表

NSTカンファレンス実施回数 46回

NST依頼・算定件数

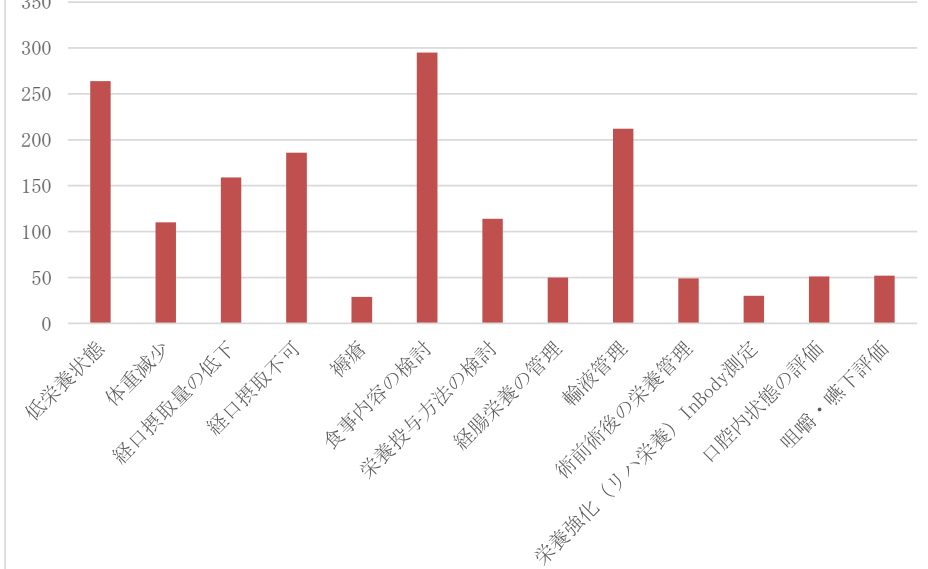
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼件数	29	32	42	53	40	38	39	37	45	55	52	51	513
算定件数	42	40	55	57	42	60	59	43	53	56	40	73	620



●介入依頼理由

低栄養状態	264
体重減少	110
経口摂取量の低下	159
経口摂取不可	186
褥瘡	29
食事内容の検討	295
栄養投与方法の検討	114
経腸栄養の管理	50
輸液管理	212
術前術後の栄養管理	49
栄養強化（リハ栄養）	30
InBody測定	51
口腔内状態の評価	52
咀嚼・嚥下評価	52
合計	1,601

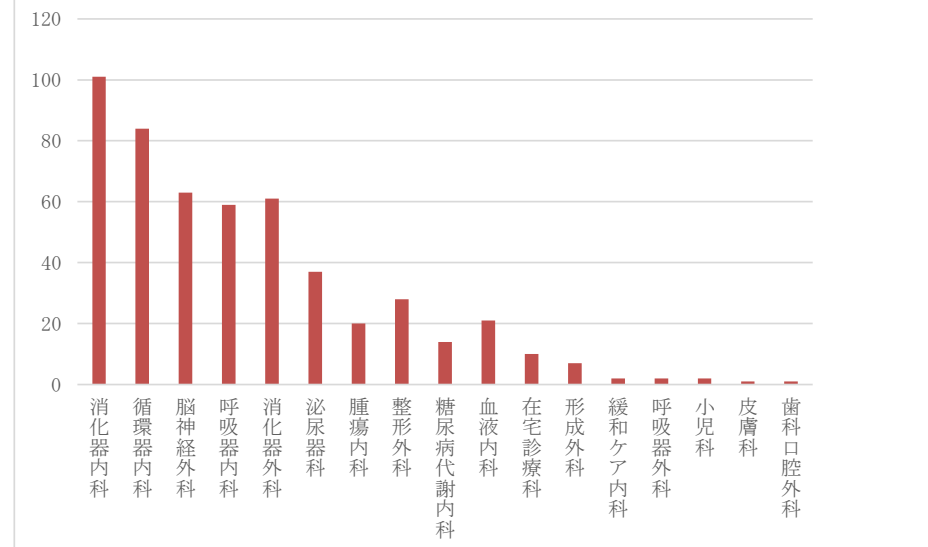
介入依頼理由（複数選択あり）



●診療科別依頼件数

消化器内科	101
循環器内科	84
脳神経外科	63
呼吸器内科	59
消化器外科	61
泌尿器科	37
腫瘍内科	20
整形外科	28
糖尿病代謝内科	14
血液内科	21
在宅診療科	10
形成外科	7
緩和ケア内科	2
呼吸器外科	2
小児科	2
皮膚科	1
歯科口腔外科	1
合計	513

診療科別依頼件数



14. 人権研修実績

研 修 名	実 施 日
推進委員会研修	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
職員集合研修1	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
職員集合研修2	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
新規採用職員採用前研修	令和3年3月15日
人権を考える日研修	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
人権のまちづくり懇談会	各町毎の設定日時

15-1. DMAT 隊員情報（令和 2 年度）

	氏名	職種	所属
1	福田 成代	看護師	5B 病棟
2	岡田 恵理	看護師	救急センター
3	安田 誠一	医師	消化器外科
4	伊藤 文人	医師	形成外科
5	飛田 貴史	看護師	7A 病棟
6	佐伯 公亮	看護師	医療安全推進室
7	田邊 正喜	業務調整員	臨床検査科
8	馬場 敏行	業務調整員	臨床工学科
9	杉本 保之	医師	麻酔科
10	吉川 浩平	医師	救急センター
11	北野 貴司	看護師	救急センター
12	秋宗 美紀	看護師	8B 病棟
13	北川 岳史	業務調整員	リハビリテーション科
14	神田 健志	医師	小児科
15	奥野 雄大	医師	呼吸器内科
16	柴崎 志保	看護師	6A 病棟
17	豊田 円香	看護師	ICU
18	二階堂 邦夫	業務調整員	5A 病棟
19	窪田 智子	業務調整員	放射線科

15-2. DMAT 活動

	日付	内容	場所	出席者
1	9. 10(木)	第 2 回滋賀県 DMAT 部会企画 PT 会議	滋賀県危機管理 センター	佐伯
2	9. 20(日)	滋賀県総合防災訓練	東近江市総合運動 公園布引体育館	佐伯
3	10. 25(日)	滋賀県災害医療 コーディネーター研修	滋賀県危機管理 センター	北野、窪田
4	12. 3 (木)	第 3 回滋賀県 DMAT 部会企画 PT 会議	滋賀県危機管理 センター	佐伯
5	3. 9 (火)	滋賀県災害医療体制連絡 協議会・DMAT 部会	滋賀県危機管理 センター(ZOOM 参加)	佐伯、窪田、 粕渕
6	3. 22 (月)	都道府県災害医療コ―ディ ネーター研修	オンデマンド配信	安田
7	3. 26 (金)	滋賀県原子力災害医療体制 検討委員会	滋賀県危機管理 センター(ZOOM 参加)	吉川

令和 2 年度 彦根市立病院大規模災害訓練について

彦根市立病院 DMAT 安田誠一

令和 2 年度の院内大規模災害訓練は 11 月 14 日に行われました。例年は多数傷病者の搬入搬出訓練を行っていましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響でボランティアの方に手伝っていただくことはできず、できるだけ人数を制限し規模を縮小する方向で検討しておりました。今までの訓練は本部を中心とした指揮命令系統の確立をはじめとした災害医療における CSCA に重点をおいたものでしたが、今回は実際に行う医療活動（TTT）に重点をおいた訓練とすることとし、いくつかのシナリオを設定したメディカルラリー形式で、少し遊びの要素も入れたものとなりました。

今回、災害医療にも関連して、①黄色エリアでの本部との情報共有を含めた医療活動 ②多数傷病者のトリアージ ③小児外傷患者への対応 ④心肺停止患者への初期対応 ⑤トランシーバーの使い方 といった 5 つのシナリオを設定しました。プレーヤーは、実際に最前線で活動するであろう若手を中心とした医師 1 名とナース 3 名のチーム、計 5 チームで点数を競っていただくことになりました。われわれの基本姿勢としては、参加していただける方が少しでも訓練に参加してよかったと感じてもらえるようなものにしたいという思いがあり、各シナリオの要点をあらかじめ各チームのメンバーに周知して訓練までに予習をしていただくことにしました。

そのおかげもあり、各チームとも予想以上の高得点で、役割分担も含めてチームワークを発揮できたように思えます。訓練後の振り返りでも、はじめはかなり緊張もあったようですが、楽しかった、勉強になったという声も聞かれ、例年とは違う形になりましたがコロナ禍においてもとにかく訓練を継続する意義はあったものと考えています。

しかし、やはり TTT については今までなかなか訓練に取り入れることができておらず、特にトリアージの習得度に参加者の間でかなりばらつきがあったことも事実であり、今後 CSCA の訓練とどのように両立させるか問題点も出てきたように思います。BCP の検証や保健所、他病院との連携、放射線災害対応などさまざまな課題がある中、今後もすべきことを少しずつ進めていきたいと考えています。

16. 彦根市立病院健康講座

令和2年度実施なし

17-1. 看護部の活動

院外研修

No.	日 付	所 属	氏 名	出 張 先	セ ミ ナ ー 名	主 催 名
1	6. 20	看護部	坂東 恵美子	滋賀県看護協会	令和2年度滋賀県看護協会 通常総会	滋賀県看護協会
2	6. 20～21	地域連携	小川 多恵子	早稲田キャンパス19号館	医療メディエーター養成講座	
3	7. 21	地域連携	小川 多恵子	草津市立まちづくり センター309号室	アディクション関連セミナーに 関する講義	
4	8. 1	6B	堤 周作	オンラインセミナー	「重症度、医療、看護必要度」 評価者及び院内指導者研修	日本臨床看護マネジ メント学会 ヴェクソンインター ナショナル（株）
		7A	飛田 貴史			
		8A	重松 佐知子			
		救急	菱田 継子			
		手術センター	二階堂 邦夫			
5	8. 1	患者家族支援	中居 由美子	滋賀県看護研修センター	看護基礎教育および在宅看護教育を 考える 教育・臨地合同研修会	滋賀県看護協会
		患者家族支援	古川 沙織			
6	8. 4～5	8A	岡田 美穂	滋賀県看護協会	【災害支援ナース育成研修 （基礎編）】 JNA収録DVD研修 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～	滋賀県看護協会
7	8. 10	2A	山崎 多恵	滋賀医科大学付属病院	厚生労働省ECMOチーム等養成研修 事業（人工呼吸・ECMO講習会）	厚生労働省
		2A	宮氏 美佳			
8	8. 18	7A	冷牟田 千花	滋賀県看護研修センター	実習指導のいろは ～学生と共に成長し、やりがいを 感じられる実習指導～	滋賀県看護協会
		8B	西村 真美			
		5B	高木 亜美			
		6B	松村 佳奈			
		6B	鳴海 綾乃			
		2A	上大迫 明子			
9	8. 21	7A	西村 まゆみ	滋賀県看護協会	看護倫理 ～意思決定支援における倫理的問題 を解決するために～	滋賀県看護協会
10	8. 28～29	看護部	上村 千馨子	Web参加	第24回日本看護管理学会学術集会	日本看護管理学会
		訪問看護	西村 紀子			
11	9. 8	外来	清水 寿佳	滋賀県看護研修センター	ファシリテーションスキルを学ぼう ～学び合い育ち合う場の作り方～	滋賀県看護協会
12	9. 11～12	訪問看護	西村 紀子	Web参加	第22回日本褥瘡学会学術集会	日本褥瘡学会
13	9. 11～12	地域連携	北川 智美	神戸コンベンションセンター	第22回日本褥瘡学会学術集会 （発表）	日本褥瘡学会
14	9. 12	外来	藤田 晶子	滋賀県看護協会	マネジメントラダーに基づく研修 みんなで考えよう災害 その時、あなたは指揮できますか	滋賀県看護協会
		外来	深尾 直子			
15	9. 15～16	7B	上野 弘喜	滋賀県看護研修センター	令和2年度入退院支援看護師養成 研修会	滋賀県看護協会
16	9. 16	7A	福山 愛華	滋賀県看護研修センター	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会
		4B	今宿 七海			
		5A	吉田 春菜			
		5B	加藤 朱莉			
		6A	高山 憂亮			
17	9. 17～19	7B	早崎 有紀	滋賀県看護研修センター	滋賀県看護職員 認知症対応力向上研修	滋賀県看護協会
18	9. 29	5A	木田 彩乃	滋賀県看護研修センター	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会
		4B	三谷 萌			
		6B	平塚 瑠奈			
		7A	大橋 巧登			
		5B	田中 綺乃			
		6A	坂本 なぎさ			
19	10. 1～19	6B	田中 淳子	滋賀県看護研修センター	新人看護職員研修	滋賀県看護協会
20	10. 2	8A	疋田 栞	滋賀県看護協会	看護倫理 ～日々の看護場面における倫理的 ジレンマについて考えてみよう～	滋賀県看護協会

No.	日 付	所 属	氏 名	出 張 先	セ ミ ナ ー 名	主 催 名
21	10. 3	6B	西村 和代	滋賀県看護研修センター	看護実践がみえる看護記録	滋賀県看護協会
		5A	磯崎 蘭子			
		7A	村田 志保			
		外来	森 亜希子			
		2A	林 杏奈			
		2A	大山 浩子			
22	10. 6	7A	近藤 ななみ	滋賀県看護研修センター	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会
		5B	高橋 穂乃香			
		6A	三井 遥香			
23	10. 8	手術センター	古川 麻起子	滋賀県看護研修センター	中心的立場で活躍するためのリーダーシップ	滋賀県看護協会
24	10. 14～27	感染対策	谷 久弥	Web参加	特別教育セミナー	
25	10. 14～15	外来	坂口 由美子	滋賀県看護協会	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	滋賀県看護協会
26	10. 21	外来	山路 久美子	滋賀県看護研修センター	地域包括ケア時代の継続看護Ⅰ～在宅療養を見据えた退院支援～	滋賀県看護協会
27	10. 23	看護部	坂東 恵美子	滋賀県看護協会	「マネジメントラダーに基づく研修」 看護サービスの質保証 ～クオリティマネジメント～	滋賀県看護協会
28	10. 22～24	外来	木下 千恵美	国立京都国際会館 グランドプリンスホテル京都	第58回日本癌治療学会学術集会	日本癌治療学会
		外来	梶田 恵子			
29	10. 25	救急センター	北野 貴司	滋賀県危機管理センター 2F災害対策室5-7	令和2年度滋賀県災害医療 コーディネーター研修	滋賀県
30	10. 26～ 11. 16	看護部	田中 里美	滋賀県看護研修センター	令和2年度新人看護職員研修責任者 研修	滋賀県看護協会
31	11. 4	看護部	上村 千馨子	滋賀県看護研修センター	第24回認定看護管理者（CAN） 認定審査	滋賀県看護協会
32	11. 5	6B	西村 和代	滋賀県看護協会	令和元年度 認定看護管理者教育 課程セカンドレベル 看護管理実践報告会	滋賀県看護協会
		2A	赤井 律子			
		外来	藤田 晶子			
33	11. 6～19	手術センター	水長 真由美	Web参加	第34回日本手術看護学会年次大会 WEB開催	日本手術看護学会
34	11. 11	4B	近藤 真貴子	滋賀県看護協会	看護補助者活用推進にむけての看護 管理者研修	滋賀県看護協会
		5B	中村 春恵			
		5A	中村 千恵子			
35	11. 13	4B	岩崎 彩	滋賀県看護研修センター	3年目看護職員交流会	滋賀県看護協会
		7A	田井中 沙彩			
		6B	佐藤 奈央			
		2A	荒北 結衣			
		2A	中川 亜弓			
		6A	栗田 雅也			
36	11. 18	4B	清水 佑南	滋賀県看護協会	3年目看護職員交流会	滋賀県看護協会
		6B	小堀 隆史			
		5A	若林 舞			
		5B	大谷 悠希			
		6A	小倉 佳那子			
37	11. 26	救急センター	渡辺 奈々	滋賀県看護協会	急変を見逃さないフィジカルアセス メント	滋賀県看護協会
38	12. 2	6B	川島 彩	滋賀県看護研修センター	3年目看護職員交流会	滋賀県看護協会
		6B	杉浦 夢菜			
		7A	西澤 由理香			
39	12. 3～5	8A	北村 月見	サンポートホール高松	第42回日本手術医学会総会	日本手術医学会
		手術センター	佐々木 和輝			
		手術センター	里西 友			
		血液浄化	多湖 ゆかり			
40	12. 9	看護部	上村 千馨子	滋賀県看護協会	「Nursing nowフォーラム」 「看護の日・看護週間制定30周年」 記念特別事業	滋賀県看護協会
41	12. 11	救急センター	北野 貴司	滋賀県看護協会	災害看護フォローアップ研修	滋賀県看護協会

No.	日 付	所 属	氏 名	出 張 先	セ ミ ナ ー 名	主 催 名
42	12. 13	看護部	上村 千馨子	滋賀県看護協会	「臨床倫理とナラティブのススメ」 ～立ち止まり物語る倫理～	滋賀県看護協会
43	1. 16	7B	奥居 絵美	国立京都国際会館	日本病態栄養学会	
44		6A	小菅 智子			
45	1. 25	救急センター	堤 美江	滋賀県看護研修センター	新型コロナウイルス感染症対策研修	滋賀県看護協会
		8A	北村 月見			
		8A	茂森 周美			
46	1. 27	看護部	田中 里美	滋賀県看護研修センター	新人看護職員研修責任者 フォローアップ研修	滋賀県看護協会
		6B	田中 淳子			
47	2. 4	7B	早崎 有紀	滋賀県看護研修センター	滋賀県看護職員認知症対応力向上 研修フォローアップ研修	滋賀県看護協会
48	2. 12～14	2A	杉本 恵美	Web参加	第48回日本集中治療医学会学術集会	香川大学医学部附属 病院 救命救急センター
		2A	柿添 美佳			
49	2. 16～8. 31	通院治療	木下 千恵美	国立研究開発法人 国立がん対策情報センター	2021年度がん相談支援センター 相談員 基礎研修(1) (2) 知識確認コース	国立研究開発法人 国立がん対策情報 センター

17-2. 院内研修

研修種別	日付	研修名	研修講師	参加人数
新採用者 オリエンテーション	4. 1	辞令交付、オリエンテーション、 看護部・各部門の紹介他	職員課	25
	4. 2	認定看護師の紹介、各部署の紹介他	レベルⅠ担当	25
クリニカル ラダー レベルⅠ	4. 3	感染管理、医療安全、SBAR	谷感染管理認定看護師、佐伯科長補佐	14
	4. 6	電子カルテ、看護記録、新人の心構え	渡辺科長補佐、中村千科長補佐、 伊野科長、松宮科長	14
	4. 7	採血、感染管理（針の取り扱い）、 クリニカルパス、看護必要度、DPC	西村科長、飛田裕科長補佐、 中村春科長補佐、小倉科長補佐	14
	4. 8	皮膚排泄ケア、洗浄・消毒・ 滅菌、皮下・筋肉注射	西村科長補佐・皮膚・排泄ケア認定看護師、 北村科長補佐・手術看護認定看護師、 田中淳科長補佐	14
	4. 17	心電図、輸液ポンプ、静脈注射	青野科長、菱田科長補佐	14
	4. 24	夜勤の心構え、 導尿・膀胱留置カテーテル	高田科長補佐、近藤科長補佐、	14
	5. 11	フィジカルアセスメントⅠ、 酸素療法、吸引	高田科長補佐、山崎科長補佐	14
	6. 5	輸血、薬の基礎知識	荻森科長補佐、松本薬剤師	14
	6. 29	3ヶ月フォローアップ研修	レベルⅠ担当者	14
	10～11月	ローテーション研修 （手術センター、救急センター、 2A病棟）	レベルⅠ担当	14
	7. 9	人工呼吸器	青野科長	14
	8. 28	人工呼吸器	西川看護師	14
	10. 2	フィジカルアセスメントⅢ 受け持ち看護師の役割 6ヶ月フォローアップ	山崎科長補佐、レベルⅠ担当	13
	11. 25	終末期看護、認知症看護	森口緩和ケア認定看護師、 藤井認知症看護専門看護師	11
	12. 5	9ヶ月フォローアップ研修	レベルⅠ担当	11
	12. 23	BLS研修	北野看護師	13
	2. 5	災害看護、ポジショニング 11ヶ月フォローアップ	北野看護師、木俣皮膚排泄ケア認定看護師 レベルⅠ担当	12
クリニカル ラダー レベルⅡ	12. 17	退院調整	中居科長補佐	15
	10. 9	リーダーシップ	小菅科長	23
	6. 3	感染経路別予防策	多湖科長・感染管理認定看護師、 谷感染管理認定看護師	16
	7. 17	ケーススタディのまとめ方	中村科長補佐	15
	8. 2	災害看護	北野看護師、秋宗科長、飛田看護師、 岡田看護師	14
	9. 17	フィジカルアセスメント （呼吸・循環）	宮氏看護師、鈴木看護師	14
	10. 22	医療安全	佐伯科長補佐	17
	11. 12	フィジカルアセスメント（統合）	宮氏看護師、鈴木看護師	17
	11. 27	看護倫理	藤井科長補佐・認知症看護認定看護師・ 老人看護専門看護師	24
	1. 19	ケーススタディ発表会	レベルⅡ担当	15
クリニカル ラダー レベルⅢ	9. 14	看護理論	森口緩和ケア認定看護師	12
	9. 23	看護理論	森口緩和ケア認定看護師	8
	10. 13	医療安全	佐伯科長補佐	15
	10. 16	医療安全	佐伯科長補佐	11
	11. 19	継続看護	中居科長補佐	13
	11. 26	継続看護	中居科長補佐	15
	12. 6	災害看護	飛田科長補佐	14
クリニカル ラダー レベルⅣ		研修中止		

クリニカルリーダーレベルⅢ（選択領域）

研修種別	日付	研修名・内容	研修講師	参加人数
実践に役立つ 排尿ケアスキル アップ研修	12. 1	排尿ケア	木俣皮膚排泄認定看護師	16

役割・委員会

研修種別	日付	研修名	研修講師	参加人数
管理者研修	6. 24	新科長研修	谷口部長、上村副部長、橋本副部長	1
	7. 15	新科長補佐研修	谷口部長、上村副部長、橋本副部長	2
		管理者研修	管理者研修担当	中止
		管理者研修	管理者研修担当	中止
教育担当者 研修	2. 12	教育担当者研修	児玉科長補佐、田中科長	8
プリセプター 研修	3. 19	次年度プリセプター研修	高田科長補佐、田中科長	8
臨床指導者 研修	7. 3	伝達講習	前田璃子看護師、木村友哉看護師、 黄地麻衣子看護師	14
看護補助者 研修 MH・クラーク 研修	5. 20～ 6月末	個人情報保護について	上村副部長	71
	6. 19～ 7月末	医療安全	佐伯科長補佐	69
	9月	災害看護	佐伯科長補佐	26
	9. 9、16、23、 24	技術研修『排泄』	木俣皮膚排泄認定看護師	48
	7. 27～ 11. 18	医療安全セミナー	医療安全推進室	49
	10. 14～15	リフレクション研修	看護補助者研修担当	14
	11. 18、19、 25、26	技術研修『移乗』	川島脳卒中理学療法認定士	47
	9. 28～ 10. 18	感染セミナー	感染対策室	41
	1. 6、13、20、 27	認知症看護について	藤井科長補佐・認知症看護認定看護師・ 老人看護専門看護師	66

全体研修

研修種別	日付	研修名・内容	研修講師	参加人数
中心静脈 ポート	11. 6	中心静脈ポートの基礎知識、	木下科長補佐・がん化学療法認定看護師他	18
	12. 2	DVD視聴、演習、口頭試問		21

17-3. 看護部業務委員会活動

I. 各委員会評価

1) 記録推進

【最終評価】

クリティカルパス

クリティカルパスにおける重複記録の低減を目標に、ほぼ全例のパスをアウトカム志向のパスに修正することが出来た。また、重複記録の判断に統一性がなかったため、経時記録に記載しても良い基準を設け、基準以外は重複とみなすこととした。今年度は全体の周知活動には至らなかったため、重複率は算出しなかった。積極的に重複記録の低減に取り組んだ部署は、61%であった重複率を10%以下まで低減することができた。一方、パスチェックを行う中で、バリエーション処理やアウトカム入力がない事例が散見されており、記録を低減させるだけでなく、質を担保するためにもパスを正しく利用できることが今後の課題である。

看護診断・監査

質監査の監査表が完成した。3月までに各部署でプレ監査を行い、最終調整を行う。12月に形式監査を実施した。結果は、昨年度と比較し大きな変化はなく、昨年度の結果を維持できたといえる。とりわけ、「掲示板に記載している個別対応について、看護計画に反映されているか」と「看護計画のOP/TP/EPが追加修正できている」「1週間目と2週間目の評価ができている」の項目では、『よくできている』『できている』の評価が上昇している。委員会を休止していた期間も記録チェックを継続し、記録監視を行ったことが結果に繋がったと考える。

特殊科

救急、手術、透析は監査結果も大きな変化はなかった。外来は、実施する部署と患者を限定してはいるが、看護診断の立案とSOAP記録の件数は増加した。

【残された課題】

クリティカルパス

重複記録の基準を周知し、記録時間の低減を目指す。また、クリティカルパスの質を保つためには、正しいパスの使用方法、特にバリエーション処理とアウトカム入力の徹底が必要である。

看護診断・監査

質監査を実施し、クリニカルラダーと連携した活動で、看護の質向上を目指す。

特殊科

毎年途切れた活動になるため、課題を継承し、解決策を実施し評価することが必要である。

2) 接遇

【最終評価】

目標 1：職員の接遇実践力を上げ、医療接遇の質を高めることができる

〈挨拶運動・他部署巡視〉

今年度は年 4 回の挨拶運動・他部署巡視を実施した。その都度の結果から、個別指導・連帯責任など工夫を凝らした指導方法を行うことで、多くの部署が目標達成に至った。特に巡視では、他部署を巡視することで自部署を振り返ることができ、それを活かした取り組みが評価結果に繋がった。

〈他者評価〉

評価方法を変更したことで、100%の提出率であった。課題は明確であることから、委員も意識的に取り組みを行ってきたが、私語と呼称は低い評価であった。

目標 2：接遇に関する課題を明確にし、改善策を検討し実践することができる

〈事例検討〉

患者意見検討委員会の投書に対し他部署と意見交換を行い、客観的に検討することで、相手の立場に立った見方ができるようになった。投書の検討会は有意義であるとの意見が多かった。

〈マニュアル改訂〉

現行の規定から、マニュアルとはどうあるべきかなど検討を重ね、自分たちで意識(しっかり指導)できるマニュアルの改訂を行った。自分たちの要望が通った結果となったことから、守れていない職員へもしっかり指導を行うことができた。接遇マニュアル改訂後、基準を守れないと元の基準に戻すと周知したことから指導が徹底され、委員会終了後のアンケートでは、すべての委員が自身の接遇に対する意識に変化があり、工夫して取り組むことができたと答えた。

【残された課題】

- ・委員が変更するたびに取り組みが活かされないことから、成果があったことは継続し、残された課題に対しても次年度にしっかり引き継ぐことが重要である。
- ・他部署との意見交換が有効であるとの意見が多かったことから、部署内の課題をディスカッションできる時間を検討する。
- ・他部署巡視、他者評価など、前年度の比較が確実にできるよう評価基準を統一する。
- ・挨拶運動は組織全体での取り組みが効果的である。
- ・活動を通じて自身の接遇に対する意識や行動変容が見られることから、中間評価で意見交換会を行ってみてはどうか。

短時間の評価では他部署の課題が明確にならないことから、活動時間を活用し時間をかけた他部署評価も有効であると考ええる。

3) NST

【最終評価】

①NST リンクナースとしての知識を習得し、かつ実践することができる

9 月に「リハ栄養の取り組みについて」、11 月に歯科衛生士より「口腔ケア、ブラッシング」の勉強会を実施した。9 月から各部署より「NST ニュース」を発行、全部署発行することができた。リンクナース会にて伝達を行い、各リンクナースから部署への伝達、周知を行った。

②NST チームと連携し、各部署の栄養管理を適切に行い、患者に還元することができる

今年度は、6 月と 11 月にそれぞれ栄養再評価率・NST 介入依頼率を集計し比較・分析を行った。全体的に 11 月の栄養再評価率は 6 月より上昇した。しかし、目標の 90%に達していない部署も数部署あった。NST 介入依頼率は 2 部署以外は 100%達成した。

NST 回診への参加においては、2 ヶ月に 1 回は参加としたが、多くの部署が 1~2 回の参加しかできなかった。しかし、3 回以上参加した部署もあった。

NST 加算算定に必要な NST 専任 Ns の増員のために、1 月に 3 名が研修を受講予定であったが、COVID-19 の影響で受講できなかった。来年度、6 月以降に「振替措置」がとられる予定である。

また、毎年開催している「NST 研修会」は、12/4 に予定していたが COVID-19 の影響で開催を断念した。

③口腔ケア方法の標準化を図り、適切なケアを実践することができる

8 月、9 月、10 月と口腔ケアの目的、基本、マニュアルの学習会を実施し各部署への周知を行った。また、NST マニュアルの修正を実施した。

【残された課題】

- ・栄養再評価率、NST 介入依頼率 90%以上をめざす。また、集計方法の検討を行う。
確実に正確な評価・分析を行うためには、やはり毎月集計を実施し比較することが必要ではないか
- ・NST 回診への参加方法の検討
- ・「NST 研修会」の開催
- ・統一した口腔ケア実施に向けて、来年度も引き続き周知していく
- ・NST 専任 Ns 取得（専任 Ns の増員）

4) がん看護

【最終評価】

①STAS-J 記載率 95%以上を目指し、カンファレンスに活用することができる。

委員の声かけのみでは記載率が上がらない部署もあり、掲示板の活用やステーション内でのチラシ掲示など、各部署で見える化を図り目標値に到達した。評価や介入オーダー発行の次にある、カンファレンスでの活用は少数であった。STAS-J 評価がケアの質にリンクしていることの理解を、院内全体に浸透させる必要がある。

②治療ファイルの運用を促進、がん化学療法・症状コントロールマニュアルの作成継続と活用の評価をおこなう

治療前日から当日にかけて、薬剤の投与方法や治療の流れ、副作用の出現時期の項目について積極的に活用され、緊張感を伴う治療において安心材料になった、という評価を得られた。マニュアルの参照率は、がん化学療法が 70%、症状コントロールが 50%と目標達成とはならなかった。マニュアルの内容は 1 年をかけて追加・更新ができたが、活用されないと意味を為さない。臨床での困り事の際、認定看護師をコールする前に、まずは治療ファイルや各マニュアルで確認するという行動がとれるよう、リンクナースの活動に期待したい。

③自己学習ファイルを作成し、知識やスキルの獲得をはかる

COVID-19 感染拡大予防の観点から、主要な学会や研究会、セミナーがオンライン開催となり、院内においても研修が削減された。学ぶ環境は変化した、手段は複数あり、委員会の場で情報提供をおこない自己学習のためのツールとした。グループ単位で学習ファイルを回覧し、メンバーから肯定的なメッセージをもらうことで、モチベーションの維持には繋がったと評価する。各自の学習内容が部署の教育や指導に役立つよう、ティーチングやコーチングスキルの学習も追加できると良いと考える。

④最新の知識やトピックスに関する情報発信をおこなう

毎月の担当者を決め、化学療法・緩和ケアの両方の視点から、バランス良く発信できた。各自が関心を寄せている部分にフォーカスを当て、自分の言葉で伝えるには『理解する』必要があり、そのための学習が自己学習にもつながる形となったことは良かったと言える。しかし、1 回で伝えるには物足りない内容も見られたため、何回かのシリーズ化で読む側の興味をそそる工夫も必要であった。

【残された課題】

- ・マニュアルが臨床の身近な部分で活用されるためのリンクナースの役割
- ・リンクナースが部署内で必要とされ、向上心につながるようにするための支援体制

質が求められ、数値評価が難しい領域ではあるが、各リンクナースの活動が看護の質と経営参画の両面に関与していることを実感できる委員会へと成長させたい。

5) 倫理

【最終評価】

①倫理教育を通じて、自己および所属部署の知識やスキルを向上させることができる

各自 ZOOM での受講や書籍を読み、全員が委員会で伝達講習を行うことができた。

発表した内容や他の委員からの学びを自部署で学習会を開催する委員もいた。

②倫理的視点を交えたカンファレンスを行い、患者の立場に立った看護実践へと結びつけることができる

報告会は毎月担当を決めて開催した。事前にカンファレンス用紙を配布し、グループワークの代わりに各自が意見や感想を記載し、フィードバックした。他部署のカンファレンスの様子を知ること、様々な倫理的問題に気付くことができた。

5月から2月までの患者カンファレンスの件数は666件であった。また、倫理的視点割合は87.1%であった。部署の特殊性もあり、件数には差があるが、カンファレンスを倫理的視点で行うことは定着できてきており、評価は出来る。

③ACPを院内に周知し、患者の意思決定支援を行うことができる

「私の希望」用紙を使用したACPは、部署により差はあるが、2月時点では83件（血液浄化センター配布含む）で、必要な患者を選定し、意思決定支援を行っている。

「ちょこっとACP」は患者の思いを聴いたスタッフが意識して記録に残すことが出来るようになり、2月時点で新規で386件であった。

記載方法が分からない人に委員が直接指導したり、積極的に活動したりしている部署が活動方法を伝えることで刺激になり、各自委員が進んで取り組む様子があった。

ACPについての取り組み報告会を全部署パワーポイントで行い、3月にも行う予定。

委員が積極的に学習会を開催し、指導する様子や部署の特殊性に合わせた活動がされていた。委員を中心としての取り組みによるところが多く、全体が積極的にというまではいかないが、ACPの周知としては評価が出来る。

④倫理やACPに関する知識やトピックスに関する情報共有を行う

全部署が、自部署の取り組みの報告についてのニューズレターを発行できた。

【残された課題】

- ・今年度より、全部署に活動報告書の記載を依頼し、毎月全部署の状況をデータ化した。活動日がない部署には負担になったかもしれない。活動報告書内容の再検討を行う。
- ・グループワークができないことで、ファシリテーターの役割を学ぶ機会は少なかった。検討報告会方法を考慮し自部署のカンファレンスに活かせるようにする必要がある。
- ・ちょこっとACPは浸透しているが、私の希望用紙を用いての戸惑いも視られる。今年度の発表事例を参考にして、次年度に伝える等、委員会の継続した関わりを行う。
- ・ACPを継続して行い、意思決定支援ができるように取り組むを行う。

6) 認知症ケア

【最終評価】

①認知症の基礎知識を習得し、認知症患者の思いや療養への影響を言語化することができる

認知症の基礎知識について研修を計画していたが、COVID-19 感染対策として集合形式の研修は中止とし、資料を配付しその内容に伴う学習課題 4 回計 8 枚をによる自己学習へ変更し行った。課題の内容を超えて自主的に学習を広げるリンクナースもいたが、認知症患者の思いや療養への影響を想像し言語化するには不十分であった。

②急性期病院の認知症ケアの現状や傾向から課題をとらえ、根拠を持って具体的なケア方法をスタッフへはたらきかけることができる

3 回事例提供を行い、各部署で検討を行いその内容について報告を行ってもらった。各部署でカンファレンスを行い、ケアを検討する機会となった。リンクナース自身が認知症の知識と起きている事象を結びつけてアセスメントすることに難しさを感じており、カンファレンスでのファシリテーターとしての役割を果たしたり、スタッフへはたらきかけをしたり、普段の実践につなげることには至らなかったが、事例内容について、解説としてアセスメントやケアの根拠を言語化して示すことで、リンクナース自身のアセスメント力の不足への気づきやスタッフへの働きかけ方のヒントとなったといえる。

③急性期病院の認知症ケアにおける基本的な看護実践をスタッフと共にやり評価することができる

各自部署ごとに課題を抽出しそれに沿った活動について中間・最終評価、成果発表を行うことができた。コアメンバーで担当制をとり特に計画立案時には何度も助言・指導を行ったことで、個人差はあったものの緻密に計画を立案・修正したり、スタッフを巻き込んだりして看護研究に匹敵する取り組みを行うことができた部署もあり、一昨年に比べ内容の充実をはかることができた。成果発表を行うことでお互いにヒントや刺激となったように思う。

④タイムリーなチーム介入につなげ、認知症ケア加算の運用に参画することができる

診療報酬における今年度の数値目標の達成には至らなかったが、昨年度の算定率を大きく上まわり、70%台を維持することができた。リンクナースによる運用システムの説明、毎月の算定もれ数や算定率・減算率の可視化・伝達によって、リンクナース自身がしっかりシステムを理解した上で、自部署での啓発が何度も行われたことで、スタッフへ浸透し効果がみられたといえる。

【残された課題】

他の領域であれば気づきが得られるが認知症ケアでは不足してしまう、気になる事象に接していても熟考することが少ない、その場その場の対応となり実践が積み上がっていかないなど認知症ケアにおける課題としてあげられる。認知症ケアリンクナースの定義や像を明文化しながら、各部署での役割を理解し課題に向き合った活動が行えるよう、また充実感や達成感を感じることができるよう、目標や活動内容、評価指標について緻密に検討していきたい。

部署異動によりリンクナースの交代が複数部署あり、活動内容の継続、モチベーションの維持の難しさから目標に到達できない部署もあった。活動時間の確保には部署間の差もあり、リンクナースのみではなく科長、科長補佐をまきこんだ協力体制を構築していくことが必要といえる。

今年度はコアメンバー間で検討する時間が十分にとれなかったため、検討できる機会を計画的・意図的に設定し充実させていきたい。

7) 医療安全

【最終評価】

今年度は、毎月予定していた医療安全研修を中止し部会運営している。RM の医療安全に対する習熟度は研修時の発言・態度等では計れないが、RM 活動報告では各所属でリーダーシップを発揮し再発予防など医療安全活動を実践している。これも所属長、補佐の助言等も大きいと感じている一方、看護部での医療安全文化の醸成が確立してきた証とも言える。今年度のレポート数は増加傾向にあり、約 2,400 件の報告を受けている。またレベルⅢb の報告数 19 件、Ⅳb1 件であった。

目標 1：リスクカンファレンス実施状況について看護部においては 100%実施できており有害事象発生時は臨時での開催ができています。Ⅲb 以上の事故報告書の提出は 100%+対応対策評価も看護部をはじめ他部署とも連携し実施できています。

目標 2：RCA などのリスク分析の教育が充分できていないが、各部署時系列に沿っての振り返りができ、問題点の洗い出し解決策の抽出ができています。教育に関しては課題である。

目標 3：NEWS スコア 50%活用できている結果があるが定着（85%）には届いていない。部署により解離あり。呼吸数に関しては急変（ドクターコールに至った症例）懸念を感じた場合 80%呼吸数の測定に至っているが、日々のバイタルサイン測定には反映されていない。

【残された課題】

看護部リスクマネジメント部会の運営方法再検討（時間、研修方法）。さらに、RM への活動評価。所属での伝達・周知・医療安全に関するリーダーシップを発揮できる課題提供を検討する。次年度からは一昨年まで実施していた RM 研修を再度実施していき部署内での活動に活かしてもらう。

RRS リンク Ns の役割としての目標達成できるための関わりかたの検討が課題である。

8) 感染対策

【最終評価】

リンクナースになる看護師の感染対策に関する知識は様々であるため、少しでもその差が縮まるよう定期的に学習会を実施した。学習会は奇数月に 30 分程度という限られた時間ではあったが、感染対策に携わるメンバーの 1 人として新しく知る、または、振り返りの機会を設けることができたことはよかったと思う。

今年度は、COVID-19 の流行により委員会活動の開始時期が遅れたため、リンクナースとしての部署での取り組み時間が今までに比べると短くなってしまった。そのため、今までであれば、自分自身で部署の問題点を考えて取り組んでもらっていたが、今年度は全員が同じ内容とした。また、取り組みの効果を評価するにはあまり相応しくない状況となってしまった。

リンクナースとしての広報活動として、年 1 回以上のポスター作成等を行うことを課題にしていたが、定期的に作成して部署内に掲示できているところもあれば、そうでないところもあった。

【残された課題】

担当者から課題を提示するばかりでは、やらされているという気持ちが強くなってしまうと考えられるため、リンクナースが問題解決に向けて取り組んでいることをサポートしてく姿勢を大切にしなければならない（取り組みを人一倍頑張っているリンクナースがいたとすれば、その活動内容をメンバーに紹介することによって本人のモチベーションが上がるかもしれないし、何をすればいいのか迷っているリンクナースにとっては光が見えてくるかもしれない）

学習会については、ほぼ毎年同じようなテーマで実施してきたが、次年度も引き続きリンクナースとなるメンバーがある程度いれば、事前に希望を聞きながらテーマを決定していきたい。

9) スキンケア

【最終評価】

目標 1：個別なリスク評価に合わせた予防ケアを提供することにより、院内褥瘡発生を年間 10 件以内とする

・褥瘡発生は 10 件。体位変換やポジショニング後の背抜きの実施で防ぐことができた可能性のあるものは 6 件。前期の褥瘡発生は 7 件で、後期の褥瘡発生は 3 件になった。後期は担当看護師と時間を合わせて個別にポジショニングやケア方法を検討する機会を増やしたことや、使用マットレスとハーティグローブ設置の確認を強化したことが発生件数の減少に繋がったと考える。

目標 2：大用量オムツの日中使用

・計画中止

目標 3：2～3 年計画で院内マニュアルの見直しと近隣病院との統一

・引き続き院内マニュアルの見直しを進めている。

目標 4：院内のスキントラブルで最も多い「スキンテア」に対する知識と予防方法を周知し、発生件数を 80 件以下に減少させる

・今年度の発生は 120 件であり、目標を達成できなかった。中間評価の時点で目標の 80 件を上回っており、マニュアルと患者家族指導用のリーフレットを作成。リンクナースにはスキンテアについての WEB セミナーを受講してもらった。4 月から 9 月までの発生は月平均 11.3 件に対し、10 月から 2 月までの発生は月平均 10.4 件と若干の減少がみられた。

目標 5：フットケアマニュアルに基づいたフットケアをスタッフが実践できる

・リンクナース会開催日を利用して、WOCN とリンクナース中心に OJT でフットケア実施。WOCN にケアを委ねるのではなくリンクナースが主としてケア実践を行う姿がみられるようになった。

目標 6：排泄ケアに関する看護師の意識や知識の向上。排泄自立指導料算定数の増加

・月 2 回の病棟ラウンド、リンクナース会内で各病棟との患者抽出とケア内容検討の実践を継続し、32.1 件/月で目標の 25 件/月を上回っている。病棟看護師自らカテーテル抜去に向けての相談をチームに依頼する、介入依頼のためのチェックリストを作成するなどの意識向上が見られた。尿閉などの排尿障害の患者に対しての看護ケアは適切にでき退院前に解決、または外来に引き継げるようになっており、外来排尿自立指導料も今年度 12 件となり目標を達成した。

【残された課題】

褥瘡・スキントラブルに関して

患者の高齢化、生活自立度 C ランクの増加など褥瘡発生リスクの高い患者に対するケアを煩雑な業務の中で行っている現状がある。個別性のある α のケアが必要であるが、ハイリスクラウンドやケア相談時に確認すると、院内マニュアルにある基本的な予防ケアが実践できていないことがあり、基本的なケアの根拠を再認識し、スタッフ全員が実践できるように再教育が必要であると考ええる。

しかし、活動時間での教育は時間が限られており、時間外での学習は強制できない。地域包括ケアをすすめるにあたり、退院後の療養環境調整に対し、リンクナースが中心となって活動することが望ましく、科長や科長補佐がサポートをできるようにラダー教育と並行して知識・ケアの質向上に努めることが課題である。

フットケアに関して

来年度は病棟においてリンクナースが主体となってフットケアをスタッフに指導できるように、リンクナースへの再教育と業務内での実践計画と評価を行う。

排尿ケアに関して

病棟から外来への継続介入の評価と見直しを行う。

排尿ケアチームの人数が減る中でも算定数の維持、算定に見合ったケアが提供できるようにスタッフ指導をおこなう。

10) 看護提供方式

【最終評価】

今年度は新たな看護提供方式導入に向けて、ペアリング・ハドルの確立とリーダー育成に取り組んだ。

年度初めは、委員会メンバーも看護提供方式の検討に至る経過や必要性について戸惑いが見られたが、資料の読み合わせや当院における課題を話し合っていく中で、当院が目指す看護のあり方や改革の必要性を理解し、積極的に取り組めるようになった。

ペアリングについては、目標や手順を見直して各病棟をまわって学習会を実施。今まで導入出来ていなかった病棟もあったが、新手順でのペアリングを全館で開始することができた。アンケート結果でも、ペアリングの有効性を感じている声もあり、業務としてのペアリングは定着しつつあると考える。

リーダー育成については、補佐会を利用して学習会を実施。各部署で伝達講習を実施してもらった。同時にリーダーシップについてのアンケートを実施したが、思ったよりリーダーシップについて理解できている意見が多く、リーダーの役割遂行を求めている傾向がうかがえた。ペアリング導入時もリーダーの大切さを伝えており、その効果もあったのではないかと考える。学習会後のアンケートを3月に実施予定であり、今年度の評価と来年度の取り組みに繋げていきたい。

【残された課題】

ペアリング・ハドルは全病棟で取り組みを開始し、業務としては定着しつつあるが、部署により捉え方はさまざまであり、形だけのペアリング・ハドルになっていることも見受けられる。肯定的な意見もあるが負担に感じているスタッフもあり、今後当院（各部署）にあったペアリング・ハドルの方法を検討し、より効果的なペアリング・ハドルに繋げていけるよう取り組みを継続していく必要あり。

リーダー育成についても、スタッフの意識は変わりつつあるが、変革を好まない中堅スタッフも多く、病院全体でのリーダー育成やリーダーの質向上にはまだまだ課題がある。来年度はクリニカルリーダーにもリーダー育成が盛り込まれており、リーダー教育とも連携して、チームをまとめて采配できるリーダー育成に向けて取り組んでいく。

来年度は科長補佐会で看護提供方式については継続予定だが、補佐会の進み具合などを確認しながら、病棟全体がワンチームとして質の高い看護を提供できる体制を目指していきたいと思う。

Ⅱ. 全体総評

今年度は、COVID-19の影響で前半の委員会活動が休止や縮小され、やむなく計画通り進行できない状況にあった。しかし、活動が制限される中でも、質の維持を考えて部署活動でできる内容に変更やオンライン研修の受講を推奨し工夫をしていた。

また、各委員会ともに、課題となっているリンクナースの交替による技量の差異について、成功事例の共有やグループディスカッションなどを取り入れ、リンクナースの育成に力を入れていた。その効果もあり、目標達成に結び付いた委員会も多い印象を受けている。

また、委員会の活動が経営貢献に直結する内容も多く、加算件数の取得がメインとなっていた活動が質の向上に向けた活動にシフトし、その結果から教育との連携を課題と考える委員会が散見される。これらから、目標達成に主眼を置くだけでなく、人材育成や組織管理に繋がる委員会の自律的な活動が伺える。

そして、今年度は昨年度の課題から、「看護提供方式」を委員会として立上げて活動を行ってきた。当初は、「固定チームナーシング」の移行を考慮していたが、勤務条件等の関係からチーム編成の構築が難しく、固定チームナーシングの移行を断念せざるを得なかった。しかし、昨年度より推進してきたペアリングやハドルは浸透し、さらに活動の目的の再周知やリーダーシップ研修を丁寧に実践したことで、更なる理解と実践に繋がったと評価している。その結果、時間外業務の削減、時間内での記録時間の確保に繋がったと考える。今年度は、病床制限によって、業務の煩雑さが際立ち、さらに働きかた改革の推進もあって、効率性も意識した看護の実践であった。看護提供方式の形式的な取り組みはできたが、業務の負担軽減にまでは至っておらず、職員満足への反映もされていない。

【次年度に向けて】

看護部組織として看護提供の仕組みを整え、各委員会の主体的な活動を支援する。そのひとつに、看護提供方式の手順の標準化に努める。その実践に看護科長補佐が主体的に活動できるように、看護科長補佐会に移管しその実践の支援にあたる。また、看護実践の質を医療安全や満足度調査等から評価していきたいと考える。

業務担当：上村千馨子

17-4. 教育委員会評価

1. 研修について

1) クリニカルラダー教育の説明

令和2年度の教育計画の説明は、4月の科長ミーティングで実施したが、特に問題なかった。

2) 研修内容の改善および研修環境について

今年度はCOVID-19の影響により9月頃までは、研修を中止にしたり、延期したりとなるケースが多く見られた。10月頃より密集、密閉、密接を避け、感染対策を講じることで、研修を開始することができた。

2. 合同教育委員会について

1) 令和2年度 教育評価

① クリニカルラダーレベルⅠ

COVID-19の影響下で、3密を避け、感染対策(換気・検温・標準予防策)を行うことで、レベルⅠに関しては、ほぼ予定通り研修を行うことができた。しかし、体を密にして実習するような研修(BLS研修、ポジショニングの研修)は時期を半年遅らせて実施した。ローテーション研修を6月頃に行っていたが、新人の独り立ちが不十分の時期に部署を離れて他部署での研修を行うより、独り立ち後に研修を行った方が有意義ではないかと考え、10月～11月へ変更して実施した。自部署にも慣れ少し余裕も出てきているためか、ローテーション研修では、急変時に活かせる内容ができたことが新人看護師の自信にもつながったように感じた。

多重業務が苦手な看護師が多くいることから、今年度より、多重業務の研修を取り入れた。日頃起こりやすい場面をデモンストレーションすることで、優先順位の決定などグループワークで意見交換ができた。

新人2名が、精神的につらくなり病欠が続いた。1名は年度末に退職、1名はレベルⅠ保留となった。3月中旬よりリハビリ出勤をして、経過観察中である。

② クリニカルラダーレベルⅡ

COVID-19の影響で、退院支援とリーダーシップの研修の時期を後半へ移動したが、そのほかの研修は予定通り行った。フィジカルアセスメントの研修は、密になりやすいため、1日2回の開催とした。今年度もケーススタディの発表を1日にしたが特に問題はなかった。

③ クリニカルラダーレベルⅢ

COVID-19の影響で、9月までの研修をすべて中止した。研修回数が大幅に少なくなったため、今年度レベルⅢの認定審査を行える予定者が17名と少なくなってしまった。しかし、内8名が認定審査を申請しており、申請率は47%となった。

④ クリニカルラダーレベルⅣ

COVID-19の影響で、研修が中止となった。

⑤ クリニカルラダーレベルⅢ選択領域

2研修を開催予定であったが、COVID-19の影響で、中止となった。後半に皮膚排泄ケアの実践報告のみ研修を行った。参加者はリンクナースであったため日頃の活動の振り返りができた。

⑥ 役割・委員会研修

COVID-19の影響で、開催の方法が変更となった研修が多かった。管理者研修は今年度も中止となった。他の委員会は、3密を避けて委員会活動が行えた。

2) 次年度に向けての課題

① クリニカルラダーレベルⅠ

今年度は特に、メンタルの変調をきたすものが目立った。次年度からは、メンタルヘルスについての知識が必要であり、リエゾンナースの活用など、独りで悩まずヘルプを出せるところがあることを伝えることも必要ではないかと考えている。また、部署全体で新人を育てていく風潮を大切にしていきたいと考える。エルダー制を導入して今後の新人指導にどのように変化があるか評価していきたい。

② クリニカルラダーレベルⅡ

次年度より、研修内容を見直し、看護実践に活用できる内容としている。研修の評価を行い、意図する研修に近づけるよう内容の見直しを行っていきたい。

③ クリニカルラダーレベルⅢ

今年度、クリニカルラダーの見直しを行い、看護実践能力に特化した内容に変更をした。レベルⅠ～Ⅴまで、レベルに合った研修内容を計画し、今後評価を重ねていき、さらに充実した研修内容へレベルアップしていきたいと考えている。研修項目が増えたことで、次年度のレベルⅢ認定審査の申請は難しいと考える。しかし、看護実践に役立つ研修を取り入れたことで、レベルⅢの看護の質の向上につながることを期待している。

昨年に認定審査の要件を、看護実践レポート3事例とあったところを1事例に変更し、「委員会活動や教育活動においてどのようにマネジメントを行い、組織貢献できたか」についてのレポート1例を追加した。今年度は申請者が8名いたことは、申請の負担がやわらいだことが大きな要因の一つではないかと考える。

④ ラダーの再構築について

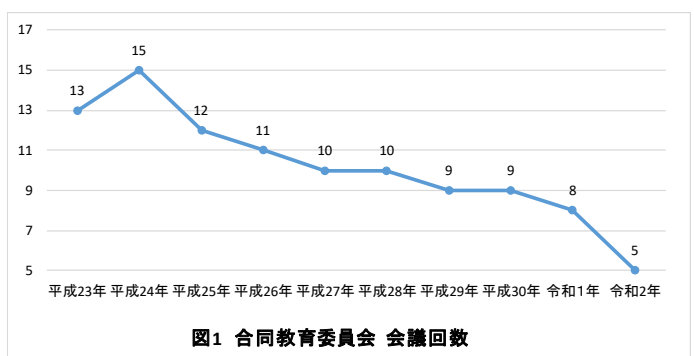
次年度より、クリニカルラダーの見直しを行うなかで、選択領域を廃止し、皮膚排泄、認知症の研修も必須とした。新たに、コミュニケーション、チームでの協働、フィジカルアセスメント、看護過程の項目を設けた。看護実践能力の4つの力「ニーズをとらえる力」「ケアする力」「協働する力」「意思決定を支える力」を養うための研修項目を12項目選択した。

⑤ クリニカルラダーの評価について

今までの評価は、レベルの申請時のみに行ってきたが、次年度より毎年評価を行う体制とした。9月と2月の目標管理シートを提出する際に、教育に対する評価も行い、所属長に他者評価を依頼するようにした。

3) 会議回数の削減、時間短縮、参加メンバーについて

COVID-19の影響で、前半の研修が中止となったため、会議も中止した。後半から会議を開催した。会議回数は5回となったが、会議の内容が、研修の報告が主であったため今年度は会議回数が少なくても影響はなかった。しかし、もう少し有意義のある会議にしていける必要があると思われる。(図1) 後半は次年度の研修の打ち



合わせ調整に費やすが、合同教育委員会の会議の持ち方について検討する必要があると感じた。

4) 『教育委員会便り』発行

今年度は研修が少なかったため『教育委員会便り』を発行することができなかった。

5) HPについて

今年度は研修の様子を掲載することができなかった。

6) 保健所立ち入り調査

COVID-19の影響により中止となった。

3. クリニカルラダー認定審査会について

1) レベル毎のデータ整理

昨年と同様に、データベースの作成を実施した。入力に時間を要するが、特に問題はなかった。

2) 中途採用者ラダーレベル認定

今年度より、会計年度任用職員としての採用のみで、正規職員としての採用はなかった。今後も正規職員としての採用はないと思われる。

3) クリニカルラダーの見直し

日本看護協会の開発しているクリニカルラダーを活用し、看護実践能力に力を入れたクリニカルラダーの再構築を行った。看護実践能力に必要な4つの力毎に研修を計画し、看護の質が向上できるような研修へと変更していった。教育に関する評価を毎年行うことで、自己の看護の振り返りができると共に更なるレベルアップを目指していける教育体制になってほしいと考えている。

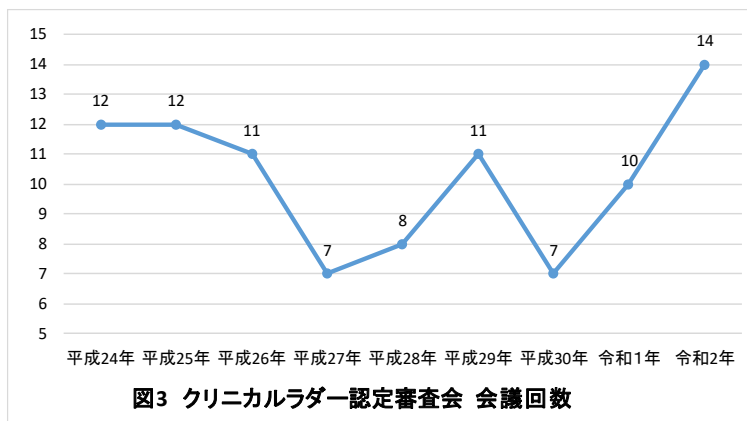
4) 会議の回数、削減

今年度はクリニカルラダー構築に向けて毎月会議を開催した。定期の会議だけでは、進めていけなかった部分は臨時の委員会を設けた。回数は増加したが、クリニカルラダー構築に向けて必要な会議であったと考える。(図3)

また、今年度は、クリニカルラダーの構築へ向けた会議が中心で、本来の認定審査委員会は、4、5、3月のみ行った。中途採用者がいなかったことも一因である。そのため、メンバー構成に認定審査委員長である看護部長の出席がほとんどなかった。次年度からは、認定審査

を行う際のみに看護部長の参加をすることに変更する。

再三の参加要請、部長からの進言等があっても委員会に参加しない者がいた。

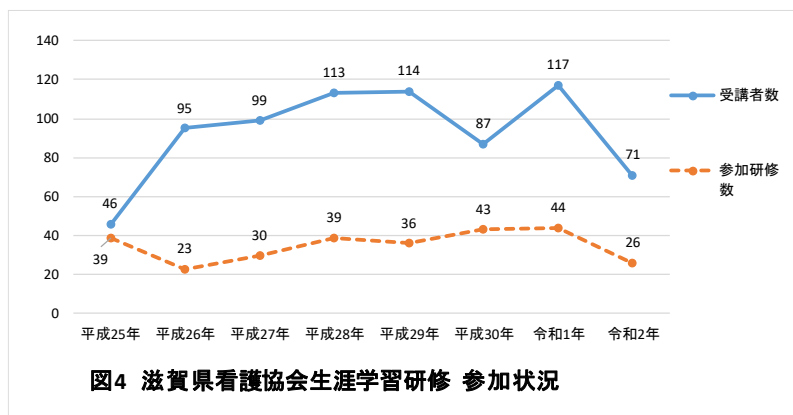


4. 滋賀県看護協会 生涯学習研修について

1) 受講状況

令和2年度の延べ研修参加者は、71名（26研修）であった。今年度は、COVID-19の影響で前半の研修が中止または延期となり、参加できる研修の数も減少した。参加者としては、昨年度より減少はしているが、前々年度以前と比較すると、研修数がほぼ半減しているにも関わらず、研修の参加人数は71名にとどまっている。（図4）コロナ禍ではあったが、研修に参加希望者が多くいた。

当院で滋賀県看護協会に入会している看護師数は、昨年度が232名、今年度は247名と増加傾向にある。参加への声掛けを行ったことも効果があったのではないかと考えるが、昨年は、理由なく退会者が数名いたが、今年度は理由のない退会者がいなかったことも看護協会入会者数が増加した要因だと思う。3月末で、259名の入会者数で、全体の67.4%となった。



教育担当：橋本宏美

17-5. 実習受け入れ状況

*1回の実習につき学生数を分散し3人程度に抑えた。日数変更あり。

糖尿病資質向上研修（滋賀県健康福祉部医務薬務課）

実習科目	職種	人数	実習期間	実習病棟
臨床実習	看護師			実習なし

滋賀県立大学人間看護学部

実習科目	学年	学生数	実習期間	実習病棟
基礎看護学実習Ⅰ				実習なし
基礎看護学実習Ⅱ				実習なし
成人クリティカルケア実習	3	9	R2 9.23	2A病棟、手術センター
		9	R2 10.5	2A病棟、手術センター
		9	R2 10.19	2A病棟、手術センター
		4	R3 2.80 ~ 2.17	5A、6B、2A病棟、手術センター
成人クロニックケア実習	3			6A、7A病棟 学内へ
		18	R3 1.5 ~ 1.15	5B、6A、7A病棟
		12	R3 2.20 ~ 2.9	6A、7A病棟
エンドオブライフケア実習	3	6	R2 10.6 ~ 10.9	8B病棟
		8	R2 11.4 ~ 11.11	8B病棟
		8	R3 1.19 ~ 1.27	8B病棟
		8	R3 2.16 ~ 2.24	8B病棟
統合実習				実習なし
				実習なし

聖泉大学看護学部看護学科

実習科目	学年	学生数	実習期間	実習病棟
基礎看護学実習Ⅰ	1	15	R2 9.8 ~ 9.11	4B、5B、6A、6B、病棟
		15	R2 9.15 ~ 9.17	4B、5B、6A、6B、病棟
基礎看護学実習Ⅱ	2	24	R3 2.15 ~ 3.4	5B、6A、7A、7B、病棟
成人看護学実習（急性期）	3	5	R2 11.9 ~ 11.19	5A、6B、病棟
		11	R2 12.7 ~ 12.17	5A、6B、病棟
		10	R3 1.12 ~ 1.21	5A、6B、病棟
成人看護学実習（慢性期）	3	21	R2 10.8 ~ 10.21	5B、6A、7A、7B、病棟
		20	R2 11.5 ~ 11.18	5B、6A、7A、7B、病棟
		10	R2 12.3 ~ 12.16	5B、7A病棟
		5	R3 1.28 ~ 2.10	7B病棟
小児看護学実習	3	4	R2 10.14 ~ 10.21	4B病棟
		5	R2 11.11 ~ 11.18	4B病棟
		5	R2 11.25 ~ 12.2	4B病棟
		5	R2 12.9 ~ 12.16	4B病棟
地域統合実習				実習なし
				実習なし

滋賀県立看護専門学校

実習科目	学年	学生数	実習期間	実習病棟
小児看護学実習	3			実習なし
				実習なし
				実習なし
				実習なし
		6	R2 10.1 ~ 10.6	4B病棟
		5	R2 11.2 ~ 11.6	4B病棟

中学校・高校生職場体験学習 COVID-19の影響で、すべて中止

学 校	学年	学生数	実習期間	実習病棟
-----	----	-----	------	------

リスタートナースサポート研修

	学年	人数	実習期間	実習病棟
滋賀県ナースセンター		2	R2 10.12 ~ 10.13	救急センター、4B、5A、病棟

17-6. 認定看護師活動

がん化学療法看護認定看護師 木下千恵美・梶田恵子

1. 院内活動

内容	対象者	日時	担当
がん薬物療法と看護	7B 病棟看護師	4. 20	梶田
がん薬物療法看護～基礎から学ぼう～	4B 病棟看護師	5. 20	木下
中心静脈ポートの管理について	外来看護師	5. 25 5. 27	木下
がん薬物療法看護	6A 病棟看護師	6. 9	梶田
中心静脈ポート	訪問看護師	7. 6	梶田
がん薬物療法看護～肺がん～	6B 病棟看護師	8. 7	木下
がん薬物療法看護～投与管理を中心に～	5B 病棟看護師	8. 14	木下
外来がん看護	外来看護師	9. 30 10. 5	木下
がん免疫療法 有害事象マネジメント	訪問看護師	10. 28	木下
中心静脈ポート研修	クリニカルラダーレベルⅡ以上	11. 16	木下/梶田
外来がん患者継続看護	外来看護師	11. 17	梶田
中心静脈ポート研修	クリニカルラダーレベルⅡ以上	12. 2	木下/梶田
アドバンスケアプランニング ～もしばなゲームで学ぼう～	外来看護師	2. 17 3. 2	木下

2. 院外 講演

演題・テーマ	セミナー名	会場	日時	講義担当
通院治療センターの取り組み	湖東医療圏がん薬物療法 病薬連携セミナー	くすのき センター	7. 30	木下
通院治療センターの取り組み	彦根市立病院 地域医療連携委員会	くすのき センター	11. 19	木下

3. 院外 学会・研究会・研修参加

学会名・研究会名・研修名	会場	日時	参加者
湖東医療圏がん薬物療法 病薬連携セミナー	くすのきセンター	7. 30	木下/梶田
第 58 回日本癌治療学会学術集会	国立京都国際会議場	10. 22～24	木下/梶田
第 35 回日本がん看護学会学術集会	WEB 開催	2. 27	木下/梶田
2021 年度がん相談支援センター 相談員基礎研修 (1) (2) 知識確認コース	オンデマンド研修	3. 30 修了	木下

4. こころとからだの放送室（エフエムひこねコミュニティ放送）

テーマ	日時	担当
がん薬物療法はどんな治療？	7. 27	木下
がん薬物療法の副作用について	7. 28	木下
がん薬物療法における看護師の役割	7. 29	木下
がん薬物療法のチーム医療について	8. 3	梶田
アピアランス支援について	8. 4	梶田
通院治療センターはどんなところ？	8. 5	梶田
転移再発乳がん薬物療法中の付き合い方	11. 17	梶田

5. その他

滋賀県がん診療連携拠点協議会 研修推進部会所属：年 3 回の部会 WEB 会議（木下参加）

6. 所感

がん化学療法看護認定看護師 2 名は、外来通院治療センターの専従として勤務している。当院は湖東医療圏のがん診療連携拠点病院であり、地域の中で果たす『がん診療』の役割は大きく、地域医療の発展に向けて尽力を尽くすべき立場となっている。

今年度は COVID-19 流行に伴い院内では病棟編成が行われた。これまでがん薬物療法を行っていない部署でがん患者を受け入れる必要性が出てきたため、がん看護の質を確保するために各病棟で学習会を開催し、看護師のサポートを行った。

近年、がん薬物療法の開発は進み治療にはめざましい進歩がある。殺細胞性抗がん薬・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬など治療内容は多岐に渡っている。新規薬剤の作用機序・投与方法・有害事象及び症状に対する支持療法など、日々新しい情報を得ながら最先端の治療が提供できるように取り組んでいる。がん薬物療法は医師・看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー等、多職種での連携は必須である。当院で治療を受ける患者は年々増加の傾向があるため、患者主体の治療が行えるようチームとして取り組み、研鑽している毎日である。

一人一人の患者の意思を大切に、真心のこもったがん薬物療法看護が提供できるよう、今後も誠心誠意、取り組んでいく所存である。

【学術活動】

誌上発表

1. 著書

①多湖ゆかり：INFECTION CONTROL 4

プランナー：新人研修 成功のための戦略 Tips9

執筆：中規模病院、自治体病院での新入職者研修 Tips3

令和2年4月1日発行 株式会社メディカ出版

②多湖ゆかり：iPacLetter volume30 ICT/AST レポート

発行 杏林製薬株式会社

③谷久弥：広報誌 ナースレーク 149号

一番星見つけた！ 第5地区支部の地域での新型コロナウイルス感染症への取り組み

令和3年1月12日発行 公益社団法人滋賀県看護協会

④多湖ゆかり：INFECTION CONTROL 2021年春季増刊

執筆：あなたの「知りたかった！」に答えます！新型コロナウイルス対策 Q&A 68

令和3年2月5日発行 株式会社メディカ出版

2. 学会 演題発表

※該当なし

3. 講演

日付	講演会名	講演内容	場所	講演者
8.20	訪問看護の現場における新型コロナウイルス感染症対策の研修会	「新型コロナウイルス感染症との向き合い方 第2波到来に備え訪問看護の現場でできること！」	彦根くすのきセンター（滋賀）	谷
8.21	新型コロナウイルス感染症対策研修会	「新型コロナウイルス感染予防策について」	彦根くすのきセンター（滋賀）	谷
9.1	2020年度 リスタートナースサポート研修会	「感染管理」	彦根くすのきセンター（滋賀）	谷
10.6	令和2年度「高齢者介護施設におけるゾーニング指導研修会」	①新型コロナウイルスの感染対策 ②正しい個人防護具の着脱実技 ③ゾーニングとは ④実際の施設を使つてのゾーニング指導	介護老人保健施設アロフェンテ彦根（滋賀）	谷
10.12	彦根市立病院リスタートナースサポート研修	「感染管理（手洗い、PPE、消毒）」	本院3-2会議室（滋賀）	谷
12.10	新型コロナウイルス感染症にかかる在宅生活困難障害者等支援事業対応スタッフのための感染対策研修会	「新型コロナウイルス感染症の基礎知識と対策（防護具の着脱）」	彦根市障害者福祉センター（滋賀）	谷

4. 学会活動

日本環境感染学会 評議員 多湖ゆかり

日本環境感染学会 災害時感染制御支援チーム DICT-RM 登録

日本環境感染学会 論文査読

5. 学会座長・司会等

※該当なし

【院外諸活動】

1. 院外研修および学会参加

日付	学会・研修名	内容	場所	参加者
9. 24	日本感染管理ベストプラクティス” Saizen “研究会 感染管理ベストプラクティス ワークショップ 「新型コロナウイルス感染症対策」	第二部 「モノを準備して終わりではない、効果的に活用するためのポイントを考えよう」	Web 開催	多湖
10. 7～ 21	SARAYA 感染対策セミナー【Web 版】	・「COVID-19 診療の現場から」 ・「COVID-19:感染予防～ICN の立場から～」 ・「冬場に注意すべき感染症のみかた」 ・ディスカッション	Web 開催	谷
10. 14 ～27	ICNJ PRESENTS 現場で頑張る ICN を応援!!キャンペーン 特別教育セミナー	・これからの新型コロナウイルス感染症～これまでの知見をもとにした、今冬に向けた動向や課題について～ ・新型コロナウイルス感染症の感染予防、管理について ・クラスター対策班での活動 - ICNJ としての活動の実際と介入事例について ・COVID-19 第1波の受け入れを振り返って～クルーズ船での患者受入準備から～ ・施設でのクラスター発生から終息までの対応～就業制限の職員を対象とした復職支援・教育について～	オンデマンド 配信	多湖 谷
10. 28	新型コロナウイルス感染症対応に係る情報共有会議 (感染管理認定看護師対象)	・今後の院内感染を予防するための各施設の取り組み状況 ・各施設での陽性患者やクラスター発生時の対応と準備 ・各保険医療圏域内の感染管理状況 ・職員への指導方法や研修会の取り組み など	滋賀県看護協会 2階 研修室1 (滋賀)	谷
11. 8	Ethicon Care+ Healthy Discussion Seminar	「SSI 予防における国内外の Key opinion leader の英知を集結し、日本の医療に貢献する」 モデレーター:竹末芳生先生、森兼啓太先生	Live 配信 (ZOOM)	多湖
11. 13	感染症インターネット講演会	・「グラム陰性桿菌に関する薬剤感受性 Up to date」 中村竜也先生 ・「耐性菌時代を乗り切る、新しい抗菌薬適正使用の考え方」 浦上宗治先生	Live 配信 (滋賀)	神田 福田 多湖 谷
11. 14	手術室・感染対策オンライン セミナー	・手術室における SARS-CoV-2 対策 ・Surgical Stewardship による SSI 対策 ・SARS-CoV-2 以外のトピックス 土井英史先生	Live 配信 (ZOOM)	多湖
12. 2	令和2年度 院内感染防止対策 研修会	・「クラスターの予防と対応の考え方」 鈴木智之先生 ・「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の備えについて」 大江秀典先生 司会・進行 金子隆昭先生	オンライン Web 研修会 (ZOOM)	山田
12. 4～5	日本手術医学会総会	飛翔への融和	サンポートホール高松 (香川)	多湖

1. 19	ナースの星 感染対策 WEB セミナー	「海外に学ぶ CLABSI（中心静脈カテーテル関連血流感染）の低減に関する動向と対策」 森兼 啓太先生	Web 配信	多湖
1. 29	ナースの星 感染対策 WEB セミナー	「コロナ禍における手指衛生と手荒れ対策」 基調講演「COVID-19 最新情報と手荒れ対策の意義」 森兼 啓太先生	Web 配信	多湖

2. 研究会会議・研修支援・アドバイザー・アウトブレイク調査等

日付	研究会・研修会名	場所	参加者	参加形態
8. 29	2019 年度 第 4 回 日本感染管理ネットワーク近畿支部世話人会議	Web 会議 (ZOOM)	谷	会議
8. 29	2020 年度 第 1 回 日本感染管理ネットワーク近畿支部世話人会議	Web 会議 (ZOOM)	谷	会議
10. 31	2020 年度 第 2 回 日本感染管理ネットワーク近畿支部世話人会議	Web 会議 (ZOOM)	谷	会議
11. 25	新型コロナウイルス感染症アウトブレイクの現地調査と指導	豊郷病院 (滋賀)	多湖、滋賀県及び彦根保健所の職員	調査及び指導
2. 27	一般社団法人日本環境感染学会評議員会	東京ドームホテル地下 1 階オーロラ (東京)	多湖	Web 会議にて参加 (15:00～16:00)
3. 20	2020 年度 第 3 回 日本感染管理ネットワーク近畿支部世話人会議	Web 会議 (ZOOM)	谷	会議

【院内諸活動】

1. 研修講師

日付	研修会名	内容(テーマ)	対象者	講義者
4. 1	令和 2 年度新規採用職員研修	感染対策室の紹介	令和 2 年度新規採用職員	谷
4. 3	令和 2 年度クリニカルラダー I 新人看護師技術研修 「感染管理」	院内感染防止技術	クリニカルラダーレベル I 新人 16 名、経験者 10 名、研修医 5 名	多湖 谷
4. 7	令和 2 年度クリニカルラダー I 新人看護師技術研修 「感染管理」	針の取り扱い	クリニカルラダーレベル I 新人 14 名、研修医 3 名	谷
4. 17	令和 2 年度クリニカルラダー II 「感染管理」	針の取り扱い	クリニカルラダーレベル II 15 名	谷
6. 30	令和 2 年度クリニカルラダー II 「感染管理」	感染経路別予防策 (飛沫・空気・接触) 講義と演習	クリニカルラダーレベル II 17 名	多湖 谷
7. 8	院内感染対策リンクナース会 学習会	・標準予防策 ・当院での COVID-19 診療状況	リンクナース 14 名	多湖 谷
7. 21	血液浄化センター学習会 感染管理	感染経路別予防策 COVID-19 について	血液浄化センター ナース	多湖
9. 9	院内感染対策リンクナース会 学習会	職業感染予防策 - 医療従事者のワクチン接種 -	リンクナース 14 名	谷
11. 11	院内感染対策リンクナース会 学習会	インフルエンザ・ノロウイルス対策について	リンクナース 14 名	谷

1. 13	院内感染対策リンクナース会 学習会	培養検査の取扱い	リンクナース 14名	検査科 福田
3. 10	院内感染対策リンクナース会	活動報告会	リンクナース 14名	多湖 谷
2020 年度 (通年)	個人防護具の使用方法について (新型コロナウイルス感染症 対策として)	着脱訓練およびDVD 視聴 ※計 77 回の実施	当院職員 (委託業者含む)	多湖 谷

2. 研修

日付	研修会名	内容(テーマ)	対象者	講義者
9. 28～10. 25	医療安全・院内感染対策合同 セミナー DVD 回覧	「彦根市立病院 COVID-19 対応」	全職員	
11. 2～12. 25	2020 年度 第 1 回抗菌薬適正 使用支援セミナー DVD 回覧	「薬剤耐性 (AMR) について」	医師、看護師、薬剤師、 臨床検査技師	
3. 30～4. 30	2020 年度 第 2 回院内感染対 策・抗菌薬適正使用支援研修 資料閲覧	「新型コロナウイルス 感染症についての Q&A」	全職員	

3. 感染管理に関するコンサルテーション集計

■多湖ゆかり

	院内			院外	合計
	看護師	医師	その他		
4 月	12	4	6	2	24
5 月	9	0	2	4	15
6 月	5	0	0	2	7
7 月	6	0	0	0	6
8 月	5	1	1	0	7
9 月	1	1	0	0	2
10 月	8	1	0	1	10
11 月	3	0	1	1	5
12 月	1	0	1	3	5
1 月	5	0	1	2	8
2 月	6	0	2	0	8
3 月	6	0	0	0	6

■谷久弥

	院内			院外	合計
	看護師	医師	その他		
4 月	15	3	4	3	25
5 月	16	2	3	0	21
6 月	7	4	1	5	17
7 月	7	1	1	2	11
8 月	7	2	2	7	18
9 月	6	1	0	3	10
10 月	7	2	0	0	9
11 月	8	1	5	3	17
12 月	10	1	4	4	19
1 月	11	2	5	1	19
2 月	6	1	3	1	11
3 月	13	2	5	0	20

1. がん看護委員会活動

令和2年5月～令和3年3月まで 第4月曜日 15時～16時

- 1) STAS-J 介入率、評価率共に目標値である 95%を超えることができた
- 2) 2つのワーキンググループに分かれ、治療ファイルの運用促進とがん化学療法マニュアルの作成、緩和ケアマニュアルの作成を進めた

2. 院外研修、学会、講義、会議

1) 緩和ケア関連

研修、学会、講義、会議	会場	参加形態	開催日
地域統合実習 特別講師	聖泉大学	講師	7. 28
第 25 回日本緩和医療学会学術大会	Web 参加	一般参加	8. 9～10
リスタートナースサポート研修	滋賀県看護協会	講師	9. 9
リスタートナースサポート研修	滋賀県看護協会	講師	11. 17
リスタートナースサポート研修	滋賀県看護協会	講師	1. 19
滋賀県がん医療フォーラム	YouTube 配信	講師	2. 1～28
都道府県指導者養成研修 (緩和ケアチーム研修企画) フォローアップ研修	国立がん研究センター	受講者	3. 20

2) メンタルヘルスケア関連

研修、講義等	会場	参加形態	開催日
医療従事者に対するメンタルヘルスケア	京都新聞	インタビュー	8. 5 掲載
新型コロナウイルス感染症妊産婦ケア研修会	大津合同庁舎	講師	9. 8
新型コロナウイルスによる、病院・患者・家族の現状と医療従事者のメンタルヘルスケア	滋賀県立大学 (ZOOM 利用)	講師	10. 26
新型コロナウイルスに対するメンタルヘルスケア (院内外での取り組み) について	ZOOM 利用	医療情報専門 サイト m3. com の取材	3. 26 配信 開始

3. その他

内容	相談者	件数
患者・家族に関する指導、相談 (病棟内)	看護師	203 件
〃 (病棟外)	看護師	36 件
症状コントロールに関する相談 (院内全体)	医師	18 件
緩和ケア病棟入院予定者への面談	患者・家族	162 件
	医師	37 件
緩和ケア病棟転棟に関する相談 (院内全体)	看護師	25 件

<所感>

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、院内の委員会活動の始動が遅くなり、リンクナースにとっては物足りない1年になったのではないかと懸念がある。しかし、自己学習ファイルを用いて各自の意識を高め、ファイルの供覧や発表を通じてお互いの努力を承認する、というこれまでにない方法で工夫することができた。主要な学会や研究会、セミナー等が次々に中止され、自己研鑽の機会が激減してしまったが、院内学習会など他者へ向けての積極的な取り組みをしてもよかったのではないかと反省する。研修や学会の在り様も変化を求められ、過去の経験や方法では通用しないことも増えたが、そのぶん代議員会や支部会のオンライン会議で、他院の医師・看護師・薬剤師らと建設的な意見交換や、情報交換ができたことは有益だった。

また今年度は、新型コロナウイルスに伴うメンタルヘルスケアのニーズに応えるべく、県内の医療従事者と連携し、滋賀県メンタルヘルスケアチームの構築に寄与することができた。今後も緩和ケアの実践で得たスキルだけでなく、かけがえのない財産と言える大切な仲間の力も借りながら、今必要とされるケアにアプローチしていきたいと思う。

1. 院内活動

日時	内容	対象者
5.10	COVID-19 休日本部当番	COVID-19 疑い患者
7.15	7A・7B 病棟 ACP 学習会 講師	7A・7B 看護師
7.24	COVID-19 休日本部当番	COVID-19 疑い患者
8.1	COVID-19 休日本部当番	COVID-19 疑い患者
8.23	COVID-19 休日本部当番	COVID-19 疑い患者
8.28	看護部倫理委員会 ACP 学習会講師	看護部倫理委員会役員
9.14	看護部ラダーⅢ 看護理論 講師	ラダーⅢ看護師
9.23	看護部ラダーⅢ 看護理論 講師	ラダーⅢ看護師
10.19	がん患者サロンりらく話し合い	がん患者サポーター
10.22	外来 ACP 学習会 講師	外来看護師
10.23	看護部倫理委員会 ACP 学習会講師	看護部倫理委員会役員
11.5	がん教育話し合い	教育委員会
11.10	ハローワーク話し合い	ハローワーク
11.11	かがやき通信 倫理委員会 ACP 原稿	彦根市民
11.24	がん患者サロンりらく開催	がん患者
11.25	新人看護師研修「終末期看護」講師	新人看護師
12.22	がん患者サロンりらく開催	がん患者
1.10	COVID-19 休日本部当番	COVID-19 疑い患者
1.18	新人看護師研修「終末期看護」講師	新人看護師
3.15	ハローワーク話し合い	ハローワーク
3.17	COVID-19 ワクチン接種手伝い	院内職員
3.22	看護協会第5地区ケアフォーラム視聴会開催	院内看護師

2. 院外活動

日時	内容	参加形態	会場
6.27	滋賀県看護協会第5地区役員会	役員 副支部長	多賀町総合福祉 保健センター
7.30	がん薬物療法病薬連携 センター	一般参加	彦根市立病院 ZOOM
8.6	滋賀県看護協会第5地区役員会	役員 副支部長	くすのきセンター
9.26	ACP 研修	一般参加	くすのきセンター ZOOM
10.14	滋賀県看護協会第5地区役員会	役員 副支部長	くすのきセンター
10.24	リレーフォーライフ	院内ビデオ作成 がん相談員協働	滋賀医大 ユーチューブ
11.10	滋賀県看護協会第5地区役員会	役員 副支部長	くすのきセンター
11.10	第9回北琵琶湖メディカル スタッフカンファレンス チームで取り組む乳がんの化学療法	一般参加	彦根市立病院 ZOOM

11. 19	愛知医科大学看護学部成人看護学部 講師と「緩和ケアを腫瘍学の実践に 統合する教育モデル構築への課題 検討」	ディスカッション	彦根市立病院 ZOOM
11. 22	厚生労働省主催意思決定支援研修会	チーム参加	彦根市立病院 ZOOM
12. 17	滋賀県看護協会第 5 地区 診療所等で働く看護師の集い研修会、 役員会	役員 副支部長	くすのきセンター
1. 27	滋賀県看護協会第 5 地区役員会	役員 副支部長	くすのきセンター
2. 6	滋賀県看護協会第 5 地区 全世代型地域包括ケア推進フォーラム	役員 副支部長	くすのきセンター
2. 13	滋賀県がん医療フォーラム がん患者の COVID-19 対応	一般参加	視聴
2. 25	FM 彦根収録① 「もしもがんといわれた時に心がけたいこと」 ～つらいきもちとの向き合い方、 医療者とのかかわり方～	演者	彦根市立病院
2. 25	FM 彦根収録② 「もしもがんといわれた時に心がけたいこと」 ～情報の探し方、生活や暮らしに ついて考えておくこと～	演者	彦根市立病院
2. 25	FM 彦根収録③ 「家族ががんになったとき」 ～患者さんと家族を支える 3 つの ヒント～	演者	彦根市立病院
3. 18	がん相談支援センター相談員 フォローアップ研修	企画・運営・ ファシリテーター	彦根市立病院 ZOOM

3. その他

相談状況（2020.4月～2021.3月） 1,049 件（がん相談含む）

認定看護師業務

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
STAS-J 対応	5	6	11	13	11	18	25	22	21	132
緩和ケアチーム回診	7	6	6	8	4	4	4	5	5	49
緩和ケア外来対応	12	9	9	14	12	10	16	17	25	124
緩和ケア受診・入院相談	19	20	23	28	11	17	11	22	26	177
一般外来対応	4	0	15	12	10	13	7	15	16	92
一般病棟対応	14	13	16	26	17	29	30	21	29	195
合計	61	54	80	101	65	91	93	102	122	769

がん患者指導管理料イ（500 点）82 件

がん患者指導管理料ロ（200 点）124 件

4. 所感

H30年度より、緩和ケアチーム専従、がん相談支援センターのがん専門相談員になり、院内外を問わず、がん患者や家族、スタッフの相談にのり、丁寧な対応を心掛け、がん患者が満足した療養生活を送れることを目標として活動してきた。また、昨年度より2年間に渡り、滋賀県看護協会第5地区副支部長となり、フォーラムでがん相談支援センターの取り組みについて話し、彦根市立病院のがん相談支援センターを地域医療者へも広めるように活動した。昨年度よりがん教育を始めるにあたり、彦根市教職員、2つの中学校に対してがん教育を行ったが、今年度はCOVID-19により、研修会の開催が困難であった。また両立支援相談会や、がん患者サロンりらくも一時的には再開することが出来たが、現在は中止している。患者対応や、会の持ち方、研修会の開催に関して、模索した1年であった。ZOOMでの参加、開催など今後も考慮する必要性を感じた。

ACPに関しては、院内の臨床倫理委員、看護部倫理委員会の担当として、ACPの導入から周知に向けて活動した。市民へも広まるように、かがやき通信でも原稿を記載した。次年度はACPがさらに広まるように取り組み、患者や家族の意思決定支援ができるように取り組んでいきたい。

COVID-19対応で病院やスタッフが、がんばって対応している中で、休日COVID-19本部やトリアージ、ワクチン接種手伝いなど、慣れないが、出来る範囲で対応する様に心がけた。

次年度より、緩和ケア病棟へ異動となった。コロナ禍で、対応に苦慮する中ではあるが、この4年間の経験を活かして、安心して療養し、利用して頂ける緩和ケア病棟を目指して運営していきたい。

1. 院外学会・研修会参加

日 付	内 容	会 場
11. 6	日本手術看護学会	Web 開催
12. 4、12. 5	日本手術医学会	サンポート高松
1. 25	新型コロナウイルスを正しく理解し、正しくおそれるための心得 新型コロナウイルス感染症看護職にできること	滋賀県看護研修センター

2. 所感

新型コロナウイルスは、2020年世界で猛威を振るい、拡大し蔓延した。8A病棟は2020年4月に新型コロナウイルス患者を受け入れることになった。新型コロナウイルス患者は、呼吸状態が悪化し急変するリスクが高い。急変時に対応するために気管内挿管や動脈ラインの管理の知識・技術を必要とする。気管内挿管は暴露リスクが最も高い。病棟看護師に対して急変時の技術・知識を身につけ、安全に自信をもって出来るように対応をした。また新型コロナウイルスに感染した患者の周術期の対策を行った。

日本手術看護学会は、2020年周術期看護を「患者、家族が手術を決定したときから、手術室へ入室し、手術の準備から術中、手術を終えて、手術室を退室し、手術侵襲から回復するまでのプロセスに関わる看護とする。」と定義付け、手術室看護師の役割も拡大している。手術室看護師は周術期にある患者に対して、術中を中心として、安全・安心な看護を提供していく必要がある。

新型コロナウイルスが拡大・長期化している中で医療現場では、患者とスタッフの安全の確保と看護の質を維持することがより一層求められている。最新の知見を考慮しながら、感染対策をいかに具体化していき、手術患者と医療従事者の安全を確保していくことが最重要課題といえる。部署は異なっている、周術期の看護を繋いでいけるような認定活動を今後も目指していきたいと考える。

1. 教育活動

日付	内容	対象者
7. 3	滋賀県立総合保健専門学校 母性看護学Ⅰ（婦人科がん）	看護学生
7. 7	滋賀県立総合保健専門学校 母性看護学Ⅰ（乳がん）	看護学生
9. 26	講演：京滋ブレストケアセミナー 「進行・再発乳がんの内分泌療法」	京都・滋賀・福井看護師 Web セミナー
11. 10	司会：チームで取り組む乳がんの化学療法	湖東・湖北看護師 Web セミナー

2. 学会学術総会・研修

日付	学会	参加方法
10. 15	第 28 回日本乳癌学会学術総会	Web 参加
11. 22	第 30 回日本乳癌検診学会学術総会	Web 参加
11. 14	大阪大学スキルアップセミナー がん看護能力スキルアップセミナー	Web 参加
11. 28	第 18 回日本乳癌学会近畿地方会	Web 参加
2 月	第 3 回避本がん看護学会学術総会	Web 参加

3. 地域活動

日付	会議	参加方法
7. 30	第 1 回湖東医療圏 ACP プロジェクト	会議 Web 参加
9. 18	第 2 回湖東医療圏 ACP プロジェクト	会議 Web 参加
1. 5	第 3 回湖東医療圏 ACP プロジェクト	会議 Web 参加
3. 5	第 4 回湖東医療圏 ACP プロジェクト	会議 Web 参加

4. 所感

乳腺外科外来を中心に、乳がん検査・診断・治療を受ける乳がん患者さん・家族のサポートを行っている。乳がん患者さんは、社会、家族役割が大きい壮年期の女性に多く発症するため、患者本人はもちろんパートナー、ご家族、周囲が受ける衝撃や心理的負担は大きい。治療法も多岐に渡り混乱をまねくことも多く、治療法の補足説明や予測できる生活の変化を伝え、身体的・心理的・社会的支援を行っている。

今年度は、COVID-19 感染拡大により医療現場も大きく変化し、乳がんの早期発見の機会となる集団検診の減少など情勢の変化があった。「感染症患者を受け入れる病院で手術をする」という不安を抱える事例もあったが、当院の感染対策を伝え、安心して治療が受けられる環境である事を理解いただき支援を行った。今後も受診控えにならないよう、健診も勧め早期発見治療につながるよう活動していく。

I. 学術活動

1. 学会発表

発表者名	演題	学会名	会場	日付
北川智美	シンポジウム 特定看護師と NPWT	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11
北川智美	教育公演 スキンケアと臨床	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11
西村紀子	がん終末期における ポリウレタンフォーム ドレッシング貼付による 褥瘡予防効果の検討	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11

2. 誌上発表

①北川智美：調剤と情報

「薬剤師はどう向き合う？患者背景から考える高齢者の皮膚管理」在宅でのケア 医療機器を用いている場合のスキンケア

2020. 26 巻 6 号 P1341-5212 2020 年 5 月発行 じほう出版社

II. 院内諸活動

1. 褥瘡管理

- 専従の褥瘡管理者による褥瘡発生のリスクが高い患者に対する予防ケアを推進するための回診を実施。
- 既に褥瘡を有する患者に対しては、褥瘡対策チーム（専任医師・専任看護師・専従の褥瘡管理者）と褥瘡・創傷対策部会のメンバー（管理栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカー）による褥瘡回診を毎週 1 回実施し、局所管理だけでなく、排泄ケアも含めたケア方法の検討、栄養状態を始めとした全身状態の把握と調整を行っている。褥瘡ハイリスクケア加算算定患者数と褥瘡発生数の推移を以下の図 1 および表 1 に示す。

図 1：持ち込み褥瘡と院内発生の推移

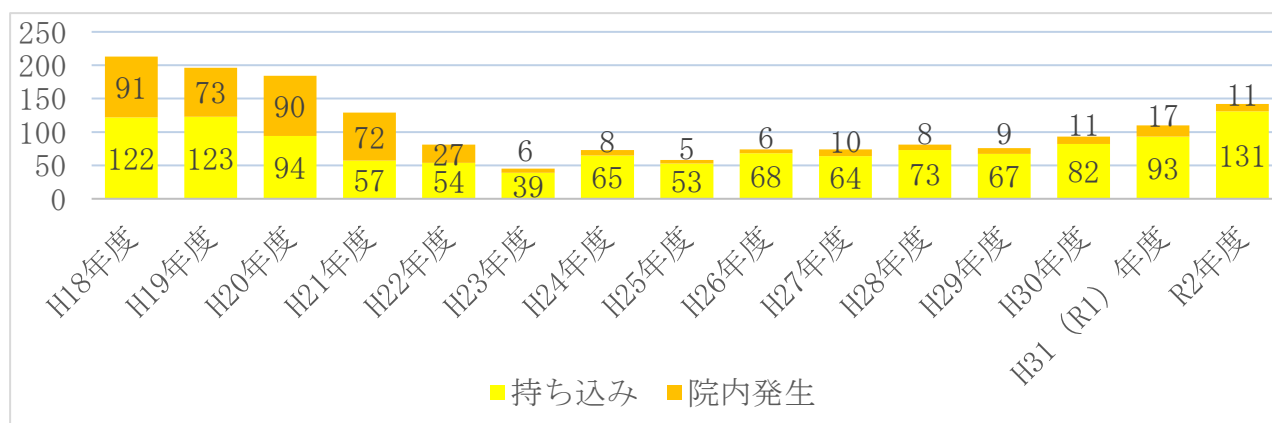


表 1：褥瘡ハイリスクケア加算算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
算定 件数	82	81	102	105	83	119	112	128	103	107	110	129	1,261

2. 排尿ケアチームの活動

- 毎月 2 回排尿ケアチームのメンバー（専任の泌尿器科医師 1 名・専任の看護師 3 名・専任の作業療法士 2 名）によるカンファレンスと病棟ラウンドを実施し、排尿自立に向けた包括的ケアプランの検討や評価を実施。2020 年度から退院後も介入が必要と判断された患者に対して、外来介入も開始となり、退院後の排尿自立に向けたチーム介入も行っている。排尿自立支援加算患者数を表 2 に示す。

表 2：排尿自立支援加算、外来排尿自立指導加算算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介入 人数	15	10	21	21	35	26	31	31	24	24	24	26	268
入院中 算定数	18	15	25	28	50	34	41	42	36	34	26	39	388
外来 算定数	0	2	2	1	1	0	3	1	2	0	0	1	13

3. スキンケアリンクナース会の運営

	主な活動内容	スキンケア通信
4 月	昨年度の褥瘡発生、スキントラブルの発生の要因と予防策 おしり洗浄剤 Neo の導入、使用方法について 日常生活自立度とブレーデンスケールについて	陰部洗浄方法が変わります
5 月	フットケアについて 病棟での褥瘡対策における書類の入力と予防ケア実態調査	フットケアチーム指導します
6 月	院内褥瘡発生の要因と検討（4 件） スキンテア予防について スキンテア予防に対するリーフレット作成	退院後も継続できるスキンテア予防
7 月	失禁関連皮膚炎について	失禁関連皮膚炎（IAD）を予防しよう
8 月	院内マットレス調査 病棟でのスキンテア予防策の実態調査 下肢のポジショニングの使い方	かかと守ってお尻守らず？
9 月	スキンテア予防ケア調査 褥瘡周囲皮膚の洗浄について 褥瘡予防・ケアではいけないこと	知っていそうで意外と知らない 「褥瘡ケアの豆知識」
10 月	9 月の褥瘡発生の要件と検討（1 件） シーツの敷き方と褥瘡発生の関係について	シーツはルーズにケアは丁寧・・・ 「シーツはピンと張らない！」ルーズフィットに！ハンモッグ減少は褥瘡発生のリスクです

11 月	皮膚・排泄ケアに関連する在宅療養指導料の算定について 便秘に対するケアについて	皮膚・排泄ケアに関連した在宅療養指導料の算定
12 月	病棟でのスキンケア予防策の実態調査 皮膚の乾燥と痒みについて 車椅子クッション「アウル REHA ジャスト」導入（20 個） 泌尿器に関する薬剤とその効果 膀胱の廃用性委縮に対する対応	この薬をみたら排尿ケアチームへの介入依頼を
1 月	スキンケア予防ケア調査 1 月の褥瘡発生の要因と検討（2 件） 踵の褥瘡予防について	かかと注意報
2 月	2 月の褥瘡発生の要因と検討（1 件） 持ち込み褥瘡患者の退院調整について 剥離剤払い出し調査 フットケアチームアンケート実施 標準マットレス入れ替え（60 枚）	標準マットレス「エバーリーフ」の特徴と体圧分散マットレスの選択方法
3 月	活動の振り返りと次年度の課題の抽出 抗がん剤が皮膚に与える影響について スキンケアリスクアセスメントツールについて	抗がん剤治療と皮膚障害

4. 院内の看護職を対象とした教育活動

日付	研修内容	対象者
4. 8	皮膚排泄ケア	ラダーⅠ
12. 10	実践に役立つ排尿スキルアップ研修	ラダーⅡ～Ⅲ選択領域
2. 5	ポジショニング	ラダーⅠ

1. 7B 病棟教育活動（7B 病棟スタッフ対象）

日付	内容	講師
8 月	DPC 学習会	伊部恵美子
10. 14	モニター心電図	早崎有紀
10 月	整形外科	角田亘
10 月	糖尿病について	黒江彰
10 月	糖尿病 フットケア	阪江舞
10 月	糖尿病について	阪江舞
11. 11	リハビリテーションについて	北川岳史

2. フィードバックカンファレンス、事例検討会

日付	内容	参加者
7. 10	医療的ケアの多い患者の退院支援	病棟看護師、MSW、訪問看護、在宅診療科 ケアマネジャー
7. 17	心不全患者の退院支援、	病棟看護師、訪問看護、ケアマネジャー
10. 1	がん終末期患者の退院支援	病棟看護師、MSW、訪問看護
10. 2	在宅看取り患者の退院支援	病棟看護師、MSW、訪問看護、ケアマネジャー
10. 29	日中独居の認知症患者の退院支援	病棟看護師、MSW、ケアマネジャー

事例検討会：倫理的支援を中心に 2 事例開催

3. 院外研修・学会参加

日付	内容	場所
4 月	令和 2 年度診療報酬改定（訪問看護）	Web 開催
11. 13、14	在宅看護学会	Web 開催
11 月	日本看護学会学術集会	Web 開催
11. 29	訪問看護認定看護師連絡協議会 「COVID - 19 感染対策について」 「コロナ暦のある利用者への訪問看護の提供」 「新型コロナウイルス感染拡大におけるステーション の運営と地域での取り組み」	Web 開催

4. 所感

2019 年より 2 年間地域包括ケア病棟に勤務し、3 月より訪問看護ステーションに異動となった。2020 年はコロナ感染拡大防止のため、面会や外出泊が制限された。感染状況を確認し、学習会やフィードバックカンファレンスを開催した。自宅退院支援を振り返り、連携することの大切さを学ぶことができた。病棟編成の変更に伴い、学習会を開催しスタッフの看護実践能力向上に努めた。以上の経験をふまえ、訪問看護では、病院との連携を図り療養者の生活を尊重し、療養者本人と家族を支え『やっぱり家に帰って良かった』と感じてもらえる看護を提供していきたいと考える。

〔Ⅰ．学術活動〕

1. 論文投稿

表題	投稿先
急性期病院において危険行動により薬物療法を受ける認知症高齢者のケアに関わる看護師の認識 Perceptions of Nurses Involved in the Care of Elderly People with Dementia Undergoing Drug Therapy Due to Risky Behavior in Acute-care Hospitals	大阪府立大学紀要 27 巻 1 号

2. 学会・研究会・研修参加

日付	学会・研究会・研修名	会場名
6. 7	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
6. 20	日本老年看護学会 第 25 回学術集会	誌上開催
7. 6	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
8. 1	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
9. 5	講演「急性期病院からの退院 訪問看護との連携」	情報センター
9. 18	認知症 Web 研修会 「認知症と家族が地域で安心して暮らし続けるために」	くすのきセンター
9. 27	第 14 回関西 GCNS 事例検討会	Web 開催
10. 4	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
10. 24	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
12. 12	大阪府立大学大学院老年看護学事例検討会	Web 開催
2. 7	大阪府立大学大学院老年看護学ゼミ	Web 開催

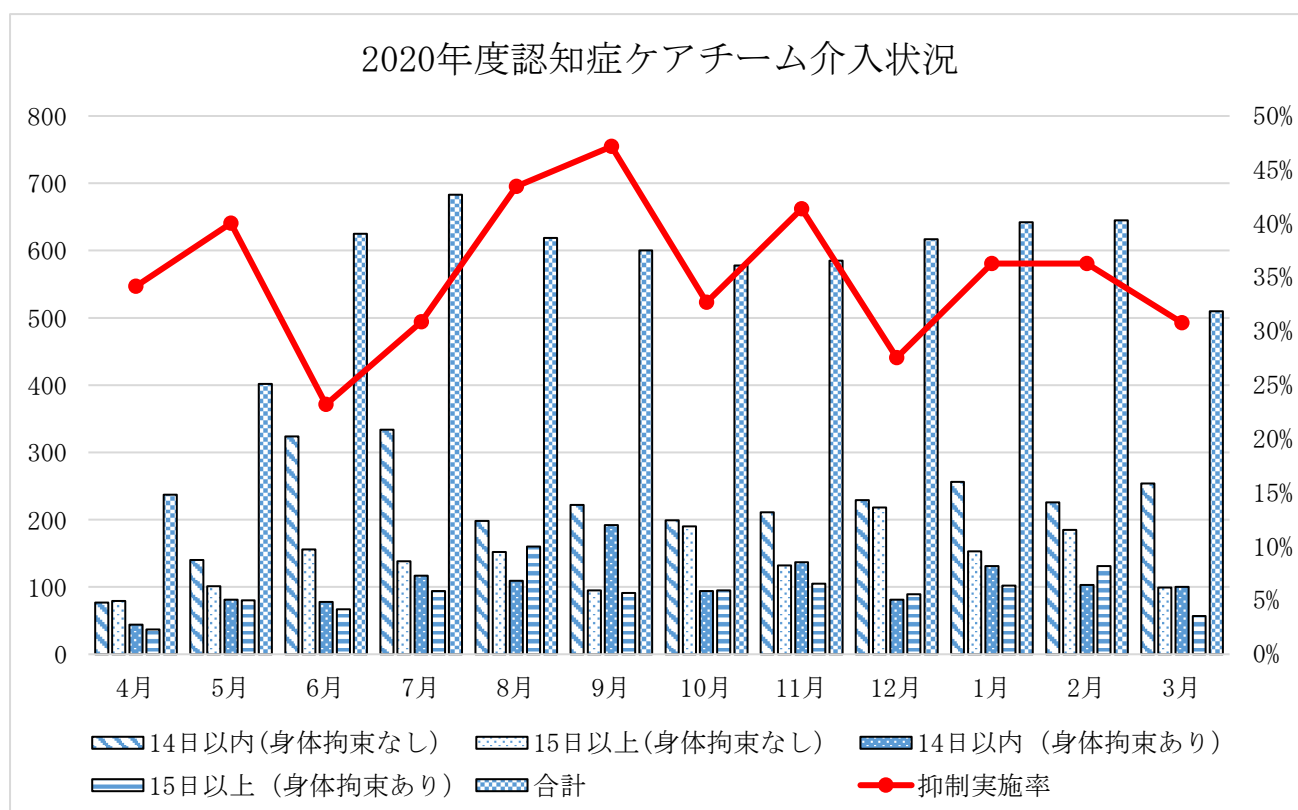
〔Ⅱ．院内諸活動〕

1. 認知症ケアチーム活動

・ 認知症ケアチーム定期会議開催

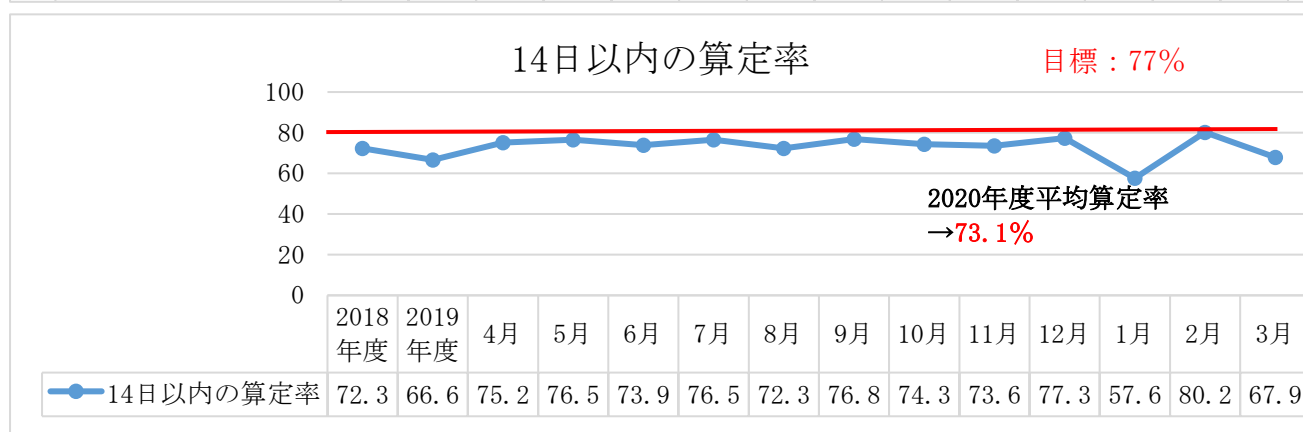
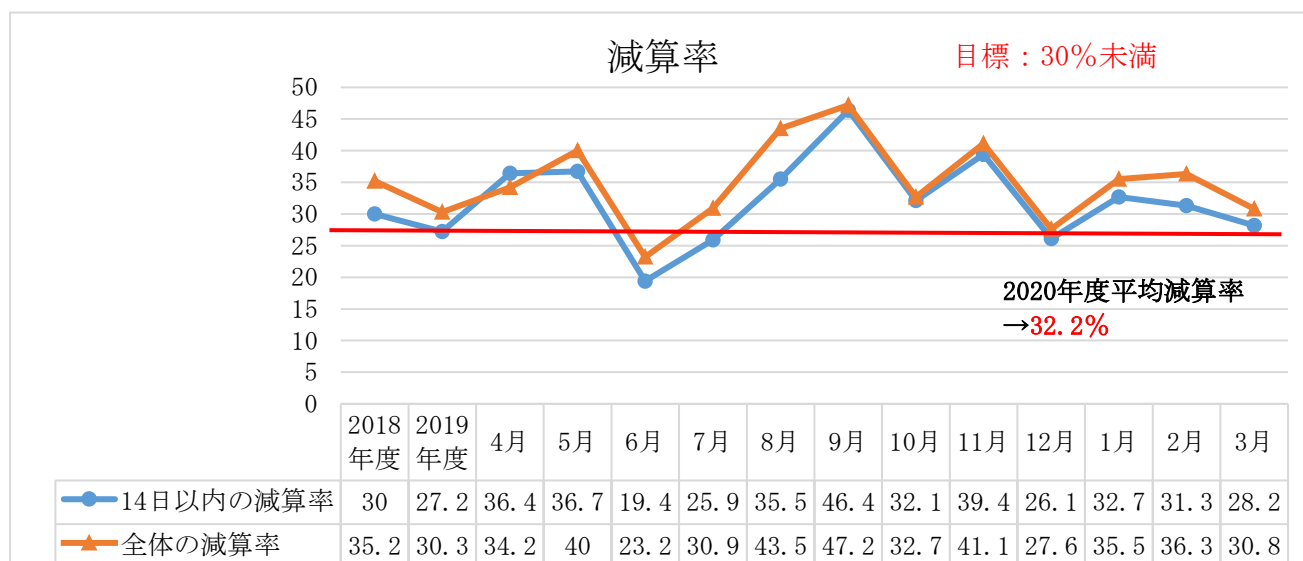
日付	開催場所
第 1 回 6. 18	図書室
第 2 回 9. 23	図書室
第 3 回 12. 18	図書室
第 4 回 3. 19	3-1 会議室

・チームラウンド、病棟カンファレンスの実施



・診療報酬重点5項目 2020 の活動

日付	内容	開催場所
4.30	診療報酬 2020 会議	3-1 会議室
5.20	院長ヒアリング	院長室
5.28	5 月病床運用会議	講堂
7.20	院長ヒアリング	院長室
7.29	7 月病床運用会議	講堂
9.18	院長ヒアリング	院長室
9.25	9 月病床運用会議	講堂
10.20	松阪病院来院プレゼンテーション	3-1 会議室
11.17	院長ヒアリング	院長室
11.26	11 月病床運用会議	講堂
1.25	院長ヒアリング	院長室
1.28	1 月病床運用会議	講堂
3.17	院長ヒアリング	院長室
3.24	3 月病床運用会議	講堂



・認知症ケアチーム研修

日付	内容	開催場所
第5回 1.23 17:30～19:00	第5回認知症ケアチーム研修 特別講演「多職種で取り組む せん妄対策」 講師 岡山大学病院 井上真一郎先生	講堂
第6回 2.12 17:30～18:30	第6回認知症ケアチーム研修 「各年代及び認知症患者の睡眠の特徴」 講師 OT 大塚武司	講堂



・院内デイケアの開催

COVID-19 感染対策のため 4 回のみ開催

週 1 回（水曜日） 15 時～16 時 30 分

1 回につき約 7～8 名の患者が参加

参加中、つなぎ服以外の抑制ははずし、急性期病院であっても患者が自分らしく穏やかに過ごせることを重視し、その環境を提供

看護師、作業療法士、約 3～4 名のボランティアで実施

日付	参加者	内容
7.1 7.8 7.15 7.22 (4 回)	男性：12 名 女性：22 名 合計：34 名	・リアリティオリエンテーション ・歌(季節の歌) ・体操 ・ゲーム ・創作(カレンダー作り、壁画作り、うちわ作り、ぬりえ など) ・ボランティアさんからの出し物



2. 認知症ケアリンクナース会の運営

2019 年度より発足し、14 部署よりリンクナースを選出。COVID-19 感染対策のため 7 月・8 月は中止となったが、学習会、事例検討、各活動の実施、成果発表会等を行った。

日付	内容	開催場所
第 1 回 5.1	目標、年間目標、活動内容、認知症ケア加算の説明	3-1 会議室
第 2 回 6.4	コアメンバーでのみ実施	図書室
第 3 回 7.10	COVID-19 感染対策のため中止	
第 4 回 8.14	COVID-19 感染対策のため中止	
第 5 回 9.17	事例検討会 GW	3-1 会議室
第 6 回 10.1	事例検討会 GW	3-1 会議室
第 7 回 11.5	事例検討会 GW	3-1 会議室
第 8 回 12.3	事例検討会 GW	講堂
第 9 回 1.7	事例検討会 GW、せん妄への対応 CVD 鑑賞 GW	3-1 会議室
第 10 回 2.4	成果発表会	講堂
第 11 回 3.4	成果発表会	講堂

3. 院内研修 講師担当

日付	内容・テーマ	開催場所
4. 2	新入オリエンテーション「専門看護師について」	講堂
6. 29	5A 病棟研修会「せん妄のキホンのキ」	5 階 CF ルーム
8. 17、31	ラダーⅢ研修「看護倫理」 COVID-19 感染対策のため中止	
9. 28	6A 病棟研修会「認知症のキホンのキ」	6 階 CF ルーム
9. 29	4B 病棟研修会①「お薬のはなし」	4 階 CF ルーム
1. 19	4B 病棟研修会②「薬物療法におけるケア 事例検討」	
11. 24	8B 病棟研修会①「せん妄①」	
12. 22	8B 病棟研修会②「せん妄②」	8B ナースステーション
1. 19	8B 病棟研修会③「認知症①」	
11. 25	ラダーⅠ研修「認知症看護」	講堂
11. 27	ラダーⅡ研修「看護倫理」	講堂
1. 6、13、 20、27	看護補助者・MH・クラーク合同研修 「認知症患者へのケア」	講堂
1. 18	ラダーⅠ研修「認知症看護」補講	3-1 会議室

〔所感〕

認知症ケアチームでの活動を中心に院内における認知症ケアの質の向上を目指し活動を行った。今年度は、コロナウィルス感染対策のもと、大幅な計画内容の変更・中止を余儀なくされた。特に院内デイケアでは4回の開催にとどまった。

チームの運用については、チーム医の退職に伴ってチーム存続の危機的状況となり、運用において再構築が求められたが、新たな医師の加入により、現在の事象・課題に対するその要因を総合的・科学的にチームでアセスメントし、根拠ある対応を検討する機会を作ることができた。せん妄に対しても、タイムリーな対応によって睡眠障害や治療の停滞、身体損傷を回避できた事例が増え、病棟からのコンサルテーションも増加した。外部講師を招聘し、せん妄に対する関心や知識も高まったと言える。しかし、薬物療法などの医療的な対応に偏重している傾向があり、ケアチームとしての役割を果たせたとはいえない。個別的な対応が求められるものの、標準的な対応が定着しておらず、早期から看護師自身が評価・判断し予防的に介入できるよう、指標の作成や支援を行っていくことが今後の課題である。また、コロナ禍における様々な制限の中で、入院による認知症患者への影響が顕在化した一年でもあった。リンクナース教育の強化を軸に患者視点での課題の捉え方へシフトし、その課題の解決・改善にむけた具体的なケアが日々展開できるよう、助言・支援していきたい。

さらに、今年度は「診療報酬重点5項目」の1つに選定されたことで、現状を可視化することができ、課題や目標が明瞭となった。目標を達成することはできなかったが、リンクナースの啓発活動もあり算定率は大幅に上昇することができた。来年度は経済的な成果だけでなく、早期の介入が可能となることでケアの質の向上に繋がっていくよう、効果的な指標のもと常に活動を評価しながら実践していきたい。

18. ボランティアの方によるリラクゼーション座

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年度は中止いたしました。

19. 第11回 彦根市立病院ふれあいまつり

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、中止いたしました。

20. 出前講座

令和2年度 1回

6/30、7/22、8/27、9/2 中止

日時	場所	講師	テーマ
8月25日（火）	四番町スクエア2階会議室	瀧口 美津子	店舗における感染症対策

21. 訪問看護ステーション事業

ア. 利用状況

	利用者総数	新規利用者数	延べ訪問回数
医療保険	53 人	24 人	744 回
介護保険	152 人	12 人	3,629 回
合計	205 人	36 人	4,373 回

◇ 上記とは別にグループホームとの医療連携による訪問が 52 回あり。
対象は入所者 9 名。

イ. 年齢男女別利用者数

	0～ 6 歳	7～ 19 歳	20～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90～ 99 歳	100 歳～	合計
男	0	1	3	3	7	21	37	16	1	89
女	0	1	5	2	11	22	48	26	1	116
合計	0	2	8	5	18	43	85	42	2	205

ウ. 疾患別分類

区分	人数
がん	60 人
循環器系疾患	34 人
内分泌系疾患	18 人
難病	11 人
呼吸器系疾患	12 人
認知症	11 人
腎泌尿器系疾患	9 人
整形系疾患	14 人
消化器系疾患	7 人
脳血管系疾患	14 人
皮膚・皮下組織系疾患	6 人
血液・免疫機能系疾患	6 人
先天性奇形	3 人
精神疾患	0 人
合計	205 人

エ. 訪問看護内容（重複看護内容あり）

区分	人数
バイタルサイン・病状観察	205 人
介護者支援	150 人
内服薬管理	137 人
清潔ケア（清拭・入浴介助等）	78 人
排泄ケア	78 人
排便コントロール（摘便・浣腸等）	44 人
膀胱留置カテーテル管理	24 人
その他のドレーン・チューブ管理	7 人
リハビリ	45 人
褥瘡等の慢性創傷のケア	47 人
血糖測定	16 人
インスリン注射管理	16 人
呼吸ケア（吸引・吸入・肺理学療法等）	23 人
ストーマ・腎瘻ケア	13 人
在宅酸素療法管理	16 人
注射（皮下・静脈内）・点滴等	10 人
CV ポート管理	6 人
経験栄養（胃瘻・腸瘻等）管理	4 人
気管切開管理	5 人
人工呼吸器管理	2 人

オ. 看取り件数と場所

病院	27 人
自宅（施設を含む）	23 名

カ. その他

- ◇ 日本看護協会試行事業「訪問看護を提供する医療機関と訪問看護ステーションの連携に関する委託事業」に参加（2020 年 8 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日）

22. 通院治療センター

“通院治療センター”の対象患者は外来で化学療法を受ける患者であり、ベッド数は今年度に1床増床し13床で運用している。主な利用者は悪性腫瘍で薬物療法を受ける患者、関節リウマチや炎症性腸疾患等で生物学的製剤を使用する患者である。

今年度は腫瘍内科が新設され、利用患者数は増加傾向である。治療内容に関しては、悪性腫瘍に対する従来の殺細胞性抗がん薬や分子標的治療薬に加え、新規の作用機序を有する免疫チェックポイント阻害薬が保険承認され適応疾患も拡大傾向であり、治療の高度化・専門化が進んでいる現状である。

1. 延べ件数

総件数 3,099 件

① がん薬物療法 2,973 件

② 生物学的製剤 121 件

③ その他 5 件

【科別件数】

① がん薬物療法

血液内科	消化器外科	乳腺外科	腫瘍内科	消化器内科	泌尿器科	呼吸器内科	呼吸器外科	口腔外科	脳外科	合計
907 (うち皮下注468)	482	402 (うち皮下注56)	329 (うち皮下注11)	202	224	210	141	68	8	2,973

② 生物学的製剤

消化器内科	膠原病内科	整形外科	合計
46	39	36	121

③ その他

循環器科	合計
5	5

2. 実質患者数

実質患者数 344 名

① がん薬物療法 321 名

② 生物学的製剤 23 名

【科別患者数】

① がん薬物療法

血液内科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器内科	腫瘍内科	泌尿器科	消化器内科	呼吸器外科	脳外科	口腔外科	合計
68	59	50	35	32	26	23	19	3	6	321

②生物学的製剤

消化器 内科	整形外科	膠原病 内科	合計
11	7	5	23

3. 疾患（部位）別 実質患者数

①がん薬物療法

疾患 (部位)	乳腺	肺	大腸	悪性 リンパ 腫	胆道 肝臓 膵臓	胃・十二 指腸	多発性 骨髄腫	骨髄 異形成 症候群	腎臓
患者数	56	54	48	34	32	25	19	12	10
疾患 (部位)	尿路 上皮	前立腺	頭頸部	原発 不明	脳腫瘍	その他	合計		
患者数	8	7	5	4	3	4	321		

②生物学的製剤

疾患	関節リウマチ	潰瘍性大腸炎	クローン	合計
患者数	12	9	2	23

4. 今年度の振り返り

当院は湖東医療圏のがん診療連携拠点病院であり、地域のがん診療において果たすべき役割は大きい。エビデンスに基づいたがん診療を提供する役割を担っており、新規殺細胞性抗がん薬・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬など最先端の治療を当センターでは行っている。

治療が高度化・専門化している中で患者数は増加の傾向にあり、安全で最適な治療を提供するためにチーム医療は欠かせないものとなっている。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・検査技師・ソーシャルワーカー等の多職種が連携して取り組み、全患者が専門的な治療を安心して外来で継続できることを目標に、患者の立場に立った真心のこもった治療を提供していきたいと考える。

23. 彦根市立病院新改革プランの推進について

「彦根市立病院新改革プラン」（以下「新改革プラン」という。）は、滋賀県地域医療構想で湖東医療圏に求められる医療の提供体制を確保するため、平成 28 年度～令和 2 年度を計画期間として策定された。その中で当院は、不採算医療および高度・先進医療を担うため、経営の健全化が望まれてきた。

新改革プランの初年度である平成 28 年度の経常損益は▲943 百万円、翌 29 年度は▲413 百万円、翌々年の平成 30 年度には▲53 百万円まで損失が縮小したものの、令和元年度には▲106 百万円に拡大した。

その後、最終年度となる令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行に見舞われ、医業損益だけで見ても▲1,500 百万円と大幅に拡大した。当然、当初の計画より大幅に乖離した状態で、新改革プランの計画期間を終えた。

1. 目標設定と進捗管理

令和 2 年度も各部署で目標を設定し、達成に向けた取組を考え、実施し、院長ヒアリングで進捗管理を行った（表 1）。しかし、折からの新型コロナウイルス感染症のあおりを受け、達成できなかったものが多い。

併せて、診療報酬上の算定もれを防ぐ取組を、職種横断的な少人数のチームで遂行する「落穂ひろい」も、令和元年度から始め、変わらず継続した。

概して、感染症の流行というイレギュラーな事態への対応に明け暮れた一年となり、新改革プランの最終年度としては評価の難しい年となった。

表 1 院長ヒアリング

	日 付	内 容
第 1 回目	2020 2/18、2/20、2/28、3/6、3/10、3/12、3/24、3/31	令和元年度の振り返り 令和 2 年度の目標設定
第 2 回目	2020 10/27、11/2、11/4、11/5、11/9、11/13、11/19、11/20、11/26、11/27	令和 2 年度の目標の中間 評価

2. 経営推進会議

令和元年度に続き、当院の健全な経営推進とともに、職員の経営意識の高揚を図ることを目的として年 2 回、経営推進会議を開催した。

会議では、診療部長および各所属長向けに、新改革プランの実績および次期中期経営計画について報告を行った（表 2）。

表 2 経営推進会議

	日 付	内 容
第1回目	2020 9/23	・平成 28～令和 1 年度の経営実績について ・令和 3 年度からの中期経営計画（案）について
第2回目	2021 3/15	・中期経営計画（案）の取組 10 項目のワークプランについて ・委員会・会議体の再編について ・今年度の決算見込みについて

3. 新改革プラン評価委員会

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、10 月に書面決議にて委員会を開催した。例年どおり資料を作成したのち、院外の委員に郵送し、質問や意見等の返信をいただいた上、院内の委員を中心に回答を作成した。

委員会の資料については、院外の各委員に送付するとともに、当院のホームページにも掲載し、広く閲覧に供している。

24. 彦根みずうみの会活動報告

彦根みずうみの会は平成 26 年 3 月に発足した糖尿病患者の患者会です。
会員数は患者さん 20 名、スタッフ 26 名の計 46 名です。(令和 3 年 3 月現在)

【第 6 回 滋賀県糖尿病ウォークラリー】

開 催 日：令和 2 年 11 月 8 日（日）

開催場所：草津市 矢橋帰帆島公園

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

Ⅲ 医療安全委員会活動

1. 医療安全委員会

安全かつ良質な医療の提供と医療事故防止対策に関する全般的な事項を討議し、各部会や各部門および構成職員に適宜、提言・指示・伝達する。

I. 定例会議

毎月 1 回 第 3 金曜日 17:30～19:00

メンバー

- (1) 院長、副院長
- (2) 診療部門：診療局長、口腔外科部長、薬剤部長、主任部長、放射線科長、臨床検査科長、リハビリテーション科長、栄養科長、臨床工学科長
- (3) 看護部門：看護部長、看護副部長
- (4) 事務局：事務局長、事務局次長、総務課長、医事課長
- (5) 地域連携センター：地域連携センター次長
- (6) その他：委員長が適当と認めるもの

会議内容

- ・ 褥瘡対策部会報告の報告および提言
- ・ リスクマネジメント部会の報告および提言
- ・ 各部門の報告および提言
- ・ 主任部長が主宰する関係会議の報告および提言
- ・ 上記の部会、部門及び会議での提言の検討および指示など
- ・ 医療事故の分析および再発防止策の検討
- ・ その他

令和 2 年度特記事項

- ・ コロナ禍での医療安全セミナー、研修の開催
- ・ 医療機能評価機構の参加継続
- ・ 医療法第 25 条第 1 項による保健所立ち入り調査＝中止

II. 安全管理会議

毎週 1 回 木曜日 11:30～12:30

メンバー：院長

医療安全委員会委員長

看護部副部長、薬剤部長、臨床工学科長

医療安全管理者

会議内容

- ・ インシデント・アクシデント（きらりハット）重要事例の分析および対策の検討
- ・ 安全かつ良質な医療提供について職員などへの指示に関すること
- ・ 安全かつ良質な医療提供の啓発、教育および広報等についての検討
- ・ その他安全かつ良質な医療提供と医療事故防止対策に関すること
- ・ 安全パトロールの実施（平成 30 年度 1 回実施）

Ⅲ. 医療安全推進室会議

毎週 1 回 火曜日 10:00～11:00

メンバー：医療安全推進室室長

医療安全推進室次長

医療安全推進室主幹

医療安全管理者

2. リスクマネジメント部会

I. 定例会議について

毎月1回 第3木曜 17:00～18:30

会議内容

- ・ 医療安全推進室医療安全管理者からの報告
- ・ インシデント・アクシデントレポート集計、分析、提案、検討事項、取り組みなど各部署の活動報告
- ・ インシデント・アクシデント重要事例の原因分析・対策の検討
- ・ 安全対策について検討、周知
- ・ 各種の医療安全情報の共有などその他
- ・ 令和2年度はワーキンググループ活動を中止した

II. 活動実績

1. リスクマネジャーの交代とワーキンググループの編成（令和2年4月）

2. その他安全対策

- ① 他部署に及ぶ問題の対応、対策立案、評価等
- ② 院内 KYT 作成組織図等問題解決について
- ③ きらりハット運用、伝達・入力指導
- ④ 各部署での対応・対策立案

3. 安全管理ニュース発行

- No.1 「令和2年度レポート報告」
No.2 「医療安全川柳入選作品の紹介」
No.3 「DVD 視聴アンケート結果報告」

4. 科長会報告

第4火曜日/月科長会にて事例共有や対応・対策についての報告

5. 日本医療機能評価機構（医療事故情報収集等事業）の医療安全情報の共有

- No.158 徐放性製剤の粉碎投与
No.159 誤った接続による気管・気管切開チューブ挿入中の呼気の妨げ
No.160 2019年に提供した医療安全情報
No.161 パルスオキシメータプローブによる熱傷
No.162 ベッドへの移乗時の転落
No.163 2019年に報告書で取り上げた医療安全情報
No.164 中心静脈カテーテルのガイドワイヤーの残存
No.165 アラートが機能しなかったことによるアレルギーがある薬剤の投与
No.166 患者が同意した術式と異なる手術の実施
No.167 抗リウマチ剤（メトトレキサート）の過剰投与に伴う骨髄抑制（第3報）
No.168 酸素ボンベの開栓の未確認
No.169 持参薬の処方内容を継続する際の処方・指示漏れ

6. 誤接続防止コネクタの導入について（経腸栄養分野）

Ⅲ. 令和2年度 医療安全研修実施

日 付	内 容	参加者
7月～10月	コロナウイルス拡大防止の為、集合研修は中止し 「医療安全とは？SafetyⅡへの変革事例発生前の対応、 対策」DVD視聴を全部署で実施。	794名
9月～10月	COVID-19対応（8A、ER）DVD視聴	650名
1.22 2.8 2.9 2.12 2.17	経腸栄養 ISO 新規格導入説明会 「誤接続防止コネクターへの切り替え」	222名

※令和2年度院内医療安全週間→全体研修は中止

医療安全週間テーマ：自己で取り組む医療安全

医療安全川柳：彦根市立病院川柳

最優秀賞	手洗いと 三密避けて 自己管理 (臨床工学科)
優秀賞	内服と 夫の預金 自己管理 (リハビリテーション科)
医療安全推進室賞	良い医療 患者も私も 自己管理 (血液浄化センター)
医療安全推進室賞	気を抜くな！ 手洗いマスクで 自己管理 (入退院支援室)
入選	立ち止まり 己見直す 自己管理 (6B病棟)
入選	任せずに 確認しよう 自己管理 (8B病棟)
頑張ってる賞	歳はとっても まだまだ現役 自己管理 (滅菌センター)

令和2年度 医療安全に関する研修および院外発表

【院外研修参加】

日 付	内容・テーマ	主催者および開催地	参加者
7.3～3.16 毎月第3月	滋賀県看護協会：医療安全推進委員会	滋賀県 看護協会 草津市	佐伯公亮 (副委員長)

【院内研修参加】

日 付	内容・テーマ	研修名	対象者	担当ほか
4.1	医療安全推進室紹介	新規採用者研修	新採用者	佐伯公亮
4.6	医療安全、院内緊急コール	看護部新人看護師 研修	新採用者 (研修医 6名含む)	佐伯公亮 田中淳子 豊田裕子
4.17	医療安全体制、医療安全の基 本、レポートシステムについて	新入局医師 オリエンテーション	新任医師	石上毅
10.13 16	医療安全とコミュニケー ション、組織分析	クリニカルラダー レベルⅢ	看護師 レベルⅢ	佐伯公亮
10.22	医療安全	クリニカルラダー レベルⅡ	看護師 レベルⅡ	佐伯公亮

1-1. 職種別と表題別

職種 種類		オーダー・指示・情報伝達 (フリー入力)	治療・処置に関する内容	薬剤に関する内容	輸血に関する内容	医療機器に関する内容	手術に関する内容	ドレーンチューブ類の使用 管理に関する内容	針刺し、切創、血液・体液 曝露に関する内容	転倒・転落に関する内容	療養上の世話に関する内容 (転倒・転落以外)	検査に関する内容	その他の場面に関する内容	オカレンス	Good job	Drコール	合計
事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師	0	3	2	0	0	5	7	1	3	0	1	1	4	1	0	0	28
研修医	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
看護師	4	110	97	480	3	33	20	629	20	484	35	48	79	1	110	15	2,168
看護用務員	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	5	0	0	0	10
助産師	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	7
病棟クレーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
MH	0	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	9
薬剤師	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
臨床検査技師	0	3	0	0	4	1	0	0	0	0	0	23	0	0	2	0	33
放射線技師	0	14	1	0	0	0	0	2	0	0	0	14	4	0	9	0	44
栄養士	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
委託栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	20	0	0	0	21
理学療法士	0	9	2	0	0	0	0	5	0	6	3	0	5	0	0	0	30
作業療法士	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	8
言語聴覚士	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
視能訓練士	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
歯科衛生士	0	6	3	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	15
臨床工学技士	0	1	12	4	0	17	0	1	1	0	0	0	4	0	24	0	64
クレーン	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	15
医療秘書	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
入力事務	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
MSW	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	4	169	120	493	7	56	29	643	26	497	44	91	139	2	146	15	2,481

1-2. 発生場所と表題別

発生場所 種類	種類																	合計
	(フリー入力)	オーダー・指示・情報伝達	治療・処置に関する内容	薬剤に関する内容	輸血に関する内容	医療機器に関する内容	手術に関する内容	ドレーンチューブ類の使用管理に関する内容	針刺し、切創、血液・体液曝露に関する内容	転倒・転落に関する内容	療養上の世話に関する内容 (転倒・転落以外)	検査に関する内容	その他の場面にに関する内容	オカレンス	Good job	Drコール		
(記入なし)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	
ICU/CCU	0	3	5	19	0	5	1	36	0	0	1	4	3	0	29	0	106	
4 A病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
4 B病棟	0	4	10	35	0	1	0	63	0	38	2	6	5	0	2	2	168	
5 A病棟	0	6	5	33	0	1	1	107	0	42	3	2	6	0	3	0	209	
5 B病棟	0	6	10	53	0	2	1	134	1	91	8	0	7	0	2	1	316	
6 A病棟	1	13	6	125	1	4	1	89	1	88	12	7	20	0	2	3	373	
6 B病棟	0	15	13	48	0	0	0	92	4	58	1	1	10	0	1	0	243	
7 A病棟	0	4	1	39	2	1	0	68	0	69	1	0	7	0	0	3	195	
7 B病棟	0	6	6	73	0	0	0	12	1	66	10	4	5	0	2	0	185	
8 A病棟	0	0	0	7	0	0	0	12	0	9	0	0	2	0	1	0	31	
8 B病棟	0	1	1	11	0	3	0	9	1	19	3	0	2	0	1	0	51	
外来1ブロック	0	11	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3	0	19	
外来2ブロック	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	
外来3ブロック	0	8	1	0	0	0	0	0	2	2	0	1	3	0	1	0	18	
外来4ブロック	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	11	
外来5ブロック	0	10	3	0	0	0	2	0	0	1	1	3	9	0	2	0	31	
外来6ブロック	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
中央処置室	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	3	0	11	
手術センター	1	3	6	3	0	10	23	5	8	0	0	0	7	0	1	0	67	
血液浄化センター	0	23	39	21	1	26	0	7	5	5	2	8	16	0	68	2	223	
通院治療センター	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
内視鏡センター	0	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5	2	0	6	1	23	
救急センター	0	5	3	3	0	0	0	1	2	1	0	4	5	0	4	3	31	
健診センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
地域連携室	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	
MEセンター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
放射線科	0	11	1	2	0	0	0	5	0	0	0	20	4	1	9	0	53	
臨床検査科	0	2	0	0	3	1	0	0	0	0	0	17	0	0	1	0	24	
採血室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	
薬剤科	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
リハビリテーション室	0	6	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	15	
医療相談室	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
医事課	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
栄養科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	9	
滅菌・洗濯・ベッドセンター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
病院外周	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
在宅	0	1	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
その他発生部署	0	3	1	2	0	0	0	0	0	2	0	1	3	1	2	0	15	
不明	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
合計	4	169	120	493	7	56	29	643	26	497	44	91	139	2	146	15	2,481	

3. 院内救急対応システム（RRS）運営部会活動報告

運営部会メンバー

医師

下司 徹、菱澤 方洋、奥野 雄大、古野 雅恵

看護師

山崎 多恵、鈴木 佳奈、泉野 宏貴、谷口 勝也

医療安全推進室

佐伯 公亮

臨床工学技師

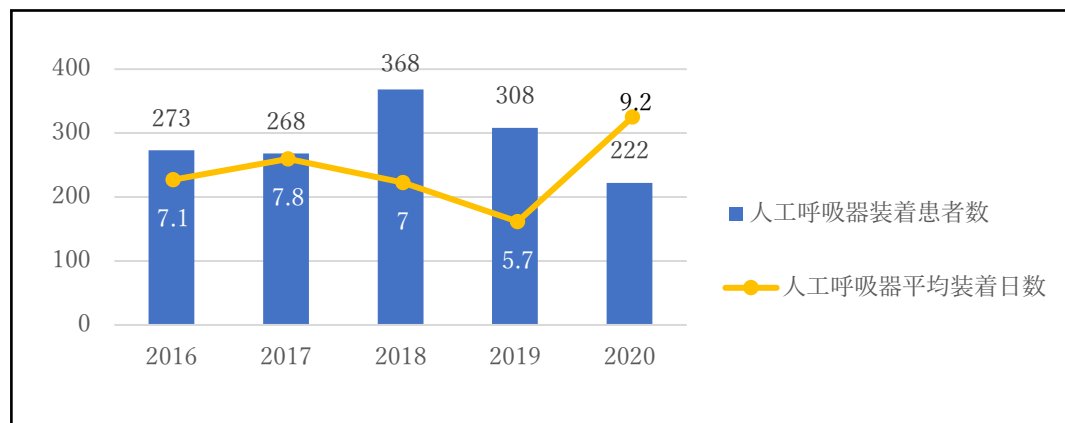
藤野 具之

1. 院内救急対応チーム活動
院内 PHS 要請数 2 件
2. 急変対応についての院内勉強会の開催（回数は通算回数）
なし
3. ドクターコールについての活動
本年度は 21 件の院内ドクターコールが起動された。ドクターコールについての振り返りを合計 21 回開催した。
4. リンクナース会活動
該当なし
5. RRS 広報活動
RRS の周知のための話題を” RRS NEWS” として発行、年 3 回各部署に配布した。
6. 全職員対象 BLS 研修
ガイドライン 2015 に準拠した研修を継続。COVID-19 に対応した BLS 導入は検討中。
7. 院内医療安全週間での発表
今年度は開催されず
8. 学会発表
なし
9. レジストリ登録
多施設共同研究：RRS オンラインレジストリと院内心停止(J-RESORT)レジストリに登録中

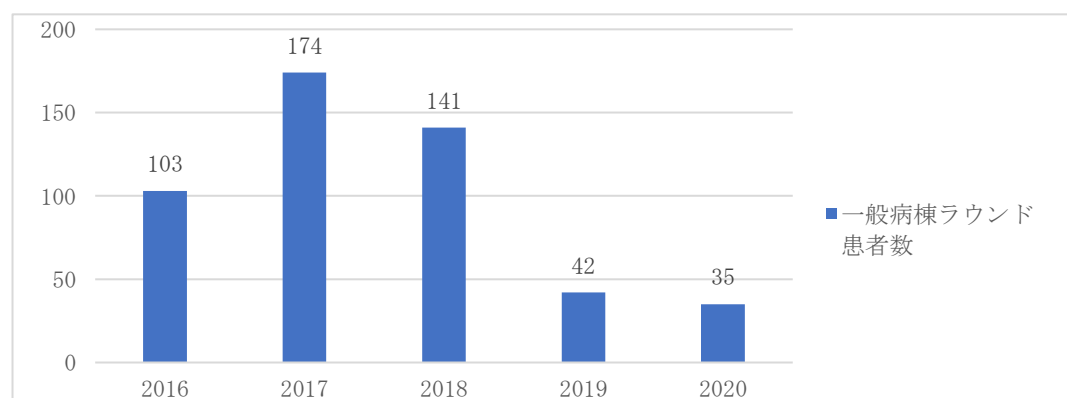
4. RST 呼吸ケアサポートチーム活動報告

1. 院内活動

1) 人工呼吸器装着患者数・平均装着日数の推移



2) 一般病棟ラウンド患者数の推移（毎月奇数週水曜 10 時 30 分～一般病棟をラウンド）



2. 院内看護手順マニュアル

月日	担当者	内容
6 月	杉本 恵美	閉鎖式気管内吸引 改訂
8 月	宮氏 美佳	在宅人工呼吸器使用マニュアル 作成
10 月	宮氏 美佳	気管切開 改訂

3. 通信発行

発行月	担当者	テーマ
4 月	宮氏 美佳	RST 紹介
6 月	吉田 勝己	早期離床のすすめ
8 月	草野 淳	新しい人工呼吸器の紹介—VOCS0N、Savina300—
10 月	矢野 靖子	関節拘縮運動（コロナ病棟用）
11 月	木村 章子	栄養管理のすすめ—呼吸器疾患と栄養について—
1 月	渡辺 真央	口腔外科の活動報告—口腔ケア—
3 月	宮氏 美佳	血液ガスの見方

5. 院内感染対策委員会

1) 会議について

会議名	開催日時	開催回数	会議内容
院内感染対策委員会(ICC)	第4水曜日 17:30～	毎月1回 4月～3月までの 12回/年	・耐性菌サーベイランスのフィードバック MRSA 院内感染率 発生率 陽性率 その他の耐性菌検出数、種類 ・抗菌薬サーベイランスのフィードバック ・手指消毒薬使用量サーベイランスのフィードバック ・CLABSI(中心静脈カテーテル関連血流感染)サーベイランス/末梢静脈カテーテル関連 BSI サーベイランス/透析関連感染サーベイランス/SSI(手術部位感染)サーベイランス/ VAP(人工呼吸器関連感染肺炎)サーベイランス/ICU 部門 CV カテーテル 尿道カテーテル サーベイランスのフィードバック ・針刺し・切創による血液・体液曝露報告 ・ICT/AST ラウンド等活動報告 ・感染対策加算合同カンファレンス、相互評価報告 ・感染管理院内教育報告 ・職業感染予防策報告 ・院内・院外活動の報告 ・院内感染対策リンクナース会の報告 ・感染対策に関する臨時協議事項 ・感染対策の立案
院内感染対策チーム(ICT)	・ICC と同時開催 ・毎週水曜日ラウンド時に開催 ・院内感染発生時等の臨時会議開催	毎月1回4月～3月までの12回/年 および毎週水曜日ラウンド時に開催	・ICT ラウンドの結果報告・問題点 ・院内感染発生時等の臨時会議の召集、早期対応 ・ICT ラウンドを定期的に開催 - 耐性菌ラウンド/環境ラウンドの実施
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)	・第3週水曜日にAST 会議開催 ・H28年1月～毎週水曜日にAST ラウンドを実施	H29年12月～AST 会議を開催。 1回/月	・AST ラウンドの結果報告 ・AST 加算取得のための会議開催 ・AST 活動の調整 ・対象抗菌薬長期投与患者・血液培養陽性患者等のラウンドの実施・コンサルテーション他
院内感染対策リンクナース会	第2水曜日 15:00～17:00	毎月1回 4月～3月まで 12回/年	・CNIC からの ICC/ICT の報告 ・ラウンド報告 ・各種サーベイランスのフィードバック ・リンクナースの教育(会議内の学習会開催) ・リンクナースによる学習会の開催(部署内) ・院内巡視活動の報告 ・広報活動 ・問題点の把握・改善

2)活動実績

1	麻しん等4種のウイルス疾患及びB型肝炎の抗体検査とワクチン接種歴について 「抗体価検査結果/ワクチン接種歴記録」と「感染症免疫記録カード」の配布	4月
2	感染対策加算連携病院との合同カンファレンス・相互評価の調整・年間計画作成	4月
3	抗体価検査(4種のウイルス性疾患とB肝)とワクチン接種プログラム開始	4月
4	新型コロナウイルス感染症の入院患者受け入れ開始	4月
5	「抗体価検査結果/ワクチン接種歴記録」と「感染症免疫記録カード」を看護部門・薬剤部・診療局(医療技術部門)・新採用者・医局・医事課へ配布完了 抗体価検査は5/18～5/20で実施	5月
6	2020年度第1回院内感染対策セミナー(医療安全研修との合同開催) 2020.9.28～2020.10.25の期間にDVDを回覧 「彦根市立病院 COVID-19 対応」 ※演者:8A病棟と救急センターの職員	9月～ 10月
7	院内感染予防対策マニュアル(別冊)「16.気管チューブ・内筒カニューラ管理方法」を改訂	9月
8	院内感染予防対策マニュアル「VII.保健所への届出等特別な対応が必要な感染症について」 結核患者発生時の各種届出様式を追加	10月
9	N95マスクフィッティングテストの新規購入を依頼	11月
10	2020年度第1回抗菌薬適正使用支援セミナー 2020.11.2～2020.12.25の期間にDVDを回覧 「薬剤耐性(AMR)について」 ※2019年度に開催したセミナーの内容を再周知	11月～ 12月
11	新型コロナウイルス感染症と診断された職員の発生に関連する接触者検診の実施 (歯科口腔外科)	12月
12	全館のインフルエンザ対応 アウトブレイクや病棟閉鎖などの事態にはならずコントロール出来ていた状況	12月～ 3月
13	新型コロナウイルス感染症と診断された職員の発生に関連する接触者検診の実施 (5A病棟・6B病棟・栄養科・医事課)	1月
14	院内感染予防対策マニュアル「VIII.職業感染対策・血液・体液曝露時の対応(針刺し事故)」 2.汚染事故発生フローチャートを改訂	2月
15	ペダル式医療廃棄物容器ホルダーの追加購入を依頼	3月
16	2020年度第2回院内感染対策・抗菌薬適正使用支援研修 2021.3.30～2021.4.30の期間に資料を閲覧 「新型コロナウイルス感染症についてのQ&A」	3月～ (4月)
17	新型コロナウイルス感染症に関する研修会(環境整備の重要性・個人防護具の着脱訓練等)	随時
18	新型コロナウイルス感染症対応 アウトブレイクや病棟閉鎖などの事態にはならず、コントロール出来ていた状況	通年
19	1-1 連携ラウンドチェック表による感染対策加算 1-1 連携相互評価実施	年2回
20	加算 1-2 連携合同カンファレンスを年4回開催	年4回
21	結核接触者検診	随時
22	CLABSI サーベイランス	毎月
23	耐性菌サーベイランス	毎月
24	抗菌薬サーベイランス	毎月
25	針刺しインシデント集計	毎月
26	SSI サーベイランス	毎月
27	手指消毒薬サーベイランス	毎月
28	透析関連感染サーベイランス	毎月
29	VAP サーベイランス	毎月
30	院内感染発生時の対応	随時
31	ICT ラウンド/AST ラウンド	毎週

32	ICT による環境ラウンド	月 2 回
33	ICT による広報活動	随時
34	AST による広報活動	随時
35	リンクナース会による調査・研究	随時
36	リンクナース会による各部署での手洗いの検証	随時
37	リンクナース会による広報活動	随時
38	リンクナース会による学習会（隔月開催）	年 6 回
39	リンクナース会による環境ラウンド	年 2 回

合同カンファレンス 実際開催した会議 日程と参加病院

	日時	主催	開催場所	参加病院		参加施設数	参加人数
				加算 1 施設	加算 2 施設		
第 1 回	7. 17	彦根市立病院 豊郷病院	彦根市保健・医療複合施設 「くすのきセンター」	彦根市立病院 豊郷病院	友仁山崎病院 彦根中央病院	4	19
第 2 回	9. 18	彦根市立病院	彦根市保健・医療複合施設 「くすのきセンター」	彦根市立病院	友仁山崎病院	2	10
第 3 回	12. 4	彦根市立病院	彦根市保健・医療複合施設 「くすのきセンター」	彦根市立病院	彦根中央病院	2	10
第 4 回	3. 12	豊郷病院 彦根市立病院	公益財団法人豊郷病院第一会議室	彦根市立病院 豊郷病院	友仁山崎病院 彦根中央病院	4	16

加算 1 の施設同士の施設に赴いての相互評価

2020. 7. 17	公益財団法人豊郷病院が当院に赴いて評価
2021. 3. 16	当院が近江八幡市立総合医療センターに赴いて評価

当院実施中のサーベイランス

	サーベイランス名	対象	対象部署	データ収集担当者	分子判定	集計担当者 (入力：安在)
1)	耐性菌 (JANIS)	MRSA や ESBL 等	全館	馬場／福田／谷	馬場	馬場／福田
2)	抗菌薬	抗 MRSA 薬・カルバペネム系薬等	全館	米谷／松本	—	米谷
3)	CLABSI	CV カテーテル	全館	リンクナース	吉川／谷	谷
4)	末梢ライン関連 BSI (研究会)	末梢ライン	8A 病棟	谷	谷／多湖	多湖
5)	SSI (JHAIS/JANIS)	手術部位感染	OR/6B	上林／多湖	龍見／多湖	多湖
6)	透析関連感染 (研究会)	シャントやカテーテル等	血浄	牧野	牧野／多湖	多湖
7)	手指消毒薬	サニサーラ W 使用量	全館	多湖	—	多湖／谷
8)	針刺し・切創による血液体液曝露	針刺しインシデント等	全館	谷／安在	—	谷/小菅

3) ICT ニュース・AST ニュース・院内感染対策リンクナース会ニュース(2020 年度発行)

番号	テーマ	発行日
No. 62	通勤時にも、マスクを着用しましょう！	2020. 5. 27
No. 63	こんなときは、仕事を休みましょう！	2020. 11. 6

※AST ニュース・院内感染対策リンクナース会ニュースは該当なし

4) 院外活動・研修参加等

※該当なし

6. 褥瘡・創傷対策部会

I. 学術活動

1. 学会発表

発表者名	演題	学会名	会場	日付
北川智美	シンポジウム 特定看護師と NPWT	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11
北川智美	教育公演 スキンケアと臨床	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11
西村紀子	がん終末期における ポリウレタンフォーム ドレッシング貼付による 褥瘡予防効果の検討	第 22 回日本褥瘡 学会学術集会	神戸コンベン ションセンター	9. 11

2. 誌上発表

①北川智美：調剤と情報

「薬剤師はどう向き合う？患者背景から考える高齢者の皮膚管理」在宅でのケア 医療機器を用いている場合のスキンケア

2020. 26 巻 6 号 P1341-5212 2020 年 5 月発行 じほう出版社

II. 院内諸活動

1. 褥瘡管理

- 専従の褥瘡管理者による褥瘡発生のリスクが高い患者に対する予防ケアを推進するための回診を実施。

褥瘡ハイリスクケア加算算定患者数と褥瘡発生数の推移を以下の表 1 および図 1 に示す。

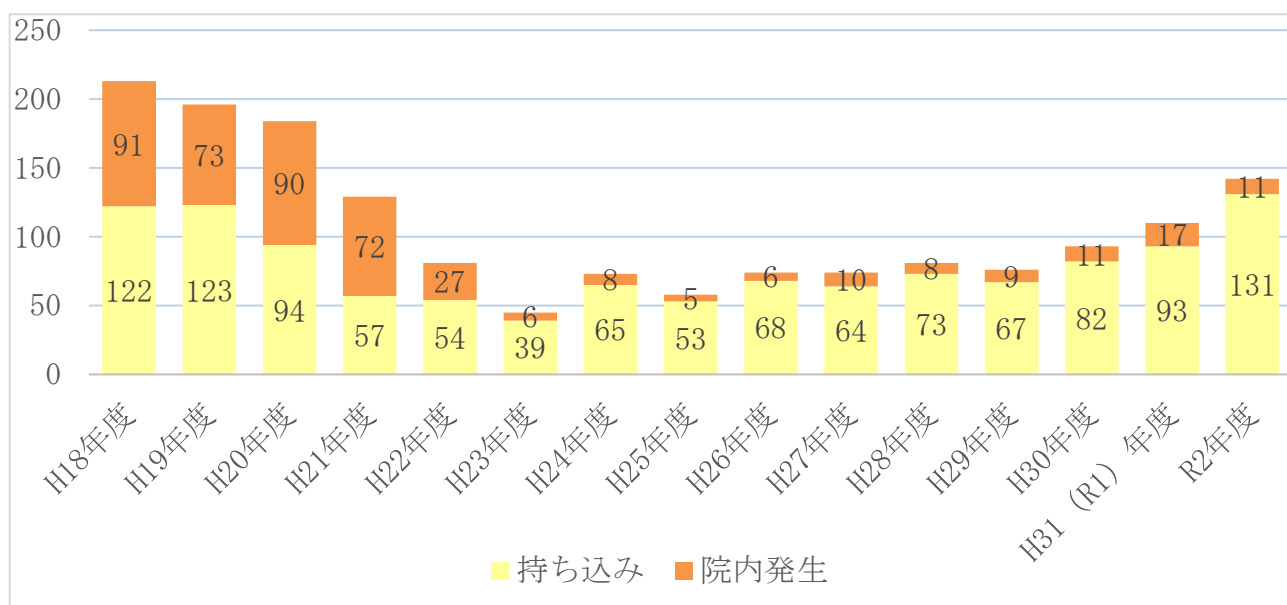


図 1：持ち込み褥瘡と院内発生の推移

表 1：褥瘡ハイリスクケア加算算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
算定 件数	82	81	102	105	83	119	112	128	103	107	110	129	1,261

- 既に褥瘡を有する患者に対しては、褥瘡対策チーム（専任医師・専任看護師・専従の褥瘡管理者）と褥瘡・創傷対策部会のメンバー（管理栄養士・理学療法士・薬剤師）による褥瘡回診を毎週 1 回実施し、局所管理方法だけでなく、排泄ケアも含めたケア方法の検討、栄養状態を始めとした全身状態の把握と調整を行っている。
褥瘡回診対象患者数を以下の表 2 に示す。

表 2：褥瘡回診対象患者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規 対象 患者	14	8	13	18	8	9	13	13	15	10	7	15	143
のべ 人数	47	30	33	55	46	43	43	46	55	41	17	39	495

2. 褥瘡専門外来における活動

- 毎週水曜日の午後に完全予約制にて、褥瘡を持ちながらも在宅や施設等での生活を継続することができるよう形成外科医師と皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に、必要時には褥瘡・創傷対策部会のメンバー（管理栄養士・理学療法士・薬剤師）が介入し、局所管理方法だけでなく、排泄ケアも含めたケア方法の検討、栄養状態を始めとした全身状態の把握や調整を行い、褥瘡管理方法の検討を行っている。
褥瘡専門外来受診患者数を以下の表 3 に示す。

表 3：褥瘡専門外来受診患者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規 対象 患者	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	2	1	9
のべ 人数	9	5	7	12	8	4	5	5	7	3	5	9	79

3. 委員会の開催

- 上記の活動を行っていく上で必要な情報および問題点の共有を行うために、月に 1 回メンバーによる褥瘡・創傷対策委員会を開催。各メンバーからの報告や症例カンファレンス、トピックプレゼンテーションを行っている。

7. 医療機器部会活動

1 業務内容

- (1) 医療機器の安全使用を確保するための責任者の設置
- (2) 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修
- (3) 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検
- (4) 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他医療機器の安全確保を目的とした改善のための方策

2 部会員

医師 4 名（泌尿器科 1 名、歯科口腔外科 1 名、麻酔科 1 名、内科 1 名）、
看護師 8 名、臨床工学技士 3 名、薬剤師 1 名、放射線技師 1 名、臨床検査技師 1 名、
理学療法士 1 名、事務官 1 名

3 医療機器部会部会活動

令和 2 年 4 月～ 6 月 各部門定期報告書提出
令和 2 年 7 月～ 9 月 各部門定期報告書提出
令和 2 年 10 月～12 月 各部門定期報告書提出
令和 3 年 1 月～ 3 月 各部門定期報告書提出
医療機器研修会報告書 随時提出
医療安全性情報収集 医療安全推進室への報告
医療安全会議への重要案件報告 毎月 1 回

Ⅳ 医師・歯科医師臨床研修概要

1. 医師臨床研修病院指定

管理型	彦根市立病院群 平成 15 年 10 月 30 日指定 彦根市立病院臨床研修プログラム
協力型	京都大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 滋賀医科大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 福井大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 岐阜大学医学部附属病院協力型臨床研修病院

2. 令和 2 年度（2020 年度）研修者

彦根市立病院臨床研修プログラム 3 名

1 年目から 2 年目プログラム

《1 年目》

4 月～9 月	10 月～11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科 (消化器内科、循環器内科のほか、血液内科、糖尿病代謝内科、呼吸器内科、脳神経内科のうち 2 科)	救急 (救急センター)	外科	外科（選択） (外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科のうち 1 科)	小児科 ※一般外来を含む	産婦人科

《2 年目》

4 月～9 月	10 月	11 月	12 月	1 月～3 月
希望選択科 ※将来進みたい診療科から選択	地域医療 ※一般外来・在宅医療を含む	精神科 (院外)	救急 (ICU)	希望選択科 ※将来進みたい診療科から選択

3. 歯科医師臨床研修病院指定

単独型 彦根市立病院群 平成 25 年 11 月 25 日指定
彦根市立病院歯科医師臨床研修プログラム

4. 令和 2 年度（2020 年度）研修者

なし

歯科口腔外科で 1 年間の研修を行う。ただし、医科と合同のオリエンテーションがある。また、希望により研修協力施設で 1 ヶ月以内の研修を受けることができる。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
午前	モーニング カンファレンス	脳外科合同 回診	病棟回診		病棟回診
	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助
午後	外来手術見学 ・介助 専門外来見学	外来手術 見学・介助	外来手術 訪問診療	外来手術	地域診療研修 専門外来見学
		カンファレンス		手術見学・介助	チーム医療に 関する勉強会

〈臨床研修医の感想〉

臨床研修を終えて

初期研修医 力武里菜

2年間、彦根市立病院にて臨床研修をさせていただきました、力武里菜です。

働き始めた頃はわからないことだらけで、毎日指導医の先生の後をついて行くだけで精一杯だったことが思い出されます。そんな中、どの診療科においても先生方や看護師さん達が熱心に指導してくださり、非常に恵まれた環境で勉強させていただいたと感じています。また、研修医の先輩、同期、後輩にも恵まれ有意義な2年間を過ごすことができました。

4月から皮膚科医として新たなスタートを切ることになりました。まだまだ不安なことも多いですが、彦根市立病院で経験したことを生かしていけたらと思っています。初心を忘れず多くのことを学び、またいつの日か彦根市立病院に帰って来た際には成長した姿をお見せできればと思います。2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

臨床研修を終えて

初期研修医 野村得成

彦根市立病院で初期臨床研修医として2年間お世話になりました野村得成と申します。

研修が始まった当初は社会人としても初めてであり、ありとあらゆることが初めてづくしで緊張していたことを今でも鮮明に覚えております。業務にいたってはカルテの使い方一つとってもやっとなで、先生方のように仕事ができるようになるのだろうかという不安にも満ちておりました。しかしながら、先生方や病院内のスタッフの方々の御指導のおかげもあり徐々に仕事にも慣れ、気づけば早くも2年が過ぎておりました。

3年目からは脳神経外科を専攻することとなり、母校の大学病院にて勤務することになりました。これからは「臨床研修医」としてではなく、一人の「脳神経外科医」として歩むことになるため、その責任感の重大さと新たな緊張感と不安に圧倒されそうになりますが、彦根市立病院で学んだ医師としての基礎と医師になった初心を忘れず、修練を積んでいきたいと思っています。

彦根は私の故郷でもあり、しばらくの間離れることになるため、寂しさを覚えますが、脳神経外科医として、そして一人の医師として成長してまた地元へ戻って医療に貢献できれば幸いと存じます。お世話になった先生方、スタッフの皆様、2年間本当にお世話になりました。

臨床研修医を終えて
初期研修医 井上拓也

2年間大変有意義な初期研修を送らせて頂きました。この初期研修を通して学んだことは、医師として知識・技術を磨くことは当然であります。それに加え人間性が重要であるということです。医師という職業に就いて改めて思うことは、医師の仕事は膨大で多岐に渡るということです。ですが、それを理由に患者さんやご家族、他のスタッフへの対応がないがしろになってはいけません。円滑でより良い医療を提供するためには医師の人間性は大切だと感じます。また、教育という面においても、指導医・上級医の人間性が優れていれば、後輩医師が成長しやすいと感じてきました。優れた人間性を持つ医師のチームが増えれば、それが良い病院作りの土台になると考えています。人間性を磨くというのは簡単なことではありませんが、ある先生が仰っていた「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざを座右の銘の一つにして精進していきたいと思います。

最後になりましたが、彦根市立病院で働くことができ、本当に幸せでした。病院の皆さんだけでなく、関わった患者さん皆さんにも育てていただいたと感じています。

将来は循環器内科を専攻しながら、地域医療・在宅医療にも携わっていきたいと考えております。そして、また彦根市立病院で働けることを願っております。2年間本当にありがとうございました。

V 実習等受け入れ状況

科 目 等	日 程	所 属	人数(件数)
医局			
卒前臨床実習	中 止	関西医科大学	0 人
臨床実習	中 止	京都大学	0 人
学外臨床実習	中 止	滋賀医科大学	0 人
卒前臨床医学研修	中 止	福井大学	0 人

看護部

小児看護学実習	2020.10.1 ~ 2020.11.6	滋賀県立看護専門学校	17 人
基礎看護学実習Ⅰ	2020.9.8 ~ 2020.9.17	聖泉大学	29 人
成人クロニックケア実習	2020.9.25 ~ 2020.9.30	滋賀県立大学	14 人
エンドオブライフケア実習	2020.10.6 ~ 2020.11.15	滋賀県立大学	6 人
エンドオブライフケア実習	2020.11.4 ~ 2020.11.12	滋賀県立大学	8 人
エンドオブライフケア実習	2020.11.24 ~ 2020.12.4	滋賀県立大学	8 人
成人看護学実習（慢性期）	2020.11.5 ~ 2020.11.18	聖泉大学	20 人
小児看護学実習	2020.10.14 ~ 2020.10.21	聖泉大学	4 人
リスタートナースサポート研修	2020.10.12 ~ 2020.10.13	滋賀県看護協会	2 人
成人クリティカルケア実習	2020.9.23 ~ 2020.10.29	滋賀県立大学	55 人
成人看護学実習（慢性期）	2020.10.8 ~ 2020.10.21	聖泉大学	20 人
小児看護学実習	2020.11.11 ~ 2020.11.18	聖泉大学	5 人
エンドオブライフケア実習	2021.1.18 ~ 2021.1.29	滋賀県立大学	8 人
小児看護学実習	2020.11.25 ~ 2020.12.2	聖泉大学	5 人
成人看護学実習（急性期）	2020.11.9 ~ 2020.11.19	聖泉大学	5 人
成人看護学実習（急性期）	2020.12.3 ~ 2020.12.16	聖泉大学	10 人
小児看護学実習	2020.12.9 ~ 2020.12.16	聖泉大学	5 人
成人クロニックケア実習	2021.1.4 ~ 2021.1.15	滋賀県立大学	17 人
成人看護学実習	2020.12.7 ~ 2020.12.17	聖泉大学	10 人
成人看護学実習	2021.1.12 ~ 2021.1.21	聖泉大学	10 人
成人クロニックケア実習	2021.2.1 ~ 2021.2.12	滋賀県立大学	12 人
成人看護学実習（慢性期）	2021.1.28 ~ 2021.2.9	聖泉大学	5 人
エンドオブライフケア実習	2021.2.15 ~ 2021.2.26	滋賀県立大学	8 人
成人クリティカルケア実習	2021.2.8 ~ 2021.2.19	滋賀県立大学	8 人
基礎看護学実習Ⅱ	2021.2.16 ~ 2021.2.19	聖泉大学	12 人
基礎看護学実習Ⅱ	2021.2.22 ~ 2021.2.26	聖泉大学	11 人

薬剤部

薬学実務実習	2021.1.12 ~ 2021.3.28	京都薬科大学	3 人
薬学実務実習	2020.11.13 ~ 2020.11.25	摂南大学	8 人

リハビリテーション科

理学療法総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	中 止	佛教大学	0 人
理学療法臨床評価実習	中 止	佛教大学	0 人
理学療法臨床実習Ⅰ	中 止	滋賀医療技術専門学校	0 人
理学療法臨床実習Ⅱ	2020.9.7 ~ 2020.10.4	滋賀医療技術専門学校	3 人

臨床検査科

臨床検査実習	中 止	長浜バイオ大学	0 人
臨床検査実習	中 止	岐阜医療科学大学	0 人
臨床検査実習	2021.1.19 ~ 2021.3.12	京都橘大学	2 人

歯科口腔外科

歯科衛生学科臨床実習	2020.8.17 ~ 2020.9.1	大垣女子短期大学	7 人
------------	----------------------	----------	-----

栄養科

管理栄養士課程臨地実習	2021.3.1 ~ 2021.3.12	龍谷大学	2 人
-------------	----------------------	------	-----

救急センター

救急救命士業務に係る病院実習（上半期）	2020.4.1 ~ 2020.9.30	彦根市消防本部	212 件
就業前教育病院実習	2020.10.5 ~ 2021.2.8	彦根市消防本部	3 人
救急救命士業務に係る病院実習（下半期）	2020.10.1 ~ 2021.3.31	彦根市消防本部	416 件

VI こころと体の放送室

2009年6月3日から彦根市立病院の紹介や医療情報をわかりやすく解説するラジオ番組をエフエムひこね（78.2MHz エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 彦根市立花町）で放送しています。

医師・看護師・メディカルスタッフなどが出演しています。

放送スケジュールは1回約5分間で月曜日から水曜日、1日7回（以下の時間）に同じ内容で放送しています。

午前6時40分～、午前7時50分～、午前9時40分～、午前11時50分～、

午後1時30分～、午後4時40分～、午後7時50分～

52週分				
放送年月日	曜日	回数	テーマ	出演者
2020年4月1日	水	2058回	看護部全般の業務の取組について	看護部副部長 上村看護師
2020年4月6日	月	2059回	腫瘍内科のご紹介	腫瘍内科 竹治医師
2020年4月7日	火	2060回	腫瘍内科の役割について①	腫瘍内科 竹治医師
2020年4月8日	水	2061回	腫瘍内科の役割について②	腫瘍内科 竹治医師
2020年4月13日	月	2062回	医療安全のイメージ	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月14日	火	2063回	医療安全推進室の業務	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月15日	水	2064回	患者さんも参加!医療安全～転倒・転落防止～	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月20日	月	2065回	せん妄について	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月21日	火	2066回	患者さんも参加!医療安全～患者誤認～	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月22日	水	2067回	医療安全のまとめ	医療安全推進室 佐伯看護師
2020年4月27日	月	2068回	ピアサポーターって何?	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年4月28日	火	2069回	ピアサポーターになったきっかけとサロンで感じていること	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年4月29日	水	2070回	サロンでよくでる話題① サロンのルールと身体の痛み	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年5月4日	月	2071回	サロンでよくでる話題② 精神的な痛みと家族の思い	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年5月5日	火	2072回	サロンでよくでる話題③ 社会的な痛みとサロンの役割	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年5月6日	水	2073回	今、あなたへ伝えたい言葉	がん患者サロン「りらく彦根」
2020年5月11日	月	2074回	プロフィール紹介、経験した診療科など	研修医 井上医師
2020年5月12日	火	2075回	進みたい診療科、目標など	研修医 井上医師
2020年5月13日	水	2076回	プロフィール紹介、経験した診療科など	研修医 野村医師
2020年5月18日	月	2077回	進みたい診療科、目標など	研修医 野村医師
2020年5月19日	火	2078回	プロフィール紹介、経験した診療科など	研修医 力武医師
2020年5月20日	水	2079回	進みたい診療科、目標など	研修医 力武医師
2020年5月25日	月	2080回	後発医薬品選定基準	薬剤部 河崎薬剤師
2020年5月26日	火	2081回	がん免疫療法について	薬剤部 近藤薬剤師
2020年5月27日	水	2082回	新型コロナウイルス感染症の治療薬について	薬剤部部長 大野薬剤師
2020年6月1日	月	2083回	新型コロナウイルス感染症に対する栄養について	栄養科科長 小野管理栄養士
2020年6月2日	火	2084回	新型コロナウイルス感染症に対する栄養について ～子供編～	栄養科 木村管理栄養士
2020年6月3日	水	2085回	新型コロナウイルス感染症に対する栄養について ～高齢者編～	栄養科 振角管理栄養士
2020年6月8日	月	2086回	夏の食べ物の落とし穴 ～あなたのその食べ方大丈夫?～	栄養科 福永管理栄養士
2020年6月9日	火	2087回	夏の脱水予防	栄養科科長補佐 大橋管理栄養士
2020年6月10日	水	2088回	食中毒予防	栄養科 田村管理栄養士
2020年6月15日	月	2089回	かかりつけ医との連携	地域医療連携室 永山看護師
2020年6月16日	火	2090回	これまでから当院へ通院中の皆様へ	地域医療連携室 永山看護師
2020年6月17日	水	2091回	お熱があるときの医療機関へのかかり方	地域連携センター 小川看護師
2020年6月22日	月	2092回	ご来院いただいた患者さんへのご案内について	地域連携センター 小川看護師
2020年6月23日	火	2093回	彦根市立病院におけるコロナ患者さんの受け入れ	地域連携センター センター長北川看護師
2020年6月24日	水	2094回	市民の皆様へお願い	地域連携センター センター長北川看護師
2020年6月29日	月	2095回	皮膚・排泄ケア認定看護師のお仕事	皮膚・排泄ケア認定看護師木俣看護師
2020年6月30日	火	2096回	皮膚・排泄ケア認定看護師のお仕事	皮膚・排泄ケア認定看護師木俣看護師
2020年7月1日	水	2097回	皮膚・排泄ケア認定看護師のお仕事	皮膚・排泄ケア認定看護師木俣看護師
2020年7月6日	月	2098回	訪問看護における皮膚・排泄ケア認定看護師の仕事について	皮膚・排泄ケア認定看護師西村看護師
2020年7月7日	火	2099回	訪問看護における皮膚・排泄ケア認定看護師の仕事について	皮膚・排泄ケア認定看護師西村看護師

	放送年月日	曜日	回数	テーマ	出演者
43	2020年7月8日	水	2100回	訪問看護における皮膚・排泄ケア認定看護師の仕事について	皮膚・排泄ケア認定看護師西村看護師
44	2020年7月13日	月	2101回	患者家族支援室について	患者家族支援室 室長乾MSW
45	2020年7月14日	火	2102回	退院支援について	患者家族支援室 筒井MSW
46	2020年7月15日	水	2103回	地域包括ケア病棟について	患者家族支援室 筒井MSW
47	2020年7月20日	月	2104回	在宅酸素療法と利用できる保険・福祉制度について	患者家族支援室 小嶋MSW
48	2020年7月21日	火	2105回	ストーマを造設された方が利用できる福祉制度について	患者家族支援室 藤本MSW
49	2020年7月22日	水	2106回	人工透析患者さんが受けられる社会保障制度について	患者家族支援室 藤本MSW
50	2020年7月27日	月	2107回	がん薬物療法はどんな治療？	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師木下看護師
51	2020年7月28日	火	2108回	がん薬物療法の副作用について	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師木下看護師
52	2020年7月29日	水	2109回	がん薬物療法における看護師の役割	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師木下看護師
53	2020年8月3日	月	2110回	がん薬物療法のチーム医療について	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師梶田看護師
54	2020年8月4日	火	2111回	アピアランス支援について	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師梶田看護師
55	2020年8月5日	水	2112回	通院治療センターはどんなところ？	通院治療センターがん化学療法看護認定看護師梶田看護師
56	2020年8月10日	月	2113回	乳がん健診について(午後の予約枠追加)	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
57	2020年8月11日	火	2114回	乳がん健診について(午後の予約枠追加)	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
58	2020年8月12日	水	2115回	乳がん健診について(午後の予約枠追加)	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
59	2020年8月17日	月	2116回	マンモグラフィーについて	放射線科 窪田診療放射線技師
60	2020年8月18日	火	2117回	乳がん健診について	放射線科 窪田診療放射線技師
61	2020年8月19日	水	2118回	当院で受けるメリットと要検査になった時	放射線科 窪田診療放射線技師
62	2020年8月24日	月	2119回	新型コロナ下における通常受診について	医事課
63	2020年8月25日	火	2120回	地域連携紹介患者専用窓口について	医事課
64	2020年8月26日	水	2121回	選定療養費について	医事課
65	2020年8月31日	月	2122回	保険証・限度額認定証について	医事課
66	2020年9月1日	火	2123回	高額療養費制度について	医事課
67	2020年9月2日	水	2124回	傷病手当金について	医事課
68	2020年9月7日	月	2125回	認知症ケアチームの活動について	認知症看護認定看護師藤井看護師
69	2020年9月8日	火	2126回	せん妄について	認知症看護認定看護師藤井看護師
70	2020年9月9日	水	2127回	認知症ケアチームの今後の活動について	認知症ケアチーム小川看護師
71	2020年9月14日	月	2128回	胃カメラはどんな検査なのか？	消化器内科 糸井医師
72	2020年9月15日	火	2129回	胃カメラで見つかる病気に関して	消化器内科 糸井医師
73	2020年9月16日	水	2130回	大腸カメラについて	消化器内科 糸井医師
74	2020年9月21日	月	2131回	大腸カメラについて	消化器内科 糸井医師
75	2020年9月22日	火	2132回	腹部超音波検査(腹部エコー検査)	消化器内科 糸井医師
76	2020年9月23日	水	2133回	腹部超音波検査(腹部エコー検査)	消化器内科 糸井医師
77	2020年9月28日	月	2134回	大腸がんについて	消化器外科 嶋久保医師
78	2020年9月29日	火	2135回	大腸がんについて	消化器外科 嶋久保医師
79	2020年9月30日	水	2136回	大腸がんについて	消化器外科 嶋久保医師
80	2020年10月5日	月	2137回	急性腹症(虫垂炎)について	消化器外科 井上医師
81	2020年10月6日	火	2138回	急性腹症(胆嚢炎)について	消化器外科 井上医師
82	2020年10月7日	水	2139回	急性腹症(腸閉塞・絞扼性イレウス(腸ねん転))について	消化器外科 井上医師
83	2020年10月12日	月	2140回	転移再発乳がんについて	乳がん看護認定看護師永山看護師
84	2020年10月13日	火	2141回	転移再発乳がんの薬物治療について	腫瘍内科 竹治医師
85	2020年10月14日	水	2142回	転移再発乳がんの薬物治療について	腫瘍内科 竹治医師
86	2020年10月19日	月	2143回	転移再発乳がん薬物治療中の付き合い方	がん化学療法看護認定看護師梶田看護師
87	2020年10月20日	火	2144回	乳がん患者さんの就労支援	がん相談支援センター 藤井MSW
88	2020年10月21日	水	2145回	「人生の会議」アドバンス・ケア・プランニング(ACP)	乳がん看護認定看護師永山看護師
89	2020年10月26日	月	2146回	感染対策室について	感染管理認定看護師谷看護師
90	2020年10月27日	火	2147回	院内感染対策チームについて	感染管理認定看護師谷看護師
91	2020年10月28日	水	2148回	抗菌薬適正使用支援チームについて	感染管理認定看護師谷看護師
92	2020年11月2日	月	2149回	インフルエンザについて	感染管理認定看護師谷看護師
93	2020年11月3日	火	2150回	ノロウイルス胃腸炎について	感染管理認定看護師谷看護師
94	2020年11月4日	水	2151回	新型コロナウイルス感染症について	感染管理認定看護師谷看護師
95	2020年11月9日	月	2152回	検(健)診は人生のみちしるべ～人生を変えてくれた乳がん検診(①検診受診のきっかけ)～	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
96	2020年11月10日	火	2153回	検(健)診は人生のみちしるべ～人生を変えてくれた乳がん検診(②乳がんが見つかった)～	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師

	放送年月日	曜日	回数	テーマ	出演者
97	2020年11月11日	水	2154回	検(健)診は人生のみちしるべ～人生を変えてくれた乳がん検診(③今、思うこと)～	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
98	2020年11月16日	月	2155回	泌尿器科とは	泌尿器科 出口医師
99	2020年11月17日	火	2156回	血尿について	泌尿器科 出口医師
100	2020年11月18日	水	2157回	精巣腫瘍について	泌尿器科 出口医師
101	2020年11月23日	月	2158回	前立腺がんについて	泌尿器科 出口医師
102	2020年11月24日	火	2159回	前立腺がんについて(治療の流れ)	泌尿器科 出口医師
103	2020年11月25日	水	2160回	精巣捻転について	泌尿器科 出口医師
104	2020年11月30日	月	2161回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
105	2020年12月1日	火	2162回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
106	2020年12月2日	水	2163回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
107	2020年12月7日	月	2164回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
108	2020年12月8日	火	2165回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
109	2020年12月9日	水	2166回	心の癆を知ろう	緩和ケア内科 黒丸医師
110	2020年12月14日	月	2167回	熱性けいれんについて	小児科 神田医師
111	2020年12月15日	火	2168回	小児のインフルエンザについて	小児科 萩原医師
112	2020年12月16日	水	2169回	小児の新型コロナウイルス感染症について	小児科 西島医師
113	2020年12月21日	月	2170回	小児の虐待について	小児科 西島医師
114	2020年12月22日	火	2171回	小児の家庭内の事故について	小児科 安部医師
115	2020年12月23日	水	2172回	赤ちゃんの食物アレルギーについて	小児科 石上医師
116	2020年12月28日	月	2173回	乳がん	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
117	2020年12月29日	火	2174回	心臓ドック	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
118	2020年12月30日	水	2175回	人間ドック	医事課主幹 健診センター担当瀧口保健師
119	2021年1月4日	月	2176回	新年のごあいさつ	金子院長
120	2021年1月5日	火	2177回	新年のごあいさつ	石上副院長
121	2021年1月6日	水	2178回	新年のごあいさつ	長谷副院長
122	2021年1月11日	月	2179回	新年のごあいさつ	谷口副院長
123	2021年1月12日	火	2180回	プロフィール紹介	在宅診療科 山口医師
124	2021年1月13日	水	2181回	在宅診療科とは	在宅診療科 山口医師
125	2021年1月18日	月	2182回	在宅診療科と介護のお話	在宅診療科 山口医師
126	2021年1月19日	火	2183回	在宅看取り	在宅診療科 山口医師
127	2021年1月20日	水	2184回	在宅医療の今後	在宅診療科 山口医師
128	2021年1月25日	月	2185回	プロフィール紹介	循環器科 野村医師
129	2021年1月26日	火	2186回	狭心症ってどんな病気	循環器科 野村医師
130	2021年1月27日	水	2187回	狭心症の治療について	循環器科 野村医師
131	2021年2月1日	月	2188回	足の血管の話	循環器科 野村医師
132	2021年2月2日	火	2189回	不整脈(うち、心房細動)について	循環器科 野村医師
133	2021年2月3日	水	2190回	不整脈の治療について	循環器科 野村医師
134	2021年2月8日	月	2191回	血液内科について	血液内科 寺本医師
135	2021年2月9日	火	2192回	血液の成分と血小板減少症の原因	血液内科 寺本医師
136	2021年2月10日	水	2193回	血小板が作られなくなる原因	血液内科 寺本医師
137	2021年2月15日	月	2194回	血小板が壊される原因	血液内科 寺本医師
138	2021年2月16日	火	2195回	血小板数低下する症状	血液内科 寺本医師
139	2021年2月17日	水	2196回	血液内科での検査	血液内科 寺本医師
140	2021年2月22日	月	2197回	腫瘍内科について	腫瘍内科 竹治医師
141	2021年2月23日	火	2198回	がんに命を奪われないために	腫瘍内科 竹治医師
142	2021年2月24日	水	2199回	がん診療における病薬連携について	腫瘍内科 竹治医師
143	2021年3月1日	月	2200回	新型コロナウイルス感染症とがん診療について	腫瘍内科 竹治医師
144	2021年3月2日	火	2201回	新型コロナウイルス感染症とがん診療について	腫瘍内科 竹治医師
145	2021年3月3日	水	2202回	新型コロナウイルス感染症とがん診療について	腫瘍内科 竹治医師
146	2021年3月8日	月	2203回	医療技術局について	医療技術局長兼リハビリテーション科 鈴木局長
147	2021年3月9日	火	2204回	リハビリテーションについて	リハビリテーション科理学療法士 吉田補佐
148	2021年3月10日	水	2205回	作業療法について	リハビリテーション科作業療法士 小谷氏
149	2021年3月15日	月	2206回	急性期リハビリテーションについて	リハビリテーション科理学療法士 高山氏
150	2021年3月16日	火	2207回	理学療法部門について	リハビリテーション科理学療法士 木俣氏
151	2021年3月17日	水	2208回	言語聴覚士について	リハビリテーション科言語聴覚士 近藤氏
152	2021年3月22日	月	2209回	プロフィール	形成外科 浦川医師
153	2021年3月23日	火	2210回	やけどについて	形成外科 浦川医師
154	2021年3月24日	水	2211回	やけどについて	形成外科 浦川医師
155	2021年3月29日	月	2212回	キズができたなら	形成外科 胡内医師
156	2021年3月30日	火	2213回	治らないキズ	形成外科 胡内医師
157	2021年3月31日	水	2214回	退任にあたって	形成外科 胡内医師

VII 地域がん診療連携拠点病院 活動実績報告

地域がん診療連携拠点病院とは、がん診療の地域格差を無くし、全ての地域で質の高いがん医療を提供できる体制づくり(がん医療の均てん化)を推進するため、地域のがん診療の中核となる医療機関として厚生労働省から指定された病院です。役割としては、専門的ながん診療の提供、がん診療の連携協力体制の整備、および患者さんへの相談支援や情報提供などを行っています。

●令和2年度 滋賀県がん診療連携協議会 部会員一覧

がん診療連携協議会	会 員	事業管理者兼院長	金子 隆昭
がん診療連携協議会・企画運営委員会	委 員	呼吸器科部長	林 栄一
		医事課長	桂田 厚子
がん診療連携協議会・がん登録推進部会		消化器外科部長	龍見謙太郎
		診療情報管理士	志井 千明
がん診療連携協議会・緩和ケア推進部会	副部会長	緩和ケア科部長	黒丸 尊治
		看護科長	秋宗 美紀
がん診療連携協議会・研修調整部会		診療局主任部長	吉川 浩平
		看護科長補佐	木下千恵美
がん診療連携協議会・地域連携部会		呼吸器科部長	林 栄一
がん診療連携協議会・診療支援部会		診療局主任部長	來住 優輝
がん診療連携協議会・相談支援部会		がん相談支援センター主査	藤井 滋生

●がん診療連携会議（院内会議）

令和3年3月17日（水）16：30～17：15

●がんに関する医療者研修会および市民向け講演会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止

●がん患者さんのための「治療と仕事との両立に関する個別相談会」開催

【日 時】毎月第3水曜日 13：30～15：30 および 適時

【場 所】彦根市立病院 2階3ブロック または がん相談支援センター
相談者・・・計3名

●「りらく彦根」開催

【日 時】毎月第4火曜日 13：00～15：00

【場 所】彦根市立病院 3階 講堂または会議室

令和2年度参加者（人）

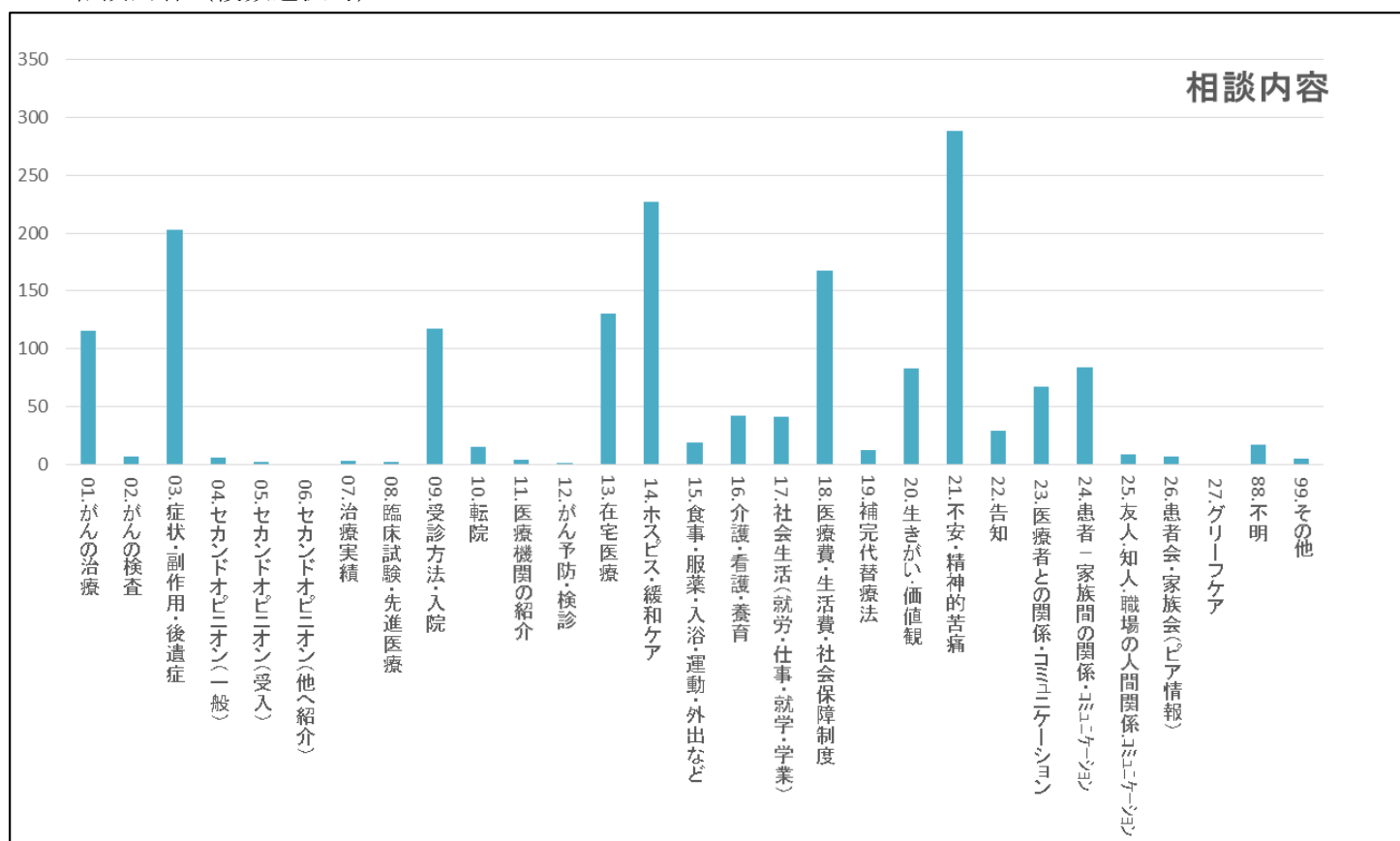
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	4
家族	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	—	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4

（「—」開催中止）

●がん相談支援センター相談状況 (2020.4月～2021.3月)

【面談】388件 【電話】245件 【その他（メール等）】3件

相談内容（複数選択可）



Ⅷ 臨床統計

1. 入院患者数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	1日平均 (退院患者数を 含む)	19.4～ 20.3	増減率 %	18.4～ 19.3	
在 院 患 者 数	内科	内科	70	71	5	1	170	10	3	0	16	14	3	0	363	1.0	1.2	64	467.2	1,486	内
		消化器内科	1,195	1,111	870	1,086	1,281	1,070	1,146	967	781	965	765	985	12,222	33.5	36.3	15,553	-21.4	11,547	消内
		腫瘍内科	89	109	141	88	96	231	171	131	69	167	104	138	1,534	4.2	2.3				腫
		血液内科	353	273	333	413	380	376	411	385	490	485	444	467	4,810	13.2	13.6	5,819	-17.3	5,637	血
		糖尿病代謝内科	300	319	343	348	286	312	358	364	290	201	192	225	3,538	9.7	10.5	4,415	-19.9	3,523	糖
	合計		2,007	1,883	1,692	1,936	2,213	1,999	2,089	1,847	1,646	1,832	1,508	1,815	22,467	61.6	66.3	25,851	-13.1	22,193	
	呼吸器科	呼吸器内科	918	679	470	870	929	702	839	917	1,130	1,549	1,042	1,161	11,206	30.7	32.1	12,770	-12.2	13,130	呼内
		呼吸器外科	93	106	76	70	65	127	82	64	97	67	49	57	953	2.6	3.0	1,295	-26.4	1,682	呼外
		合計	1,011	785	546	940	994	829	921	981	1,227	1,616	1,091	1,218	12,159	33.3	35.1	14,065	-13.6	14,812	
	小児科		185	147	77	169	98	68	61	84	89	187	132	72	1,369	3.8	4.8	2,338	-41.4	3,153	小
	外科	外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	23	-95.7	268	外
		乳腺外科	46	7	5	54	35	44	34	64	70	56	51	43	509	1.4	1.6	619	-17.8	635	乳
		消化器外科	605	501	608	614	721	617	532	748	604	494	619	598	7,261	19.9	21.8	9,271	-21.7	8,812	消外
		合計	652	508	613	668	756	661	566	812	674	550	670	641	7,771	21.3	23.4	9,913	-21.6	9,715	
	整形外科		1,600	1,506	1,539	1,641	1,618	1,646	1,687	1,913	1,972	2,015	1,738	1,632	20,507	56.2	59.0	16,770	22.3	16,261	整
	脳神経外科		834	830	769	864	834	744	542	326	513	865	780	920	8,821	24.2	24.9	11,001	-19.8	8,910	脳
	皮膚科		27	42	70	90	63	61	88	47	62	99	87	65	801	2.2	2.4	428	87.1	814	皮
	泌尿器科		371	510	644	579	582	515	678	590	558	620	560	493	6,700	18.4	20.4	5,275	27.0	5,194	泌
	産婦人科		46	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0.1	0.2	1,044	-95.0	1,268	産
	眼科		26	7	15	34	21	30	24	22	26	31	23	36	295	0.8	1.6	497	-40.6	551	眼
	耳鼻いんこう科		17	2	24	50	48	43	38	81	37	16	36	8	400	1.1	1.4	796	-49.7	1,089	耳
	脳神経内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1,086	-100.0	1,446	神
	放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0		0	放
	麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0		0	麻
	歯科口腔外科		148	117	135	145	178	166	201	167	182	137	132	192	1,900	5.2	6.6	2,021	-6.0	1,935	歯
	形成外科		180	138	180	220	187	221	258	370	325	170	155	232	2,636	7.2	7.6	3,257	-19.1	3,051	形
	心療内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0		0	心
	循環器内科		1,197	1,152	1,155	1,068	927	1,095	1,011	1,288	1,200	1,101	1,357	1,535	14,086	38.6	40.8	15,932	-11.6	17,065	循
	緩和ケア内科		415	320	387	382	316	322	357	328	324	299	303	400	4,153	11.4	11.7	4,739	-12.4	4,963	緩
	在宅診療科		104	58	138	99	128	82	104	103	57	80	59	107	1,119	3.1	3.3	2,121	-47.2	1,542	在
	計 A		8,820	8,011	7,984	8,885	8,963	8,482	8,625	8,959	8,892	9,618	8,631	9,366	105,236	288.3		117,134	-10.2	113,962	計
	(定時1日平均)		294.0	258.4	266.1	286.6	289.1	282.7	278.2	298.6	286.8	310.3	308.3	302.1	288.3			320.0	-9.9	312.2	
入院患者数		636	515	609	697	735	672	698	709	757	760	679	733	8,200		22.5	9,129	-10.2	9,237		
退院患者数 B		677	533	590	644	765	661	736	662	804	737	656	759	8,224		22.5	9,133	-10.0	9,233		
延入院患者数 A+B		9,497	8,544	8,574	9,529	9,728	9,143	9,361	9,621	9,696	10,355	9,287	10,125	113,460		310.8	126,267	-9.9	123,195		
1日平均		316.6	275.6	285.8	307.4	313.8	304.8	302.0	320.7	312.8	334.0	331.7	326.6	310.8			345.0	-9.9	337.5		
病床利用率		72.3	62.9	65.3	70.2	71.6	69.6	68.9	73.2	71.4	76.3	75.7	74.6	71.0			78.8	-9.9	77.1		
病床利用率(396床)		79.9	67.6	70.0	75.3	76.9	74.7	74.0	78.6	76.7	81.9	81.3	80.1	78.5			87.1	-9.9	85.2		
平均在院日数		12.9	13.4	13.5	13.3	12.3	12.2	11.8	12.2	11.7	12.0	11.9	12.5	12.5			12.4		11.9		
稼働日		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365			366		365		

2. 外来患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	19.4～ 20.3	増減率 %	18.4～ 19.3	
内科	内科	770	640	710	1,031	1,159	918	880	938	828	967	783	936	10,560	43.5	12,363	-14.6	12,116	内
	消化器内科	966	715	1,090	1,167	1,069	1,169	1,291	1,146	1,147	1,002	981	1,161	12,904	53.1	15,326	-15.8	14,702	消内
	腫瘍内科	127	109	103	115	102	86	129	140	109	84	80	128	1,312	5.4				腫
	血液内科	366	388	413	432	392	450	498	432	444	408	404	484	5,111	21.0	4,917	3.9	4,808	血
	糖尿病代謝内科	956	756	886	914	754	913	881	833	926	870	754	982	10,425	42.9	12,088	-13.8	12,278	糖
	合計	3,185	2,608	3,202	3,659	3,476	3,536	3,679	3,489	3,454	3,331	3,002	3,691	40,312	165.9	44,694	-9.8	43,904	
呼吸器科	呼吸器内科	808	682	710	889	710	826	930	837	879	829	776	920	9,796	40.3	11,070	-11.5	11,206	呼内
	呼吸器外科	120	103	118	116	84	129	136	118	150	125	94	143	1,436	5.9	1,541	-6.8	1,625	呼外
	合計	928	785	828	1,005	794	955	1,066	955	1,029	954	870	1,063	11,232	46.2	12,611	-10.9	12,831	
外科	小児科	450	301	440	531	568	492	624	553	540	455	441	622	6,017	24.8	10,575	-43.1	11,483	小
	外科	10	7	9	9	8	11	9	5	8	7	6	13	102	0.4	163	-37.4	59	外
	乳腺外科	298	235	363	345	332	383	434	378	415	319	324	384	4,210	17.3	4,777	-11.9	4,591	乳
	消化器外科	524	420	520	538	484	523	570	436	475	459	506	618	6,073	25.0	7,196	-15.6	7,034	消外
	合計	832	662	892	892	824	917	1,013	819	898	785	836	1,015	10,385	42.7	12,136	-14.4	11,684	
整形外科		1,510	1,420	1,735	1,819	1,750	1,834	1,949	1,782	1,801	1,784	1,630	2,034	21,048	86.6	22,384	-6.0	23,084	整
脳神経外科		507	463	576	488	439	509	455	400	459	508	476	611	5,891	24.2	8,153	-27.7	8,256	脳
皮膚科		344	374	520	577	616	542	520	498	496	533	483	650	6,153	25.3	7,568	-18.7	8,001	皮
泌尿器科		1,917	1,793	2,061	2,013	1,946	1,996	2,016	1,835	1,911	1,762	1,745	2,054	23,049	94.9	23,947	-3.7	23,275	泌
産婦人科		186	141	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	373	1.5	4,186	-91.1	4,669	産
眼科		630	503	765	678	746	696	796	715	708	622	672	843	8,374	34.5	9,470	-11.6	9,983	眼
耳鼻いんこう科		679	579	732	738	714	772	825	744	760	692	706	812	8,753	36.0	10,362	-15.5	10,437	耳
脳神経内科		404	328	416	428	411	404	465	437	410	404	385	437	4,929	20.3	6,140	-19.7	6,404	神
放射線科		172	162	307	381	316	333	446	425	355	261	483	799	4,440	18.3	5,345	-16.9	3,151	放
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0		0	麻
歯科口腔外科		792	663	918	907	909	1,008	1,047	1,048	1,036	901	975	1,092	11,296	46.5	13,184	-14.3	14,802	歯
形成外科		828	757	903	977	956	914	964	869	888	805	803	1,048	10,712	44.1	12,088	-11.4	12,342	形
心療内科		95	61	87	103	82	114	79	78	101	76	85	108	1,069	4.4	1,125	-5.0	1,099	心
循環器内科		1,529	1,264	1,656	1,706	1,574	1,663	1,806	1,635	1,929	1,533	1,593	1,938	19,826	81.6	22,098	-10.3	24,957	循
緩和ケア内科		38	46	62	50	57	39	42	29	37	48	41	43	532	2.2	623	-14.6	732	緩
在宅診療科		6	15	14	3	15	13	11	23	13	10	5	8	136	0.6	127	7.1	184	在
合計		15,032	12,925	16,160	16,955	16,193	16,737	17,803	16,334	16,825	15,464	15,231	18,868	194,527	800.5	226,816	-14.2	231,278	計
1日平均		715.8	718.1	734.5	807.4	809.7	836.9	809.2	859.7	841.3	813.9	846.2	820.3	800.5		937.3	-14.6	947.9	
外来診療日		21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243		242		244	

3-1. 救急センター患者数（月別）

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療科別	内 科	292	290	285	399	466	356	330	320	288	309	260	326	3,921
	循 環 器 内 科	59	55	54	56	60	52	56	70	79	73	76	72	762
	呼 吸 器 内 科	35	20	16	34	30	32	32	26	46	52	47	37	407
	脳 神 経 内 科	2	1	1	3	1	3	1	0	1	1	1	1	16
	心 療 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 児 科	93	85	77	160	148	131	162	122	111	80	86	109	1,364
	外 科	6	4	5	4	6	9	7	4	5	6	5	8	69
	整 形 外 科	112	159	143	180	183	181	187	186	191	199	163	180	2,064
	産 婦 人 科	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	泌 尿 器 科	27	48	67	59	55	53	53	46	42	39	36	47	572
	脳 神 経 外 科	54	95	81	81	98	91	72	75	93	130	80	91	1,041
	耳 鼻 い ん こ う 科	31	31	47	45	62	39	62	42	32	36	42	37	506
	眼 科	2	4	10	4	9	5	5	5	2	5	3	3	57
	皮 膚 科	16	34	46	78	75	54	42	27	23	28	22	29	474
	形 成 外 科	45	72	84	107	99	98	92	88	83	80	70	78	996
	麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放 射 線 科	2	3	10	14	7	7	9	8	7	6	8	2	83
	緩 和 ケ ア 科	1	1	0	2	2	1	0	0	1	6	2	11	27
	歯 科 口 腔 外 科	3	5	4	4	2	5	1	2	9	3	6	1	45
	消 化 器 内 科	59	60	45	56	70	66	68	53	44	45	39	48	653
	糖 尿 病 内 科	9	4	11	10	8	7	10	10	15	8	5	4	101
	血 液 内 科	2	8	11	10	6	10	14	3	6	8	2	3	83
	消 化 器 外 科	22	19	22	20	18	20	19	25	23	20	23	22	253
	乳 腺 外 科	2	0	0	0	2	2	4	3	6	1	2	1	23
	呼 吸 器 外 科	3	2	3	0	1	1	1	0	4	3	2	1	21
	腫 瘍 内 科	5	11	3	7	6	9	5	9	10	6	2	11	84
	在 宅 診 療 科	0	5	6	7	4	2	6	6	2	5	2	4	49
	合 計	888	1,017	1,031	1,340	1,418	1,234	1,238	1,130	1,123	1,149	984	1,126	13,678
年齢別	00 歳 ～ 06 歳	110	127	105	189	148	154	169	158	136	111	132	142	1,681
	07 歳 ～ 15 歳	41	45	71	95	104	86	81	65	62	43	44	71	808
	16 歳 ～ 64 歳	357	388	412	514	594	467	470	428	428	394	320	398	5,170
	65 歳 以 上	380	457	443	542	572	527	518	479	497	601	488	515	6,019
	合 計	888	1,017	1,031	1,340	1,418	1,234	1,238	1,130	1,123	1,149	984	1,126	13,678
男女別	男 性	461	534	500	689	751	645	639	609	569	583	508	601	7,089
	女 性	427	483	531	651	667	589	599	521	554	566	476	525	6,589
	合 計	888	1,017	1,031	1,340	1,418	1,234	1,238	1,130	1,123	1,149	984	1,126	13,678
来院方法	救 急 車 利 用	236	259	265	347	403	315	328	305	344	389	294	369	3,854
	そ の 他	652	758	766	993	1,015	919	910	825	779	760	690	757	9,824
	合 計	888	1,017	1,031	1,340	1,418	1,234	1,238	1,130	1,123	1,149	984	1,126	13,678
来院時間別	土 ・ 日 ・ 祭 日 昼	172	305	183	333	382	282	271	301	286	348	270	219	3,352
	17 : 15 ～ 00 : 00	387	428	490	612	596	548	562	473	465	402	382	489	5,834
	00 : 00 ～ 08 : 30	134	133	164	191	205	173	166	147	164	165	131	155	1,928
	平日 08 : 30 ～ 17 : 15	195	151	194	204	235	231	239	209	208	234	201	263	2,564
	合 計	888	1,017	1,031	1,340	1,418	1,234	1,238	1,130	1,123	1,149	984	1,126	13,678

3-2.救急センター患者数（科別）

区分		内科	呼内	小科	外科	整科	脳外	皮科	泌科	産科	眼科	耳科	脳内	放科	麻科	歯科	形科	心科	循科	緩科	消内	糖内	血内	消外	乳外	呼外	腫内	在科	合計
夜間	17:15 ～00:00	1,670	124	758	43	892	450	217	217	3	44	183	8	0	0	6	610	0	209	5	241	9	21	83	0	6	11	24	5,834
	00:00 ～08:30	658	48	167	18	249	120	62	126	3	5	78	2	0	0	0	88	0	137	3	91	8	7	46	0	1	3	8	1,928
休日08:30～17:30		820	96	306	8	480	233	143	175	1	8	215	2	83	0	36	243	0	137	7	110	41	40	69	23	12	63	1	3,352
平日08:30～17:15		773	139	133	0	443	238	52	54	0	0	30	4	0	0	3	55	0	279	12	211	43	15	55	0	2	7	16	2,564
合 計		3,921	407	1,364	69	2,064	1,041	474	572	7	57	506	16	83	0	45	996	0	762	27	653	101	83	253	23	21	84	49	13,678
救急入院患者数		61	326	123	1	345	316	12	133	5	0	19	1	0	0	8	16	0	476	19	557	93	52	161	1	6	58	47	2,836
救急外来死亡数		11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	1	0	0	0	7	0	1	0	0	105

3-3.救急車受入れ率

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車搬送件	241	260	266	349	401	320	344	357	347	389	301	374	3,949
搬送不可件数	4	1	2	4	3	3	16	18	3	2	4	3	63
救急車受入れ (%)	98.3%	99.6%	99.2%	98.9%	99.3%	99.1%	95.3%	95.0%	99.1%	99.5%	98.7%	99.2%	98.4%

4. 手術件数

手術件数（院内全体）※電子カルテの「術式」で計上されているデータの集計値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化器外科	68	57	63	74	59	67	59	68	61	52	68	64	760
乳腺外科	10	1	2	7	4	12	6	10	9	11	7	8	87
整形外科	94	95	112	125	126	117	124	137	129	128	104	122	1,413
産婦人科	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
泌尿器科	39	38	50	51	42	42	49	37	42	42	38	51	521
脳神経外科	25	39	34	30	35	26	10	14	24	42	33	44	356
眼科	45	23	49	44	42	52	55	46	45	49	51	70	571
耳鼻いんこう科	7	3	9	15	12	10	10	12	12	6	14	10	120
形成外科	131	93	122	140	151	128	133	127	128	120	118	144	1,535
歯科口腔外科	103	114	140	150	143	161	176	169	158	158	154	191	1,817
呼吸器内科	1	2	1	1	4	0	2	3	2	0	0	2	18
呼吸器外科	3	4	7	5	3	5	7	2	7	3	5	7	58
循環器内科	43	27	46	43	52	57	71	60	61	48	53	56	617
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	1	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	7
皮膚科	0	1	1	8	3	2	4	2	5	4	2	4	36
消化器内科	68	59	57	75	74	82	76	82	77	80	77	86	893
糖尿病代謝内科	2	1	3	2	1	3	2	2	0	0	0	0	16
血液内科	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	3	8
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
内科	0	1	1	1	1	0	2	3	2	0	0	0	11
外科	1	1	0	1	1	0	2	2	2	0	0	2	12
脳神経内科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍内科	6	1	7	7	7	9	4	5	5	6	8	7	72
在宅診療科	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	656	562	705	780	762	773	793	784	772	750	733	873	8,943

※術式の算定件数で計上。（例：抜歯手術で、1度に5本抜歯している場合は、5件となる）

手術件数（手術センター）※手術センターでの実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化器外科	57	44	56	58	48	54	46	59	53	43	63	55	636
乳腺外科	8	1	1	6	2	9	5	8	9	11	5	5	70
整形外科	62	59	74	82	88	78	94	101	97	88	72	86	981
産婦人科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
泌尿器科	20	24	30	31	22	24	25	24	35	30	24	29	318
脳神経外科	8	21	14	9	14	11	3	1	8	21	15	20	145
眼科	63	38	73	65	63	69	80	56	62	69	61	82	781
耳鼻いんこう科	4	3	8	8	10	9	7	9	6	4	9	10	87
形成外科	38	15	26	25	23	32	36	35	33	37	22	32	354
歯科口腔外科	37	36	57	51	51	46	57	55	56	42	52	60	600
呼吸器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	3	5	7	5	3	5	7	2	8	3	5	7	60
循環器内科	6	4	5	6	7	9	7	11	1	7	6	4	73
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	8
在宅診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腫瘍内科	1	0	2	3	1	0	3	0	2	0	2	0	14
血液内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	309	251	353	350	332	347	371	362	371	356	337	391	4,130

5-1. 新生児特定集中治療室入院件数

	入室	退室	在室	延患者数	稼動 病床数	病床 稼働率	平均利用 日数
4月	6	7	27	34	180	18.9%	4.2
5月	1	2	6	8	186	4.3%	4.0
6月	1	1	5	6	180	3.3%	5.0
7月	3	2	17	19	186	10.2%	6.8
8月	3	3	14	17	186	9.1%	4.7
9月	0	1	0	1	180	0.6%	0.0
10月	1	1	13	14	186	7.5%	13.0
11月	0	1	14	15	180	8.3%	28.0
12月	0	0	0	0	186	0.0%	-
1月	0	0	0	0	186	0.0%	-
2月	2	2	14	16	168	9.5%	7.0
3月	1	1	4	5	186	2.7%	4.0
合計	18	21	114	135	2,190	6.2%	5.8

稼動病床数は、6床

5-2. 分娩件数

	分娩数 22w-	経膣	帝切	死産	12-21w 流産	吸引	誘発・ 促進	双胎	鉗子
4月	8	7	1	0	0	0	1	0	0
5月	1	1	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	8	1	0	0	0	1	0	0

6月以降は
受入中止

6. 血液浄化センター業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析患者	延べ患者数	979	1,001	1,025	1,010	981	979	967	876	963	458	883	1,075	11,197
	1日平均患者数	37.7	39.0	39.4	37.2	37.7	37.7	37.2	37.2	35.7	36.8	34.8	39.8	
看護必要度平均		414.9	439.3	456.6	432	445.75	456.74	437.87	438.58	429.80	442.02	438.63	489.77	
臨時透析（回）		31	46	59	53	59	81	84	58	64	83	43	128	789
LDL吸着（回）		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
腹水濃縮（回）		2	3	1	4	5	4	2	6	3	4	4	7	45
LCAP（回）/GCAP（回）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エンドトキシン吸着（回）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幹細胞採取（回）		1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	6
血漿交換（回）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己血貯血（人）		8	0	8	6	8	12	7	19	0	10	6	4	88
血液透析導入（人）		0	3	3	1	2	0	1	2	2	0	5	2	21
腹膜透析導入（人）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転院（人）		4	1	3	1	5	0	0	1	0	1	2	1	19
SPP測定（回）		18	14	23	23	15	20	24	27	18	20	22	36	260
INBODY測定（回）		7	9	24	9	12	8	9	12	10	12	10	9	131
シャントエコー （ドプラ加算含む）		7	14	6	7	9	12	5	8	12	2	12	14	108

7. 健診センター健診コース別受診人数

月	協会けんぽ	一般健診	日帰りドック （1日ドック）	（宿泊ドック） （2日ドック）	心臓ドック	脳ドック		健康診断	彦根市肝炎	被爆者検診				乳がん 滋賀県 検診	特定健診	特殊健診 ベンジ ン	特殊健診 クロム酸	β 特殊健診 ナフチル	特殊健診 塩化ビニル	（石綿）健診 アスベスト	特殊健診 コール タール	特殊健診 じん肺	合計
						単 独 件 数	オ プ シ ョ ン			一 世	二 世	被爆者 検診精 密	がん 検診										
4月	12	1	45	0	1	9	6	81	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	15	0	0	166
5月	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
6月	81	0	51	0	0	2	0	36	4	0	0	0	0	75	0	0	0	0	11	0	0	260	
7月	70	2	81	0	1	17	0	25	12	6	0	0	0	96	28	0	0	0	0	0	0	338	
8月	67	3	113	0	2	34	3	22	7	0	0	0	0	61	31	0	0	0	2	16	1	17	376
9月	67	15	118	0	1	22	0	34	5	0	0	0	0	75	30	0	0	0	0	0	0	367	
10月	75	18	144	0	1	14	2	35	9	0	0	5	0	98	41	0	0	0	0	16	0	0	456
11月	66	1	145	0	1	8	2	21	11	0	0	0	0	66	31	0	0	0	0	0	0	350	
12月	80	0	143	0	4	19	0	42	0	0	0	0	0	32	26	0	0	0	0	10	0	0	356
1月	85	1	84	1	1	17	3	53	0	6	15	0	0	29	40	0	0	0	0	0	0	332	
2月	61	2	66	0	2	19	3	42	0	0	2	0	0	26	0	0	0	0	2	16	1	0	239
3月	18	3	36	1	3	25	0	38	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	172	
合 計	682	46	1,026	2	17	186	19	432	48	12	17	5	0	608	227	0	0	0	4	84	2	17	3,415

8. 放射線科

CT検査

撮影区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	CT単純	361	427	451	519	530	434	387	383	424	438	367	472	5,193
	CT造影	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	CT単+CT造	32	25	18	24	17	16	40	20	25	24	24	27	292
頸部	CT単純	11	15	27	19	20	19	25	13	33	13	22	20	237
	CT造影	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	CT単+CT造	10	12	11	4	10	5	12	11	3	2	9	13	102
胸部	CT単純	332	321	381	439	469	402	444	391	460	395	356	393	4,783
	CT造影	4	2	7	1	11	3	2	6	4	4	6	6	56
	CT単+CT造	8	5	9	8	7	7	10	10	9	5	8	11	97
腹部	CT単純	321	298	363	397	374	406	421	354	362	367	309	381	4,353
	CT造影	20	14	19	19	12	16	25	10	15	25	19	15	209
	CT単+CT造	130	110	141	170	138	168	180	162	163	147	161	193	1,863
四肢	CT単純	52	66	76	73	81	93	83	81	88	96	88	76	953
	CT造影	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	2	0	7
	CT単+CT造	7	3	8	8	9	2	3	11	3	4	6	9	73
脊椎	CT単純	78	74	70	80	63	57	76	63	81	90	64	81	877
	CT造影	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	CT単+CT造	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	4
CTA	CT造影	5	6	7	4	5	8	1	2	3	8	3	8	60
	CT単+CT造	20	17	18	14	12	10	11	14	14	10	14	16	170
CTV	CT造影	0	0	0	2	2	4	0	0	0	4	1	0	13
	CT単+CT造	2	0	2	2	2	0	4	1	4	3	0	1	21
治療計画	CT単純	9	7	15	9	9	13	14	12	6	20	19	21	154
	CT造影	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	5
3DCT	CT単純	9	8	11	6	8	16	14	16	11	11	4	6	120
	CT単+CT造	2	5	9	8	5	10	10	11	9	6	2	6	83
生検	CT単純	0	1	3	0	2	1	1	2	2	0	1	2	15
Ai	CT単純	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	7
合計		1,417	1,418	1,647	1,810	1,790	1,692	1,767	1,573	1,721	1,675	1,486	1,759	19,755

心臓CT (CT検査に含まれる)

撮影区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓	CT単純	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	CT単+CT造	20	18	39	28	24	36	44	31	43	29	35	36	383
合計		20	19	39	28	24	36	44	31	43	29	35	36	384

MRI検査

撮影区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	MR単純	146	113	139	172	185	181	168	122	164	177	165	240	1,972
	MR造影	1	0	0	1	1	2	1	0	0	2	2	0	10
	MR単+MR造	27	22	29	29	17	28	17	23	36	25	16	28	297
	放射線委任	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	5
頸部	MR単純	1	0	1	3	3	1	6	1	2	2	1	2	23
	MR造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MR単+MR造	1	0	1	1	3	1	0	0	2	0	0	0	9
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部	MR単純	4	0	2	6	7	2	8	3	2	2	4	3	43
	MR造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MR単+MR造	4	7	11	18	18	11	23	26	13	19	16	11	177
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
上腹部	MR単純	41	34	41	45	31	44	47	41	35	36	40	33	468
	MR造影	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	MR単+MR造	6	8	8	6	6	5	9	5	7	7	10	11	88
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
下腹部	MR単純	39	25	29	35	24	30	42	30	32	30	26	23	365
	MR造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MR単+MR造	9	3	7	9	5	4	5	2	3	7	5	6	65
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊椎	MR単純	63	44	82	87	68	60	80	63	68	59	52	73	799
	MR造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MR単+MR造	0	1	1	2	0	1	1	0	0	4	0	1	11
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四肢	MR単純	18	18	30	34	28	34	36	47	34	32	24	27	362
	MR造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MR単+MR造	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	放射線委任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRA	MRA	50	36	59	44	43	44	40	26	47	35	45	72	541
治療計画	CT造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRV	CT単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		410	313	441	492	439	449	486	389	445	438	408	530	5,240

土曜MRI

検査区分	撮影区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	MR単純	0	0	4	0	2	0	0	0	1	1	1	0	9
脊椎	MR単純	2	2	5	13	4	4	7	8	6	5	7	2	65
下腹部	MR単純	0	1	2	1	1	3	2	0	1	0	0	0	11
合計		2	3	11	14	7	7	9	8	8	6	8	2	85

一般撮影

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	161	176	207	258	248	314	279	262	250	219	217	315	2,906
胸部	1,752	1,392	1,929	2,078	1,894	2,023	2,318	2,055	2,217	1,926	1,893	2,056	23,533
胸郭部	56	65	108	104	82	99	102	119	120	114	102	103	1,174
腹部	433	378	483	534	494	522	561	531	509	475	497	578	5,995
上肢	163	162	152	225	216	222	239	197	234	190	175	188	2,363
下肢	196	174	276	287	286	301	296	242	283	316	247	261	3,165
脊椎	186	153	201	184	199	209	195	196	209	197	174	226	2,329
デンタルCT	7	7	24	28	22	27	33	20	16	16	17	35	252
胸・腹部 ポータブル	418	377	382	485	421	437	404	427	511	538	503	594	5,497
頭部・脊椎 ポータブル	42	17	29	33	33	38	27	44	31	28	37	45	404
骨盤・股関節 ポータブル	38	58	64	44	43	59	50	66	65	73	58	80	698
上肢・下肢 ポータブル	30	30	39	50	64	32	56	55	61	47	36	30	530
合計	3,482	2,989	3,894	4,310	4,002	4,283	4,560	4,214	4,506	4,139	3,956	4,511	48,846

健診科依頼検査数(各々モダリティーに含まれる)

モダリティー	撮影区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	胸部XP	136	3	144	173	226	225	284	230	262	217	178	95	2,173
	骨密度	0	0	2	5	8	6	11	3	12	6	4	5	62
マンモグラフィ	乳房	9	0	92	125	106	119	146	99	78	62	50	65	951
CT	心臓ドック	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3
MR	脳ドック	15	0	2	17	37	22	16	10	19	20	21	25	204
TV	胃透視	17	0	49	41	41	34	49	34	36	38	28	11	378
合計		177	3	289	361	419	407	506	377	407	343	281	201	3,771

乳房（一般撮影胸部に含まれる）

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳房 (外来/紹介/健診)	63	54	181	235	208	217	296	215	209	139	119	172	2,108
ステレオガイド 下マンモトーム	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
標本撮影	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	63	54	181	235	210	218	297	215	209	139	119	172	2,112

骨密度検査

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨密度測定	63	50	70	67	54	71	61	62	62	41	53	71	725

TV室検査

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化管系	18	21	24	32	21	24	24	36	26	19	28	23	296
肝・胆・膵臓系	41	50	29	49	67	54	61	46	51	40	37	59	584
泌尿・生殖器系	29	34	37	34	36	30	32	25	26	26	22	30	361
骨・関節系	10	8	4	8	12	9	7	7	5	6	3	9	88
脳・神経系	3	2	5	5	5	2	6	3	1	3	0	1	36
血管系	8	15	13	24	12	13	19	7	8	18	20	16	173
呼吸器系	4	3	11	9	9	15	16	12	13	9	13	16	130
内視鏡	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
その他	4	4	2	10	2	1	3	1	2	4	4	3	40
合計	118	137	125	171	164	148	169	137	132	125	127	157	1,710

結石破砕術（ESWL）

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
結石破砕室	8	9	6	12	17	9	9	10	8	6	7	5	106

超音波検査

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
腹部	55	31	50	71	75	73	68	56	64	39	48	89	719
頸部	52	44	71	72	52	69	66	54	66	56	47	56	705
乳腺	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
生検	12	6	10	11	3	10	16	11	10	12	10	16	127
その他	1	0	2	0	2	1	1	0	0	1	2	0	10
合計	120	81	133	154	133	153	151	121	140	108	107	161	1,562

RI検査

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳・脳槽	9	9	11	14	14	14	8	14	12	11	13	20	149
心臓	17	9	19	17	5	15	9	21	15	16	17	20	180
肺	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	7
腫瘍	2	1	0	1	0	0	3	1	1	1	0	1	11
腎・生殖器系	1	0	0	1	1	1	1	0	0	2	1	1	9
骨	16	13	22	24	20	19	22	21	28	25	28	28	266
造血器	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
内分泌系	1	1	2	1	0	1	0	2	0	1	0	0	9
消化器系	1	2	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	9
合計	48	35	56	60	43	51	44	59	57	57	62	71	643

血管撮影検査

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	11	7	13	14	8	5	0	0	10	18	12	19	117
腹部	3	0	1	2	1	1	1	3	0	2	1	2	17
四肢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
心臓	50	38	58	61	62	66	63	72	73	60	63	66	732
合計	64	45	72	77	71	73	64	75	83	81	77	87	869

放射線治療(延べ件数)

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	21	1	0	20	6	16	0	7	8	0	0	27	106
頸部	5	0	13	40	19	3	23	32	15	6	0	8	164
胸部・縦郭	92	66	25	28	54	73	21	56	90	43	39	66	653
腹部	53	19	55	66	53	76	164	122	55	67	152	228	1,110
脊椎	1	30	31	0	15	22	21	11	3	17	10	26	187
乳腺	37	19	35	45	51	33	44	72	82	30	121	264	833
四肢	0	0	8	2	0	12	0	0	0	0	17	19	58
皮膚	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	5
全身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SRS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	209	135	167	202	202	235	273	300	253	163	339	638	3,116

放射線治療(導入件数)

検査区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	0	0	0	2	1	1	0	2	0	0	0	3	9
頸部	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	1	8
胸部・縦郭	3	2	2	3	1	2	1	4	2	2	4	1	27
腹部	1	1	4	0	3	6	5	3	1	5	6	5	40
脊椎	1	3	4	0	2	3	3	1	0	3	1	2	23
乳腺	1	1	1	4	1	2	1	5	0	3	10	9	38
四肢	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	5
皮膚	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
全身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SRS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	7	14	11	9	16	11	16	4	13	22	23	152

9. 内視鏡件数

【内視鏡件数】

2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
上部内視鏡	242	159	294	324	359	406	461	423	385	314	287	282	3,936
下部内視鏡	98	64	139	148	122	132	146	137	145	122	128	144	1,525
大腸良性EMR	34	15	45	41	28	32	39	35	44	31	34	32	410
大腸癌EMR	1	0	3	1	1	4	7	4	3	5	1	2	32
ERCP	21	18	11	22	29	35	28	21	21	16	16	30	268
ESD	3	5	1	3	4	4	4	5	4	6	4	1	44
EIS	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6
その他	0	6	2	9	5	1	2	6	3	3	3	0	40

《肝胞癌に対する治療》

RFA : 1 例

PEIT : 0 例

TACE : 15 例

(RFA：経皮的ラジオ波焼灼療法 PEIT：経皮的エタノール注入療法 TACE：肝動脈化学塞栓療法)

10. 臨床検査科

検体検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理検査	501	373	562	552	465	556	604	558	628	528	504	585	6,416
細菌検査	1,964	1,705	2,124	2,386	2,458	2,207	2,546	212	2,042	2,353	2,520	2,867	25,384
生理検査	1,729	1,413	1,934	2,136	1,952	2,095	2,341	2,129	2,238	1,946	1,980	2,323	24,216
生化学検査	109,633	91,634	110,655	122,581	115,135	117,717	123,751	112,948	128,951	125,400	119,241	139,759	1,417,405
血清検査	9,880	8,814	10,912	11,953	11,329	12,271	12,366	11,292	12,375	11,349	10,996	12,586	136,123
血液検査	12,834	11,429	13,313	14,835	14,297	14,599	15,288	14,246	15,127	14,760	13,622	16,174	170,524
輸血検査	446	464	566	589	557	578	589	575	575	592	524	593	6,648
一般検査	4,020	3,130	4,400	4,740	4,711	4,696	4,921	4,466	4,635	4,259	3,930	4,284	52,192
外注検査	1,760	1,357	2,048	2,070	1,733	2,006	2,164	1,658	2,052	1,686	1,847	2,122	22,503
合計	142,767	120,319	146,514	161,842	152,637	156,725	164,570	148,084	168,623	162,873	155,164	181,293	1,861,411

生理検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
肺機能	入院	4	4	8	6	3	9	6	2	3	1	1	4	51
	外来	116	64	98	121	105	103	112	125	99	75	107	126	1,251
	計	120	68	106	127	108	112	118	127	102	76	108	130	1,302
心電図	入院	63	67	84	88	68	65	86	73	70	85	64	76	889
	外来	921	801	1,005	1,111	990	1,084	1,205	1,067	1,177	1,082	1,045	1,221	12,709
	計	984	868	1,089	1,199	1,058	1,149	1,291	1,140	1,247	1,167	1,109	1,297	13,598
脳波	入院	4	0	1	7	7	6	5	4	6	4	9	12	65
	外来	12	6	9	14	27	20	18	15	13	13	12	28	187
	計	16	6	10	21	34	26	23	19	19	17	21	40	252
エコー	入院	73	64	101	105	97	68	85	70	110	103	86	99	1,061
	外来	325	227	413	443	441	509	582	541	548	422	452	505	5,408
	計	398	291	514	548	538	577	667	611	658	525	538	604	6,469
聴力	入院	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	外来	11	34	49	54	54	62	61	58	49	35	33	48	548
	計	13	34	49	54	54	62	61	59	49	35	33	48	551
C P X	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	17	12	20	20	21	19	19	20	19	13	20	23	223
	計	17	12	20	20	21	19	19	20	19	13	20	23	223
その他	入院	56	39	26	35	24	21	20	22	25	11	27	37	343
	外来	125	95	120	132	115	129	142	131	119	102	124	144	1,478
	計	181	134	146	167	139	150	162	153	144	113	151	181	1,821
総合計	入院	202	174	220	241	199	169	202	172	214	204	187	228	2,412
	外来	1,527	1,239	1,714	1,895	1,753	1,926	2,139	1,957	2,024	1,742	1,793	2,095	21,804
	合計	1,729	1,413	1,934	2,136	1,952	2,095	2,341	2,129	2,238	1,946	1,980	2,323	24,216

* エコー（血管エコーを含む）

* その他（聴力以外耳鼻いんこう科関連、筋電図等）

輸血単位数

品	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
照射赤血球液	266	256	324	272	282	328	310	294	338	332	270	512	3,784
凍結血漿	112	36	18	42	34	38	6	14	34	128	14	328	804
濃厚血小板	385	320	340	360	470	385	600	570	1020	565	665	1050	6,730
洗浄赤血球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
洗浄血小板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
合	763	612	682	674	786	751	916	878	1,392	1,025	949	1,900	11,328

病理組織診断件数

		件数			保険点数		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計
組 織 診	1臓器	933	1,795	2,728	802,380	1,954,780	2,757,160
	2臓器	164	148	312	282,080	254,560	536,640
	3臓器	32	22	54	82,560	108,360	190,920
	術中迅速組織診断	101	41	142	200,990	57,710	258,700
組 織 診 材 料	手術後切除材料	1010	367	1,377	0	0	0
	生検材料	581	2,229	2,810	0	0	0
細 胞 診	迅速細胞診断	5	0	5	2,250	0	2,250
剖 検		7	0	7	0	0	0

細胞診断件数

	件数			保険点数			
	入院	外来	合計	点数	入院	外来	点数合計
婦 人 科	0	509	509	150	0	76,350	76,350
呼 吸 器	33	152	185	190	6,270	28,880	35,150
体 腔 液	106	36	142	190	20,140	6,840	26,980
消 化 器	40	2	42	190	7,600	380	7,980
泌 尿 器	61	1,081	1,142	190	11,590	205,390	216,980
乳 腺	0	48	48	190	0	9,120	9,120
甲 状 腺	2	108	110	190	380	20,520	20,900
リンパ節	7	46	53	190	1,330	8,740	10,070
そ の 他	15	83	98	190	2,850	15,770	18,620
合 計	264	2,065	2,329		50,160	371,990	422,150

11. 病理解剖数

解剖数 7件

12. 調剤統計状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実働日数（診療日数）	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
実働人員	21	20	20	21	21	20	20	20	20	20	20	20	243
1人1日平均枚数 （入+外+注）	32.3	31.2	32.1	33.0	32.8	33.5	34.5	33.7	33.8	35.0	38.2	38.7	

入院処方箋枚数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	49	21	14	12	22	15	27	14	26	10	16	22	248
腫 瘍 内 科	72	96	135	85	101	201	132	124	71	101	93	125	1,336
消 化 器 内 科	626	653	659	601	780	709	668	511	511	591	411	663	7,383
血 液 内 科	302	263	328	394	325	316	379	343	448	429	392	500	4,419
糖 尿 病 代 謝 内 科	306	374	341	353	287	280	368	331	322	243	245	283	3,733
循 環 器 内 科	855	730	752	760	696	777	712	848	900	827	1056	1048	9,961
呼 吸 器 外 科	70	74	46	69	51	90	71	56	90	53	48	59	777
呼 吸 器 内 科	538	351	275	555	555	407	580	563	742	925	617	633	6,741
脳 神 経 内 科	0	5	7	3	2	3	2	1	0	1	3	9	36
心 療 内 科	0	0	0	0		65	0	0	0				65
小 児 科	100	52	52	146	55	0	71	58	56	63	74	63	790
外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
乳 腺 外 科	18	9	1	20	10	21	23	26	46	25	30	16	245
消 化 器 外 科	367	306	396	375	432	381	334	440	407	320	352	386	4,496
整 形 外 科	875	810	816	810	755	776	818	1036	990	917	748	819	10,170
産 婦 人 科	32	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0		41
泌 尿 器 科	373	400	483	468	416	355	468	376	420	489	382	404	5,034
脳 神 経 外 科	567	557	497	559	462	329	217	133	323	541	489	632	5,306
眼 科	39	26	32	38	28	45	31	32	35	41	30	46	423
耳 鼻 い ん こ う 科	10	2	22	42	38	29	32	58	34	18	36	7	328
皮 膚 科	75	78	116	95	80	82	109	71	96	69	84	113	1,068
形 成 外 科	85	55	77	119	95	127	133	166	158	67	66	118	1,266
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		1
緩 和 ケ ア 内 科	255	201	233	242	167	207	197	174	125	159	163	245	2,368
歯 科 口 腔 外 科	149	130	154	145	158	145	183	160	186	118	136	168	1,832
在 宅 診 療 科	12	12	49	33	70	34	46	49	28	53	33	46	465
合 計	5,775	5,214	5,485	5,924	5,585	5,394	5,601	5,571	6,014	6,060	5,504	6,405	68,532
1日平均枚数 （365日で算出）	192.5	168.2	182.8	191.1	180.2	179.8	180.7	185.7	194.0	195.5	196.6	206.6	187.8

外来処方箋枚数【院内】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	150	147	140	203	232	161	160	156	136	156	103	134	1,878
腫 瘍 内 科	1	0	4	3	2	1	6	4	1	2	4	9	37
消 化 器 内 科	45	47	79	89	67	86	110	93	91	74	71	75	927
血 液 内 科	65	71	70	63	68	84	95	73	81	78	89	96	933
糖 尿 病 代 謝 内 科	311	203	278	291	243	271	289	242	275	257	230	275	3,165
循 環 器 内 科	30	29	41	44	26	37	39	31	43	26	42	46	434
呼 吸 器 外 科	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0		3
呼 吸 器 内 科	11	5	3	11	1	7	4	6	5	6	3	5	67
脳 神 経 内 科	5	5	4	4	2	2	3	1	0	4	3	2	35
心 療 内 科	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	12
小 児 科	73	52	56	92	78	88	90	99	83	60	49	86	906
外 科	1	1	1	2	2	6	3	0	1	2	2	3	24
乳 腺 外 科	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		3
消 化 器 外 科	26	15	15	21	17	22	17	18	14	21	9	23	218
整 形 外 科	45	57	62	84	74	77	69	68	77	70	49	64	796
産 婦 人 科	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
泌 尿 器 科	15	24	41	28	28	31	24	25	26	23	14	21	300
脳 神 経 外 科	8	8	17	17	15	13	11	18	13	20	6	8	154
眼 科	2	1	10	4	6	6	7	6	7	2	3	6	60
耳 鼻 い ん こ う 科	12	11	16	5	14	23	13	8	14	10	14	18	158
皮 膚 科	13	29	38	51	47	37	29	26	27	27	19	33	376
形 成 外 科	28	41	48	66	60	61	64	46	47	47	34	38	580
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩 和 ケ ア 内 科	5	1	2	1	1	2	0	0	0	1	0	1	14
歯 科 口 腔 外 科	17	5	9	21	13	15	15	11	15	17	12	22	172
在 宅 診 療 科	3	4	5	1	1	3	0	2	2	2	0	0	23
合 計	870	759	941	1,102	998	1,035	1,049	936	960	906	757	967	11,280
1日平均枚数 （実働日数で算出）	41.4	42.2	42.8	52.5	49.9	51.8	47.7	49.3	48.0	47.7	42.1	42.0	46.4

外来処方箋枚数【院外】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	387	290	335	481	505	417	435	447	414	433	396	472	5,012
腫 瘍 内 科	68	62	67	63	57	52	69	72	74	59	52	74	769
消 化 器 内 科	523	423	518	567	507	528	547	486	520	468	445	549	6,081
血 液 内 科	186	195	203	221	200	210	218	207	211	198	189	230	2,468
糖 尿 病 代 謝 内 科	912	717	806	844	712	839	836	787	855	814	732	943	9,797
循 環 器 内 科	1,049	844	982	988	983	971	1,029	978	1,064	918	963	1,119	11,888
呼 吸 器 外 科	40	29	39	37	31	45	53	42	50	46	39	43	494
呼 吸 器 内 科	595	517	488	633	509	562	634	570	589	569	549	614	6,829
脳 神 経 内 科	343	281	312	290	317	282	330	327	315	305	293	299	3,694
心 療 内 科	88	58	73	85	73	93	68	69	89	67	75	89	927
小 児 科	207	142	211	222	194	225	264	243	262	203	199	304	2,676
外 科	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
乳 腺 外 科	185	138	201	170	168	194	193	161	180	159	156	190	2,095
消 化 器 外 科	258	202	243	245	215	241	240	188	202	217	214	247	2,712
整 形 外 科	861	809	951	991	1,000	987	1,031	973	988	966	840	1,052	11,449
産 婦 人 科	33	16	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57
泌 尿 器 科	659	580	673	703	645	658	663	613	630	581	598	668	7,671
脳 神 経 外 科	274	238	256	203	182	188	187	170	174	200	194	219	2,485
眼 科	368	268	414	358	375	386	400	375	410	317	375	462	4,508
耳 鼻 い ん こ う 科	421	357	384	431	400	430	411	429	432	400	423	486	5,004
皮 膚 科	262	261	355	394	431	384	365	378	368	386	358	468	4,410
形 成 外 科	254	235	240	268	307	262	271	241	243	233	224	289	3,067
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 射 線 科	4	4	5	10	9	11	8	15	16	7	17	34	140
緩 和 ケ ア 内 科	17	28	30	20	24	19	17	15	16	26	24	26	262
歯 科 口 腔 外 科	198	149	204	207	206	221	264	239	294	230	215	283	2,710
在 宅 診 療 科	44	47	40	42	40	29	42	44	42	34	28	43	475
合 計	8,237	6,891	8,038	8,473	8,091	8,234	8,575	8,069	8,438	7,836	7,598	9,203	97,683
1日平均枚数 (実働日数で算出)	392.2	382.8	365.4	403.5	404.6	411.7	389.8	424.7	421.9	412.4	422.1	400.1	402.0
院 外 発 行 率 (%)	90.4%	90.1%	89.5%	88.5%	89.0%	88.8%	89.1%	89.6%	89.8%	89.6%	90.9%	90.5%	89.6%

注射処方箋枚数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	121	47	22	74	56	37	86	47	56	30	47	41	664
腫 瘍 内 科	181	435	422	369	382	574	493	445	258	385	252	370	4,566
消 化 器 内 科	2,654	2,459	2,137	3,013	3,118	2,590	2,917	2,273	2,171	2,418	2,358	3,597	31,705
血 液 内 科	725	626	799	760	737	919	1,357	1,077	1,553	1,182	1,374	1,902	13,011
糖 尿 病 代 謝 内 科	166	245	268	281	290	281	304	182	397	169	94	101	2,778
循 環 器 内 科	1,733	1,552	1,179	954	1,124	1,381	1,635	1,309	1,442	1,682	2,096	1,708	17,795
呼 吸 器 外 科	206	151	191	97	99	207	153	171	147	173	98	182	1,875
呼 吸 器 内 科	1,387	1,281	940	1,534	1,231	1,356	1,534	1,097	1,540	2,015	1,709	1,661	17,285
脳 神 経 内 科	0	0	2	2	10	17	2	4	2	2	2	3	46
心 療 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	264	159	142	245	227	124	115	200	122	146	169	363	2,276
外 科	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	10
乳 腺 外 科	145	96	152	167	180	176	199	267	240	210	286	209	2,327
消 化 器 外 科	1,852	1,618	1,803	1,924	1,968	1,956	1,752	3,042	1,772	1,668	2,280	2,107	23,742
整 形 外 科	1,247	781	724	749	756	631	852	924	950	880	821	776	10,091
産 婦 人 科	38	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44
泌 尿 器 科	766	965	911	981	1,029	1,041	1,078	800	868	963	898	604	10,904
脳 神 経 外 科	1,044	1,757	1,745	1,509	1,987	943	524	359	1,135	1,508	1,479	1,721	15,711
眼 科	0	5	4	0	0	0	0	1	0	4	0	3	17
耳 鼻 い ん こ う 科	27	12	40	71	75	38	76	86	43	27	31	11	537
皮 膚 科	98	106	99	144	104	164	244	85	177	172	126	184	1,703
形 成 外 科	167	62	68	335	147	128	173	137	69	54	70	47	1,457
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
緩 和 ケ ア 内 科	68	36	78	139	172	141	273	183	94	101	154	217	1,656
歯 科 口 腔 外 科	351	305	426	403	392	356	460	382	379	293	246	330	4,323
在 宅 診 療 科	113	129	330	147	113	69	100	87	49	107	101	122	1,467
合 計	13,358	12,833	12,482	13,903	14,197	13,129	14,327	13,159	13,464	14,189	14,691	16,259	165,991
1日平均枚数 (365日で算出)	445.3	414.0	416.1	448.5	458.0	437.6	462.2	438.6	434.3	457.7	524.7	524.5	454.8

製剤処方箋枚数

製 剤	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
製 剤	50	38	55	49	52	44	45	35	54	44	41	41	548
1日平均枚数 (365日で算出)	1.7	1.2	1.8	1.6	1.7	1.5	1.5	1.2	1.7	1.4	1.5	1.3	1.5

13. 薬剤管理指導

薬剤管理指導件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	4	0	1	0	1	1	0	0	2	0	3	2	14
腫 瘍 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消 化 器 内 科	129	93	88	87	106	113	106	104	95	105	109	128	1,263
血 液 内 科	40	21	37	32	34	40	50	58	56	59	56	59	542
糖 尿 病 代 謝 内 科	13	20	11	15	13	11	15	20	24	8	4	6	160
循 環 器 内 科	100	81	103	85	85	87	103	116	131	113	133	146	1,283
呼 吸 器 外 科	10	6	4	8	11	21	13	13	16	10	11	12	135
呼 吸 器 内 科	53	21	40	66	54	56	80	90	100	92	83	77	812
脳 神 経 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心 療 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	20	10	5	17	9	12	11	9	9	11	10	7	130
外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 腺 外 科	8	1	2	8	8	9	7	12	14	11	9	8	97
消 化 器 外 科	89	50	97	87	81	76	90	101	86	63	78	83	981
整 形 外 科	127	84	95	108	101	97	133	187	161	154	149	134	1,530
産 婦 人 科	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
泌 尿 器 科	57	68	91	85	86	74	89	104	91	85	83	88	1,001
脳 神 経 外 科	48	44	41	42	50	34	35	23	43	78	68	71	577
眼 科	26	7	7	16	10	9	8	7	10	10	9	4	123
耳 鼻 い ん こ う 科	3	0	7	10	10	13	11	17	11	5	8	2	97
皮 膚 科	7	8	12	10	10	13	7	4	5	7	17	13	113
形 成 外 科	20	11	14	11	5	8	17	28	20	12	16	20	182
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩 和 ケ ア 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	28	32	48	52	61	49	61	63	58	43	49	64	608
在 宅 診 療 科	1	1	5	3	2	2	7	6	4	5	1	4	41
合 計	786	558	708	742	737	725	843	962	936	871	896	928	9,692
1日平均件数 (実働日数で算出)	37.4	31.0	32.2	35.3	36.9	36.3	38.3	50.6	46.8	45.8	49.8	40.3	39.9

退院時薬剤情報管理指導件数

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	6
腫 瘍 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消 化 器 内 科	36	23	27	26	41	44	30	28	24	28	26	40	373
血 液 内 科	7	3	7	5	7	3	8	6	3	9	6	9	73
糖 尿 病 代 謝 内 科	8	8	3	7	3	4	3	4	9	2	2	1	54
循 環 器 内 科	51	31	42	49	48	37	56	42	50	48	39	60	553
呼 吸 器 外 科	0	1	1	3	1	5	5	5	5	2	3	4	35
呼 吸 器 内 科	14	6	9	19	21	18	28	23	30	25	25	23	241
脳 神 経 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心 療 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	2	5	1	8	2	7	3	4	3	4	5	4	48
外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 腺 外 科	1	0	0	2	2	2	3	3	5	2	1	1	22
消 化 器 外 科	29	19	36	31	29	23	28	25	33	21	27	33	334
整 形 外 科	24	20	15	27	19	20	32	32	34	19	16	23	281
産 婦 人 科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
泌 尿 器 科	20	15	28	26	19	20	19	18	27	22	24	23	261
脳 神 経 外 科	18	16	18	12	18	15	12	8	13	25	29	28	212
眼 科	17	4	5	8	6	7	5	5	7	7	8	2	81
耳 鼻 い ん こ う 科	2	0	2	3	3	4	5	5	4	2	3	1	34
皮 膚 科	2	0	5	2	3	4	3	2	2	1	7	5	36
形 成 外 科	7	4	5	5	1	3	5	7	8	4	3	4	56
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩 和 ケ ア 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	15	13	30	22	29	26	38	33	35	20	25	30	316
在 宅 診 療 科	0	0	2	2	1	0	2	3	1	3	0	0	14
合 計	257	168	236	257	253	242	286	253	294	244	249	293	3,032
1日平均件数 (実働日数で算出)	12.2	9.3	10.7	12.2	12.7	12.1	13.0	13.3	14.7	12.8	13.8	12.7	12.5

外来 化学療法剤注射調製件数

調製数 = 患者数

診療科 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
内 科	17	6	2	3	4	3	4	5	6	9	6	8	73
消 化 器 内 科	19	21	23	21	19	18	23	25	24	26	20	28	267
腫 瘍 内 科	9	21	24	42	36	32	29	32	34	19	18	34	330
血 液 内 科	69	78	72	79	64	82	93	69	82	76	99	96	959
糖尿病代謝内科													
呼 吸 器 内 科	16	22	25	12	14	26	20	15	18	20	18	18	224
呼 吸 器 外 科	12	14	16	15	13	11	16	11	10	14	9	10	151
小 児 科													
外 科													
乳 腺 外 科	22	21	33	24	28	24	35	30	36	34	27	36	350
消 化 器 外 科	50	34	49	50	43	50	41	35	33	36	32	41	494
整 形 外 科	3	5	4	1	4	1	5	1	5	1	5	1	36
脳 神 経 外 科	6	4										1	11
皮 膚 科													
泌 尿 器 科	29	30	35	24	21	21	15	13	13	15	14	15	245
産 婦 人 科			9										9
眼 科													
耳鼻いんこう科													
脳 神 経 内 科													
放 射 線 科													
麻 酔 科													
歯科口腔外科	8	8		14	6	8	8	1	5	4	2	1	65
形 成 外 科													
心 療 内 科													
循 環 器 内 科						1	2	1	2	1	1	2	10
緩和ケア内科													
在 宅 診 療 科													
合 計	260	264	292	285	252	277	291	238	268	255	251	291	3,224

入院 化学療法剤注射調製件数

調製数 = 患者数

病棟 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
8 A	21			2									23
7 A	60	32	32	40	73	66	68	54	61	80	52	63	681
7 B	20	12	10										42
6 A				16	8	11	11	23	18	16	18	7	128
6 B	9	22	14	12	10	12	12	4	2	4	1	2	104
5 A													0
5 B						2	2	14	5	6	12	10	51
4 B		1						2					3
I C U												2	2
合 計	110	67	56	70	91	91	93	97	86	106	83	84	1,034

T P N件数

月 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4 B									1			5	6
5 A						3						1	4
5 B				1			4						5
6 A		18	1				2		3				24
6 B	4	3		2	3	1		2	12	15	32	19	93
7 A		1	6				2	14		1	10	4	38
7 B												4	4
8 A													0
8 B													0
I C U													0
合 計	4	22	7	3	3	4	8	16	16	16	42	33	174
1日平均	0.19	1.22	0.32	0.14	0.15	0.20	0.36	0.84	0.80	0.84	2.33	1.43	0.72

後発医薬品使用割合

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後発医薬品使用数量	①	107,519	87,372	109,568	110,571	105,667	104,492	110,833	111,655	97,374	98,625	95,296	112,343
後発医薬品のある 先発医薬品使用数量	②	4,223	4,212	4,041	3,940	4,949	4,536	4,552	5,073	4,763	4,763	3,849	4,114
後発医薬品使用割合	①	96.2%	95.4%	96.4%	96.6%	95.5%	95.8%	96.1%	95.7%	95.3%	95.4%	96.1%	96.5%
	①+②												

入退院支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	10	12	11	12	3	12	30	6	5	10	10	11	132
消 化 器 内 科		1	1	1	1		1	1		1	1		8
腫 瘍 内 科			1										1
血 液 内 科													0
糖尿病代謝内科					1		2						3
循 環 器 内 科	8	11	13	16	15	25	13	29	27	12	22	16	207
呼 吸 器 外 科					1	3	3	4	6	1	5	3	26
呼 吸 器 内 科			1		1	1	1	2	2	1	2	3	14
心 療 内 科													0
小 児 科													0
外 科			2		2			3	2	1		1	11
乳 腺 外 科			3		2	3	2	4	6		1	1	22
消 化 器 外 科	10	16	15	7	12	18	10	26	15	8	25	23	185
整 形 外 科	4	3	4	1	3	1	3	4	3	1	4	3	34
産 婦 人 科													0
泌 尿 器 科	3	2	9	10	14	19	12	19	17	10	23	18	156
脳 神 経 外 科	1		1							1	1	2	6
脳 神 経 内 科													0
眼 科													0
耳鼻いんこう科								1			1		2
皮 膚 科													0
形 成 外 科						1		1	1	1		2	6
麻 酔 科													0
放 射 線 科													0
緩和ケア内科													0
歯科口腔外科						1						2	3
在 宅 診 療 科													0
合 計	36	45	61	47	55	84	77	100	84	47	95	85	816

ポリファーマシー件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤総合評価調整加算	0	0	2	8	18	16	27	13	23	16	24	23	170
薬 剤 調 整 加 算	0	0	0	2	7	6	9	5	9	4	7	10	59

14. リハビリテーション科業務実績

療法別 リハビリテーション単位数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理 学 療 法	入院	2,767	2,678	3,256	3,569	3,395	3,392	3,284	3,393	3,382	3,598	3,310	3,961	39,985
	外来	737	631	1,038	1,090	1,001	1,191	1,280	1,089	1,108	1,039	1,092	1,299	12,595
	総数	3,504	3,309	4,294	4,659	4,396	4,583	4,564	4,482	4,490	4,637	4,402	5,260	52,580
作 業 療 法	入院	1,289	1,307	1,465	1,489	1,344	1,301	1,229	1,235	1,209	1,288	1,197	1,514	15,867
	外来	145	122	129	130	135	128	151	131	129	159	151	156	1,666
	総数	1,434	1,429	1,594	1,619	1,479	1,429	1,380	1,366	1,338	1,447	1,348	1,670	17,533
言語聴覚療法	入院	438	486	663	726	643	561	387	257	467	677	644	775	6,724
	外来	36	26	34	37	32	36	37	24	32	32	23	18	367
	総数	474	512	697	763	675	597	424	281	499	709	667	793	7,091
合 計	入院	4,494	4,471	5,384	5,784	5,382	5,254	4,900	4,885	5,058	5,563	5,151	6,250	62,576
	外来	918	779	1,201	1,257	1,168	1,355	1,468	1,244	1,269	1,230	1,266	1,473	14,628
	総数	5,412	5,250	6,585	7,041	6,550	6,609	6,368	6,129	6,327	6,793	6,417	7,723	77,204

摂食機能療法件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
摂 食 機 能 療 法	310	211	211	166	179	218	301	279	227	134	93	82	2,411

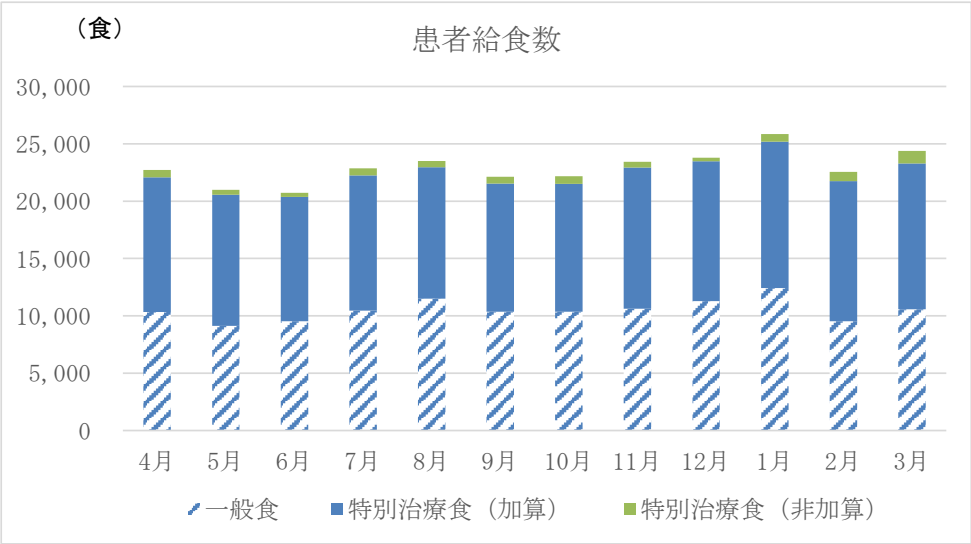
疾患別 リハビリテーション単位数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等 リハ	入院	2,069	1,945	2,524	3,174	2,877	2,655	2,062	1,587	1,833	2,409	2,147	2,985	28,267
	外来	68	50	55	71	60	66	67	47	50	47	42	40	663
廃用症候群 リハ	入院	321	426	462	505	388	420	608	566	576	465	436	465	5,638
	外来	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	14	20
運 動 器 リ ハ	入院	1,373	1,308	1,501	1,411	1,428	1,445	1,507	1,823	1,707	1,752	1,729	1,612	18,596
	外来	234	216	234	196	196	231	272	200	220	277	266	281	2,823
心大血管疾患 リハ	入院	269	342	417	297	326	413	407	440	479	474	518	682	5,064
	外来	613	513	912	990	912	1,058	1,128	996	999	906	954	1,138	11,119
呼 吸 器 リ ハ	入院	157	252	258	220	132	119	170	138	193	285	183	267	2,374
	外来	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
が ん リ ハ	入院	305	198	222	177	231	202	146	331	270	178	138	239	2,637
合 計	入院	4,494	4,471	5,384	5,784	5,382	5,254	4,900	4,885	5,058	5,563	5,151	6,250	62,576
	外来	918	779	1,201	1,257	1,168	1,355	1,468	1,244	1,269	1,230	1,266	1,473	14,628
	総数	5,412	5,250	6,585	7,041	6,550	6,609	6,368	6,129	6,327	6,793	6,417	7,723	77,204

15. 栄養科・栄養治療室

①患者給食数

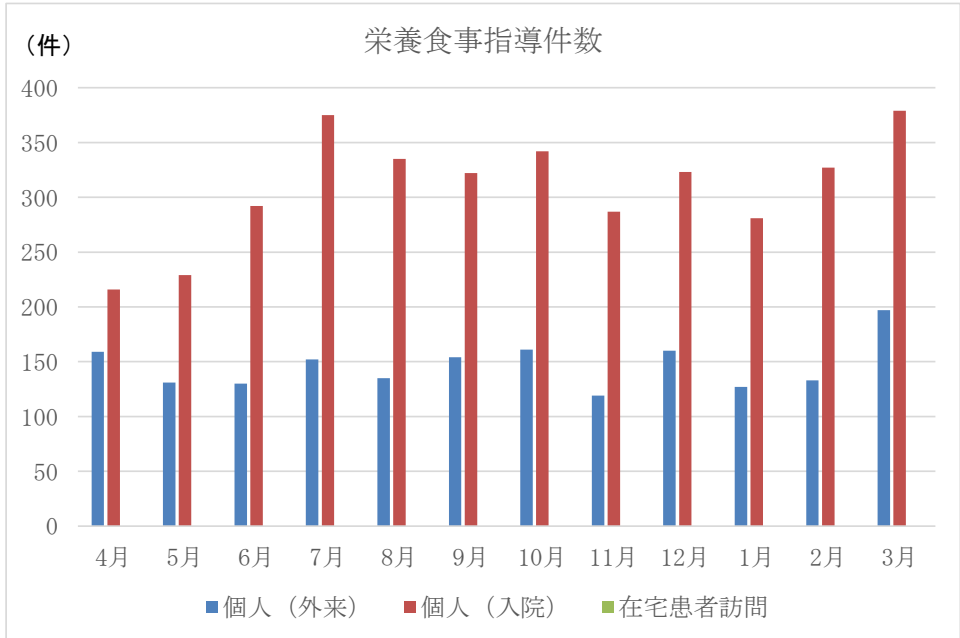
給食数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
一般食	10,348	9,123	9,524	10,450	11,490	10,361	10,358	10,611	11,297	12,425	9,540	10,563	126,090	10,508
特別治療食 (加算)	11,722	11,429	10,840	11,789	11,459	11,172	11,145	12,322	12,189	12,758	12,219	12,721	141,765	11,814
特別治療食 (非加算)	662	446	359	625	553	605	683	491	306	660	797	1,095	7,282	607
合計	22,732	20,998	20,723	22,864	23,502	22,138	22,186	23,424	23,792	25,843	22,556	24,379	275,137	22,928
特別食比率 (%)	51.6	54.4	52.3	51.6	48.8	50.5	50.2	52.6	51.2	49.4	54.2	52.2	51.5	



食数内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者食実施食数	20,913	19,206	18,873	21,058	21,601	20,457	20,825	22,331	22,564	24,354	20,827	22,203	255,212
予備食	450	465	450	465	465	450	465	450	465	465	420	465	5,475
追加食	258	177	234	402	568	394	265	314	313	335	306	399	3,965
検食	528	527	176	551	527	529	583	546	557	529	478	549	6,080
合計	22,149	20,375	19,733	22,476	23,161	21,830	22,138	23,641	23,899	25,683	22,031	23,616	270,732

②栄養食事指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
個人 (外来)	159	131	130	152	135	154	161	119	160	127	133	197	1,758	5,466
個人 (入院)	216	229	292	375	335	322	342	287	323	281	327	379	3,708	
在宅患者訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



③集団栄養食事指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
集団（外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137
集団（入院）	19	18	11	11	11	9	10	10	12	5	8	13	137	

④糖尿病透析予防指導指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	36	0	48	49	41	52	51	44	46	46	37	53	503

③集団栄養食事指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
集団（外来）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137
集団（入院）	19	18	11	11	11	9	10	10	12	5	8	13	137	

④糖尿病透析予防指導指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	36	0	48	49	41	52	51	44	46	46	37	53	503

⑤栄養食事指導内訳（病名別）

病名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖 尿 病	114	105	113	121	108	105	137	86	117	110	107	143	1,366
糖 尿 病 腎 症	24	24	14	7	5	16	12	6	11	13	7	10	149
脂 質 異 常 症	15	18	19	41	46	37	38	31	33	27	34	37	376
心 臓 疾 患	85	68	79	127	88	83	94	83	95	82	112	125	1,121
高 血 圧 症	18	19	40	49	56	50	58	69	70	53	52	71	605
腎 臓 疾 患	31	43	36	51	45	39	37	35	34	39	46	44	480
脾 臓 疾 患	0	4	1	4	1	1	4	3	3	0	1	8	30
肝 臓 疾 患	5	4	7	1	11	10	9	10	11	10	7	9	94
高 度 肥 満 症	3	4	3	5	5	2	4	1	3	5	6	7	48
胃・十二指腸潰瘍	1	3	1	2	1	3	6	3	4	6	4	3	37
消 化 管 術 後	13	12	33	19	20	20	23	23	26	13	21	34	257
炎 症 性 腸 疾 患	1	1	3	3	2	1	3	0	0	0	0	0	14
貧 血 症	3	1	2	1	8	13	2	1	3	3	3	5	45
痛 風	0	3	3	2	0	1	0	0	1	0	0	1	11
ガラクトース血症	8	3	8	4	11	10	9	8	10	6	7	11	95
小児食物アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妊娠高血圧症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摂食嚥下機能低下	4	4	4	13	10	8	8	4	4	5	6	5	75
低 栄 養	1	10	13	12	14	9	9	9	10	7	12	7	113
が ん	46	31	43	64	37	60	46	32	45	29	34	53	520
そ の 他	3	3	0	1	2	8	4	2	3	0	1	3	30
合計	375	360	422	527	470	476	503	406	483	408	460	576	5,466

16. 臨床工学科

医療機器業務

中央管理機器使用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
輸液ポンプ	432	401	394	487	464	415	415	434	449	488	475	515	5,369
シリンジポンプ	127	115	113	134	112	100	108	105	130	169	169	165	1,547
人工呼吸器	23	16	21	22	28	20	9	14	25	31	34	35	278
モニタリングシステム	5	0	0	0	0	2	7	0	15	10	3	2	44
経腸栄養ポンプ	25	25	16	15	22	16	15	10	24	27	25	35	255
総 件 数	612	557	544	658	626	553	554	563	643	725	706	752	7,493

中央管理機器点検件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
輸液ポンプ	通常点検	385	327	338	370	385	351	379	341	335	410	395	400	4,416
	定期点検	47	49	39	30	66	36	49	42	49	37	42	40	526
	総点検数	432	376	377	400	451	387	428	383	384	447	437	440	4,942
シリンジポンプ	通常点検	113	117	107	111	112	84	91	100	96	161	148	148	1,388
	定期点検	17	19	11	49	15	16	28	12	23	19	18	19	246
	総点検数	130	136	118	160	127	100	119	112	119	180	166	167	1,634
人工呼吸器	通常点検	19	14	19	8	21	16	10	9	16	24	29	32	217
	定期点検	4	3	5	7	4	1	4	4	5	4	6	8	55
	総点検数	23	17	24	15	25	17	14	13	21	28	35	40	272
モニタリングシステム	通常点検	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	定期点検	4	0	0	0	0	1	6	1	6	7	4	2	31
	総点検数	4	0	0	0	0	1	6	2	6	7	4	2	32
経腸栄養ポンプ	通常点検	18	18	16	13	20	9	10	7	15	20	22	27	195
	定期点検	7	0	2	0	0	12	2	0	0	1	4	6	34
	総点検数	25	18	18	13	20	21	12	7	15	21	26	33	229
総 件 数		614	547	537	588	623	526	579	517	545	683	668	682	7,109

中央管理機器以外の医療機器定期点検

12誘導心電計	4台	2ヶ月毎	個人用透析装置	4台	3ヶ月毎
モニタ付除細動器	6台	2ヶ月毎	多人数用透析装置	21台	3ヶ月毎
I A B P	1台	1ヶ月毎	R O 水処理装置	1台	毎日
P C P S	1台	1ヶ月毎	個人用R O 水処理装置	2台	1週間毎
A E D	9台	毎日/1ヶ月毎	浸透圧計	1台	6ヶ月毎
熱希釈心拍出量計	1台	12ヶ月毎	スペクトラ幹細胞分離器	1台	12ヶ月毎
インフアントウォーマー	5台	6ヶ月毎	Y A G レーザー	1台	1ヶ月毎
膀胱鏡洗浄機	1台	3ヶ月毎	フライトヘルメット	5台	3ヶ月毎
院内自動血圧計	10台	6ヶ月毎	高周波焼灼電源装置	1台	6ヶ月毎
C P M	2台	6ヶ月毎	アルゴン焼灼電源装置	1台	6ヶ月毎
超音波骨折治療器	2台	6ヶ月毎	一般的電気手術	1台	6ヶ月毎
高低体温維持装置	1台	2ヶ月毎	血液・医薬品用加温器	1台	12ヶ月毎
ドリップアイ	15台	6ヶ月毎	麻酔器（手術センター）	8台	6ヶ月毎
生体情報監視装置	12台	4ヶ月毎	電気メス	8台	6ヶ月毎
ベットサイドモニター	62台	6ヶ月毎	ネオテーブル	3台	12ヶ月毎
血液浄化用装置	3台	4ヶ月毎	分娩監視装置	3台	6ヶ月毎
経皮炭酸ガスモニタ	1台	6ヶ月毎	サイパップ	1台	3ヶ月毎
クベース	5台	6ヶ月毎	滅菌センター機器	5台	1ヶ月毎
光線治療器	2台	6ヶ月毎	吸引娩出器	2台	6ヶ月毎
パラパック	1台	2ヶ月毎	エアーマット	32台	6ヶ月毎

医療機器修理件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院 内		45	48	39	29	39	35	46	40	41	50	29	52	493
外 注	有 償	3	1	4	0	0	1	0	0	2	1	5	0	17
	無 償	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	7
総 件 数		49	50	43	29	39	38	46	40	44	52	35	52	517

臨床技術提供業務

人工呼吸器管理	224件	(1日平均5台使用中点検)
高気圧酸素療法	67件	(延べ527回)
心臓カテーテル検査介助	221件	(内緊急介助20件)
経皮的冠動脈形成術介助	233件	(内緊急介助54件)
経皮的腎動脈形成術介助	1件	
末梢血管カテーテル治療介助	52件	(内緊急介助1件)
電気生理学検査 (EPS)	2件	
心筋焼灼術 (ABL)	115件	
バルーン大動脈弁形成術 (BAV)	1件	
心臓穿刺介助	7件	
副腎静脈採血	3件	
IVCフィルター介助	2件	
体外式一時ペーシング介助	12件	
ペースメーカー外来ペースメーカーチェック	572件	(外来43日間・内ICD 31件・CRTD 15件・S-ICD 6件)
院内ペースメーカーチェック	96件	(内ICD 11件・CRTD 8件・S-ICD 1件)
ペースメーカー埋め込み術介助	34件	
ペースメーカー交換術介助	13件	
ペースメーカー感染処置介助	0件	
ペースメーカーリード再留置介助	0件	
P C P S	10件	(延べ35日間)
頭頸部血管造影介助	49件	
頭頸部血管治療介助	18件	
腹部血管造影検査・治療介助	15件	
術中自己血回収装置操作	2件	
経尿道的尿管結石破砕術 (TUL) 介助	63件	
経皮的尿路結石除去術介助	4件	
緊急 (臨時含む) 透析	77件	(内ECUM7件)
持続的血液濾過透析	42件	(延べ189日間)
血漿交換	3件	(延べ13回)
Plasma filtrated Diafiltration (PDF)	1件	(4回)
c-PDF	2件	(延べ4回)
エンドトキシン吸着	0件	(延べ0回)
腹水・胸水濾過濃縮	13症例	(延べ43回)
G C A P ・ L C A P	0症例	(0回)
L D L 吸着	0症例	(0回)
末梢血幹細胞採取	3症例	(延べ4回)
再循環率測定 (実血流量測定・血液量測定)	36症例	(延べ53回)
S P P	143人	(延べ263件)
インボディー	74人	(延べ126件)
超音波エコー シャントのみ (断層法)	70人	(延べ113件)
超音波エコー シャントのみ (ドプラ法)	70人	(延べ108件)

院内教育業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病棟学習会開催	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	1	2	9
院内セミナー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師卒後研修	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
総件数	0	2	0	1	1	0	1	3	2	0	1	2	13

17. 患者家族支援室実績

相談件数

ケース件数 (実人数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入院	295	247	290	302	298	304	293	301	282	306	276	305	3,499
	外来	65	39	70	77	66	50	72	50	57	71	57	60	734
	合計	360	286	360	379	364	354	365	351	339	377	333	365	4,233

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談総数（延人数）	1,011	848	1,087	1,015	997	1,020	1,031	961	905	968	878	1,081	11,802

相談分類（ケースにより重複相談あり）

分類	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活保護	新規申請	1	0	0	1	1	2	0	0	4	1	2	1	13
	継続	6	3	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	14
障害	自立支援医療	4	2	5	4	3	2	1	4	4	2	4	7	42
	障害サービス	5	5	1	0	9	5	4	1	2	0	2	0	34
	手帳	22	11	13	9	13	20	18	12	10	14	13	13	168
介護	介護保険申請	23	21	22	19	7	11	14	19	12	15	17	9	189
	サービス	10	8	32	17	16	7	10	19	5	8	16	17	165
指定難病・小児慢性特定疾患		2	5	8	8	5	4	7	4	8	1	6	10	68
肝炎	助成	4	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	2	20
	訴訟	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
生活困窮		3	1	2	2	5	2	1	4	1	0	0	0	21
経済的支援	高額医療	12	6	7	12	8	2	9	10	10	11	7	11	105
	傷病手当金	1	0	2	0	1	0	1	2	3	1	0	2	13
	障害年金	4	3	10	9	4	3	2	2	5	8	8	1	59
	その他	9	7	4	9	0	1	8	5	5	4	2	3	57
療養相談		141	176	176	174	164	217	239	184	179	161	195	211	2,217
転院入所		367	273	327	288	327	294	309	295	263	307	228	322	3,600
在宅退院（帰所）		321	284	406	381	354	370	332	358	339	341	337	404	4,227
在宅療養		40	20	48	36	41	38	40	32	25	42	37	35	434
受診相談		23	17	9	23	19	14	18	20	22	19	6	12	202
入院相談（レスパイト含む）		9	9	22	29	15	19	21	22	18	19	22	26	231
心理的支援		5	6	0	0	10	4	2	0	0	0	4	2	33
虐待・DV・ハイリスク		9	0	4	4	4	5	14	3	5	3	1	2	54
権利擁護関係		12	11	7	14	5	9	7	1	9	5	7	7	94
苦情		3	3	4	0	2	12	3	3	2	0	1	0	33
その他		32	17	30	20	17	16	21	11	16	17	18	16	231
合計		1,068	888	1,140	1,061	1,032	1,060	1,084	1,016	950	980	933	1,113	12,325

介護保険主治医意見書取扱数

介護保険主治医意見書	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	78	86	109	71	81	72	94	93	83	72	84	80	1,003

自立支援医師意見書取扱数

自立支援医師意見書	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	3	2	2	1	3	1	4	2	4	1	1	25

訪問看護指示書作成数

訪問看護指示書	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	31	36	22	21	24	24	30	22	27	21	24	20	302
更新	60	59	58	55	43	53	66	44	42	58	39	51	628

自宅退院者数（地域関係機関への紹介者数）

自宅退院者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	97	75	61	80	86	90	95	87	97	86	80	95	1,029
内訳													
ケアマネージャー （地域包括支援センター含む）	60	50	41	51	53	41	60	50	67	55	52	56	636
ケアマネージャー・訪問看護 （訪問リハビリ）ステーション	23	13	13	14	17	30	25	20	19	13	23	25	235
訪問看護ステーション	1					2						3	6
施設 帰 所	13	12	7	15	16	17	10	16	11	17	5	11	150
子育て支援課								1					1
社会福祉課（保護係）										1			1

転院 ・ 施設入所者数

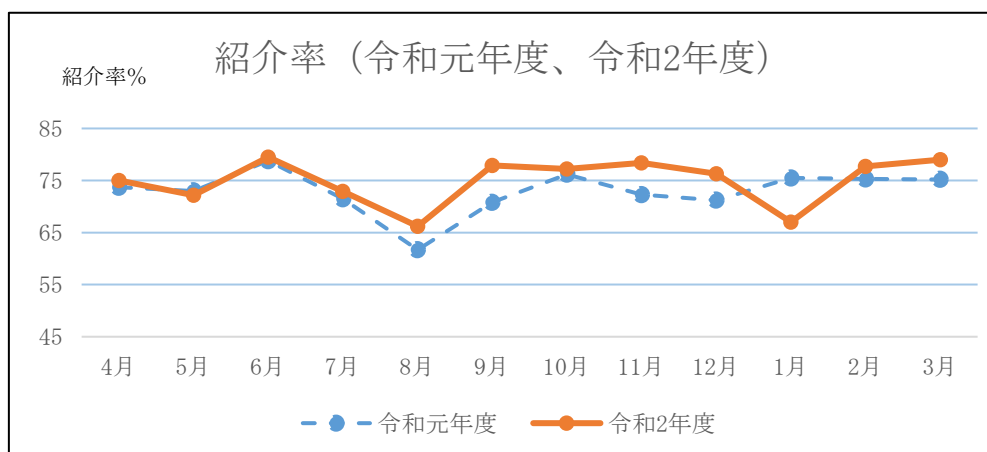
転院 ・ 施設入所者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	48	38	40	36	48	50	51	50	49	58	39	53	560
内訳													
長期療養型病棟	10	6	6	11	9	13	10	7	6	9	6	8	101
回復期リハビリ病棟	22	21	23	15	27	23	25	24	23	17	28	30	278
一般病棟	3	2		1	2	2	5	4	5	10	2	2	38
地域包括ケア病棟	9	5	6	6	8	10	7	11	9	19	3	11	104
認知症病棟							1						1
精神科病棟						1		1	2			1	5
介護老人保健施設	3	2	4	2	1	1	2	1	4				20
有料老人ホーム				1			1	1		1		1	5
特別養護老人ホーム	1	1	1		1					2			6
養護老人ホーム		1											1
救護施設								1					1

転院医療機関・施設（2020年4月～2021年3月）

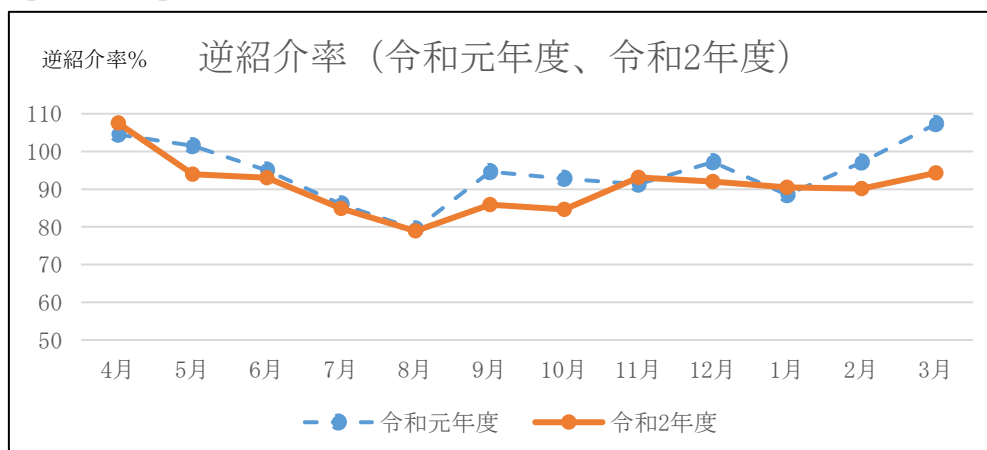
・彦根中央病院	療養病棟	59 人	介護老人保健施設	
	リハビリ病棟	109 人	・アロフェンテ彦根	12 人
	一般病棟	7 人	・パストラールとよさと	4 人
・友仁山崎病院	療養病棟	25 人	・リハビリセンターあゆみ	1 人
	地域包括ケア病棟	59 人	・エスペラル近江八幡	3 人
	一般病棟	7 人	特別養護老人ホーム	
・豊郷病院	リハビリ病棟	103 人	・さざなみ苑	2 人
	地域包括ケア病棟	44 人	・近江ふるさと園	1 人
	一般病棟	15 人	・近江第二ふるさと園	1 人
	精神科病棟	5 人	・千松の郷	1 人
・ヴォーリズ記念病院	リハビリ病棟	11 人	・犬上ハートフルセンター	1 人
	療養病棟	2 人	有料老人ホーム	
	一般病棟	1 人	・湖郷の彩風	2 人
・神崎中央病院	療養病棟	9 人	・ひらた翔裕館	3 人
	リハビリ病棟	25 人	養護老人ホーム	
	一般病棟	1 人	・金亀荘	1 人
・近江温泉病院	リハビリ病棟	21 人	救護施設	
	療養病棟	3 人	・日野溪園	1 人
	認知症病棟	1 人	他府県	
・東近江敬愛病院	療養病棟	2 人	・音羽記念病院(京都府)	1 人
・近江八幡総合医療センター	一般病棟	1 人	・大阪医科大学三島南病院(大阪府)	1 人
・甲南病院	リハビリ病棟	1 人	・高槻赤十字病院(大阪府)	1 人
・公立甲賀病院	リハビリ病棟	1 人	・済生会八幡総合病院(福岡県)	1 人
・守山市民病院	リハビリ病棟	1 人	・TMG宗岡中央病院(埼玉県)	1 人
・草津総合病院	一般病棟	1 人	・八千代リハビリテーションクリニック (千葉県)	1 人
・滋賀県立総合病院	一般病棟	1 人		
・琵琶湖中央病院	リハビリ病棟	1 人	合計	560 人
・滋賀医科大学病院	一般病棟	1 人		
・ひかり病院	療養病棟	1 人		
・市立長浜病院	リハビリ病棟	2 人		
	一般病棟	1 人		

18. 地域医療連携室

【紹介率】



【逆紹介率】



【高度医療機器の共同利用件数】

検査	令和元年度	令和2年度
CT	795 件	681 件
MRI	864 件	648 件
骨塩定量	189 件	79 件
超音波検査	29 件	32 件
一般撮影	0 件	0 件
乳房撮影	5 件	3 件
RI	61 件	51 件
上部内視鏡検査	343 件	318 件
下部内視鏡検査	184 件	184 件

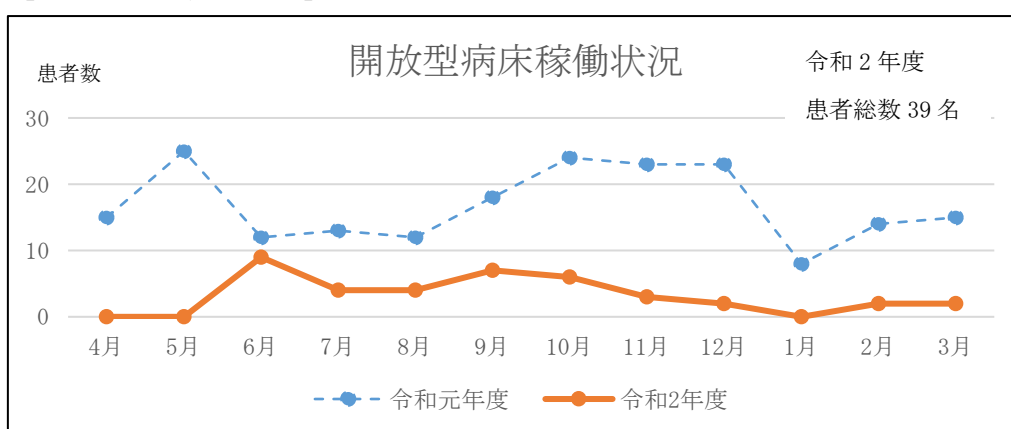
* 共同利用検査としての下部内視鏡検査は平成 31 年度 4 月から開始

【びわ湖あさがおネット稼働】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公開総数		53	31	50	42	54	41	50	47	58	47	50	54
圏内域訳の	湖東	24	18	39	25	24	17	32	32	30	27	25	31
	湖北	16	4	6	8	9	10	7	11	13	14	12	13
	以外	13	9	9	9	21	14	11	4	15	6	13	10
WEB 予約		24	18	66	77	46	62	83	48	59	43	46	72

びわ湖あさがおネット湖東圏域協議会 年1回開催予定は延期となった。

【開放型病床稼働状況】



(開放型病床運営委員会) 年1回開催

日時：令和2年10月1日(木) 彦根市立病院3-1会議室

参加者：院外2名(彦根医師会、彦根歯科医師会) 院内5名(うち事務局2名)

「彦根市立病院開放病床の運用について」 地域医療連携室 永山夕水

【地域医療従事者研修委員会】

	研修会数	院外参加数	院内参加数
診療部門	5回	60人	67人
看護部門	0回	0人	0人
医療技術者部門	4回	149人	50人
合計	9回	209人	117人

(地域医療連携委員会) 年3回開催

- ① 令和2年7月2日(木) 3階講堂 参加者 院外：7名 院内：4名
テーマ「COVID-19感染拡大時の当院での対応」 地域連携センター長 北川 智美
- ② 令和2年11月19日(木) 3階講堂 参加者 院外：7名 院内：5名
テーマ「通院治療センターの取り組みについて」
通院治療センターがん化学療法認定看護師 木下 千恵美
- ③ 令和3年2月4日(木) 3階会議室 参加者 院外：6名 院内6名
テーマ「患者サポート相談窓口の取り組みについて」
地域連携センター主査(看護師) 小川 多恵子

【出前講座】令和2年度 1回

6/30、7/22、8/27、9/2 中止

日時	場所	講師	テーマ
8月25日（火）	四番町スクエア2階会議室	瀧口 美津子	店舗における感染症対策

【地域連携だより】＊令和2年度 発行回数12回（毎月1回発行）

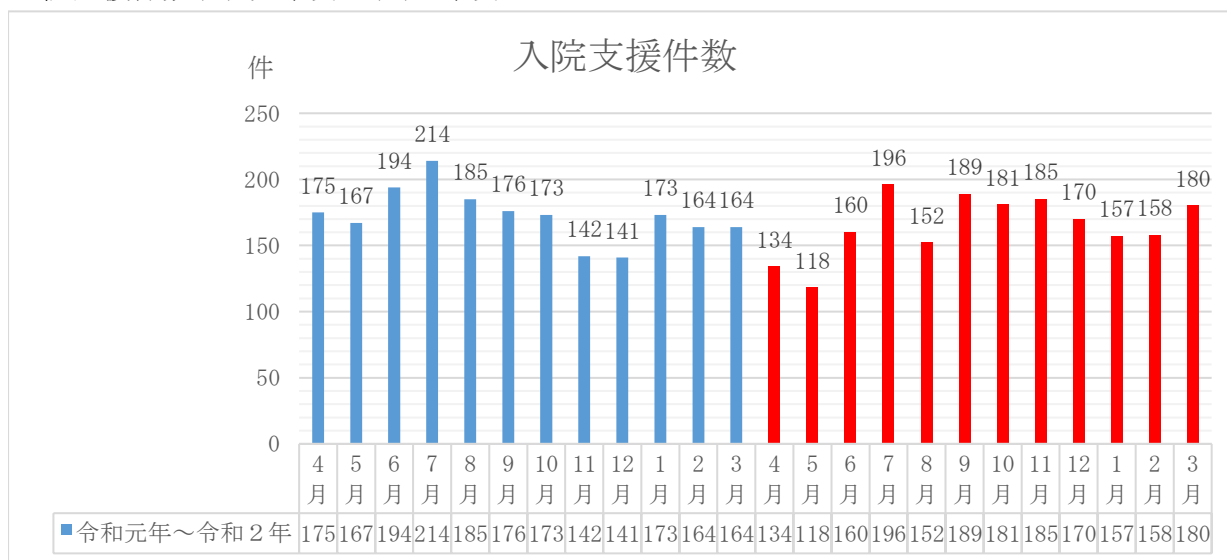
月	表紙テーマ	執筆者
4月	令和2年度 新たなスタートをむかえて	院長兼事業管理者 金子 隆昭
5月	臨時感染病床開設！ ～COVID-19から滋賀県民の医療を守り支えます～	院長兼事業管理者 金子 隆昭
6月	患者さんに今何が必要か？思いに寄り添い、 今なすべきこと、できることは何か？ ひとつひとつ悩みながら・・・やってみる！！	副院長兼看護部長 谷口 孝二
7月	新型コロナウイルス時代における「がん治療」	腫瘍内科 竹治 智
7月号外版	地域医療支援病院医療従事者研修会 「COVID-19と地域連携」研修会	地域医療連携室
8月	人生の「質」をとり戻す	整形外科 小川 貴大
9月	コロナに負けない！！ ～通常診療のお知らせ～	院長兼事業管理者 金子 隆昭
10月	医療機器の高度化・複雑多様化する臨床技術に 対応する「いのちのエンジニア」として	臨床工学科長 青野 多聞
11月	我ら皮膚科診療のエキスパートです	皮膚科 部長 古田 未征 医員 速水 拓真
12月	限られた期間で患者家族と向き合う退院支援の 実践	患者家族支援室長 乾 昌典
1月	ウィズコロナの時代に向けて	院長兼事業管理者 金子 隆昭
2月	命と生活を支える！ 心臓リハビリテーション	循環器内科部長 梶本 晃
3月	急性期リハビリテーションを目指して	リハビリテーション 科長 鈴木 博人

19. 入退院支援室

入院支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年	175	167	194	214	185	176	173	142	141	173	164	164
令和2年	134	118	160	194	152	189	181	185	170	157	158	180
総予約入院数	301	199	280	320	322	327	343	374	348	331	316	369
予約入院支援割合	46%	60%	59%	61%	49%	59%	53%	50%	50%	50%	50%	50%

入院支援件数令和元年度～令和2年度



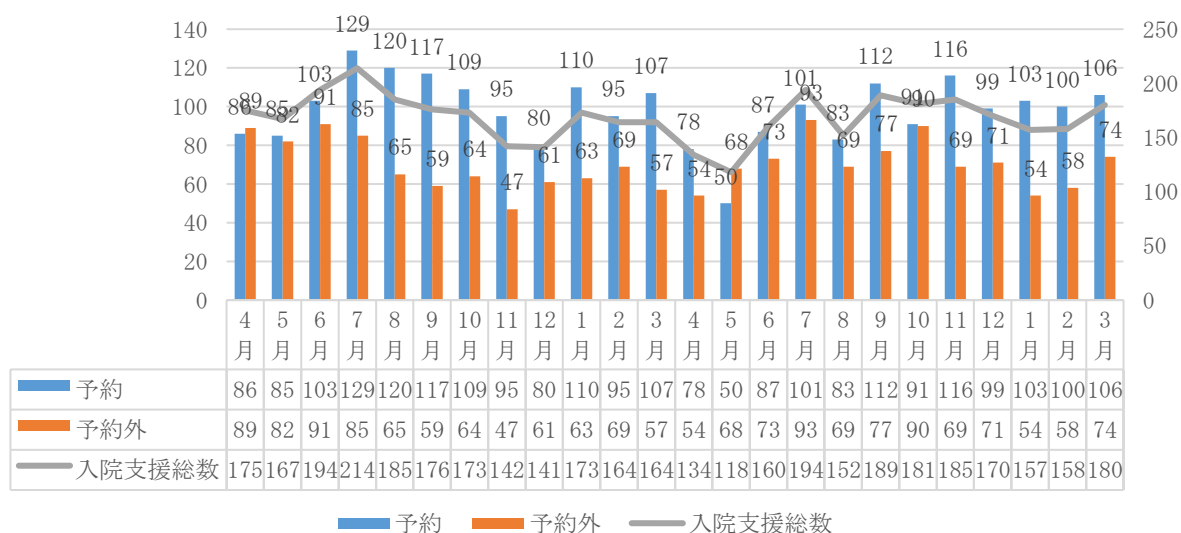
緊急入院支援数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
入力応援								2	2	1	0	0

診療科別件数

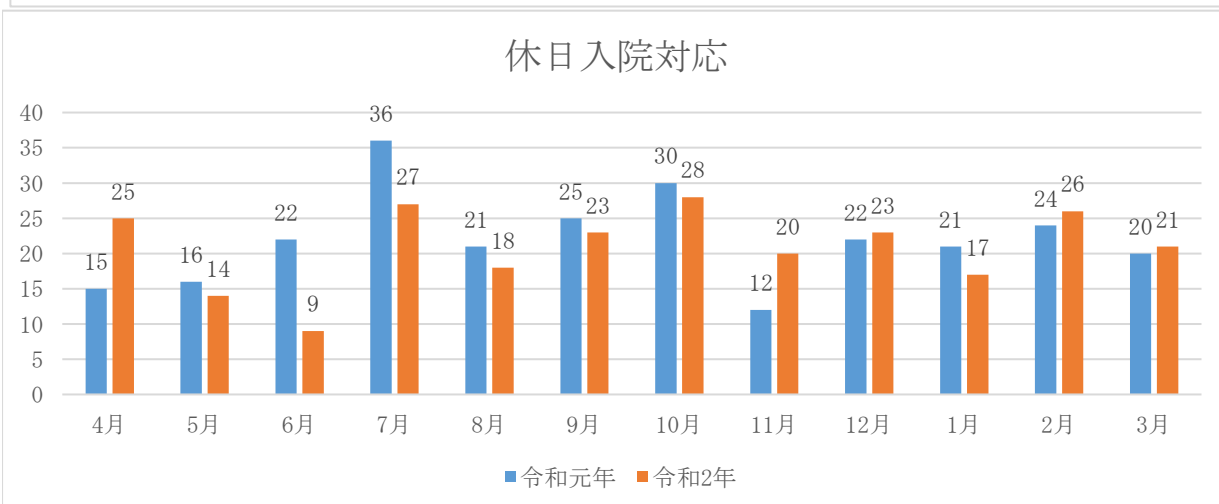
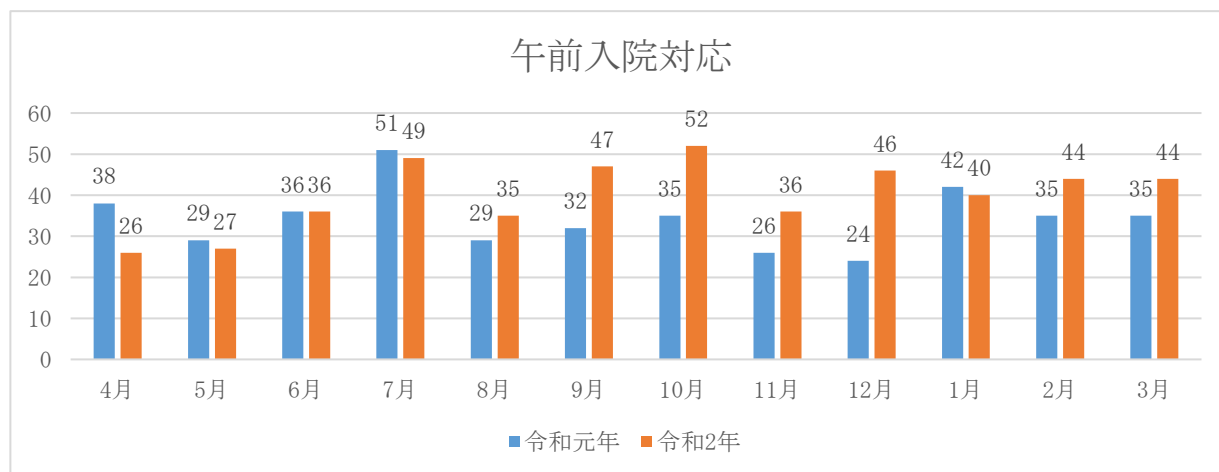
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
歯科口腔外科	31	17	35	52	34	44	59	41	37	35	42	44
耳鼻いんこう科	0	0	4	3	6	5	4	5	6	3	2	0
腫瘍内科	3	1	3	1	2	2	0	0	0	0	1	2
消化器内科	11	4	4	7	1	7	8	7	7	3	2	3
消化器外科	25	27	23	27	21	29	20	27	23	23	25	30
乳腺外科	2	0	2	5	6	9	3	12	6	5	2	4
泌尿器科	18	26	26	29	22	29	27	24	27	21	32	25
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
整形外科	22	19	34	33	34	30	24	35	30	36	22	31
形成外科	6	5	9	7	6	5	10	8	6	6	8	10
循環器内科	11	9	13	20	15	22	19	13	12	8	11	14
呼吸器内科	1	1	2	4	2	2	3	6	0	2	3	4
呼吸器外科	3	5	3	2	2	4	4	6	5	7	3	7
血液内科	1	0	2	2	0	1	0	1	2	3	2	1
脳神経外科	4	3	0	2	1	0	0	0	9	4	3	4
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糖尿病代謝内科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

予約・予約外内訳（令和元年度～令和2年度）



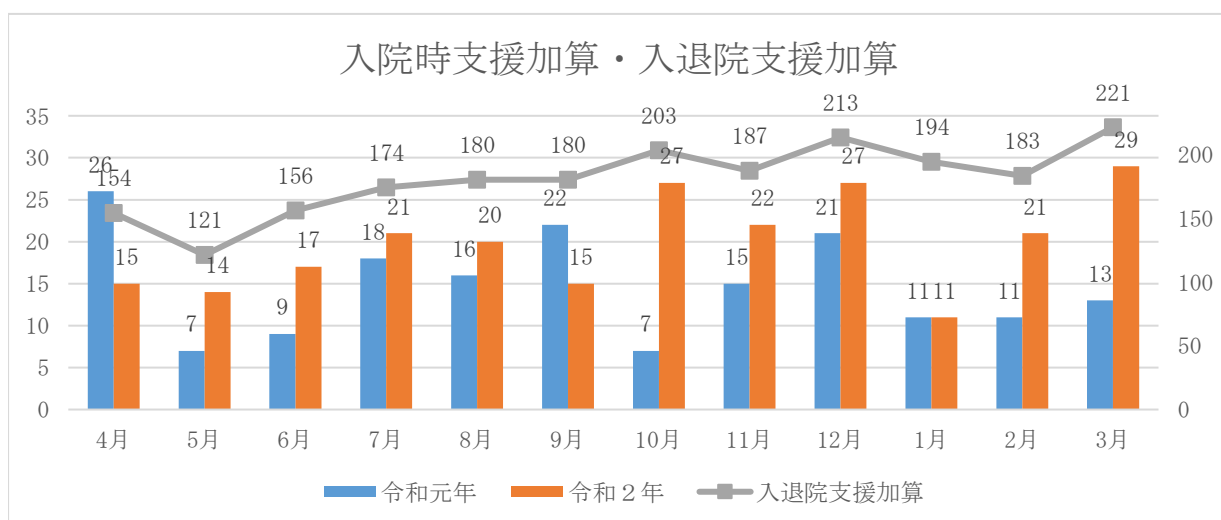
予約・予約外数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
形科	予約	2		2	2		1	1	4	4	2	2	3
	予約外	4	5	7	5	6	4	9	4	2	4	6	7
血内	予約	1		1	2				1	2	2		
	予約外			1			1				1	2	1
呼外	予約	3	5	2	2	1	4	3	5	4	7	3	5
	予約外			1		1		1	1	1			2
呼内	予約	1	1		1	1	1		1			1	1
	予約外			2	3	1	1	3	5		2	2	3
歯科	予約	27	7	19	27	26	42	45	33	27	26	35	36
	予約外	4	10	16	25	8	2	14	8	10	9	7	8
耳科	予約			4	3	4	3	2	3	4	3	1	
	予約外					2	2	2	2	2		1	
腫内	予約		1										1
	予約外	3		3	1	2	2					1	1
循内	予約	5	2	9	8	5	7	5	8	6	1	4	5
	予約外	6	7	4	12	10	15	14	5	6	7	7	9
消外	予約	9	13	12	21	10	16	8	15	12	18	18	21
	予約外	16	14	11	6	11	13	12	12	11	5	7	9
消内	予約	1		1				3	3	1	1		
	予約外	4	4	3	7	1	7	5	4	6	2	2	3
整科	予約	15	3	19	14	15	16	8	19	11	19	13	15
	予約外	7	16	15	19	19	14	16	16	19	17	9	16
糖内	予約												
	予約外	2	1										1
乳外	予約	2		2	3	5	5	2	11	5	3	2	4
	予約外				2	1	4	1	1	1	2		
脳外	予約	3			1	1				6	4	1	3
	予約外	1	3		1					3		2	1
泌科	予約	9	18	16	17	15	17	14	13	17	17	20	12
	予約外	9	8	10	12	7	12	13	11	10	4	12	13
皮科	予約												
	予約外										1		



入院時支援加算件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和元年	26	7	9	18	16	22	7	15	21	11	11	13
令和2年	15	14	17	21	20	15	27	22	27	11	21	29
令和2年入院時支援加算①	12	14	17	21	20	14	26	22	27	11	21	29
令和2年入院時支援加算②	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
入退院支援加算	154	121	156	174	180	180	203	187	213	194	183	221



目的

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
OP	105	88	129	146	126	141	147	154	135	130	127	146
検査	10	17	8	15	13	24	17	13	18	9	16	13
治療	9	4	14	24	8	17	13	10	11	11	8	12
ケモ	8	8	9	9	5	7	4	8	6	7	7	8
教育	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
該当外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

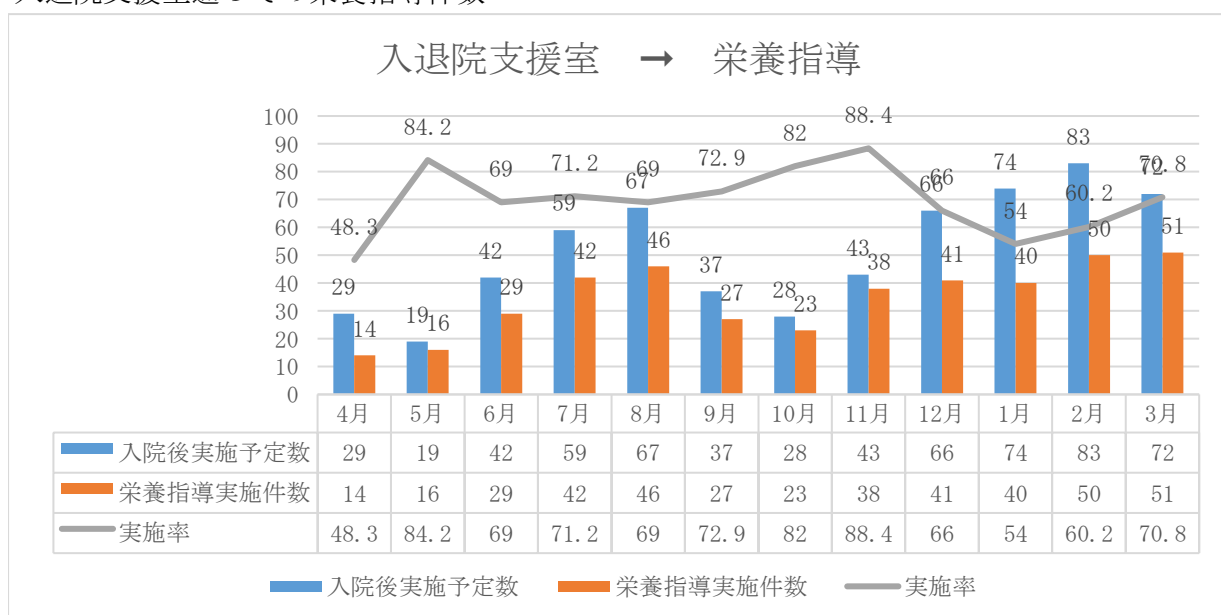
病棟別支援数

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4B	8	21	43	60	38	49	66	48	45	39	44	44
5A	26	21	41	34	39	31	27	37	40	35	26	36
5B	4	3	0	3	19	30	26	24	38	27	35	29
6A	13	10	13	24	17	24	22	18	12	10	13	18
6B	43	53	51	61	34	42	29	48	35	37	31	42
7A	9	6	10	10	3	10	7	8	8	6	5	6
7B	15	4	1	2	2	3	4	2	2	3	4	5
8A	16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

病棟別支援の割合

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4B		44%	67%	78%	45%	66%	80%	54%	54%	60%	62%	51%
5A	70%	96%	100%	67%	100%	99%	90%	98%	65%	100%	100%	97%
5B		60%			56%	81%	65%	60%	75%	56%	67%	60%
6A	31%	36%	36%	53%	34%	43%	40%	27%	21%	21%	26%	33%
6B	61%	100%	74%	82%	85%	84%	66%	91%	73%	84%	66%	93%
7A	23%	18%	29%	32%	10%	29%	18%	19%	21%	12%	14%	12%
7B	72%	50%			34%							
8A	100%		33%									

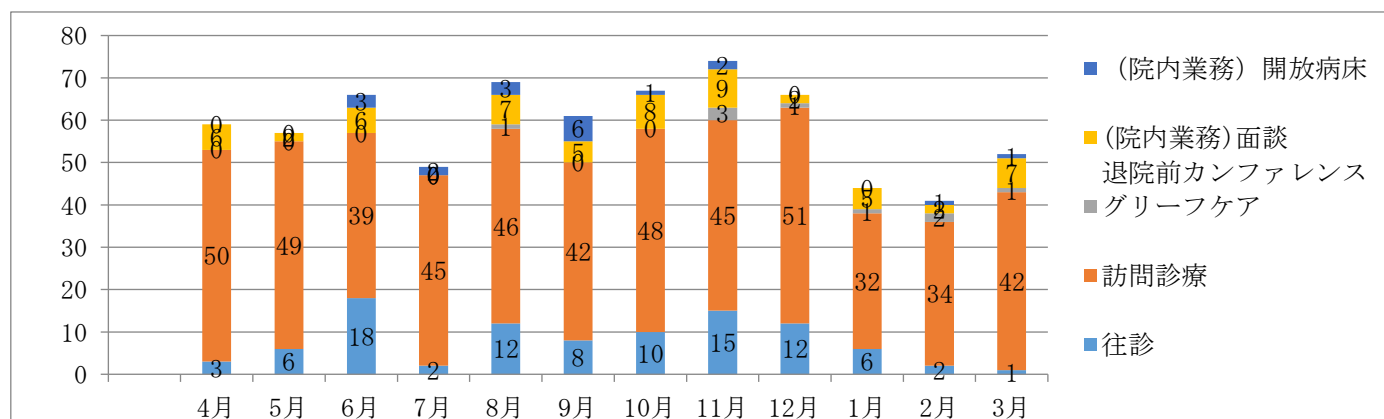
入退院支援室通っての栄養指導件数



20. 地域連携センター在宅医療支援室実績

1: 訪問延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問延べ件数	53	54	58	50	60	50	57	61	67	39	38	44	631
(前年度比較)	80	74	90	75	76	84	80	71	76	84	76	72	938
訪問患者実数	36	33	32	32	30	31	32	32	30	27	28	27	—



2: 訪問分類 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診	3	6	18	2	12	8	10	15	12	6	2	1	95
訪問診療	50	49	39	45	46	42	48	45	51	32	34	42	523
グリーンケア	0	0	0	0	1	0	0	3	1	1	2	1	9
(院内業務)面談 退院前カンファレンス	6	2	6	0	7	5	8	9	2	5	2	7	59
(院内業務)開放病床	0	0	3	2	3	6	1	2	0	0	1	1	19

3: 訪問内容 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処置件数	38	28	19	34	26	18	23	26	23	9	14	17	275
開業医からの依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他職種・他部署からの同行訪問	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	3	1	10

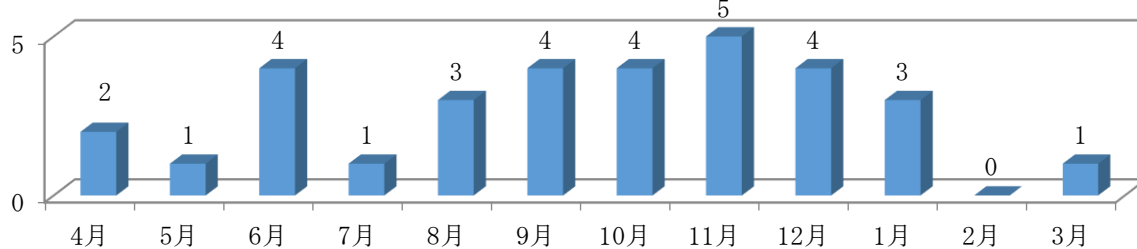
4: 訪問終結件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問終結件数	5	5	6	1	5	5	6	5	7	6	1	2	54
内訳 在宅看取り	2	1	4	1	3	3	4	5	4	3	0	1	31
入院	2	2	2	0	0	2	2	0	2	3	1	0	16
他医院・他機関引き継ぎ	1	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	7

5: 看取り患者内訳

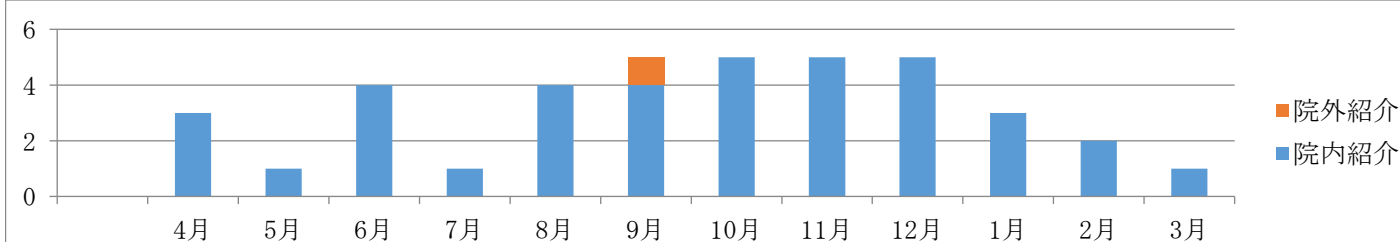
看取り患者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	3	1	6	1	3	5	4	5	6	3	0	1	38
病院	2	1	4	1	3	4	4	5	4	3	0	1	32
入院	1	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	6

在宅看取り患者数



6:新規訪問人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内紹介	3	1	4	1	4	4	5	5	5	3	2	1	38
院外紹介	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
院内相談	5	5	7	10	12	6	15	11	6	13	7	7	104
院外相談	2	0	3	2	1	0	1	2	0	2	0	5	18



7:地域在宅患者支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レスパイト入院受け入れ	1	1	3	3	4	4	4	4	4	2	1	5	36

8:その他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
他部署カンファレンス参加	1	0	1	7	2	1	1	1	0	0	0	1	15

21. 患者サポート窓口実績

1. 患者サポート相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談総数	60	75	82	79	73	83	84	81	72	80	70	96	935
一件平均時間（分）	11	15	23	25	23	27	28	26	27	21	23	29	278
直接対応													
窓口対応	23	48	35	21	25	25	28	16	15	27	18	23	304
窓口以外	5	11	18	32	27	43	36	45	42	30	33	37	359
間接対応	9	15	27	26	21	15	20	20	14	21	18	36	242

2. サポート相談 機能分類

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 情報	30	63	64	56	50	46	58	52	42	56	43	76	636
2 道具	1	7	8	6	10	13	4	5	3	8	5	3	73
3 情緒	4	3	4	12	6	16	16	19	25	13	18	14	150
4 評価	1	0	0	0	0	6	3	0	0	0	0	0	10

3. 内容分類

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 治療・診療内容	12	15	10	9	10	13	4	13	22	18	9	13	148
2 健康や病気	8	6	4	5	2	6	4	2	3	3	3	1	47
3 療養	0	0	8	10	7	7	10	12	10	11	4	13	92
4 職員の対応	0	2	5	1	0	3	0	0	0	1	1	0	13
5 かかりつけ医	6	6	17	8	9	11	12	3	6	8	3	13	102
6 医療費に関する相談	2	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1	9
7 苦情や意見、要望	5	0	6	2	0	6	10	2	1	5	3	4	44
8 院内外からの相談	0	1	19	33	18	22	24	29	18	16	24	28	232
9 患者への直接支援	1	2	2	5	16	9	8	5	4	10	13	5	80
10 その他	1	22	9	6	7	5	7	6	3	5	9	10	90
11 案内	25	20											45
	60	74	82	79	70	82	80	73	67	77	70	88	902

IX 入院病歴統計

1-1. 入院患者数 (科別・性別)

診療科	男	女	合計	H31年度	差	科別入院率(%)
内科	25	15	40	21	19	0.47
消化器内科	624	460	1,084	1,297	-213	12.82
糖尿病代謝内科	135	99	234	219	15	2.77
血液内科	133	100	233	254	-21	2.76
脳神経内科	0	0	0	66	-66	0.00
呼吸器内科	497	311	808	739	69	9.56
小児科	202	146	348	684	-336	4.12
外科	0	0	0	1	-1	0.00
消化器外科	425	268	693	781	-88	8.20
乳腺外科	1	70	71	75	-4	0.84
整形外科	365	563	928	741	187	10.97
形成外科	87	79	166	235	-69	1.96
脳神経外科	249	226	475	564	-89	5.62
呼吸器外科	65	41	106	117	-11	1.25
皮膚科	29	35	64	51	13	0.76
泌尿器科	528	176	704	656	48	8.33
産婦人科	0	11	11	186	-175	0.13
眼科	150	147	297	459	-162	3.51
耳鼻いんこう科	51	33	84	128	-44	0.99
歯科口腔外科	273	285	558	496	62	6.60
循環器内科	658	446	1,104	1,236	-132	13.06
緩和ケア内科	89	83	172	187	-15	2.03
在宅診療科	41	58	99	148	-49	1.17
腫瘍内科	105	72	177	0	177	2.09
全体	4,732	3,724	8,456	9,341	-885	

1-2. 入院患者数（科別・月別）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	8	1	0	18	3	2	0	3	2	1	0	40
消化器内科	99	99	74	91	109	106	93	87	85	75	66	100	1,084
糖尿病代謝内科	19	15	21	25	24	14	23	21	30	13	12	17	234
血液内科	20	20	22	12	19	14	20	21	23	27	17	18	233
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	59	41	30	42	80	45	70	60	93	116	84	88	808
小児科	33	26	24	29	41	24	26	21	28	36	30	30	348
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器外科	63	48	62	60	55	62	61	51	70	43	56	62	693
乳腺外科	7	1	1	4	6	8	7	8	9	10	4	6	71
整形外科	73	60	60	72	86	73	85	88	105	71	67	88	928
形成外科	16	9	13	12	8	11	20	19	19	15	7	17	166
脳神経外科	40	35	41	30	47	28	33	21	42	52	49	57	475
呼吸器外科	10	9	10	12	5	9	11	6	15	5	8	6	106
皮膚科	2	4	7	6	5	7	7	6	3	2	9	6	64
泌尿器科	54	44	62	69	61	60	63	48	71	55	58	59	704
産婦人科	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
眼科	28	7	13	36	19	32	24	17	31	31	23	36	297
耳鼻いんこう科	4	0	5	9	11	9	11	13	9	5	7	1	84
歯科口腔外科	35	31	45	45	50	47	61	54	57	39	44	50	558
循環器内科	88	70	79	91	94	85	95	91	107	102	92	110	1,104
緩和ケア内科	18	10	18	9	15	10	13	12	13	17	14	23	172
在宅診療科	4	5	11	9	12	8	13	12	8	8	4	5	99
腫瘍内科	11	13	18	12	20	18	21	16	8	16	13	11	177
合計	694	557	617	675	785	673	759	672	829	740	665	790	8,456

1-3. 入院患者数（病棟別・月別）

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU・CCU	6	3	3	3	5	4	7	7	10	5	10	7	70
4 B	124	96	104	125	150	118	143	137	140	112	121	133	1,503
5 A	53	53	52	55	56	46	43	41	56	40	45	55	595
5 B	70	65	64	59	105	86	108	94	134	106	104	117	1,112
6 A	93	77	88	103	116	108	116	106	122	111	99	97	1,236
6 B	136	99	123	123	111	115	120	98	126	100	96	113	1,360
7 A	69	78	67	72	80	83	92	79	94	80	62	86	942
7 B	78	62	73	100	98	90	113	87	106	96	77	110	1,090
8 A	47	15	25	26	48	13	3	11	28	73	37	49	375
8 B	18	9	18	9	16	10	14	12	13	17	14	23	173
合計	694	557	617	675	785	673	759	672	829	740	665	790	8,456

1-4. 入院患者数（病棟別・科別）

病 棟	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	乳 外	整 科	形 科	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	産 科	眼 科	耳 科	歯 科	循 科	緩 科	在 科	腫 内	合 計
ICU・CCU	0	4	1	1	5	0	2	0	2	1	7	0	0	1	0	0	0	0	45	0	1	0	70
4 B	1	93	19	4	75	303	40	1	64	50	23	12	10	29	11	124	55	523	40	1	9	16	1,503
5 A	1	20	3	1	18	0	3	0	458	60	3	2	3	3	0	0	2	0	10	1	6	1	595
5 B	0	80	10	6	55	0	20	0	17	5	417	0	36	378	0	0	8	7	59	0	6	8	1,112
6 A	3	103	54	7	214	0	8	0	5	2	7	2	3	16	0	0	3	1	788	0	8	12	1,236
6 B	2	166	12	6	80	0	586	70	31	11	7	59	7	242	0	0	4	6	38	0	11	22	1,360
7 A	0	550	8	198	35	0	5	0	3	0	3	0	2	7	0	0	0	0	14	0	7	110	942
7 B	0	52	124	7	87	0	28	0	348	37	8	22	3	28	0	173	10	5	106	0	47	5	1,090
8 A	33	16	3	3	239	45	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	2	16	4	0	3	2	375
8 B	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170	1	1		173
合 計	40	1,084	234	233	808	348	693	71	928	166	475	106	64	704	11	297	84	558	1,104	172	99	177	8,456

1-5. 入院患者数（病棟別）

病 棟	男	女	合 計	病棟別入院率(%)
ICU・CCU	45	25	70	0.8
4 B	783	720	1,503	17.8
5 A	225	370	595	7.0
5 B	676	436	1,112	13.2
6 A	781	455	1,236	14.6
6 B	820	540	1,360	16.1
7 A	592	350	942	11.1
7 B	522	568	1,090	12.9
8 A	197	178	375	4.4
8 B	91	82	173	2.0
合 計	4,732	3,724	8,456	

2. 入院患者平均年齢（科別）

診 療 科	年齢の平均	年齢の最小	年齢の最大
内 科	47.8	18	95
消 化 器 内 科	72.5	14	103
糖 尿 病 代 謝 内 科	65.6	14	106
血 液 内 科	68.7	17	101
呼 吸 器 内 科	69.7	17	104
小 児 科	4.2	0	31
消 化 器 外 科	64.3	3	95
乳 腺 外 科	63.0	35	89
整 形 外 科	67.4	3	103
形 成 外 科	51.9	0	98
脳 神 経 外 科	71.2	2	100
呼 吸 器 外 科	65.0	16	89
皮 膚 科	67.5	18	99
泌 尿 器 科	69.3	2	104
産 婦 人 科	35.6	24	43
眼 科	76.0	19	95
耳 鼻 い ん こ う 科	48.4	5	83
歯 科 口 腔 外 科	45.1	1	94
循 環 器 内 科	75.8	16	106
緩 和 ケ ア 内 科	75.5	29	101
在 宅 診 療 科	79.4	24	101
腫 瘍 内 科	69.8	17	99
全 体	65.4	0	106

3-1. 入院患者在院期間（科別）

診 療 科	1～7日	8～14日	15～30日	31～60日	61～90日	3～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年以上	合 計
内 科	12	23	5	0	0	0	0	0	40
消 化 器 内 科	469	360	170	67	15	2	1	0	1,084
糖尿病代謝内科	51	98	58	20	5	2	0	0	234
血 液 内 科	56	48	83	32	8	5	1	0	233
呼 吸 器 内 科	207	343	172	68	14	4	0	0	808
小 児 科	272	58	17	1	0	0	0	0	348
消 化 器 外 科	325	225	102	32	6	3	0	0	693
乳 腺 外 科	26	43	1	1	0	0	0	0	71
整 形 外 科	266	99	313	202	32	13	3	0	928
形 成 外 科	107	20	17	11	5	5	1	0	166
脳 神 経 外 科	158	124	98	63	15	16	1	0	475
呼 吸 器 外 科	26	67	10	3	0	0	0	0	106
皮 膚 科	15	29	16	2	2	0	0	0	64
泌 尿 器 科	376	182	107	32	5	2	0	0	704
産 婦 人 科	10	1	0	0	0	0	0	0	11
眼 科	297	0	0	0	0	0	0	0	297
耳鼻いんこう科	62	21	1	0	0	0	0	0	84
歯科口腔外科	511	40	6	0	0	1	0	0	558
循 環 器 内 科	564	218	199	90	19	13	1	0	1,104
緩和ケア内科	46	49	36	26	8	5	2	0	172
在 宅 診 療 科	37	37	18	6	1	0	0	0	99
腫 瘍 内 科	98	48	25	6	0	0	0	0	177
合 計	3,991	2,133	1,454	662	135	71	10	0	8,456
率	47.2%	25.2%	17.2%	7.8%	1.6%	0.8%	0.1%	0.00%	

3-2. 入院患者在院日数（科別）

診 療 科	入院日数の平均	入院日数の最小	入院日数の最大
内 科	9.8	2	29
消 化 器 内 科	12.8	1	212
糖尿病代謝内科	16.9	1	142
血 液 内 科	22.1	1	208
呼 吸 器 内 科	15.2	1	117
小 児 科	4.9	1	33
消 化 器 外 科	11.5	1	104
乳 腺 外 科	8.2	2	44
整 形 外 科	23.6	1	287
形 成 外 科	15.3	1	241
脳 神 経 外 科	20.6	1	186
呼 吸 器 外 科	10.2	2	49
皮 膚 科	13.3	2	71
泌 尿 器 科	10.7	1	136
産 婦 人 科	6.1	3	9
眼 科	2.0	1	3
耳鼻いんこう科	5.9	2	17
歯科口腔外科	4.5	1	107
循 環 器 内 科	13.9	1	230
緩和ケア内科	25.1	1	225
在 宅 診 療 科	12.8	2	85
腫 瘍 内 科	9.2	2	47
全 体	12.5	1	287

4-1. 時間外入院患者在院期間（科別）

診療科	1～7日	8～14日	15～30日	31～60日	61～90日	3ヶ月～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年以上	合計
内科	9	7	2	0	0	0	0	0	18
消化器内科	178	125	62	24	3	1	0	0	393
糖尿病代謝内科	16	13	12	8	1	1	0	0	51
血液内科	21	10	6	7	2	1	0	0	47
呼吸器内科	80	146	66	23	6	2	0	0	323
小児科	84	31	5	0	0	0	0	0	120
消化器外科	69	66	21	9	1	1	0	0	167
乳腺外科	0	1	0	0	0	0	0	0	1
整形外科	69	32	104	50	10	1	1	0	267
形成外科	9	2	2	0	1	2	0	0	16
脳神経外科	71	56	56	36	6	8	0	0	233
呼吸器外科	4	5	1	0	0	0	0	0	10
皮膚科	3	2	2	0	0	0	0	0	7
泌尿器科	29	33	34	9	0	0	0	0	105
産婦人科	6	0	0	0	0	0	0	0	6
耳鼻いんこう科	12	0	0	0	0	0	0	0	12
歯科口腔外科	58	2	2	0	0	0	0	0	62
循環器内科	123	87	74	30	7	7	0	0	328
緩和ケア内科	7	5	1	0	0	1	0	0	14
在宅診療科	14	9	10	2	0	0	0	0	35
腫瘍内科	28	17	9	4	0	0	0	0	58
合計	890	649	469	202	37	25	1	0	2,273
率	39.2%	28.6%	20.6%	8.9%	1.6%	1.1%	0.0%	0.0%	

4-2. 時間外入院患者在院日数（科別）

診療科	入院日数の平均	入院日数の最小	入院日数の最大
内科	8.1	2	23
消化器内科	11.9	1	156
糖尿病代謝内科	20.0	1	129
血液内科	18.3	1	148
呼吸器内科	15.0	1	100
小児科	5.8	1	22
消化器外科	11.9	1	99
乳腺外科	13.0	13	13
整形外科	23.0	2	287
形成外科	25.1	2	117
脳神経外科	20.7	1	162
呼吸器外科	10.2	5	17
皮膚科	9.0	2	17
泌尿器科	14.8	2	57
産婦人科	5.8	5	6
耳鼻いんこう科	3.4	2	7
歯科口腔外科	4.6	2	16
循環器内科	17.2	1	183
緩和ケア内科	14.4	1	114
在宅診療科	13.3	2	58
腫瘍内科	11.0	2	47
全体	13.2	1	287

時間外入院は平日の時間外および土日祝日の入院

5. 入院患者入院時間(科別)

診 療 科	時間内	時間外	時間外率〈時間外/(時間内+時間外)〉
内 科	22	18	45.0%
消 化 器 内 科	691	393	36.3%
糖 尿 病 代 謝 内 科	183	51	21.8%
血 液 内 科	186	47	20.2%
呼 吸 器 内 科	485	323	40.0%
小 児 科	228	120	34.5%
消 化 器 外 科	526	167	24.1%
乳 腺 外 科	70	1	1.4%
整 形 外 科	661	267	28.8%
形 成 外 科	150	16	9.6%
脳 神 経 外 科	242	233	49.1%
呼 吸 器 外 科	96	10	9.4%
皮 膚 科	57	7	10.9%
泌 尿 器 科	599	105	14.9%
産 婦 人 科	5	6	54.5%
眼 科	297	0	0.0%
耳 鼻 い ん こ う 科	72	12	14.3%
歯 科 口 腔 外 科	496	62	11.1%
循 環 器 内 科	776	328	29.7%
緩 和 ケ ア 内 科	158	14	8.1%
在 宅 診 療 科	64	35	35.4%
腫 瘍 内 科	119	58	32.8%
合 計	6,183	2,273	
率	73.1%	26.9%	

6. 入院患者入院方法（科別）

診 療 科	外来	救急外来	紹介	転科	院内紹介	院内出生	その他	合 計	うち、救急車
内 科	0	6	4	0	0	0	30	40	3
消 化 器 内 科	356	452	212	31	32	0	1	1,084	261
糖尿病代謝内科	50	70	90	6	17	0	1	234	55
血 液 内 科	134	50	30	11	8	0	0	233	39
呼 吸 器 内 科	204	258	143	13	28	0	162	808	178
小 児 科	138	76	89	0	3	1	41	348	33
消 化 器 外 科	203	144	130	75	141	0	0	693	83
乳 腺 外 科	56	1	12	1	1	0	0	71	0
整 形 外 科	314	305	280	24	5	0	0	928	256
形 成 外 科	81	13	54	4	14	0	0	166	13
脳 神 経 外 科	97	293	62	11	12	0	0	475	240
呼 吸 器 外 科	61	8	7	14	16	0	0	106	7
皮 膚 科	29	11	13	2	9	0	0	64	8
泌 尿 器 科	408	118	130	16	32	0	0	704	56
産 婦 人 科	4	3	4	0	0	0	0	11	0
眼 科	197	0	98	0	2	0	0	297	0
耳鼻いんこう科	28	18	36	0	2	0	0	84	13
歯科口腔外科	92	4	449	0	13	0	0	558	1
循 環 器 内 科	416	360	270	23	35	0	0	1,104	265
緩和ケア内科	28	23	24	91	6	0	0	172	47
在 宅 診 療 科	32	43	21	0	3	0	0	99	39
腫 瘍 内 科	88	58	21	3	7	0	0	177	33
合 計	3,016	2,314	2,179	325	386	1	235	8,456	1,630
率	35.7%	27.4%	25.8%	3.8%	4.6%	0.0%	2.8%		19.3%

7-1. 入院患者紹介(科別)

診療科	紹介件数	入院患者数	紹介率
内科	4	40	10.0%
消化器内科	212	1,084	19.6%
糖尿病代謝内科	90	234	38.5%
血液内科	30	233	12.9%
呼吸器内科	143	808	17.7%
小児科	89	348	25.6%
消化器外科	130	693	18.8%
乳腺外科	12	71	16.9%
整形外科	280	928	30.2%
形成外科	54	166	32.5%
脳神経外科	62	475	13.1%
呼吸器外科	7	106	6.6%
皮膚科	13	64	20.3%
泌尿器科	130	704	18.5%
産婦人科	4	11	36.4%
眼科	98	297	33.0%
耳鼻いんこう科	36	84	42.9%
歯科口腔外科	449	558	80.5%
循環器内科	270	1,104	24.5%
緩和ケア内科	24	172	14.0%
在宅診療科	21	99	21.2%
腫瘍内科	21	177	11.9%
合計	2,179	8,456	25.8%

7-2. 紹介元医療機関の種別

医療機関種別	病院	医院	歯科医院	その他
本院への紹介数	448	1,286	444	1

7-3. 紹介患者の I C D大分類（科別）

I C D大分類病名	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	乳 外	整 科	形 科	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	産 科	眼 科	耳 科	歯 科	循 科	緩 科	在 科	腫 内	合 計
01) 感染症および寄生虫症	0	15	0	1	4	4	0	0	0	1	1	0	4	0	0	0	0	0	3	0	0	2	35
02) 新生物＜腫瘍＞	0	41	1	20	20	1	13	12	1	25	6	2	0	52	0	0	3	25	0	24	0	15	261
03) 血液および造血器の疾 患ならびに免疫機構の 障害	0	3	2	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16
04) 内分泌、栄養および代 謝疾患	0	6	80	0	1	9	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	110
05) 精神および行動の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
06) 神経系の疾患	1	2	2	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	6	2	3	0	12	1	35
07) 眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	98	0	0	0	0	0	0	108
08) 耳および乳様突起の疾 患	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	9
09) 循環器系の疾患	0	5	0	0	0	3	5	0	1	2	45	0	0	1	0	0	0	0	233	0	0	0	295
10) 呼吸器系の疾患	2	10	0	1	91	20	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	18	0	6	0	3	1	156
11) 消化器系の疾患	0	121	1	0	1	3	109	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	404	3	0	0	2	646
12) 皮膚および皮下組織の 疾患	0	0	1	0	1	1	0	0	2	6	1	0	9	1	0	0	0	10	0	0	0	0	32
13) 筋骨格系および結合組 織の疾患	0	1	0	1	2	11	0	0	91	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	113
14) 腎尿路生殖器系の疾患	0	8	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	73	0	0	0	0	9	0	2	0	99
15) 妊娠、分娩および産 じょく＜褥＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
16) 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
17) 先天奇形、変形および 染色体異常	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
18) 症状、徴候および異常 臨床所見・異常検査所 見で他に分類されない もの	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
19) 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	0	0	1	0	1	7	0	0	182	1	2	1	0	2	0	0	0	6	2	0	1	0	206
21) 健康状態に影響を及ぼ す要因および保健サー ビスの利用	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22) 特殊目的用コード	1	0	1	0	21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
合 計	4	212	90	30	143	89	130	12	280	54	62	7	13	130	4	98	36	449	270	24	21	21	2,179

7-4. 紹介元医療機関・施設（入院に限る）

医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数
ヴォーリス記念病院	4	安澤内科診療所	12	白石外科	17
近江温泉病院	2	伊藤整形外科	9	彦根休日急病診療所	10
近江八幡市立総合医療センター	5	伊藤内科医院	3	彦根中央リハビリテーションク リニック	3
彦根中央病院	100	井関眼科	26	矢部医院	3
豊郷病院	110	雨森医院	3	その他医院	49
友仁山崎病院	72	横野医院	35	県外医院	7
長浜赤十字病院	14	岡田医院	4	あかい歯科	12
市立長浜病院	15	㈱ブリヂストン彦根健康管理 センター	4	いけだ歯科 高宮診療所	3
大津赤十字病院	5	吉川整形外科クリニック	5	イシカワ歯科	11
能登川病院	2	橘地医院	8	かわせ大村歯科医院	11
神崎中央病院	5	宮下内科	3	きたがわ矯正歯科	50
草津総合病院	2	橋本医院	21	きむら歯科クリニック	15
東近江総合医療センター	6	近江診療所	5	こば歯科・矯正歯科クリニック	18
東近江敬愛病院	4	江竜皮ふ科	5	サタケ歯科	4
湖東記念病院	16	高原アイ・クリニック	8	しがや歯科医院	6
滋賀医科大学医学部附属病院	22	高崎医院	3	たかとり歯科医院	14
滋賀県立総合病院	8	高山内科循環器科	26	たきい歯科医院	9
済生会滋賀県病院	4	坂田整形外科	6	つつみ歯科	9
公立甲賀病院	6	山下医院	31	はしもと歯科医院	4
京都府立医科大学附属病院	2	山崎クリニック	6	ふみむらデンタルクリニック	3
京都大学医学部附属病院	8	山崎外科	33	ふれあい歯科医院	4
その他病院	7	柴田医院	7	むとう歯科医院	13
県外病院	29	若松医院	12	やまだファミリー歯科	23
あおき皮フ科	3	小森医院	13	わたなべ歯科医院	3
いけだ耳鼻咽喉科	9	小菅医院多賀診療所	24	安澤歯科小泉診療所	4
いけだ内科医院	64	小林医院	6	安澤歯科診療所	5
いそクリニック	4	松本医院	19	井本歯科医院	11
おおはし内科循環器科 クリニック	22	松本医院 眼科	7	吉田歯科医院	9
おかもとキッズクリニック	3	松木診療所	21	桜井歯科医院	5
おがわ耳鼻咽喉科	10	城東眼科	16	三希子歯科	8
おくの内科	31	神野レディースクリニック	11	歯科白石医院	6
おした整形外科医院	40	神野レディースクリニック アリス	10	川南歯科医院	8
かがい医院	4	杉本整形外科	3	曽我歯科医院	15
かさい整形外科	18	成宮クリニック	6	太陽歯科医院	5
かみやキッズクリニック	13	成美記念クリニック	25	中山歯科医院	7
きたむら内科医院	14	西川医院	4	中島歯科医院	54
しみずクリニック	34	大辻医院川相診療所	7	朝比奈歯科医院	10
しらいし耳鼻咽喉科	6	辰巳医院	29	長寿歯科医院	4
すみよしクリニック	23	池田クリニック彦根	11	田井中歯科医院	11
たかはし整形外科	31	中橋整形外科クリニック	16	島野修歯科医院	13
たけは内科医院	15	中西医院	27	白石歯科	5
たなか小児科	11	中川クリニック	6	文村歯科医院	3
つじ泌尿器科クリニック	48	堤医院	13	堀口歯科医院	9
なかつか内科医院	75	田宮こども診療所	8	その他歯科	40
ひまわり診療所	15	田口診療所	7	パストラルとよさと	1
ひらたクリニック	5	田中クリニック	35		
ひろた皮ふ科医院	4	藤野こどもクリニック	22		
ふせクリニック	30	徳田医院	22		
わだ医院	22				

8-1. 入院患者地域分布（科別）

診 療 科	東中 学区	西中 学区	中中 学区	南中 学区	鳥中 学区	彦中 学区	稲中 学区	犬上郡	愛知郡	湖東地 区以外	県外	合 計
内 科	10	1	2	1	0	1	1	0	0	23	1	40
消 化 器 内 科	222	96	137	165	18	90	111	147	58	34	6	1,084
糖尿病代謝内科	43	18	42	33	4	23	26	26	7	12	0	234
血 液 内 科	17	17	30	21	2	27	31	20	14	53	1	233
呼 吸 器 内 科	156	50	113	90	13	86	72	98	25	96	9	808
小 児 科	64	18	41	34	6	60	11	37	22	52	3	348
消 化 器 外 科	121	66	118	104	12	67	69	73	34	23	6	693
乳 腺 外 科	20	8	8	10	2	7	1	4	6	5	0	71
整 形 外 科	195	59	137	103	20	89	73	143	49	53	7	928
形 成 外 科	24	10	34	19	3	18	4	21	11	20	2	166
脳 神 経 外 科	109	45	61	51	7	39	47	65	18	27	6	475
呼 吸 器 外 科	29	9	21	11	1	5	9	7	8	6	0	106
皮 膚 科	17	11	5	5	3	7	4	7	2	2	1	64
泌 尿 器 科	120	66	133	89	13	63	70	83	24	36	7	704
産 婦 人 科	0	1	2	1	0	0	0	4	1	1	1	11
眼 科	60	33	51	61	3	24	12	40	11	0	2	297
耳鼻いんこう科	23	11	10	12	2	5	6	8	2	5	0	84
歯科口腔外科	133	63	102	65	7	72	30	28	20	34	4	558
循 環 器 内 科	227	125	156	135	25	104	102	138	37	49	6	1,104
緩和ケア内科	33	15	25	11	7	16	16	16	9	21	3	172
在 宅 診 療 科	31	7	7	20	2	5	15	4	4	3	1	99
腫 瘍 内 科	39	7	27	19	3	19	11	38	5	7	2	177
合 計	1,693	736	1,262	1,060	153	827	721	1,007	367	562	68	8,456
率	20.0%	8.7%	14.9%	12.5%	1.8%	9.8%	8.5%	11.9%	4.3%	6.6%	0.8%	

8-2. 地域別入院率

	東中 学区	西中 学区	中中 学区	南中 学区	鳥中 学区	彦中 学区	稲中 学区	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町
入院患者数	1,693	736	1,262	1,060	153	827	721	219	305	483	367
人 口	28,481	10,919	17,696	23,511	2,519	16,947	12,096	7,335	6,355	7,227	20,925
入 院 率	5.9%	6.7%	7.1%	4.5%	6.1%	4.9%	6.0%	3.0%	4.8%	6.7%	1.8%

彦根市内学区、町、郡人口は2021年4月1日現在の市および町の統計による。

入院患者数には2020年度の同一患者の複数回入院を含む。

9. 入院患者の治療（科別）

診 療 科	保存的 治療	待機的手術	緊急手術	教育入院	検査入院	処 置 的 治 療									合 計
						I V R	内視鏡的	血液浄化	分娩	ブロック	移植	放射線治療	化学療法		
内 科	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
消 化 器 内 科	600	49	7	0	15	4	347	0	0	0	0	5	57	1,084	
糖尿病代謝内科	151	2	0	68	6	0	7	0	0	0	0	0	0	234	
血 液 内 科	107	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	233	
呼 吸 器 内 科	703	3	1	0	12	0	4	0	0	0	0	2	83	808	
小 児 科	242	1	1	0	103	0	1	0	0	0	0	0	0	348	
消 化 器 外 科	101	471	101	0	2	1	4	0	0	0	0	0	13	693	
乳 腺 外 科	5	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	71	
整 形 外 科	87	814	23	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	928	
形 成 外 科	24	138	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	166	
脳 神 経 外 科	299	71	58	0	32	13	2	0	0	0	0	0	0	475	
呼 吸 器 外 科	22	61	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	18	106	
皮 膚 科	59	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	
泌 尿 器 科	197	341	31	0	83	6	6	0	0	0	0	4	36	704	
産 婦 人 科	1	1	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	11	
眼 科	2	295	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	297	
耳鼻いんこう科	35	35	0	0	6	0	8	0	0	0	0	0	0	84	
歯科口腔外科	31	510	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	558	
循 環 器 内 科	530	83	1	0	100	385	3	1	0	0	0	0	1	1,104	
緩和ケア内科	172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	
在 宅 診 療 科	98	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	99	
腫 瘍 内 科	85	29	0	0	1	0	19	0	0	0	0	3	40	177	
合 計	3,591	2,970	239	68	366	409	404	1	9	0	0	17	382	8,456	
率	42.5%	35.1%	2.8%	0.8%	4.3%	4.8%	4.8%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	4.5%		

10. 入院患者の転帰（科別）

診 療 科	治癒	軽快	不変	増悪	死亡	転科	転院	その他(検査)	合計
内 科	19	13	0	0	0	7	1	0	40
消 化 器 内 科	32	749	73	0	59	98	58	15	1,084
糖尿病代謝内科	48	148	6	0	10	4	14	4	234
血 液 内 科	1	68	128	0	21	9	6	0	233
呼 吸 器 内 科	136	394	85	0	73	42	67	11	808
小 児 科	40	182	15	0	0	0	6	105	348
消 化 器 外 科	167	440	33	0	4	33	14	2	693
乳 腺 外 科	1	63	4	0	0	1	2	0	71
整 形 外 科	9	633	5	0	5	21	253	2	928
形 成 外 科	2	151	0	0	3	2	8	0	166
脳 神 経 外 科	3	271	4	0	28	17	117	35	475
呼 吸 器 外 科	0	86	8	0	3	6	0	3	106
皮 膚 科	3	57	1	0	0	1	2	0	64
泌 尿 器 科	33	512	30	0	8	24	15	82	704
産 婦 人 科	0	10	1	0	0	0	0	0	11
眼 科	175	121	0	0	0	1	0	0	297
耳鼻いんこう科	12	66	0	0	0	0	0	6	84
歯科口腔外科	481	76	1	0	0	0	0	0	558
循 環 器 内 科	27	781	19	0	99	27	54	97	1,104
緩和ケア内科	0	4	40	0	125	2	1	0	172
在 宅 診 療 科	3	39	34	0	7	5	11	0	99
腫 瘍 内 科	3	101	41	0	7	20	4	1	177
合 計	1,195	4,965	528	0	452	320	633	363	8,456
率	14.1%	58.7%	6.2%	0.0%	5.3%	3.8%	7.5%	4.3%	

11. 入院患者の退院後のフォローアップ

診療科	当院外来	紹介	転科	死亡	院内紹介	通院不要	施設	合計	本院からの紹介
内科	1	2	7	0	0	29	1	40	5.0%
消化器内科	677	128	99	59	0	78	43	1,084	11.8%
糖尿病代謝内科	88	107	4	10	0	14	11	234	45.7%
血液内科	176	20	9	21	0	4	3	233	8.6%
呼吸器内科	333	148	42	73	0	192	20	808	18.3%
小児科	216	30	0	0	0	102	0	348	8.6%
消化器外科	587	36	34	4	0	26	6	693	5.2%
乳腺外科	68	2	1	0	0	0	0	71	2.8%
整形外科	598	266	21	5	0	11	27	928	28.7%
形成外科	144	11	2	3	0	2	4	166	6.6%
脳神経外科	229	164	17	28	0	14	23	475	34.5%
呼吸器外科	96	1	6	3	0	0	0	106	0.9%
皮膚科	44	3	1	0	0	13	3	64	4.7%
泌尿器科	599	45	24	8	0	10	18	704	6.4%
産婦人科	11	0	0	0	0	0	0	11	0.0%
眼科	293	0	1	0	0	1	2	297	0.0%
耳鼻いんこう科	64	2	0	0	0	18	0	84	2.4%
歯科口腔外科	529	27	0	0	1	1	0	558	4.8%
循環器内科	666	250	27	99	0	27	35	1,104	22.6%
緩和ケア内科	28	6	2	125	0	9	2	172	3.5%
在宅診療科	32	39	5	7	0	13	3	99	39.4%
腫瘍内科	126	15	20	7	0	6	3	177	8.5%
合計	5,605	1,302	322	452	1	570	204	8,456	15.4%
率	66.3%	15.4%	3.8%	5.3%	0.0%	6.7%	2.4%		

12-1. 紹介先医療機関・施設

医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数
ヴォーリス記念病院	16	安澤内科診療所	10	アットホーム彦根歯科医院	1
近江温泉病院	30	横野医院	15	きたがわ矯正歯科	7
近江八幡市立総合医療センター	11	岡田医院	4	こば歯科・矯正歯科クリニック	2
彦根中央病院	189	橘地医院	3	たかしな歯科クリニック	1
豊郷病院	213	橋本医院	17	ふみむらデンタルクリニック	1
友仁山崎病院	118	高崎医院	3	みなみ歯科医院	1
長浜赤十字病院	16	高山内科循環器科	15	やまだファミリー歯科	4
市立長浜病院	30	山下医院	13	三希子歯科	2
神崎中央病院	35	山崎クリニック	4	歯科白石医院	1
草津総合病院	4	柴田医院	4	曾我歯科医院	2
東近江敬愛病院	3	若松医院	11	中島歯科医院	3
東近江総合医療センター	8	小森医院	3	堀口歯科医院	1
湖東記念病院	6	小菅医院多賀診療所	21	アロフェンテ彦根	17
済生会滋賀県病院	4	小林医院	4	グループホームつぼみ	3
滋賀医科大学医学部附属病院	27	松木診療所	17	さざなみ苑	32
滋賀県立総合病院	3	神野レディースクリニック	5	サニープレイス彦根	8
京都大学医学部附属病院	6	成美記念クリニック	8	ナースログ	6
音羽記念病院	3	西川医院	8	ハートフルヒルズ彦根	6
福井大学医学部附属病院	3	曾我医院	3	パストラルとよさと	10
その他病院	17	大辻医院川相診療所	6	花しょうぶの郷	13
県外病院	21	辰巳医院	34	メイプルコート日夏	4
いけだ内科医院	32	池田クリニック彦根	16	近江ふるさと園	39
おおはし内科循環器科クリニック	7	中西医院	17	近江第二ふるさと園	10
おくの内科	18	中川クリニック	4	金亀荘	16
きたむら内科医院	8	堤医院	8	犬上ハートフルセンター	14
しみずクリニック	3	田口診療所	4	湖郷の彩風	8
すみよしクリニック	11	田中クリニック	17	多賀清流の里	10
たけは内科医院	5	藤野こどもクリニック	3	千松の郷	9
たなか小児科	4	徳田医院	12	邂逅の郷	6
つじ泌尿器科クリニック	5	白石外科	7	その他施設	48
なかつか内科医院	28	その他医院	56	宿泊施設	2
ひまわり診療所	7	県外医院	2		
ひらたクリニック	8				
ふせクリニック	8				
やまぐち内科クリニック	3				
わだ医院	10				

12-2. 紹介先医療機関の種別

紹介先医療機関の種別	総数	病院	医院	歯科医院	宿泊施設
本院からの紹介数	1,304	763	511	26	2

その他施設
259

12-3. 本院からの患者移送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本院移送車による搬送	3	3	1	1	3	1	2	9	1	4	3	0	31
消防救急車による搬送	7	4	2	6	4	5	8	7	4	5	5	7	64

※「病院救急車使用状況」・「消防救急車要請状況」から件数を数えて記入する。

12-4. 診療科別消防救急車搬送先別件数

搬送先	診療科	内科	外科	循環科	脳外	小科	脳内	眼科	皮膚科	整科	呼吸科	形成科	泌尿科	耳科	歯科	その他	緩和科	合計
愛知医科大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青葉病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石切生喜病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石寺町近江ふるさと園		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヴォーリズ記念病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡青樹会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江温泉病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江草津徳洲会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市立総合医療センター		0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	5
大垣市民病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大津赤十字病院		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
加納渡辺病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西医科大学付属滝井病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神崎中央病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都回生会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都桂病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都北大路病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都シミズ病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都大学医学部附属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府立医科大学付属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城小学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立精神医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国立循環器研究センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖東記念病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会滋賀病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
滋賀医科大学医学部附属病院		4	0	2	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
滋賀県立総合病院		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自宅		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児保健医療センター		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
市立長浜病院		11	1	3	9	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	26
神野レディースクリニック		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
敦賀泉ヶ丘病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊郷病院		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
長浜青樹会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜赤十字病院		2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	1	0	0	1	0	12
名古屋第一日赤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
能登川病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東近江敬愛病院		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東近江総合医療センター		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
彦根警察署		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根中央病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琵琶湖中央病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井大学付属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤田保健衛生大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米原駅		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松原徳州会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三菱京都病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友仁山崎病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八日市国立滋賀病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市県立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		22	2	5	9	4	2	0	0	0	13	3	2	0	0	2	0	64

12-5. 診療科別病院救急自動車使用搬送先別件数

搬送先	診療科	内科	外科	循環科	脳外	小科	脳内	眼科	皮膚科	整科	呼吸科	形成科	泌尿科	耳科	歯科	その他	緩和科	合計
愛知医科大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青葉病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石切生喜病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石寺町近江ふるさと園		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヴォーリス記念病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡青樹会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江温泉病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江草津徳洲会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近江八幡市立総合医療センター		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
大垣市民病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大津赤十字病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
加納渡辺病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西医科大学附属滝井病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神崎中央病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都回生会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都桂病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都北大路病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都シミズ病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都大学医学部附属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府立医科大学附属病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金城小学校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草津総合病院		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
県立精神医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国立循環器研究センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湖東記念病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会滋賀病院		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀医科大学医学部附属病院		4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
滋賀県立総合病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自宅		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
小児保健医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市立長浜病院		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
神野レディースクリニック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敦賀泉ヶ丘病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊郷病院		3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
長浜青樹会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長浜赤十字病院		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
名古屋第一日赤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
能登川病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東近江敬愛病院		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東近江総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
彦根警察署		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根中央病院		0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
琵琶湖中央病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井大学付属病院		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
藤田保健衛生大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
米原駅		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松原徳洲会病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三菱京都病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友仁山崎病院		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
八日市国立滋賀病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市県立総合医療センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		10	1	10	3	0	0	0	0	2	3	1	1	0	0	0	0	31

13-1. 入院患者の I C D 大分類 (性別)

I C D 大 分 類 病 名	男	女	合 計	率(%)
01) 感染症および寄生虫症	89	102	191	2.3%
02) 新生物<腫瘍>	1,037	595	1,632	19.3%
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	26	31	57	0.7%
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	182	118	300	3.5%
05) 精神および行動の障害	6	7	13	0.2%
06) 神経系の疾患	80	73	153	1.8%
07) 眼および付属器の疾患	157	166	323	3.8%
08) 耳および乳様突起の疾患	23	20	43	0.5%
09) 循環器系の疾患	803	557	1,360	16.1%
10) 呼吸器系の疾患	389	225	614	7.3%
11) 消化器系の疾患	857	692	1,549	18.3%
12) 皮膚および皮下組織の疾患	43	46	89	1.1%
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	120	190	310	3.7%
14) 腎尿路生殖器系の疾患	303	208	511	6.0%
15) 妊娠、分娩および産じょく<褥>	0	11	11	0.1%
16) 周産期に発生した病態	15	10	25	0.3%
17) 先天奇形、変形および染色体異常	6	13	19	0.2%
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12	10	22	0.3%
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	441	509	950	11.2%
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	2	2	0.0%
22) 特殊目的用コード	143	139	282	3.3%
合 計	4,732	3,724	8,456	

13-2. 入院患者の ICD大分類（科別）

ICD大分類病名	内科	消内	糖内	血内	呼内	小科	消外	乳外	整科	形科	脳外	呼外	皮科	泌科	産科	眼科	耳科	歯科	循科	緩科	在科	腫内	合計
01) 感染症および寄生虫症	2	58	6	7	27	13	3	1	1	1	3	0	24	5	0	0	0	0	24	0	5	11	191
02) 新生物＜腫瘍＞	0	247	7	178	156	4	194	68	6	61	21	70	2	280	0	0	12	46	5	171	5	99	1,632
03) 血液および造血器の疾患 患ならびに免疫機構の障害	0	9	2	14	1	12	4	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	7	0	2	2	57
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	1	47	151	1	18	25	1	0	0	5	3	1	1	4	0	1	0	1	31	0	8	1	300
05) 精神および行動の障害	0	2	1	1	0	2	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	13
06) 神経系の疾患	1	9	11	3	3	16	1	0	6	0	50	0	0	0	0	0	11	2	12	0	24	4	153
07) 眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	296	0	0	0	0	0	0	323
08) 耳および乳様突起の疾患	0	2	1	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	29	0	4	0	1	1	43
09) 循環器系の疾患	0	46	6	1	7	8	13	0	3	7	337	0	0	7	0	0	0	0	914	0	6	5	1,360
10) 呼吸器系の疾患	2	56	15	7	356	46	1	0	1	1	0	28	0	3	0	0	30	1	38	1	16	12	614
11) 消化器系の疾患	2	547	8	3	3	8	461	0	2	0	0	0	0	3	0	0	1	471	6	0	0	34	1,549
12) 皮膚および皮下組織の疾患	0	3	2	1	3	2	2	0	4	21	1	0	30	1	0	0	0	16	3	0	0	0	89
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	0	7	2	3	11	19	0	0	232	8	2	0	1	1	0	0	0	0	10	0	14	0	310
14) 腎尿路生殖器系の疾患	0	33	16	11	11	10	1	2	0	0	0	1	0	385	0	0	0	0	25	0	13	3	511
15) 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11
16) 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
17) 先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	0	0	4	1	0	0	8	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	19
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	1	0	1	14	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	15	3	3	8	97	9	0	671	22	52	5	5	11	0	0	1	17	22	0	4	5	950
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
22) 特殊目的用コード	32	2	2	0	203	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	282
合計	40	1,084	234	233	808	348	693	71	928	166	475	106	64	704	11	297	84	558	1,104	172	99	177	8,456

13-3. 入院患者の I C D 大分類 (月別)

I C D 大分類病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
01) 感染症および寄生虫症	14	13	22	19	15	14	18	21	13	18	16	8	191
02) 新生物<腫瘍>	160	113	142	122	134	125	142	123	179	128	128	136	1,632
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	9	9	6	5	2	3	5	2	6	3	4	3	57
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	27	22	24	36	37	22	24	26	25	22	13	22	300
05) 精神および行動の障害	0	2	2	0	0	1	1	2	2	0	1	2	13
06) 神経系の疾患	19	6	8	10	19	15	11	14	23	11	9	8	153
07) 眼および付属器の疾患	30	7	14	38	20	35	28	23	32	34	24	38	323
08) 耳および乳様突起の疾患	1	3	4	5	4	6	6	6	2	2	2	2	43
09) 循環器系の疾患	100	93	93	103	128	98	112	101	128	132	120	152	1,360
10) 呼吸器系の疾患	55	45	40	47	55	41	67	50	61	58	50	45	614
11) 消化器系の疾患	122	108	112	119	143	138	159	134	143	101	122	148	1,549
12) 皮膚および皮下組織の疾患	6	7	2	6	7	9	10	10	6	14	8	4	89
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	23	22	26	27	25	29	29	29	33	17	19	31	310
14) 腎尿路生殖器系の疾患	30	32	41	56	44	49	50	31	45	46	41	46	511
15) 妊娠、分娩および産じょく<褥>	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
16) 周産期に発生した病態	8	3	1	0	6	1	1	2	0	0	2	1	25
17) 先天奇形、変形および染色体異常	2	0	1	0	1	2	5	2	2	1	1	2	19
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2	0	1	5	2	1	3	2	2	2	1	1	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	63	53	78	75	97	72	87	84	102	78	67	94	950
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
22) 特殊目的用コード	13	17	0	2	46	12	1	10	25	73	37	46	282
合 計	694	557	617	675	785	673	759	672	829	740	665	790	8,456

13-4. 入院患者の I C D 大分類（地域別）

I C D 大 分 類 病 名	東中 学区	西中 学区	中中 学区	南中 学区	鳥中 学区	彦中 学区	稲中 学区	湖東 地区	湖東地 区以外	県外	合計
01) 感染症および寄生虫症	38	23	25	21	6	22	14	28	11	3	191
02) 新生物＜腫瘍＞	299	114	275	201	33	157	158	262	124	9	1,632
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫 機構の障害	7	6	6	9	3	12	3	6	5	0	57
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	63	16	50	48	2	33	31	36	21	0	300
05) 精神および行動の障害	2	1	3	2	1	1	0	1	0	2	13
06) 神経系の疾患	41	13	18	20	4	11	13	22	8	3	153
07) 眼および付属器の疾患	66	33	57	65	3	26	13	55	2	3	323
08) 耳および乳様突起の疾患	13	3	8	4	0	4	1	9	1	0	43
09) 循環器系の疾患	284	144	187	170	28	124	138	213	63	9	1,360
10) 呼吸器系の疾患	123	44	78	82	16	62	73	107	25	4	614
11) 消化器系の疾患	313	172	249	213	17	157	128	229	61	10	1,549
12) 皮膚および皮下組織の疾患	22	11	9	13	0	12	3	16	3	0	89
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	69	25	43	31	5	27	30	59	18	3	310
14) 腎尿路生殖器系の疾患	90	49	87	56	14	41	51	95	25	3	511
15) 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0	1	2	1	0	0	0	5	1	1	11
16) 周産期に発生した病態	2	2	2	2	0	5	0	4	6	2	25
17) 先天奇形、変形および染色体異常	3	0	6	1	0	3	0	2	3	1	19
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	5	3	0	2	0	4	1	7	0	0	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	193	68	133	109	17	108	58	191	63	10	950
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および 保健サービスの利用	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
22) 特殊目的用コード	59	8	24	10	4	18	6	26	122	5	282
合 計	1,693	736	1,262	1,060	153	827	721	1,374	562	68	8,456

13-5. 入院患者の I C D 大分類（病棟別）

I C D 大 分 類 病 名	ICU・ CCU	4 B	5 A	5 B	6 A	6 B	7 A	7 B	8 A	8 B	合計
01) 感染症および寄生虫症	4	41	6	31	22	32	38	10	7	0	191
02) 新生物＜腫瘍＞	3	114	35	192	127	452	447	74	16	172	1,632
03) 血液および造血器の疾患ならびに 免疫機構の障害	1	15	0	4	2	10	20	5	0	0	57
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	2	44	7	21	57	23	20	125	1	0	300
05) 精神および行動の障害	0	6	1	0	0	3	0	3	0	0	13
06) 神経系の疾患	4	32	8	48	17	5	10	26	3	0	153
07) 眼および付属器の疾患	0	125	3	0	0	2	0	193	0	0	323
08) 耳および乳様突起の疾患	0	14	1	6	4	5	1	12	0	0	43
09) 循環器系の疾患	39	42	11	360	723	45	48	90	2	0	1,360
10) 呼吸器系の疾患	3	156	28	59	122	78	44	82	41	1	614
11) 消化器系の疾患	2	550	15	72	81	500	277	37	15	0	1,549
12) 皮膚および皮下組織の疾患	0	19	15	25	8	10	1	10	1	0	89
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	1	32	63	6	10	4	5	186	3	0	310
14) 腎尿路生殖器系の疾患	1	41	6	223	40	137	20	39	4	0	511
15) 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
16) 周産期に発生した病態	0	24	0	0	0	0	0	0	1	0	25
17) 先天奇形、変形および染色体異常	0	15	0	2	0	2	0	0	0	0	19
18) 症状、徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されない もの	1	17	0	3	0	1	0	0	0	0	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の 影響	9	205	395	59	22	49	11	197	3	0	950
21) 健康状態に影響をおよぼす要因お よび保健サービスの利用	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
22) 特殊目的用コード	0	0	1	0	1	1	0	1	278	0	282
合 計	70	1,503	595	1,112	1,236	1,360	942	1,090	375	173	8,456

13-6. 入院患者の I C D 大分類（年齢別）

I C D 大 分 類 病 名	0-28 日	29日- 11ヶ月	1-4 歳	5-9 歳	10- 14歳	15- 19歳	20- 29歳	30- 39歳	40- 49歳	50- 59歳	60- 64歳	65- 69歳	70- 74歳	75- 79歳	80- 84歳	85- 89歳	90歳 -	合計
01) 感染症および寄生虫症	0	2	7	1	3	6	11	8	10	14	8	14	16	29	20	23	19	191
02) 新生物＜腫瘍＞	0	0	9	7	8	13	21	18	81	129	146	232	290	287	211	129	51	1,632
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	0	0	2	5	5	0	0	1	1	3	1	5	0	10	9	9	6	57
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	1	1	8	9	7	0	4	15	28	32	20	20	28	28	38	36	25	300
05) 精神および行動の障害	0	1	0	0	1	1	2	1	0	1	2	1	1	0	0	1	1	13
06) 神経系の疾患	0	0	4	7	5	4	5	10	6	7	3	17	13	24	18	24	6	153
07) 眼および付属器の疾患	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4	26	32	64	82	70	32	9	323
08) 耳および乳様突起の疾患	0	0	1	3	1	1	0	1	8	4	2	7	3	8	3	1	0	43
09) 循環器系の疾患	1	1	0	0	4	5	3	12	53	108	107	123	169	221	183	203	167	1,360
10) 呼吸器系の疾患	1	6	22	13	9	9	25	13	13	19	18	34	52	86	88	106	100	614
11) 消化器系の疾患	0	1	4	12	16	61	161	110	130	173	103	103	144	153	174	113	91	1,549
12) 皮膚および皮下組織の疾患	0	0	2	1	1	3	1	3	6	9	7	8	8	9	10	12	9	89
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	0	1	12	7	1	6	2	5	17	16	20	32	34	59	44	35	19	310
14) 腎尿路生殖器系の疾患	1	5	2	2	5	4	6	18	34	49	31	36	58	71	65	62	62	511
15) 妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0	0	0	0	0	0	1	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11
16) 周産期に発生した病態	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
17) 先天奇形、変形および染色体異常	1	0	11	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	19
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	3	11	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	2	2	0	0	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	6	76	39	20	39	36	32	50	75	52	65	73	72	102	119	94	950
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
22) 特殊目的用コード	0	4	22	8	8	7	34	41	44	34	12	13	19	9	11	8	8	282
合 計	28	33	194	117	94	161	314	296	486	678	559	742	974	1,151	1,049	913	667	8,456

14-1. I C D大分類別入院患者在院日数(小児科)

I C D 大 分 類 病 名	入院日数の 平均	入院日数の 最小	入院日数の 最大
01) 感染症および寄生虫症	4.7	2	10
02) 新生物<腫瘍>	1	1	1
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	7.1	2	14
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	6.2	1	33
05) 精神および行動の障害	12	2	22
06) 神経系の疾患	3.5	1	24
08) 耳および乳様突起の疾患	3	3	3
09) 循環器系の疾患	7.4	2	19
10) 呼吸器系の疾患	4.8	1	11
11) 消化器系の疾患	5	2	15
12) 皮膚および皮下組織の疾患	6	4	8
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	8.4	3	22
14) 腎尿路生殖器系の疾患	7.4	1	29
16) 周産期に発生した病態	6.2	2	17
17) 先天奇形、変形および染色体異常	1.8	1	4
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	2.6	1	5
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	1.1	1	3
22) 特殊目的用コード	10.8	1	30
全 体	5.5	1	33

14-2. I C D大分類別入院患者在院日数(小児科を除く)

I C D 大 分 類 病 名	入院日数の 平均	入院日数の 最小	入院日数の 最大
01) 感染症および寄生虫症	15.1	1	156
02) 新生物<腫瘍>	14.9	1	225
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	20.8	1	133
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	16.5	1	183
05) 精神および行動の障害	2.9	1	8
06) 神経系の疾患	18.8	1	230
07) 眼および付属器の疾患	2.0	1	3
08) 耳および乳様突起の疾患	4.9	1	12
09) 循環器系の疾患	15.0	1	241
10) 呼吸器系の疾患	17.7	1	212
11) 消化器系の疾患	8.3	1	92
12) 皮膚および皮下組織の疾患	20.6	1	117
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	29.9	1	189
14) 腎尿路生殖器系の疾患	12.2	1	136
15) 妊娠、分娩および産じょく<褥>	6.1	3	9
17) 先天奇形、変形および染色体異常	3.8	1	22
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	21.6	3	100
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	18.4	1	287
21) 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	7.5	3	12
22) 特殊目的用コード	10.7	1	76
全 体	13.4	1	287

15-1. 緊急手術患者の I C D 大分類

I C D 大 分 類 病 名	消 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	形 科	脳 外	泌 科	歯 科	循 科	合 計
01) 感染症および寄生虫症	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	4
02) 新生物＜腫瘍＞	2	0	0	4	0	0	0	4	0	0	10
03) 血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
06) 神経系の疾患	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
09) 循環器系の疾患	1	0	0	0	0	0	45	1	0	0	47
10) 呼吸器系の疾患	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
11) 消化器系の疾患	3	0	1	92	0	0	0	0	8	0	104
12) 皮膚および皮下組織の疾患	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
14) 腎尿路生殖器系の疾患	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	22
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	0	0	2	18	0	11	3	2	0	36
合 計	7	1	1	101	23	4	58	31	12	1	239

15-2. 待機的手術患者の I C D 大分類

I C D 大 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	乳 外	整 科	形 科	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	産 科	眼 科	耳 科	歯 科	循 科	腫 内	合 計
01) 感染症および寄生虫症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
02) 新生物＜腫瘍＞	24	0	3	1	0	149	55	4	60	13	44	1	117	0	0	11	40	0	25	547
03) 血液および造血器の疾患 患ならびに免疫機構の 障害	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
04) 内分泌、栄養および代 謝疾患	0	2	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	9
05) 精神および行動の障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
06) 神経系の疾患	0	0	0	0	0	0	0	5	0	11	0	0	0	0	0	2	2	2	0	22
07) 眼および付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	294	0	0	0	0	321
08) 耳および乳様突起の疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
09) 循環器系の疾患	0	0	0	0	0	12	0	3	5	43	0	0	2	0	0	0	0	64	1	130
10) 呼吸器系の疾患	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	16	0	0	0	0	18	1	1	1	39
11) 消化器系の疾患	23	0	0	0	0	304	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	445	0	2	776
12) 皮膚および皮下組織の 疾患	0	0	0	0	0	0	0	3	13	0	0	3	1	0	0	0	7	1	0	28
13) 筋骨格系および結合組 織の疾患	0	0	0	0	0	0	0	197	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	203
14) 腎尿路生殖器系の疾患	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	214	0	0	0	0	0	0	218
15) 妊娠、分娩および産 じょく＜褥＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
17) 先天奇形、変形および 染色体異常	0	0	0	0	0	1	0	0	6	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	11
18) 症状、徴候および異常 臨床所見・異常検査所 見で他に分類されない もの	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	6
19) 損傷、中毒およびその 他の外因の影響	1	0	0	0	1	0	0	600	14	2	0	0	3	0	0	1	11	14	0	647
21) 健康状態に影響をおよ ぼす要因および保健 サービスの利用	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
22) 特殊目的用コード	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	49	2	4	3	1	471	57	814	138	71	61	5	341	1	295	35	510	83	29	2,970

16. 各大分類の中間分類

A-B（感染症および寄生虫症）の中間分類

中間分類病名	内科	消化内	糖内	血内	呼内	小科	消外	乳外	整科	形科	脳外	皮科	泌科	循科	在科	腫内	合計
A02 その他のサルモネラ感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
A04 その他の細菌性腸管感染症	0	18	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23
A08 ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A09 その他の胃腸炎および大腸炎、感染症および詳細不明の原因によるもの	1	23	0	3	7	7	2	0	0	0	0	0	1	4	0	5	53
A16 呼吸器結核、細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A31 その他の非結核性抗酸菌による感染症	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
A32 リステリア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
A40 連鎖球菌性敗血症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
A41 その他の敗血症	1	5	3	1	4	1	1	1	0	1	2	1	3	14	3	0	41
A46 丹毒	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
A48 その他の細菌性疾患、他に分類されないもの	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
A49 部位不明の細菌感染症	0	3	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	1	5	1	1	17
A87 ウイルス（性）髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
B00 ヘルペスウイルス〔単純ヘルペス〕感染症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
B01 水痘〔鶏痘〕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
B02 帯状疱疹〔帯状ヘルペス〕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	1	19
B16 急性B型肝炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B17 その他の急性ウイルス性肝炎	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
B18 慢性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
B19 詳細不明のウイルス性肝炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B27 伝染性単核症	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
B44 アスペルギルス症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B48 その他の真菌症、他に分類されないもの	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B59 ニューモシスチス症（J17.3*）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B90 結核の続発・後遺症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	58	6	7	27	13	3	1	1	1	3	24	5	24	5	11	191

C-D(新生物<腫瘍>)の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	乳 外	整 科	形 科	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	耳 科	歯 科	循 科	緩 科	在 科	腫 内	合 計
C02 舌のその他および部位不明の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
C03 歯肉の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	6
C04 口(腔)底の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
C06 その他および部位不明の口腔の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
C10 中咽頭の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C13 下咽頭の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C15 食道の悪性新生物<腫瘍>	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	32
C16 胃の悪性新生物<腫瘍>	58	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2	17	145
C17 小腸の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>	23	1	0	0	0	60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	18	2	18	124
C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
C20 直腸の悪性新生物<腫瘍>	13	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	41
C21 肛門および肛門管の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
C22 肝および肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	33	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	14	59
C23 胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	11
C24 その他および部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	18	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	4	35
C25 膵の悪性新生物<腫瘍>	49	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	20	95
C30 鼻腔および中耳の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
C31 副鼻腔の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C32 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C34 気管支および肺の悪性新生物<腫瘍>	0	1	0	139	0	1	0	1	0	0	60	0	0	0	0	1	24	0	3	230
C38 心臓、縦隔および胸膜の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C41 その他及び部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C43 皮膚の悪性黒色腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
C44 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
C45 中皮腫	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	9
C48 後腹膜および腹膜の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
C49 その他の結合組織および軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	6
C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	2	65	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	0	6	84
C52 膣の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
C53 子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4
C54 子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
C56 卵巣の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
C61 前立腺の悪性新生物<腫瘍>	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	0	0	5	0	0	114
C62 精巣<睪丸>の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	31	0	0	0	4	0	0	36
C65 腎盂の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
C66 尿管の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	1	0	0	24
C67 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	0	0	0	3	0	0	95
C71 脳の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	2	1	0	12
C73 甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
C74 副腎の悪性新生物<腫瘍>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物<腫瘍>	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	4	0	0	4	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
C79 その他の部位および部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	2	0	1	0	1	0	4	0	1	17
C80 悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	0	7	20
C81 ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C82 ろ<濾>胞性リンパ腫	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5

中間分類病名	消内	糖内	血内	呼内	小科	消外	乳外	整科	形科	脳外	呼外	皮科	泌科	耳科	歯科	循科	緩科	在科	腫内	合計
C83 非ろく濾＞胞性リンパ腫	1	0	57	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	62
C84 成熟T/NK細胞リンパ腫	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
非ホジキン＜non-Hodgkin＞ C85 n＞リンパ腫のその他および詳細不明の型	0	0	12	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	16
C86 T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
C88 悪性免疫増殖性疾患	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	25
C91 リンパ性白血病	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
C92 骨髄性白血病	0	0	26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
C93 単球性白血病	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
C95 細胞型不明の白血病	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D09 その他および部位不明の上皮内癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
D10 口腔および咽頭の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
D12 結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物＜腫瘍＞	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D14 中耳および呼吸器系の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D15 その他および部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D16 骨および関節軟骨の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
D17 良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞（脂肪腫を含む）	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
D18 血管腫およびリンパ管腫、全ての部位	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
D21 結合組織およびその他の軟部組織のその他の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D22 メラニン細胞性母斑	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
D32 髄膜の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D35 その他および部位不明の内分泌腺の良性新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
D37 口腔および消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	2	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	0	1	20
D38 中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4
D39 女性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
D40 男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
D41 腎尿路の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
D43 脳および中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
D44 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
D46 骨髄異形成症候群	0	0	27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	30
D48 その他および部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	0	0	0	0	1	0	1	2	37	0	0	0	0	0	26	0	0	0	1	68
合計	247	7	178	156	4	194	68	6	61	21	70	2	280	12	46	5	171	5	99	1,632

D（血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
D50 鉄欠乏性貧血	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
D53 その他の栄養性貧血	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D59 後天性溶血性貧血	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
D61 その他の無形成性貧血	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	7
D64 その他の貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
D65 播種性血管内凝固症候群〔脱線維素症候群〕	2	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	7
D69 紫斑病およびその他の出血性病態	0	0	6	0	9	0	1	0	0	0	0	0	0	16
D70 無顆粒球症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
D72 白血球のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
D73 脾疾患	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
D76 リンパ細網組織および細網組織球組織のその他の明示された疾患	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
D86 サルコイドーシス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	9	2	14	1	12	4	1	1	1	1	7	2	2	57

E（内分泌、栄養および代謝疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	形 科	脳 外	呼 外	皮 科	泌 科	眼 科	耳 科	歯 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
E03 その他の甲状腺機能低下症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E05 甲状腺中毒症〔甲状腺機能亢進症〕	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
E10 1型<インスリン依存性>糖尿病< I D D M >	0	0	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13
E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病< N I D D M >	0	0	114	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	119
E13 その他の明示された糖尿病	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
E14 詳細不明の糖尿病	1	1	6	0	0	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	16
E15 非糖尿病性低血糖性昏睡	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
E16 その他の膵内分泌障害	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	7
E22 下垂体機能亢進症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E23 下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
E26 アルドステロン症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
E27 その他の副腎障害	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
E34 その他の内分泌障害	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
E40 クワシオルコル	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E51 チ<サイ>アミン欠乏症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E53 その他のビタミンB群の欠乏症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E56 その他のビタミン欠乏症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E72 その他のアミノ酸代謝障害	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害およびその他の脂血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
E83 ミネラル<鉱質>代謝障害	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
E85 アミロイドーシス<アミロイド症>	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
E86 体液量減少（症）	0	26	3	0	8	14	0	0	0	1	0	2	0	0	0	13	2	0	69
E87 その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	0	11	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	5	0	35
合 計	1	47	151	1	18	25	1	5	3	1	1	4	1	0	1	31	8	1	300

F（精神および行動の障害）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	小 科	整 科	形 科	脳 外	循 科	在 科	合 計
F03 詳細不明の認知症	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
F10 アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害	2	0	1	0	0	2	1	0	0	6
F20 統合失調症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
F44 解離性〔転換性〕障害	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
F45 身体表現性障害	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
F50 摂食障害	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	2	1	1	2	1	2	2	1	1	13

G（神経系の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	脳 外	耳 科	歯 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
G00 細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
G04 脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
G06 頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	5
G11 遺伝性運動失調（症）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
G12 脊髄性筋萎縮症および関連症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
G20 パーキンソン＜P a r k i n s o n＞病	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	11
G21 続発性パーキンソン＜P a r k i n s o n＞症候群	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
G23 基底核のその他の変性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
G30 アルツハイマー＜A l z h e i m e r＞病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
G31 神経系のその他の変性疾患、他に分類されないもの	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	5
G40 てんかん	0	6	4	2	0	12	0	0	13	0	0	1	3	0	41
G41 てんかん重積（状態）	0	0	0	0	1	1	0	0	11	0	0	0	0	1	14
G45 一過性脳虚血発作および関連症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	5
G47 睡眠障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
G50 三叉神経障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
G51 顔面神経障害	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6
G61 炎症性多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
G71 原発性筋障害	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
G72 その他のミオパチ＜シ＞ー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
G80 脳性麻痺	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
G90 自律神経系の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
G91 水頭症	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	17
G93 脳のその他の障害	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	7	0	0	10
G95 その他の脊髄疾患	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
G96 中枢神経系のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	1	9	11	3	3	16	1	6	50	11	2	12	24	4	153

H（眼および付属器の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	形 科	眼 科	合 計
H00 麦粒腫およびさんく霰＞粒腫	1	0	1
H02 眼瞼のその他の障害	26	0	26
H11 結膜のその他の障害	0	1	1
H25 老人性白内障	0	290	290
H26 その他の白内障	0	1	1
H40 緑内障	0	4	4
合 計	27	296	323

H（耳および乳様突起の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	小 科	整 科	形 科	脳 外	耳 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
H61 その他の外耳障害	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
H65 非化膿性中耳炎	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
H66 化膿性および詳細不明の中耳炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
H81 前庭機能障害	2	1	0	1	0	1	18	4	1	1	29
H91 その他の難聴	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9
合 計	2	1	1	1	2	1	29	4	1	1	43

I（循環器系の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	形 科	脳 外	泌 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
I05 リウマチ性僧帽弁疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
I10 本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	2	7
I11 高血圧性心疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
I15 二次性＜続発性＞高血圧（症）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
I20 狭心症	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	212	0	0	217
I21 急性心筋梗塞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	58
I24 その他の急性虚血性心疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
I25 慢性虚血性心疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	19
I26 肺塞栓症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
I27 その他の肺性心疾患	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
I30 急性心膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
I31 心膜のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	7
I33 急性および亜急性心内膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	5
I34 非リウマチ性僧帽弁障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
I35 非リウマチ性大動脈弁障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
I40 急性心筋炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
I42 心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
I44 房室ブロックおよび左脚ブロック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13
I45 その他の伝導障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
I46 心停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	31
I47 発作性頻拍（症）	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	21	0	0	23
I48 心房細動および粗動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	0	0	98
I49 その他の不整脈	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	1	30
I50 心不全	3	4	0	4	0	1	0	0	2	2	282	2	0	300
I51 心疾患の合併症および診断名不明確な心疾患の記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
I60 くも膜下出血	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
I61 脳内出血	0	0	0	0	0	0	0	0	49	1	1	0	0	51
I62 その他の非外傷性頭蓋内出血	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	30
I63 脳梗塞	3	1	1	1	0	1	0	0	193	1	3	2	1	207
I64 脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
I65 脳実質外動脈（脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈）の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	18
I66 脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	5
I67 その他の脳血管疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	21
I69 脳血管疾患の続発・後遺症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
I70 アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	39	0	0	44
I71 大動脈瘤および解離	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16
I72 その他の動脈瘤および解離	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	3	0	0	11
I74 動脈の塞栓症および血栓症	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	7
I77 動脈および細動脈のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
I80 静脈炎および血栓（性）静脈炎	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	8	0	0	10
I83 下肢の静脈瘤	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	20	0	0	31
I85 食道静脈瘤	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
I86 その他の部位の静脈瘤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
I87 静脈のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
I88 非特異性リンパ節炎	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
I89 リンパ管およびリンパ節のその他の非感染性障害	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
I95 低血圧（症）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合 計	46	6	1	7	8	13	3	7	337	7	914	6	5	1,360

J（呼吸器系の疾患）の中間分類

中間分類病名	内科	消内	糖内	血内	呼内	小科	消外	整科	形科	呼外	泌科	耳科	齒科	循科	緩科	在科	腫内	合計
J00 急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
J02 急性咽頭炎	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
J03 急性扁桃炎	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
J04 急性喉頭炎および気管炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
J06 多部位および部位不明の急性上気道感染症	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
J13 肺炎連鎖球菌による肺炎	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	11
J15 細菌性肺炎、他に分類されないもの	0	2	1	0	47	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	57
J18 肺炎、病原体不詳	1	11	8	2	115	2	1	0	0	4	0	0	0	16	0	5	3	168
J20 急性気管支炎	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
J32 慢性副鼻腔炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	9
J34 鼻および副鼻腔のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
J35 扁桃およびアデノイドの慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	13
J36 扁桃周囲膿瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
J38 声帯および喉頭の疾患、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	0	3	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
J43 肺気腫	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
J44 その他の慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
J45 喘息	0	0	0	1	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
J46 喘息発作重積状態	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
J47 気管支拡張症	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
J69 固形物および液状物による肺臓炎	0	35	3	4	44	0	0	1	0	0	1	0	0	11	0	9	3	111
J70 その他の外的因子による呼吸器病態	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
J80 成人呼吸窮＜促＞迫症候群＜ARDS＞	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
J81 肺水腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
J82 肺好酸球症、他に分類されないもの	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
J84 その他の間質性肺疾患	0	2	0	0	37	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	42
J85 肺および縦隔の膿瘍	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
J86 膿胸（症）	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
J90 胸水、他に分類されないもの	0	1	0	0	18	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	22
J92 胸膜斑＜プラーク＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
J93 気胸	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	38
J94 その他の胸膜病態	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
J96 呼吸不全、他に分類されないもの	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	9
J98 その他の呼吸器障害	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
合計	2	56	15	7	356	46	1	1	1	28	3	30	1	38	1	16	12	614

K（消化器系の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	泌 科	耳 科	歯 科	循 科	腫 内	合 計
K00 歯の発育および萌出の異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
K01 埋伏歯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	56
K02 うく齲>蝕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
K04 歯髄および根尖部歯周組織の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	0	0	97
K05 歯肉炎および歯周疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	105
K06 歯肉および無歯顎堤のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
K07 歯顎顔面（先天）異常〔不正咬合を含む〕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	168	0	0	168
K09 口腔部のうく嚢>胞、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14
K10 顎骨のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	21
K11 唾液腺疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4
K13 口唇および口腔粘膜のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
K21 胃食道逆流症	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	10
K22 食道のその他の疾患	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
K25 胃潰瘍	1	26	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	32
K26 十二指腸潰瘍	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	9
K27 部位不明の消化性潰瘍	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
K28 胃空腸潰瘍	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K29 胃炎および十二指腸炎	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
K30 機能性ディスペプシア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
K31 胃および十二指腸のその他の疾患	0	11	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	14
K35 急性虫垂炎	0	0	0	0	0	1	79	0	0	0	0	0	0	80
K36 その他の虫垂炎	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
K37 詳細不明の虫垂炎	0	2	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	13
K38 虫垂のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
K40 そけいく鼠径>ヘルニア	0	0	0	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	83
K41 大腿く股>ヘルニア	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
K42 臍ヘルニア	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10
K43 腹壁ヘルニア	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	6
K44 横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
K45 その他の腹部ヘルニア	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
K50 クローンくC r o h n>病〔限局性腸炎〕	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
K51 潰瘍性大腸炎	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
K52 その他の非感染性胃腸炎および非感染性大腸炎	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
K55 腸の血行障害	0	14	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	18
K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	1	27	0	0	0	3	58	0	0	0	0	0	5	94
K57 腸の憩室性疾患	0	61	4	1	0	0	8	0	0	0	0	1	4	79
K59 その他の腸の機能障害	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7
K60 肛門部および直腸部の裂（溝）および瘻（孔）	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
K61 肛門部および直腸部の膿瘍	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
K62 肛門および直腸のその他の疾患	0	5	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	1	23
K63 腸のその他の疾患	0	7	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	12
K64 痔核および肛門周囲静脈血栓症	0	2	1	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	26
K65 腹膜炎	0	4	0	0	0	0	16	1	1	0	0	1	1	24
K66 腹膜のその他の障害	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
K70 アルコール性肝疾患	0	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	14
K71 中毒性肝疾患	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
K72 肝不全、他に分類されないもの	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
K74 肝線維症および肝硬変	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16
K75 その他の炎症性肝疾患	0	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
K76 その他の肝疾患	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
K80 胆石症	0	129	1	0	0	0	53	1	0	0	0	0	4	188
K81 胆のうく嚢>炎	0	22	0	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	73
K82 胆のうく嚢>のその他の疾患	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
K83 胆道のその他の疾患	0	53	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	60

中 間 分 類 病 名	内 科	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	泌 科	耳 科	歯 科	循 科	腫 内	合 計
K85 急性膵炎	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	41
K86 その他の膵疾患	0	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
K91 消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
K92 消化器系のその他の疾患	0	23	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	2	30
合 計	2	547	8	3	3	8	461	2	3	1	471	6	34	1, 549

L（皮膚および皮下組織の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	形 科	脳 外	皮 科	泌 科	歯 科	循 科	合 計
L01 膿かく痂＞疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
L02 皮膚膿瘍、せつ＜フルンケル＞およびよう＜カルブンケル＞	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	4
L03 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	3	2	1	2	0	0	1	1	0	21	0	14	3	48
L04 急性リンパ節炎	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
L05 毛巣のう＜囊＞胞	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
L08 皮膚および皮下組織のその他の局所感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
L12 類天疱瘡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
L27 摂取物質による皮膚炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
L40 乾せん＜癬＞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
L57 非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
L63 円形脱毛症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍および圧迫領域	0	0	0	1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	10
L91 皮膚の肥厚性障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
L97 下肢の潰瘍、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
L98 皮膚および皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	1	0	0	6
合 計	3	2	1	3	2	2	4	21	1	30	1	16	3	89

M（筋骨格系および結合組織の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 科	血 内	呼 内	小 科	整 科	形 科	脳 外	皮 科	泌 科	循 科	在 科	合 計
M00 化膿性関節炎	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
M02 反応性関節障害	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
M05 血清反応陽性関節リウマチ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
M06 その他の関節リウマチ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M11 その他の結晶性関節障害	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
M13 その他の関節炎	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
M16 股関節症〔股関節部の関節症〕	0	0	0	0	0	46	0	0	0	0	0	0	46
M17 膝関節症〔膝の関節症〕	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0	0	0	59
M20 指および趾<足ゆび>の後天性変形	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M24 その他の明示された関節内障	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M30 結節性多発（性）動脈炎および関連病態	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	0	19
M31 その他のえ<壊>死性血管障害	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	5
M32 全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
M33 皮膚（多発性）筋炎	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
M34 全身性硬化症	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	8	11
M41 （脊柱）側弯（症）	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M43 その他の変形性脊柱障害	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M46 その他の炎症性脊椎障害	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	8
M47 脊椎症	0	0	2	0	0	12	0	1	0	0	0	1	16
M48 その他の脊椎障害	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	0	0	48
M50 頸部椎間板障害	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
M51 その他の椎間板障害	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
M54 背部痛	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
M60 筋炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
M62 その他の筋障害	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	4	4	15
M65 滑膜炎および腱鞘炎	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
M67 滑膜および腱のその他の障害	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
M72 線維芽細胞性障害	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	6
M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
M80 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
M84 骨の癒合障害	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	11
M86 骨髄炎	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
M87 骨え<壊>死	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
M92 その他の若年性骨軟骨症<骨端症>	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
M94 軟骨のその他の障害	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
M96 処置後筋骨格障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	1	0	11
全 体	7	2	3	11	19	232	8	2	1	1	10	14	310

N（腎尿路生殖器系の疾患）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	乳 外	呼 外	泌 科	循 内	在 科	腫 内	合 計
N04 ネフローゼ症候群	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
N10 急性尿細管間質性腎炎	16	6	8	7	3	0	0	0	77	3	8	1	129
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	4	1	1	0	2	0	0	0	2	2	0	0	12
N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	0	0	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	11
N15 その他の腎尿細管間質性疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
N17 急性腎不全	1	3	1	1	0	0	0	0	5	5	1	1	18
N18 慢性腎臓病	2	2	0	3	0	0	0	0	62	8	0	1	78
N20 腎結石および尿管結石	0	0	0	0	0	0	0	0	134	0	0	0	134
N21 下部尿路結石	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10
N28 腎および尿管のその他の障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	4
N30 膀胱炎	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	6
N31 神経因性膀胱（機能障害）、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
N32 その他の膀胱障害	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
N35 尿道狭窄	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10
N36 尿道のその他の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
N39 尿路系のその他の障害	9	0	1	0	3	0	0	1	0	7	1	0	22
N40 前立腺肥大（症）	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14
N41 前立腺の炎症性疾患	0	3	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	31
N43 精巣＜睪丸＞水腫および精液瘤	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
N44 精巣＜睪丸＞捻転	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
N45 精巣＜睪丸＞炎および精巣上体＜副睪丸＞炎	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
N47 過長包皮、包茎およびかん＜嵌＞頓包茎	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
N49 男性生殖器の炎症性障害、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
N63 乳房の詳細不明の塊＜l u m p＞	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
N83 卵巣、卵管および子宮広間膜の非炎症性障害	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	33	16	11	11	10	1	2	1	385	25	13	3	511

O（妊娠・分娩および産じょく＜褥＞）の中間分類

中 間 分 類 病 名	産 科
034 既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	2
080 単胎自然分娩	8
082 帝王切開による単胎分娩	1
合 計	11

P（周産期に発生した病態）の中間分類

中 間 分 類 病 名	小 科
P03 その他の分娩合併症により影響を受けた胎児および新生児	1
P07 妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	4
P22 新生児の呼吸窮乏＜促＞迫	8
P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態	1
P59 その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	6
P61 その他の周産期の血液障害	2
P92 新生児の哺乳上の問題	3
合 計	25

Q（先天奇形、変形および染色体異常）の中間分類

中 間 分 類 病 名	小 科	消 外	形 科	脳 外	泌 科	歯 科	循 科	合 計
Q17 耳のその他の先天奇形	0	0	2	0	0	0	0	2
Q18 顔面および頸部のその他の先天奇形	0	0	1	0	0	0	0	1
Q28 循環器系のその他の先天奇形	0	0	0	2	0	0	0	2
Q38 舌、口（腔）および咽頭のその他の先天奇形	0	0	0	0	0	1	0	1
Q53 停留精巣＜辜丸＞	1	0	0	0	1	0	0	2
Q61 のう＜嚢＞胞性腎疾患	0	0	0	0	1	0	1	2
Q64 尿路系のその他の先天奇形	0	1	0	0	0	0	0	1
Q70 合指＜趾＞（症）	0	0	1	0	0	0	0	1
Q77 骨軟骨異形成＜形成異常＞（症）、長管骨および脊椎の成長障害を伴うもの	1	0	0	0	0	0	0	1
Q82 皮膚のその他の先天奇形	0	0	4	0	0	0	0	4
Q85 母斑症、他に分類されないもの	1	0	0	0	0	0	0	1
Q90 ダウン＜D o w n＞症候群	1	0	0	0	0	0	0	1
合 計	4	1	8	2	2	1	1	19

R（症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの）の中間分類

中 間 分 類 病 名	糖 内	呼 内	小 科	形 科	泌 科	歯 科	循 科	合 計
R02 え＜壊＞疽、他に分類されないもの	0	0	0	1	0	0	1	2
R04 気道からの出血	0	1	0	0	0	0	0	1
R20 皮膚感覚障害	0	0	0	0	0	2	0	2
R22 皮膚および皮下組織の限局性腫脹、腫瘤＜m a s s＞ および塊＜l u m p＞	0	0	0	0	0	1	0	1
R33 尿閉	0	0	0	0	1	0	0	1
R54 老衰	1	0	0	0	0	0	0	1
R56 けいれん＜痙攣＞、他に分類されないもの	0	0	14	0	0	0	0	14
合 計	1	1	14	1	1	3	1	22

S-T（損傷、中毒およびその他の外因の影響）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	小 科	消 外	整 科	形 科	脳 科	呼 外	皮 科	泌 科	耳 科	歯 科	循 科	在 科	腫 内	合 計
S00 頭部の表在損傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S01 頭部の開放創	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	0	0	0	0	0	0	0	8	5	0	0	0	0	2	0	0	0	15
S03 頭部の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
S06 頭蓋内損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	1	0	0	43
S09 頭部のその他および詳細不明の損傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S12 頸部の骨折	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
S13 頸部の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
S14 頸部の神経および脊髄の損傷	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
S22 肋骨、胸骨および胸椎骨折	0	0	0	1	0	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	10
S24 胸部＜郭＞の神経および脊髄の損傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S27 その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	0	0	0	2	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	8
S29 胸部＜郭＞のその他および詳細不明の損傷	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S30 腹部、下背部および骨盤部の表在損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
S32 腰椎および骨盤の骨折	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	39
S36 腹腔内臓器の損傷	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
S37 腎尿路生殖器および骨盤臓器の損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
S39 腹部、下背部および骨盤部のその他および詳細不明の損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
S42 肩および上腕の骨折	0	0	0	1	0	0	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95
S43 肩甲＜上肢＞帯の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
S52 前腕の骨折	0	0	0	0	0	0	101	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	102
S53 肘の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S56 前腕の筋および腱の損傷	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
S61 手首および手の開放創	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S62 手首および手の骨折	0	0	0	0	0	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
S63 手首および手の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S68 手首および手の外傷性切断	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
S70 股関節部および大腿の表在損傷	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
S72 大腿骨骨折	0	1	0	0	0	0	248	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	250
S76 股関節部および大腿の筋および腱の損傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
S82 下腿の骨折、足首を含む	0	0	0	0	0	0	88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	89
S83 膝の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
S86 下腿の筋および腱の損傷	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
S92 足の骨折、足首を除く	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
S93 足首および足の関節および靱帯の脱臼、捻挫およびストレイン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T00 多部位の表在損傷	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T02 多部位の骨折	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T08 脊椎骨折、部位不明	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T09 脊椎および体幹のその他の損傷、部位不明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T18 消化管内異物	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
T19 尿路性器内異物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
T22 肩および上肢の熱傷および腐食、手首および手を除く	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T23 手首および手の熱傷および腐食	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
T24 股関節部および下肢の熱傷および腐食、足首および足を除く	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T30 熱傷および腐食、部位不明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

S-T（損傷、中毒およびその他の外因の影響）の中間分類

T39	非オピオイド系鎮痛薬、解熱薬および抗リウマチ薬による中毒	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T42	抗てんかん薬、鎮静・催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T50	利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
T58	一酸化炭素の毒作用	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T63	有毒動物との接触による毒作用	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
T65	その他および詳細不明の物質の毒作用	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
T67	熱および光線の作用	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	11
T68	低体温（症）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4
T75	その他の外因の作用	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
T78	有害作用、他に分類されないもの	0	1	1	0	94	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	99
T79	外傷の早期合併症、他に分類されないもの	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T81	処置の合併症、他に分類されないもの	5	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	15
T82	心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	13	0	0	16
T84	体内整形外科的プロステーシス、挿入物および移植片の合併症	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	7
T85	その他の体内プロステーシス、挿入物および移植片の合併症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
T88	外科的および内科的ケアのその他の合併症、他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	4
合 計		15	3	3	8	97	9	671	22	52	5	5	11	1	17	22	4	5	950

U（特殊目的用コード）の中間分類

中 間 分 類 病 名	内 科	消 内	糖 内	呼 内	小 科	消 外	合 計
U07 エマージェンシーコードU07	32	2	2	203	42	1	282

Z（健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用）の中間分類

中 間 分 類 病 名	消 内	消 外	合 計
Z91 危険因子の既往歴、他に分類されないもの	1	0	1
Z93 人工的開口状態	0	1	1
合 計	1	1	2

17-1. 救急車入院患者統計

救急車入院患者数（科別、性別）

診療科	男	女	合計	H31年度	差	科別入院率
内科	2	1	3	12	-9	0.2%
消化器内科	138	123	261	303	-42	16.0%
糖尿病代謝内科	25	30	55	55	0	3.4%
血液内科	24	15	39	34	5	2.4%
脳神経内科	0	0	0	16	-16	0.0%
呼吸器内科	110	68	178	201	-23	10.9%
小児科	18	15	33	73	-40	2.0%
外科	0	0	0	1	-1	0.0%
消化器外科	49	34	83	77	6	5.1%
乳腺外科	0	0	0	2	-2	0.0%
整形外科	77	179	256	253	3	15.7%
形成外科	9	4	13	26	-13	0.8%
脳神経外科	131	109	240	246	-6	14.7%
呼吸器外科	6	1	7	8	-1	0.4%
皮膚科	8	0	8	9	-1	0.5%
泌尿器科	37	19	56	36	20	3.4%
産婦人科	0	0	0	2	-2	0.0%
耳鼻いんこう科	6	7	13	14	-1	0.8%
歯科口腔外科	0	1	1	4	-3	0.1%
循環器内科	130	135	265	300	-35	16.3%
緩和ケア内科	26	21	47	44	3	2.9%
在宅診療科	22	17	0	46	-46	0.0%
腫瘍内科	24	9	33	0	33	2.0%
合計	842	788	1,630	1,762	-132	

17-2. 救急車入院患者平均年齢（科別）

診療科	年齢の平均	年齢の最小	年齢の最大
内科	62.7	27	82
消化器内科	79.0	15	103
糖尿病代謝内科	76.9	20	106
血液内科	76.9	19	96
呼吸器内科	79.1	18	104
小児科	3.7	0	14
消化器外科	67.4	9	95
整形外科	77.9	8	103
形成外科	59.7	19	97
脳神経外科	73.5	2	100
呼吸器外科	67.9	30	84
皮膚科	69.8	41	85
泌尿器科	76.2	19	104
耳鼻いんこう科	57.9	14	77
歯科口腔外科	29.0	29	29
循環器内科	79.7	19	106
緩和ケア内科	77.1	30	99
在宅診療科	79.0	24	101
腫瘍内科	75.2	33	99
全体	66.8	0	106

17-3. 救急車入院患者入院時間(科別)

診 療 科	時間内	時間外	時間外率<時間外/ (時間内+時間外)>
内 科	1	2	66.7%
消 化 器 内 科	88	173	66.3%
糖 尿 病 代 謝 内 科	34	21	38.2%
血 液 内 科	17	22	56.4%
呼 吸 器 内 科	62	116	65.2%
小 児 科	10	23	69.7%
消 化 器 外 科	39	44	53.0%
整 形 外 科	107	149	58.2%
形 成 外 科	3	10	76.9%
脳 神 経 外 科	95	145	60.4%
呼 吸 器 外 科	4	3	42.9%
皮 膚 科	4	4	50.0%
泌 尿 器 科	27	29	51.8%
耳 鼻 い ん こ う 科	7	6	46.2%
歯 科 口 腔 外 科	0	1	100.0%
循 環 器 内 科	116	149	56.2%
緩 和 ケ ア 内 科	38	9	19.1%
在 宅 診 療 科	7	32	82.1%
腫 瘍 内 科	7	26	78.8%
合 計	666	964	59.1%

17-4. 救急車入院患者在院日数(科別)

診 療 科	入院日数の平均	入院日数の最小	入院日数の最大
内 科	4	3	6
消 化 器 内 科	17.4	1	212
糖 尿 病 代 謝 内 科	25.6	1	142
血 液 内 科	11.4	1	52
呼 吸 器 内 科	17.1	1	101
小 児 科	3.1	1	12
消 化 器 外 科	17	1	99
整 形 外 科	32.1	2	287
形 成 外 科	28.4	2	130
脳 神 経 外 科	22.7	1	169
呼 吸 器 外 科	12.1	5	21
皮 膚 科	8.5	2	17
泌 尿 器 科	18.8	2	88
耳 鼻 い ん こ う 科	3.7	2	9
歯 科 口 腔 外 科	16	16	16
循 環 器 内 科	19	1	183
緩 和 ケ ア 内 科	19.7	1	210
在 宅 診 療 科	15.3	2	58
腫 瘍 内 科	12.6	2	47
全 体	16.0	1	287

17-5. 救急車入院患者数（病棟別、性別）

病 棟	男	女	合 計	病棟別入院率
ICU・CCU	29	19	48	228.6%
4 B	79	73	152	723.8%
5 A	65	146	211	1004.8%
5 B	191	142	333	1585.7%
6 A	131	123	254	1209.5%
6 B	125	90	215	1023.8%
7 A	84	53	137	652.4%
7 B	91	108	199	947.6%
8 A	21	13	34	161.9%
8 B	26	21	47	223.8%
合 計	842	788	1,630	

17-6. 救急車入院患者の治療（科別）

診 療 科	保存的 治療	待機的 手術	緊急 手術	教育 入院	検査 入院	処置的治療						合 計
						IVR	内視鏡 的	血液 浄化	分娩	放射線 治療	化学 療法	
内 科	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
消 化 器 内 科	195	3	0	0	1	1	60	0	0	1	0	261
糖尿病代謝内科	53	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	55
血 液 内 科	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	39
神 経 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼 吸 器 内 科	173	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	178
小 児 科	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消 化 器 外 科	24	31	27	0	0	0	1	0	0	0	0	83
乳 腺 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整 形 外 科	47	197	11	0	0	0	1	0	0	0	0	256
形 成 外 科	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	13
脳 神 経 外 科	183	20	28	0	0	9	0	0	0	0	0	240
呼 吸 器 外 科	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
皮 膚 科	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
泌 尿 器 科	43	9	2	0	0	0	0	0	0	0	2	56
産 婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻いんこう科	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
歯科口腔外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
循 環 器 内 科	215	12	1	0	0	34	2	0	0	0	1	265
緩和ケア内科	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47
在 宅 診 療 科	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39
腫 瘍 内 科	27	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	33
合 計	1,154	278	70	0	1	44	72	0	0	3	8	1,630

17-7. 救急車入院患者の転帰（科別）

診療科	治癒	軽快	不変	増悪	死亡	転科	転院	その他（検査）	合計	死亡率
内科	1	0	0	0	0	2	0	0	3	0.0%
消化器内科	7	157	4	0	36	25	31	1	261	13.8%
糖尿病代謝内科	12	26	0	0	5	2	10	0	55	9.1%
血液内科	1	20	2	0	8	5	3	0	39	20.5%
呼吸器内科	4	91	4	0	39	14	26	0	178	21.9%
小児科	3	29	0	0	0	0	1	0	33	0.0%
消化器外科	10	55	3	0	4	6	5	0	83	4.8%
整形外科	4	76	0	0	3	12	161	0	256	1.2%
形成外科	0	9	0	0	1	0	3	0	13	7.7%
脳神経外科	2	123	1	0	20	12	82	0	240	8.3%
呼吸器外科	0	3	0	0	1	3	0	0	7	14.3%
皮膚科	1	6	0	0	0	1	0	0	8	0.0%
泌尿器科	4	37	2	0	5	3	5	0	56	8.9%
耳鼻いんこう科	4	9	0	0	0	0	0	0	13	0.0%
歯科口腔外科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
循環器内科	5	158	3	0	64	10	25	0	265	24.2%
緩和ケア内科	0	1	9	0	36	0	1	0	47	76.6%
在宅診療科	1	27	0	0	3	2	6	0	39	7.7%
腫瘍内科	0	24	0	0	3	3	3	0	33	9.1%
全 体	60	851	28	0	228	100	362	1	1,630	14.0%
	3.7%	52.2%	1.7%	0.0%	14.0%	6.1%	22.2%	0.1%		

17-8. 救急車入院患者の ICD大分類（科別）

ICD大分類病名	内科	消内	糖尿	血内	呼内	小科	消外	整科	形科	脳外	呼外	皮科	泌科	耳科	歯科	循科	緩科	在科	腫内	合計	率
01) 感染症および寄生虫症	1	17	1	3	11	0	1	1	0	2	0	0	3	0	0	14	0	2	2	58	3.6%
02) 新生物＜腫瘍＞	0	21	5	12	15	0	11	2	0	4	2	1	8	0	0	1	47	1	4	134	8.2%
03) 血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8	0.5%
04) 内分泌、栄養および代謝 疾患	0	24	20	1	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	5	0	69	4.2%
05) 精神および行動の障害	0	1	1	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9	0.6%
06) 神経系の疾患	1	7	3	3	1	10	1	1	0	25	0	0	0	0	0	8	0	5	2	67	4.1%
08) 耳および乳様突起の疾患	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	12	0	2	0	0	0	19	1.2%
09) 循環器系の疾患	0	9	5	1	4	1	1	1	0	172	0	0	1	0	0	188	0	3	4	390	23.9%
10) 呼吸器系の疾患	0	35	5	5	109	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	21	0	12	4	197	12.1%
11) 消化器系の疾患	1	114	1	1	2	0	62	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	11	196	12.0%
12) 皮膚および皮下組織の疾 患	0	3	2	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	15	0.9%
13) 筋骨格系および結合組織 の疾患	0	3	1	2	5	1	0	19	3	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	39	2.4%
14) 腎尿路生殖器系の疾患	0	13	7	6	5	2	0	0	0	0	1	0	38	0	0	8	0	8	0	88	5.4%
16) 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
17) 先天奇形、変形および染 色体異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
18) 症状、徴候および異常臨 床所見・異常検査所見で 他に分類されないもの	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.7%
19) 損傷、中毒およびその他 の外因の影響	0	9	3	2	8	4	5	229	6	33	3	3	3	1	0	5	0	2	5	321	19.7%
22) 特殊目的用コード	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.4%
合 計	3	261	55	39	178	33	83	256	13	240	7	8	56	13	1	265	47	39	33	1,630	

18-1. 死亡退院患者数(性別、科別)

診療科	男	女	合計	全体に占める割合
消化器内科	30	29	59	13.1%
糖尿病代謝内科	4	6	10	2.2%
血液内科	15	6	21	4.6%
呼吸器内科	47	26	73	16.2%
消化器外科	3	1	4	0.9%
整形外科	4	1	5	1.1%
形成外科	1	2	3	0.7%
脳神経外科	17	11	28	6.2%
呼吸器外科	3	0	3	0.7%
泌尿器科	5	3	8	1.8%
循環器内科	53	46	99	21.9%
緩和ケア内科	69	56	125	27.7%
在宅診療科	2	5	7	1.5%
腫瘍内科	7	0	7	1.5%
合計	260	192	452	

18-2. 死亡退院患者数(性別、病棟別)

病棟	男	女	合計	全体に占める割合
ICU・CCU	29	14	43	9.5%
4 B	16	10	26	5.8%
5 A	8	6	14	3.1%
5 B	32	23	55	12.2%
6 A	29	30	59	13.1%
6 B	19	12	31	6.9%
7 A	35	21	56	12.4%
7 B	21	15	36	8.0%
8 A	2	5	7	1.5%
8 B	69	56	125	27.7%
合計	260	192	452	

18-3. 死亡退院患者平均年齢(科別)

診療科	年齢の平均	年齢の最小	年齢の最大
消化器内科	83.9	55	100
糖尿病代謝内科	81.7	66	92
血液内科	73.7	52	86
呼吸器内科	81.7	52	104
消化器外科	78.0	57	88
整形外科	77.4	46	90
形成外科	86.3	78	97
脳神経外科	77.7	21	94
呼吸器外科	81.7	72	89
泌尿器科	79.6	48	99
循環器内科	82.3	31	101
緩和ケア内科	76.2	30	101
在宅診療科	79.9	69	99
腫瘍内科	70.7	61	99
全体	79.3	21	104

18-4. 死亡退院患者在院日数(科別)

診療科	入院日数の平均	入院日数の最小	入院日数の最大
消化器内科	20.2	1	156
糖尿病代謝内科	24.7	1	77
血液内科	30.7	1	208
呼吸器内科	20.6	1	117
消化器外科	19.0	1	56
整形外科	59.8	5	147
形成外科	76.0	39	130
脳神経外科	22.0	1	169
呼吸器外科	9.0	5	17
泌尿器科	28.3	2	102
循環器内科	11.9	1	78
緩和ケア内科	26.0	1	225
在宅診療科	29.3	2	56
腫瘍内科	19.1	7	33
全体	28.3	1	225

18-5. 死亡退院患者の I C D 大分類 (性別)

I C D 大 分 類 病 名	男	女	計	率
01) 感染症および寄生虫症	4	6	10	2.5%
02) 新生物<腫瘍>	117	74	191	46.8%
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1	2	3	0.7%
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	6	10	16	3.9%
06) 神経系の疾患	4	2	6	1.5%
09) 循環器系の疾患	59	45	104	25.5%
10) 呼吸器系の疾患	46	19	65	15.9%
11) 消化器系の疾患	10	15	25	6.1%
12) 皮膚および皮下組織の疾患	1	3	4	1.0%
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	4	2	6	1.5%
14) 腎尿路生殖器系の疾患	5	11	16	3.9%
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	1	1	0.2%
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	3	1	4	1.0%
22) 特殊目的用コード	0	1	1	0.2%
全 体	260	192	452	

18-6. 死亡退院患者の I C D 大分類 (科別)

I C D 大 分 類 病 名	消内	糖内	血内	呼内	消外	整科	形科	脳科	呼外	泌科	循科	緩科	在科	腫内	合計
01) 感染症および寄生虫症	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	10
02) 新生物<腫瘍>	12	2	19	22	1	0	1	0	2	3	0	124	1	4	191
03) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	5	3	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	16
06) 神経系の疾患	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	1	6
09) 循環器系の疾患	4	0	0	1	0	0	0	25	0	0	74	0	0	0	104
10) 呼吸器系の疾患	12	2	1	38	0	0	0	0	1	1	7	1	1	1	65
11) 消化器系の疾患	20	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	25
12) 皮膚および皮下組織の疾患	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	0	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	6
14) 腎尿路生殖器系の疾患	3	1	0	4	0	0	0	0	0	2	4	0	2	0	16
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
22) 特殊目的用コード	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	59	10	21	73	4	5	3	28	3	8	99	125	7	7	452

19-1. ICU・CCU入室患者稼働状況

I C D 大 分 類 病 名	消 内	糖 内	血 内	呼 内	消 外	乳 外	整 科	形 科	脳 外	呼 外	泌 科	歯 科	循 科	在 科	腫 内	計
01) 感染症および寄生虫症	1	0	0	3	1	1	1	0	0	0	2	0	11	0	0	20
02) 新生物＜腫瘍＞	3	0	1	3	89	0	1	1	12	41	17	1	1	0	0	170
03) 血液および造血器の疾患ならびに 免疫機構の障害	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	6
04) 内分泌、栄養および代謝疾患	1	5	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1	0	13
06) 神経系の疾患	0	1	0	1	0	0	6	0	1	0	0	2	5	0	0	16
09) 循環器系の疾患	3	0	0	0	1	0	1	1	81	0	3	0	165	0	0	255
10) 呼吸器系の疾患	1	0	0	12	0	0	0	1	0	5	0	0	4	0	0	23
11) 消化器系の疾患	13	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	5	1	0	1	75
13) 筋骨格系および結合組織の疾患	0	0	1	0	0	0	86	0	1	0	0	0	0	0	0	88
14) 腎尿路生殖器系の疾患	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	11	0	5	0	0	17
17) 先天奇形、変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
18) 症状、徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されない もの	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
19) 損傷、中毒およびその他の外因の 影響	2	0	0	2	2	0	30	0	16	1	0	0	4	0	0	57
全 体	24	6	2	23	151	1	125	5	114	47	34	8	200	1	1	742

19-2. ICU・CCU入室目的別患者数（科別）

診 療 科	術後（予定）	緊急入室	合	緊急手術
内 科	0	1	1	0
消 化 器 内 科	0	26	26	0
糖尿病代謝内科	0	5	5	0
血 液 内 科	3	2	5	0
神 経 内 科	0	1	1	0
呼 吸 器 科	0	0	0	0
呼 吸 器 内 科	0	24	24	0
心 療 内 科	0	0	0	0
小 児 科	0	1	1	0
外 科	2	1	3	1
消 化 器 外 科	90	68	158	66
整 形 外 科	122	15	137	2
形 成 外 科	4	0	4	0
脳 神 経 外 科	36	83	119	79
呼 吸 器 外 科	48	1	49	0
皮 膚 科	0	0	0	0
泌 尿 器 科	17	20	37	0
産 婦 人 科	0	0	0	0
眼 科	0	0	0	0
耳鼻いんこう科	0	0	0	0
歯科口腔外科	6	1	7	0
循 環 器 内 科	14	211	225	1
在 宅 診 療 科	0	1	1	0
合 計	342	461	803	149
率	42.6%	57.4%	100%	18.6%

19-3. 退室経路 (ICU・CCU)

退室経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転 棟	66	54	63	61	46	48	46	66	58	64	67	55	694
転 院	0	0	0	0	1	0	2	4	1	2	2	0	12
死 亡	3	2	2	2	3	4	5	3	4	3	8	4	43
退院 (軽快)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
その他 (翌月・転科等)	6	4	3	7	4	3	4	3	5	6	4	6	55
合 計	75	60	68	70	55	55	57	76	69	75	81	65	806

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均在室日数	2.6	3	2.8	2.8	2.8	3	3.6	2.6	2.8	2.9	2.8	3.4	2.9

退室経路	患者数	率
転 棟	694	86.1%
転 院	12	1.5%
死 亡	43	5.3%
退 院	2	0.2%
その他	55	6.8%
合 計	806	

病床利用率	86.6%
-------	-------

病床稼働率	118.8%
-------	--------

平均在室日数	2.9日
--------	------

入室者計 806名 (稼働 6床)

19-4. ICU・CCU医療行為内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人工呼吸器	63	47	55	53	47	48	42	30	45	72	67	76	645
血液浄化	HD	1	3	12	6	1	8	3	6	4	3	8	61
	CHDF	1	18	11	18	8	12	31	8	16	35	10	234
	PDF	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	PE	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	13
	CHD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	吸着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ECUM	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	5
	CHF	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	LCAP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PMX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	DHP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PED (血漿交換)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CAP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
スワングアンツカテーテル	4	6	0	6	0	19	22	3	11	4	10	2	87
大動脈内バルーンポンピング	9	1	4	4	4	8	22	6	9	0	5	10	82
低体温療法	2	3	4	0	2	4	2	0	2	6	0	3	28
一時ペーシング	7	3	0	0	0	0	7	5	1	5	6	0	34
心肺蘇生	0	0	0	0	2	2	1	0	3	1	0	8	17
除細動	0	0	1	0	4	4	3	0	5	1	2	3	23
その他	0	1	4	0	2	0	0	0	3	0	4	22	36
全 体	91	83	92	87	71	105	133	60	101	134	107	213	1,277

20-1. 緩和ケア病棟の稼働状況

入院患者の I C D 中分類（詳細）

中 間 分 類 病 名	緩和科
C03 歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C10 中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C13 下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C15 食道の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C16 胃の悪性新生物＜腫瘍＞	18
C17 小腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C18 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	18
C20 直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	6
C21 肛門および肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C22 肝および肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	5
C23 胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞	5
C24 その他および部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	9
C25 膵の悪性新生物＜腫瘍＞	16
C31 副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C32 喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C34 気管支および肺の悪性新生物＜腫瘍＞	24
C38 心臓、縦隔および胸膜の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C41 その他および部位不明の骨および関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C43 皮膚の悪性黒色腫	2
C45 中皮腫	1
C48 後腹膜および腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞	4
C49 その他の結合組織および軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C50 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	9
C53 子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C54 子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C56 卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	2
C61 前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	5
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	4
C66 尿管の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C67 膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C71 脳の悪性新生物＜腫瘍＞	2
C74 副腎の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C79 その他の部位および部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	4
C80 悪性新生物＜腫瘍＞、部位が明示されていないもの	7
C83 非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	1
C85 非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他および詳細不明の型	2
D43 脳および中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	1
J90 胸水、他に分類されないもの	1
合 計	172

20-2. 緩和ケア科入院患者の年齢分布図

20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	計
1	1	6	6	17	15	32	19	25	30	20	172

20-3. 緩和ケア科病棟稼働状況

病床利用率

8 B病棟病床利用率	59.2%
------------	-------

※稼働20床

在室日数

8 B病棟平均在室日数	25.1
-------------	------

20-4. 緩和ケア科入院患者紹介

紹介	患者数
院外紹介	24
院内紹介	6
合計	30

20-5. 緩和ケア科入院患者転帰

転帰	患者数
死亡退院	125
不変退院	40
軽快退院	4
転科	2
紹介転院	1
合計	172

21. 無菌治療室（7A病棟内）の稼働状況

月別 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在院延べ日数	30	26	26	60	86	75	89	71	82	67	66	48	726

22. 結核病棟稼働状況

	入室	退室	在室	延患者数	稼働病床数	病床稼働率
4月	0	0	0	0	300	0.0
5月	0	0	0	0	310	0.0
6月	0	0	0	0	300	0.0
7月	0	0	0	0	310	0.0
8月	0	0	0	0	310	0.0
9月	0	0	0	0	300	0.0
10月	0	0	0	0	310	0.0
11月	0	0	0	0	300	0.0
12月	0	0	0	0	310	0.0
1月	0	0	0	0	310	0.0
2月	0	0	0	0	280	0.0
3月	0	0	0	0	310	0.0
合計	0	0	0	0	3,650	0.0

23. 感染症病棟稼働状況

	コロナ患者				その他感染症				稼働病床数
	入室	退室	在室	延患者数	入室	退室	在室	延患者数	
4月	30	17	245	262	0	0	0	0	
5月	6	19	161	180	0	0	0	0	
6月	2	2	1	3	0	0	0	0	
7月	16	7	79	86	0	0	0	0	
8月	59	59	382	441	0	0	0	0	
9月	8	16	67	83	0	0	0	0	
10月	16	16	31	47	0	0	0	0	
11月	29	18	162	180	0	0	0	0	
12月	53	40	278	318	0	0	0	0	
1月	69	80	738	818	1	0	3	3	
2月	47	44	340	384	0	1	3	4	
3月	42	56	379	435	0	0	0	0	
合計	377	374	2,863	3,237	1	1	6	7	0

X 各科手術症例統計

診療科：循環器内科

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	—	—	—	227例
血管内治療 (EVT)	—	—	—	54例
	腎動脈インターベンション (PTRA)	—	—	2例
	経皮的心筋中隔アブレーション (PTSMA)	—	—	0例
	バルーン大動脈形成術 (BAV)	—	—	1例
永久ペースメーカー	新規植込み	—	—	34例
	交換	—	—	13例
カテーテルアブレーション	—	—	—	115例
下大静脈フィルター留置	—	—	—	2例
心筋生検	—	—	—	7例
心嚢ドレナージ	—	—	—	7例

診療科：呼吸器外科

手術件数(全身麻酔下)：60 例(胸腔鏡下手術：47 例)

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
肺癌	—	—	—	38例
	肺部分切除術	—	—	14例(胸腔鏡下手術 11例)
	肺区域切除術	—	—	4例(胸腔鏡下手術 3例)
	肺葉切除術	—	—	20例(胸腔鏡下手術 11例)
肺良性腫瘍	—	—	—	2例
	肺部分切除術	—	—	2例(胸腔鏡下手術 2例)
縦隔腫瘍	—	—	—	4例
	腫瘍摘出術	—	—	4例(胸腔鏡下手術 4例)
自然気胸	—	—	—	12例
	肺部分切除術	—	—	12例(胸腔鏡下手術 12例)
肺良性疾患 (良性腫瘍を除く)	—	—	—	3例
	肺部分切除術	—	—	3例(胸腔鏡下手術 3例)
その他	—	—	—	1例
	生検	—	—	1例(胸腔鏡下手術 1例)

診療科：消化器外科
(2020年1月～12月)

総数：692 例（前年：716例）

2020年(全麻手術：562 例 緊急手術：175 例 鏡視下手術：401 例)

2019年(全麻手術：571 例 緊急手術：171 例 鏡視下手術：394 例)

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
食道	悪性腫瘍手術	—	—	0例 前年：1例
		胸腔鏡下食道 亜全摘	—	0例 前年：1例
胃・十二指腸	悪性腫瘍手術	—	—	35例 前年：31例
		幽門側胃切除	—	22例(腹腔鏡22) 前年：20例
		胃全摘	—	12例(腹腔鏡11 (開腹移行1)) 前年：10例
		残胃全摘	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
		噴門側胃切除	—	0例 前年：1例
	その他	潰瘍穿孔	—	5例(腹腔鏡5) 前年：6例
		胃空腸吻合	—	9例(腹腔鏡8 (開腹移行1)) 前年：5例
		十二指腸空腸吻合	—	1例(腹腔鏡1) 前年：1例
		胃瘻造設	—	3例(腹腔鏡3) 前年：4例
		十二指腸狭窄LDG	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
		輸入脚症候群 →ブラウン吻合	—	1例 前年：0例
大腸	悪性腫瘍手術 大腸癌	—	—	73例 前年：62例
		結腸癌	虫垂	5例(腹腔鏡5) 前年：3例
			盲腸	4例(腹腔鏡4) 前年：8例
			上行結腸	15例(腹腔鏡14) 前年：9例
			横行結腸	8例(腹腔鏡7) 前年：4例
			下行結腸	6例(腹腔鏡5) 前年：5例
			S状結腸	19例(腹腔鏡16) 前年：15例
		直腸癌	高位前方切除	5例(腹腔鏡5) 前年：9例
			低位前方切除	9例(腹腔鏡9) 前年：6例
			マイルズ	2例(腹腔鏡2) 前年：2例
			ハルトマン手術	3例 前年：1例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
大腸	その他の悪性腫瘍手術	—	—	0例
	その他	結腸・直腸穿孔・壊死	—	13例 前年：16例
			ハルトマン手術	7例 前年：11例
			切除・吻合	5例(腹腔鏡4) 前年：5例
			縫合＋ストマ	1例 前年：0例
		憩室炎・狭窄・憩室出血	—	3例(腹腔鏡3) 前年：3例
		直腸腫瘍 →経肛門的切除	—	1例 前年：0例
		腸重積 →回盲部切除	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
		習慣性腸捻転 →切除	—	1例(腹腔鏡1) 前年：2例
		腸間膜出血→切除	—	1例 前年：0例
		ストマ造設	—	6例 前年：15例
			癌に対する姑息手術	4例(腹腔鏡3) 前年：0例
			良性疾患	1例(腹腔鏡1) 前年：2例
			その他	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
		ストマ閉鎖	—	5例(腹腔鏡4) 前年：6例
肛門	—	肛門周囲膿瘍切開	—	2例 前年：1例
	—	肛門ポリープ・良性腫瘍切除	—	6例 前年：3例
	—	痔核手術	—	28例 前年：31例
			結紮切除	22例 前年：22例
			硬化療法	8例 前年：9例
	—	直腸脱	—	8例 前年：6例
			Altemeier	5例 前年：3例
			つり上げ固定	1例(腹腔鏡1) 前年：2例
			三輪-Gant	2例 前年：1例
	—	裂肛根治術 SSG	—	1例 前年：1例
	—	腰麻下直腸脱整復	—	1例 前年：0例
	—	止血	—	1例 前年：0例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
小腸	イレウス	良性	癒着剥離・解除	17例(腹腔鏡8) 前年：11例
			腸切除	3例(腹腔鏡3 (開腹移行1)) 前年：8例
			バイパス吻合	1例(腹腔鏡1) 前年：1例
		癌性	ストマ造設	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
			バイパス吻合	2例(腹腔鏡1 (開腹移行1)) 前年：2例
	小腸切除	腫瘍	—	0例 前年：3例
		穿孔	—	2例(腹腔鏡1 (開腹移行1)) 前年：4例
		壊死	—	3例(腹腔鏡2) 前年：1例
		狭窄	—	2例 前年：1例
		出血	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
肝	肝切除	—	—	17例 前年：13例
		肝細胞癌	部分切除	5例(腹腔鏡3) 前年：6例
			外側区域	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
			左葉切除	0例 前年：1例
			後区域	1例 前年：0例
			S8亜区域	2例 前年：0例
			S5亜区域	1例 前年：0例
		転移性肝癌	部分切除	5例(腹腔鏡1) 前年：3例
			外側区域	0例 前年：1例
			S6亜区域	1例 前年：0例
			右葉	1例 前年：0例
		肝血管腫 部分切除	—	0例 前年：1例
		単純性肝嚢胞・ 感染 左葉切除	—	0例 前年：1例
	肝縫合 外傷	—	—	1例 前年：1例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
胆嚢・胆管	胆嚢摘出	—	—	132例 前年：134例
		悪性	—	0例 前年：1例
		良性	—	132例(腹腔鏡129 (開腹移行2)) 前年：133例
			他の手術に追加	19例(腹腔鏡17)
	胆管空腸吻合	—	—	2例 前年：0例
膵臓	膵頭十二指腸切除	—	—	0例 前年：1例
		膵IPMN+胃癌	—	0例 前年：1例
	亜全胃温存膵頭十二指腸切除	—	—	1例 前年：2例
		下部胆管癌	—	1例 前年：2例
	膵体尾部切除	—	—	2例 前年：1例
		膵癌	—	2例(腹腔鏡1) 前年：1例
脾臓	脾摘	—	—	3例 前年：1例
		リンパ腫	—	1例 前年：1例
		脾膿瘍	—	1例 前年：0例
		MDS・脾腫	—	1例 前年：0例
乳腺	悪性腫瘍手術	—	—	50病変(両側2) 前年：65病変 (両側1)
		乳房部分切除	—	9例 前年：19例
		乳房全摘	—	41例 前年：46例
	良性腫瘍	—	—	8例 前年：6例
虫垂	—	虫垂切除	—	79例(腹腔鏡79) 前年：53例
	—	回盲部切除	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
	—	ドレナージ	—	5例(腹腔鏡5) 前年：3例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
ヘルニア	鼠径部ヘルニア	小児	—	7例 前年：3例
		成人	—	88病変(両側8例) 前年：113病変 (両側5例)
			鼠径	85例 前年：109例
			大腿	3例 前年：4例
		Lichtenstein	—	20例 前年：24例
	鼠径部ヘルニア	Plug	—	8例 前年：7例
		Direct Kugel	—	13例 前年：25例
		Kugel	—	15例 前年：18例
		2層メッシュ	—	0例 前年：2例
		TAPP	—	31例(腹腔鏡31) 前年：36例
		従来法	—	1例 前年：1例
	その他	閉鎖孔	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
		腹壁	—	3例(腹腔鏡2) 前年：5例
		臍	—	8例(腹腔鏡3) 前年：1例
		会陰	—	0例 前年：1例
		腹直筋離開	—	0例 前年：1例
		横隔膜	—	1例(腹腔鏡1) 前年：0例
その他	—	Vポート留置	—	29例 前年：41例
	—	Vポート抜去	—	11例 前年：2例
	—	下肢静脈瘤	—	20例 前年：20例
	—		抜去切除	0例 前年：1例
	—		血管焼灼術	11例 前年：13例
	—		高位結紮術	5例 前年：4例
	—		硬化療法	0例 前年：2例
	—	尿膜管摘出	—	1例 前年：2例
	—	リンパ節生検	—	9例(腹腔鏡4) 前年：3例
	—	試験開腹・腹腔鏡	—	4例(腹腔鏡2) 前年：5例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
その他	—	腹壁膿瘍 ドレナージ	—	1例 前年：0例
	—	腹腔洗浄 ドレナージ	—	3例(腹腔鏡2 (開腹移行1)) 前年：3例
	—	創傷処置	—	1例 前年：2例
	—	腹膜播種切除	—	2例(腹腔鏡2 (開腹移行1)) 前年：0例
	—	副腎腫瘍摘出	—	1例 前年：0例
	—	鼠径部血腫除去	—	1例 前年：0例
	—	胸部皮膚腫瘍切除	—	1例 前年：0例

術式				
大分類	中分類	小分類	部位	症例数
脊椎・脊髄	頸椎	前方固定術	頸椎	6例
		椎弓形成術	頸椎	11例
		後方固定術	頸椎	11例
		体外式頸椎固定術	頸椎	2例
	胸椎	後方固定術	胸椎	9例
		椎弓切除術	胸椎	0例
	腰椎	後方固定術	腰椎	41例
		前方固定術	腰椎	7例
		椎間板ヘルニア 摘出術	腰椎	3例
		椎弓切除術・椎弓形成術	腰椎	17例
		前方後方同時手術	腰椎	0例
	その他	脊椎内異物除去術(抜釘術)	脊椎	4例
		感染(病巣郭清術)	脊椎	3例
	—	—	—	小計 114例
人工関節手術	股関節	人工股関節置換術	股関節	51例
	膝関節	人工膝関節置換術	膝関節	55例
	—	—	—	小計 106例
人工骨頭挿入術	大腿骨	人工骨頭挿入術	股関節	95例
	上腕骨	人工骨頭挿入術	肩関節	1例
	—	—	—	小計 96例
腫瘍・骨髄炎	腫瘍	悪性腫瘍手術	四肢	2例
		良性腫瘍手術	四肢	5例
	感染	病巣郭清術	四肢	9例
		切断術	四肢	4例
	偽関節	偽関節手術	四肢	5例
	—	—	—	小計 25例
関節形成術	膝関節	関節形成術	膝関節	1例
	肩関節	関節形成術	肩関節	3例
	股関節	関節形成術	股関節	1例
	手関節	関節形成術	手関節	1例
	足関節	関節形成術	足関節	1例
	足趾	外反母趾手術	母趾	2例
	—	—	—	小計 9例
関節鏡手術	半月板手術	半月板総合術・切除術	膝関節	15例
	靱帯再建手術	前十字靱帯再建手術	膝関節	4例
	—	—	—	小計 19例
骨折	鎖骨骨折	骨折観血的手術	鎖骨	41例
	肩～上腕の骨折	骨折観血的手術	肩～上腕	38例
	肘～前腕の骨折	骨折観血的手術	肘～前腕	18例
	手関節～手指の骨折	骨折観血的手術	手関節～手指	96例
	骨盤骨折	骨折観血的手術	骨盤	1例
	股関節～大腿の骨折	骨折観血的手術	股関節～大腿	164例
	膝～下腿の骨折	骨折観血的手術	膝～下腿	49例
	足関節～足趾の骨折	骨折観血的手術	足関節～足趾	42例
	—	—	—	小計 449例

術式				
大分類	中分類	小分類	部位	症例数
その他	手根管症候群	手根管開放術	手関節	12例
	肘部管症候群	尺骨神経移動術 など	肘関節	1例
	アキレス腱断裂	アキレス腱縫合術	足関節	14例
	手指腱断裂	腱縫合術	手指	7例
	骨内異物除去術	骨内異物除去術 (抜釘術)	四肢	94例
	ばね指	腱鞘切開術	手指	31例
	その他	分類不能	—	4例
	—	—	—	小計 163例
小児整形外科手術	15歳未満を対象	全体の中で	—	20例

大分類	術式		部位	症例数
	中分類	小分類		
副腎	腹腔鏡下副腎摘出術	—	—	3例
腎臓 【（）内は鏡視下手術】	腎摘出術	—	—	8例(8)
	腎尿管全摘出術	—	—	10例(10)
	PNL	—	—	12例
	TUL	—	—	55例
尿管	経尿道の尿管腫瘍切除術	—	—	1例
	尿管鏡	—	—	8例
	尿管拡張術	—	—	4例
	ステント留置術	—	—	5例
	膀胱全摘出術	—	—	2例(回腸導管1例 尿管皮膚瘻1例)
膀胱	経尿道の膀胱腫瘍切除術	—	—	73例
	TUL	—	—	11例
	膀胱止血術	—	—	4例
	前立腺全摘出術	—	—	3例
前立腺	TUR-P(TUEB)	—	—	12例
	前立腺生検	—	—	5例
	経尿道の尿道狭窄手術	—	—	11例
尿道	尿道腫瘍切除術	—	—	1例
	停留精巣固定術	—	—	1例
精巣	高位除睾術	—	—	3例
	精索捻転手術	—	—	3例
	去勢術	—	—	4例
	精索静脈瘤	—	—	1例
	陰嚢水腫	—	—	5例
	陰嚢腫瘍	—	—	2例
	環状切除術	—	—	4例
陰茎	環状切除術	—	—	4例
腎不全関連	内シャント造設術	—	—	45例
	シャントPTA	—	—	14例
	透析用カテ関連	—	—	3例
	CAPDカテ関連	—	—	1例
その他	—	—	—	6例
ESWL(体外衝撃波碎石術)	—	—	—	67例(108回)

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
開頭術	脳腫瘍	神経膠腫	—	4例
		髄膜腫	—	3例
		神経鞘腫	—	0例
		転移性脳腫瘍	—	2例
		その他	—	1例
	脳動脈瘤	破裂	—	1例
		未破裂	—	3例
	AVM・AVF・海綿状血管腫	—	—	4例
	脳内出血	—	—	8例
	外傷性脳出血	—	—	5例
機能外科	その他(外減圧術・頭蓋形成術など)		—	11例
	てんかん	—	—	0例
	MVD	—	—	0例
	深部刺激	—	—	0例
血行再建	その他	—	—	0例
	CEA	—	—	5例
	EC-ICバイパス	—	—	1例
Hardy	その他	—	—	0例
	—	—	—	0例
	—	—	—	0例
脊髄脊椎	脊髄腫瘍	—	—	0例
	血管障害	—	—	0例
	変性疾患 (脊髄症・ヘルニアなど)	—	—	1例
	その他	—	—	0例
小児奇形	—	—	—	0例
穿頭術	—	—	—	42例
シャント術	—	—	—	10例
IVR	動脈瘤	破裂	—	5例
		未破裂	—	8例
	AVM	—	—	2例
	AVF	—	—	1例
	腫瘍塞栓	—	—	3例
	機械的血栓回収	—	—	14例
	CAS	—	—	5例
	その他のstent	—	—	0例
	PTA	—	—	1例
	その他 (エリル動注・BOTなど)	—	—	2例
定位放射線	—	—	—	0例
神経内視鏡	eTSS	—	—	0例
	脳内出血	—	—	0例
	開窓術	—	—	0例
	その他	—	—	0例
その他	—	—	—	6例
合計				148例

診療科：耳鼻いんこう科

総数：128 例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
耳手術	鼓室形成術	—	—	0例
	鼓膜形成術	—	—	0例
	鼓膜チューブ挿入術	—	—	8例
鼻手術	レーザー焼灼術	—	—	10例
	内視鏡下副鼻腔手術	—	—	5例
	鼻副鼻腔腫瘍摘出手術	—	—	6例
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	—	—	0例
咽頭手術	口蓋扁桃摘出手術	—	—	22例
	アデノイド切除術	—	—	10例
	咽頭腫瘍摘出術	—	—	1例
	咽頭悪性腫瘍摘出術	—	—	1例
喉頭手術	声帯ポリープ摘出術	—	—	6例
	喉頭悪性腫瘍摘出術	—	—	1例
頸部手術	頸部腫瘍摘出術	—	—	3例
	リンパ節摘出術	—	—	20例
	気管切開術	—	—	11例
	頸部廓清術	—	—	2例

診療科：皮膚科

総数：86 例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
皮膚良性腫瘍	—	—	—	13例
皮膚悪性腫瘍	皮膚悪性腫瘍切除術	—	—	2例
その他	組織試験採取	—	—	71例

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
熱傷	—	—	—	8例
顔面外傷	顔面骨骨折	—	鼻骨	9例
		—	頬骨	1例
	軟部組織損傷	—	—	70例
手足	手足先天異常	合指症	—	0例
		合趾症	—	1例
	手足外傷	縫合	—	89例
		異物除去	—	3例
		その他	—	1例
		植皮、皮弁での 再建	—	3例
先天異常	—	眼瞼下垂症	—	1例
	—	睫毛内反症	—	4例
	—	副耳	—	6例
	—	耳瘻孔	—	2例
良性腫瘍	—	—	—	552例
悪性腫瘍と再建	—	基底細胞癌	—	17例
	—	扁平上皮癌	—	10例
	—	ボーエン病	—	5例
	—	悪性黒色腫	—	1例
	—	日光角化症	—	9例
	—	その他	—	20例
	—	植皮、皮弁での 再建	—	5例
	—	乳房再建	—	1例
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	—	瘢痕	—	8例
	—	瘢痕拘縮	—	4例
	—	ケロイド	—	2例
	—	褥瘡	—	3例
難治性潰瘍	—	足潰瘍	—	23例
	—	下腿潰瘍	—	2例
	—	その他	—	13例
その他	—	眼瞼下垂症	挙筋前転術	38例
	—	—	皮膚切除術	9例
	—	—	前頭筋吊り上げ 術	2例
	—	眼瞼内反症	—	14例
	—	眼瞼外反症	—	1例
	—	陥入爪	—	9例
	—	その他	—	7例
美容	—	包茎	—	1例
レーザー	—	—	—	237例

診療科：歯科口腔外科

術式			部位	症例数
大分類	中分類	小分類		
A-1 歯・歯槽外科手術	智歯抜歯術	—	—	998例
	智歯以外の抜歯術	—	—	320例
	歯根端切除術	—	—	5例
	その他の手術	—	—	0例
A-2 補綴前外科手術/顎堤形成手術/骨移植手術	顎堤形成術	—	—	0例
	歯槽骨延長術	—	—	0例
	骨隆起形成術	—	—	6例
	その他の手術	—	—	0例
A-3 口腔・顎・顔面インプラントおよび関連手術	インプラント植立術	—	—	0例
	インプラント摘出術	—	—	1例
	上顎洞底挙上術	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
B-1 消炎手術	膿瘍切開術	—	—	20例
	顎骨骨髓炎消炎手術	—	—	0例
	腐骨除去術	—	—	6例
	その他の手術	—	—	0例
B-2 良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術	軟組織腫瘍切除術	—	—	8例
	顎骨腫瘍切除術	—	—	1例
	軟組織嚢胞摘出・開窓術	—	—	0例
	顎骨嚢胞摘出・開窓術	—	—	24例
	その他の手術	—	—	0例
B-3 唾液腺関連手術	唾石摘出術	—	—	0例
	顎下腺摘出術	—	—	0例
	舌下腺摘出術	—	—	1例
	唾液腺良性腫瘍手術	—	—	0例
	唾液腺悪性腫瘍手術	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
B-4 上顎洞関連手術	口腔上顎洞瘻閉鎖術	—	—	0例
	上顎洞根治術	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
C-1 顎顔面外傷手術/異物除去手術	上顎骨骨折手術	—	—	0例
	下顎骨骨折手術 (関節突起以外)	—	—	0例
	関節突起骨折手術	—	—	0例
	頬骨・頬骨弓骨折手術	—	—	0例
	顔面多発骨折手術	—	—	0例
	異物除去術	—	—	4例
	その他の手術	—	—	0例
C-2 顎変形症関連手術/顎顔面骨延長術	歯槽部骨切り術	—	—	0例
	Le Fort I 型骨切り術	—	—	7例
	下顎枝垂直骨切り術	—	—	0例
	下顎枝矢状分割術	—	—	7例
	オトガイ形成術	—	—	0例
	骨延長術	—	—	0例
	舌形成術(巨舌症)	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
C-3 顎関節手術および関連処置	顎関節鏡視下手術	—	—	0例
	顎関節形成術	—	—	0例
	顎関節強直症手術	—	—	0例
	顎関節脱臼観血的手術	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例

大分類	術式		部位	症例数
	中分類	小分類		
D-1 癌/前癌病変関連手術 (唾液腺悪性腫瘍はB-3)	舌部分切除術	—	—	5例
	舌半側切除術	—	—	0例
	舌全摘術	—	—	0例
	頬粘膜・口底・口蓋・口唇 切除術	—	—	0例
	上顎部分切除術	—	—	1例
	上顎全摘出術	—	—	0例
	下顎辺縁切除術	—	—	0例
	下顎区域切除術	—	—	0例
	下顎半側切除術	—	—	0例
	選択的頸部郭清術	—	—	0例
	根治的頸部郭清術	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
D-2 再建外科手術	局所皮弁移植術	—	—	0例
	人工材料を用いた顎骨 再建術	—	—	0例
	自家骨を用いた顎骨再建術	—	—	0例
	大型の有茎(筋)皮弁を用い た再建術	—	—	0例
	自家遊離複合組織移植術 (顕微鏡下血管柄付)	—	—	0例
	その他の手術	—	—	0例
D-3 唇顎口蓋裂手術関連	口唇形成術	—	—	0例

X I . 臨床指数（クリニカルインディケーター）

消化器内科

【内視鏡件数】

2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
上部内視鏡	242	159	294	324	359	406	461	423	385	314	287	282	3,936
下部内視鏡	98	64	139	148	122	132	146	137	145	122	128	144	1,525
大腸良性EMR	34	15	45	41	28	32	39	35	44	31	34	32	410
大腸癌EMR	1	0	3	1	1	4	7	4	3	5	1	2	32
ERCP	21	18	11	22	29	35	28	21	21	16	16	30	268
ESD	3	5	1	3	4	4	4	5	4	6	4	1	44
EIS	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6
その他	0	6	2	9	5	1	2	6	3	3	3	0	40

《肝胞癌に対する治療》

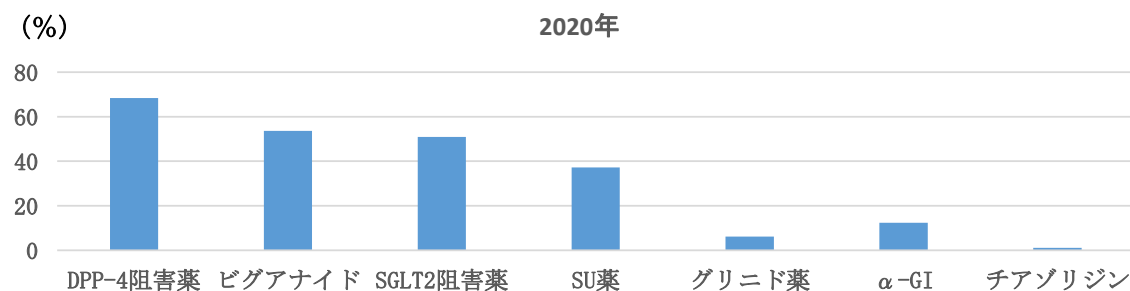
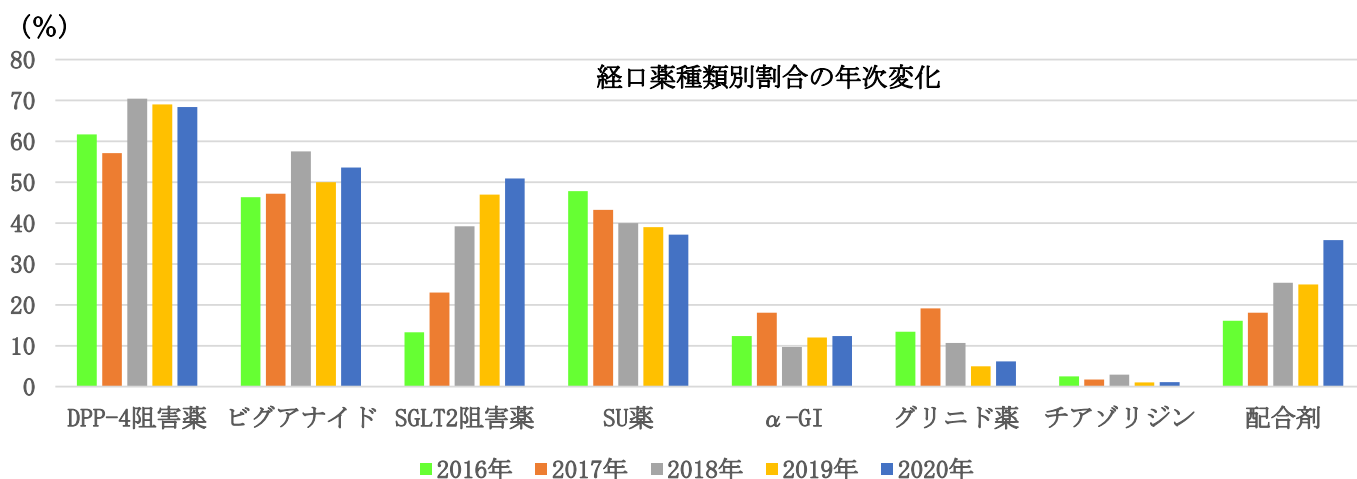
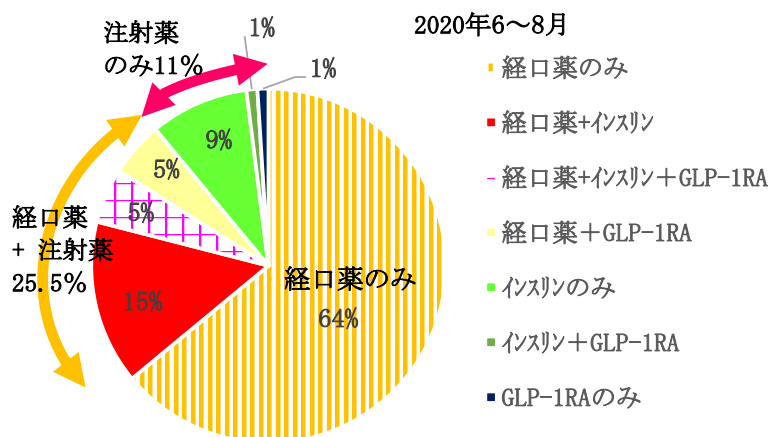
RFA : 1 例

PEIT : 0 例

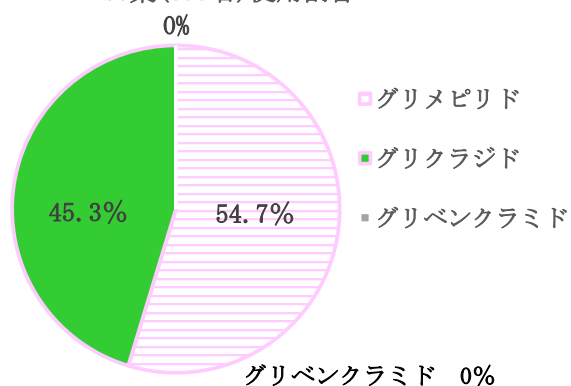
TACE : 15 例

(RFA : 経皮的ラジオ波焼灼療法 PEIT : 経皮的エタノール注入療法 TACE : 肝動脈化学塞栓療法)

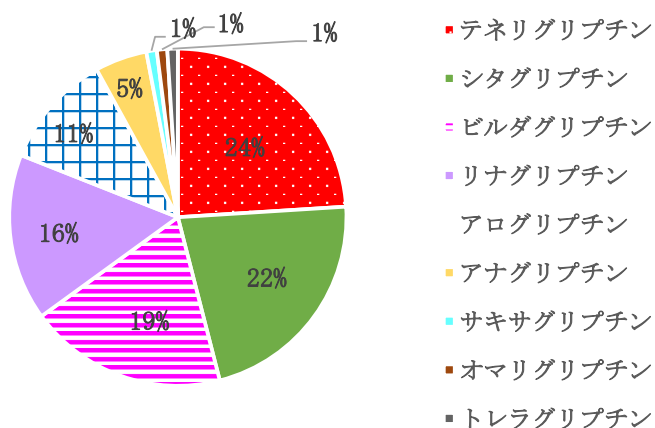
経口薬注射薬割合（糖尿病専門外来1,795名）



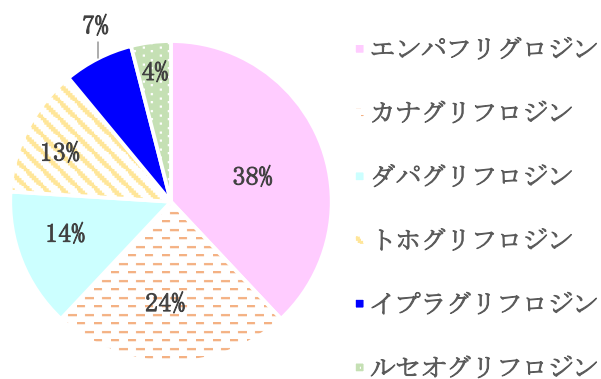
SU薬(599名)使用割合



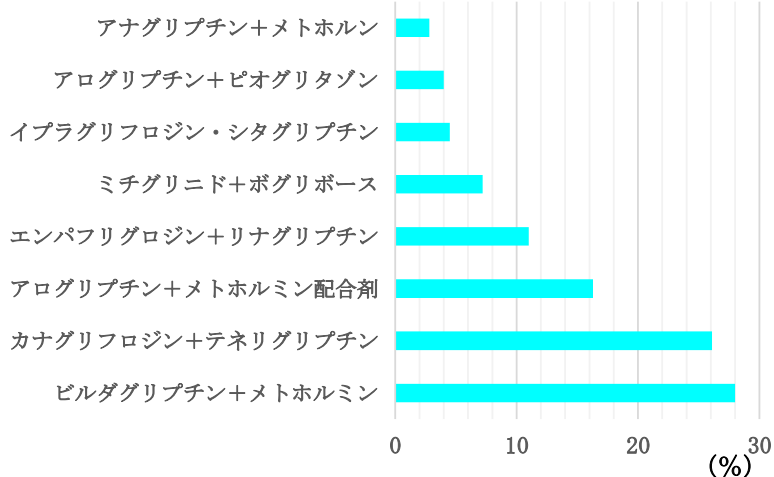
DPP-4阻害薬および配合錠（1,103名）使用割合



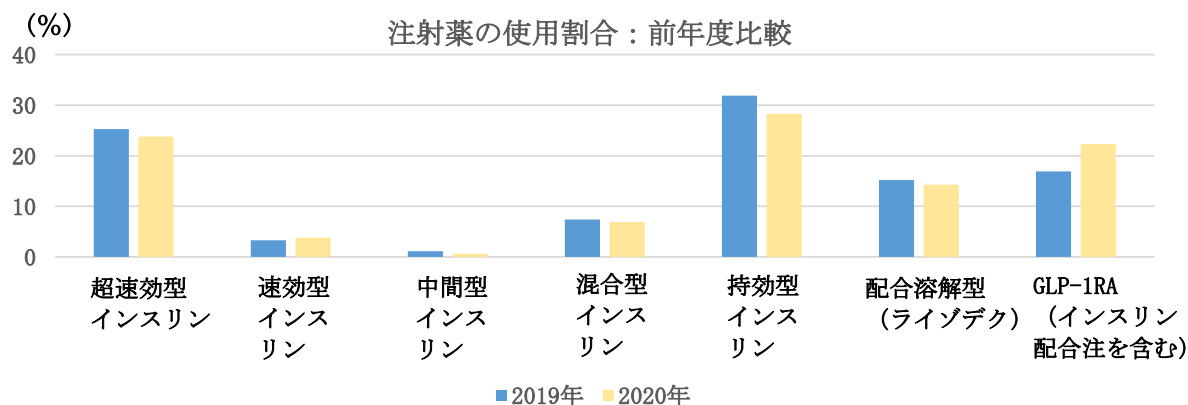
SGLT2阻害薬および配合錠（821名）の使用割合



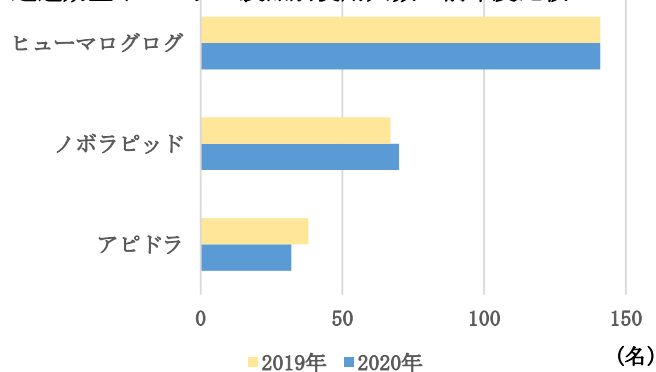
配合錠（600名）使用割合



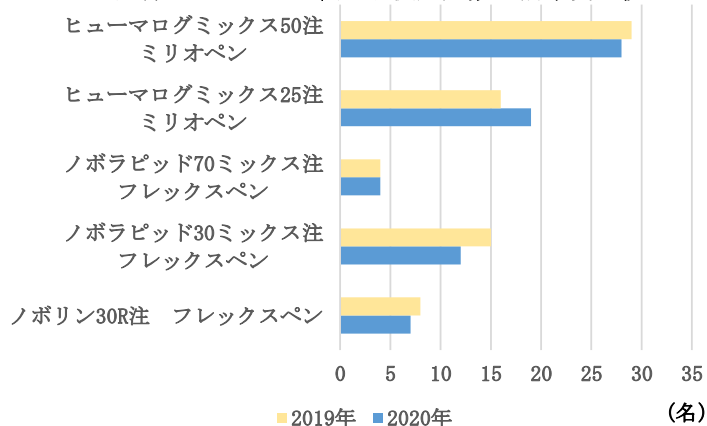
注射薬の使用割合：前年度比較



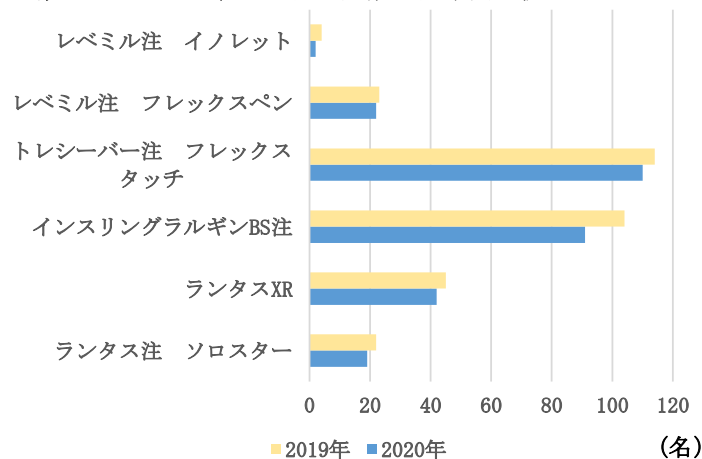
超速効型インスリン製品別使用人数：前年度比較



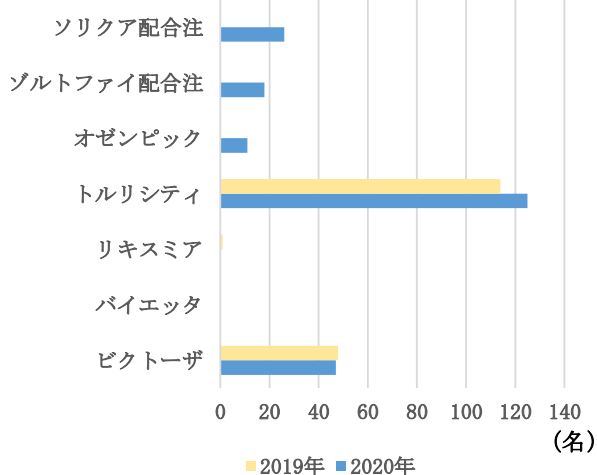
混合型インスリン製品別使用人数：前年度比較



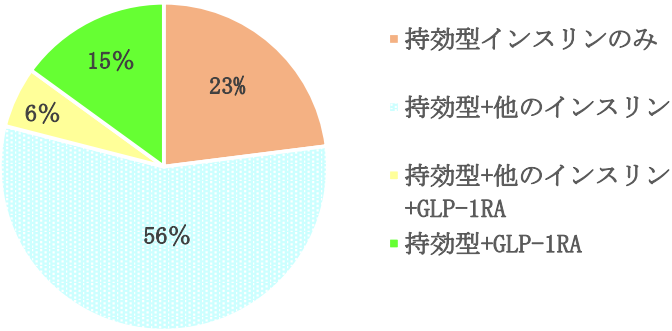
持効型インスリン製品別使用人数：前年度比較



GLP-1受容体作動薬製品別使用人数：前年度比較



持効型インスリン279名の他注射薬との併用割合



外来糖尿病患者	全ての科	1,610名	延べ13,694名
	当科	1,342名	延べ6,521名
インスリン処方患者	外来	963名	
	入院	144名	
入院患者数	全ての科	336名	延べ512名
	当科	111名	延べ164名

循環器内科

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	227例
血管内治療 (EVT)	54例
腎動脈インターベンション (PTR)	2例
経皮的心筋中隔アブレーション (PTSMA)	0例
バルーン大動脈形成術 (BAV)	1例
永久ペースメーカー	
新規植込み	34例
交換	13例
カテーテルアブレーション	115例
下大静脈フィルター留置	2例
心筋生検	7例
心嚢ドレナージ	7例

呼吸器内科+呼吸器外科

肺癌	121例
小細胞癌	14例
腺癌	61例
扁平上皮癌	23例
大細胞癌	2例
LCNEC	0例
非小細胞癌	5例
腺扁平上皮癌	1例
多形癌	2例
組織型不明	13例
悪性胸膜中皮腫	3例
縦隔腫瘍	0例
縦隔癌	0例
胸腺癌	0例
胸腺腫	1例
転移性肺腫瘍	0例
転移性癌性胸膜炎	2例
良性腫瘍	2例
リンパ腫	2例
原発不明癌	1例
化学療法	62例
外来化学療法	48例 (導入率77.4%)
EGFR-TKI	6例
ALK-TKI	1例
放射線治療	22例

消化器外科

2020. 1. 1 ～2020. 12. 31 消化器外科退院患者統計

入院患者数	男 466
717	女 251

入院手術症例数	576
---------	-----

合併症109 (94症例)	感染症	43
	縫合不全	8
	呼吸器系	7
	循環器系	5
	出血	5
	脳血管障害	2
	腎	1
	その他	38

転帰	治癒	338
	軽快	284
	不変	40
	転科	35
	転院	12
	死亡	7
	悪化	1

「死亡」の内訳	良性 2	縊頸、NOMI
	悪性 5	原病死（大腸癌3、胃癌1）、大腸癌術後縫合不全 などからの多臓器不全（肝硬変既往）

平均入院日数 11.1日

手術合併症 総数576例 合併症症例 94例（16.5%）	胃十二指腸 10例	縫合不全(3)
		膿胸
		腸閉塞
		創感染
		腸炎
		腹腔内膿瘍(3)
		膵液瘻(2)
		偽膜性腸炎
	上部穿孔 3例	低ナトリウム血症
		総胆管結石
		肺炎、腸炎
	小腸 14例	腸管穿孔、死亡
		縫合不全
		不整脈、心不全
		肺炎(2)
		脂肪壊死(2)
		尿路感染(2)
		創し開(2)
		呼吸不全
		腸閉塞
		創感染(3)
		脳梗塞(2)
	肝臓 4例	前立腺炎
		腸閉塞
		術後せん妄
		胆汁瘻

手術合併症 総数576例 合併症症例 94例 (16.5%)	胆嚢 11例	肝障害
		腸炎
		腹腔内膿瘍(5)
		腸閉塞(2)
		肺炎(2)
		腹腔内出血
		無気肺
		循環不全
	胆道 1例	膵空腸縫合不全、腹腔内膿瘍、胆汁嘔吐
	膵 0例 (膵切除術2例)	
	大腸 30例	腹膜炎、壊死性筋膜炎、多臓器不全、死亡
		縫合不全、死亡
		縫合不全、回腸ストマ
		縫合不全 (疑)
		腸閉塞 (11)
		腹腔内膿瘍 (5)
		腹腔内SSI (疑含む) (2)
		創し開・点滴ルート感染 (疑含む) (3)
		下部消化管出血 (2)
		薬剤性肝障害
		十二指腸出血 (抗凝固剤のため?)
		せん妄
		胆嚢炎
		じんましん
		ポート感染
		橈骨神経麻痺
		不整脈
		尿管結石
		誤嚥性肺炎
	下部穿孔 1例	急性循環不全 腹膜炎でreOpe
	appe穿孔- 1例	脂肪壊死
	appe穿孔+ 6例	イレウス(3)
		腹腔内膿瘍 (3)
	鼠径ヘルニア 6例	精管損傷
		皮下血腫
		心不全その他 (嵌頓術後、既往悪化)
		腸閉塞 (嵌頓例)
		直腸損傷 (自己摘便由来)
		尿道損傷 (バルーン由来)
	へモ 1例	MRCNS敗血症、胸膜炎 (四肢切断既往あり、感染源?)
	再発 1例	腸閉塞 (胃癌再発、直腸狭窄でストマ造設後)
	その他 4例	LDG後の輸入脚症候群、Braun吻合追加、脂肪壊死
		リンパ腫の非外傷性脾破裂脾摘後、腹腔内SSI
		リンパ腫の腹腔内リンパ節生検後、胆管炎疑い
		鼠径ヘルニア術後皮下血腫、除去術、胆管結石

手術関連死亡 3例 (0.52%)	良性	NOMI、小腸切除後	83歳 女性	術後55日
	悪性	大腸癌術後	75歳 男性	術後84日
		直腸癌、壊死性筋膜炎術後	57歳 男性	術後 1日

再手術症例 9例 (1.6%)	癒着性イレウスで腹腔鏡下小腸バイパス → 縫合不全・狭窄で再バイパス手術
	胃癌で腹腔鏡下胃全摘 → 縫合不全・縦隔炎で縦隔ドレナージ術
	直腸癌で腹腔鏡下直腸前方切除 → 縫合不全で横行結腸ストマなど
	胆管癌でSSPPD → Braun吻合
	小腸穿孔で小腸切除 → 嚥下機能低下で胃瘻造設
	絞扼性イレウスで小腸切除 → 腹壁創離開で再縫合 → 胆のう炎で腹腔鏡補助下胆摘
	直腸癌の播種で腔鏡下播種結節切除 → CVポート感染で抜去術
	S状結腸癌穿孔でハルトマン手術 → 膿瘍に対して開腹ドレナージ術
	直腸癌で腹腔鏡下直腸前方切除 → 縫合不全で回腸結腸ストマなど

予期しない術後 再入院12例 (2.1%)	絞扼性イレウス解除術 → 絞扼性イレウス再発、解除固定術
	絞扼性イレウスで小腸切除 → 癒着性イレウスで小腸切除
	残胃癌で残胃全摘 → 腸炎 (2回) (関連性不明)
	虫垂粘液腫で腹腔鏡下盲腸切除 → 悪性診断のため腹腔鏡下回盲部切除 (予期済み)
	絞扼性イレウスで腹腔鏡下癒着剥離 → イレウスで腹腔鏡下癒着剥離
	大腸癌肝転移再発で切除 → 異時性再発で肝切除 (やむを得ないと考えられる)
	左鼠径ヘルニア、Plug Mesh法 → 血腫と感染、ドレナージ
	痔核根治術 (切除術) → 創出血 (保存的治療で軽快)
	胃癌で腹腔鏡下胃全摘 → 腹腔内膿瘍 (保存的治療で軽快)
	胃癌で開腹胃全摘、胆摘 → イレウス (保存的治療で軽快)
	胃潰瘍穿孔、腹腔鏡下穿孔部縫合閉鎖 → 脾膿瘍で脾摘 (関連性不明)
	虫垂炎で腹腔鏡下切除、遺残膿瘍 → 抗生剤経口投与中に偽膜性腸炎 (保存的治療で軽快)

予期しない術後再入院については、以下のような例は省略しています。

虫垂炎穿孔でドレナージのみ→待機的虫垂切除

(一時的)ストマ造設→ストマ閉鎖術 (良性・悪性問わず)

同時性肝転移のある大腸癌で、大腸切除→肝切除

切除不能癌に対する姑息的手術→癌増悪 (入院日の予期はできないが、いずれ想定されていたため)

また、全く関連がないと考えられる疾患 (悪性腫瘍と鼠径ヘルニアなど) も除外しています。

整形外科

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 令和2年 地域連携パスの実績

① 総患者数	188名	[令和元年 173名]
② 治療方法	手術療法 187名、保存治療 1名	
③ 地域連携パス利用率（人数）	63.8%、120名	[令和元年 60.7%、105名]
④ 当院での在院日数		
i) 全体	25.5日	(死亡等2名を除く) [令和元年 28.4日]
ii) 地域連携パス利用者	21.8日	[令和元年 25.1日]
iii) 地域連携パス除外者	32.3日	(死亡等2名を除く) [令和元年 34.0日]
⑤ 手術から転院・退院までの日数		
i) 全体	22.7日	[令和元年 25.4日]
ii) 地域連携パス利用者	18.9日	[令和元年 22.0日]
iii) 地域連携パス除外者	29.6日	[令和元年 31.2日]
⑥ 総治療日数（地域連携パスを利用し、当院から回復期リハビリ病院を経て在宅復帰が達成できるまでの期間）	81.7日	[令和元年 87.4日]

10. 泌尿器科

周術期死亡	なし
再手術症例	2例
TUR後出血 シヤント術後出血	
手術創感染	なし
前立腺生検後菌血症	なし
前立腺生検	86件 うち癌検出59件

11. 脳神経外科

年齢	入院時病名	TOAST 分類	locati on	O to D	D to I	D to N	D to P	P to R	D to R	O to N	O to R	TICI	pre- mRS	ent- mRS	90days- mRS	preCT- ASPECT
86歳	心原性脳塞栓症	CE	M1	57	7	NA	101	57	158	NA	215	3	4	4	4	10
79歳	アテローム血栓性 脳梗塞・急性期	ATBI	ICA	57	13	NA	90	160	250	NA	307	2A	0	2	0	9
60歳	心原性脳塞栓症	CE	M1	34	11	NA	120	45	165	NA	199	3	0	1	0	10
96歳	脳梗塞・急性期	CE	M2	43	14	97	181	71	252	140	295	2B	3	4	4	10
80歳	脳梗塞・急性期	ATBI	ICA	32	16	63	88	NA	NA	95	NA	0	0	4	4	10
82歳	アテローム血栓性 脳梗塞・急性期	ATBI	ICA	34	22	46	64	18	82	80	116	3	0	4		9
74歳	脳梗塞・急性期	CE	ICA	666	15	NA	51	15	66	NA	732	3	0	0	0	9
86歳	塞栓性小脳梗塞・ 急性期	CE	BA	300	11	NA	37	20	57	NA	357	3	0	3	3	7
77歳	心原性脳塞栓症	CE	M1	280	12	NA	60	17	77	NA	257	3	0	4		10
63歳	アテローム血栓性 脳梗塞・急性期	Other (ESUS)	M1	43	18	22	49	8	57	65	100	2C	0	0	0	10
96歳	心原性脳塞栓症	CE	M1	95	19	23	51	94	145	118	240	2B	4	6	6	7
78歳	心原性脳塞栓症	CE	M1	49	8	16	52	8	60	65	109	3	0	1		10
64歳	心原性脳塞栓症	CE	P1	7	18	23	45	38	83	30	90	3	0	0		10
89歳	脳梗塞・急性期	CE	M2	697	23	NA	136	19	155	NA	852	3	3	2		10

有効再開通率(2B-3)

OtoR

DtoR

90days mRS0-2 率

90days mRS0-3 率

85.70%

中央値 240分

中央値 83分

未確定

未確定

12. 麻酔科

麻酔科管理症例数 2,647
 (全手術症例数 4,130)

麻酔別分類	症例数
全身麻酔	1,890
全身麻酔＋硬膜外（脊髄くも膜下）麻酔	547
硬膜外麻酔＋脊髄くも膜下麻酔	0
硬膜外麻酔	0
脊髄くも膜下麻酔	109
その他	101
緊急症例数	327
重大な医療事故症例数	0

13. 歯科口腔外科

- 入院患者数 559人
 男 268人
 女 291人
- 平均年齢 44.84歳
- 平均入院日数 4.3日
- 入院内訳 559症例
 予定入院 512症例
 予定外入院 44症例
 緊急医療入院 3症例
- 術後合併症 下顎智歯抜歯後知覚鈍麻 5症例